

直ニ討論ニ入り植原悦二郎君、中西六三郎君及津田毅一君ハ本案ニ反對、森田茂君及古屋慶隆君ハ贊成ノ演説ヲ爲ス
植原悦二郎君ノ演説

本員ハ齋藤君ガ昨日建議案提出ニ付キマシテ……決議案提出ニ付マシテ、理由ヲ説明シテ居ル中途ニ其演説ヲ繼續シ能ハザリシコトヲ、齋藤君自身憲政會ノ諸君ヨリハ一層遺憾ト感ズル者デアリマス、齋藤君ノ決議案提出ノ理由ハ、頗ル嚴格ナル意義ニ於テ御演説ヲ開始サレタノ御坐イマス、殊ニ憲法上ノ問題デ御坐イマスルカラシテ、私共ハ特別ニモ注意ヲ拂ッテ聞イテ居タノ御坐イマス、デ定メシ始マリニ御言ヒノ通り十分ナル所ノ理由ヲ御持チニナッテ憲法違反デアアル、憲政ノ要義ヲ紊ルモノデアルト云フ定メシ立派ナル所ノ理由ガ御有リナサルダラウト思ウテ、十分ニ謹聽致シテ居ッタノ御坐イマス、然ルニ其内容ヲ聞クニ至ッテ實ニ驚クニ堪ヘザリシモノデ御坐イマス、齋藤君ガ第一ノ理由トシテ御述ベニナッタコトハ、我國ノ憲法ニ據レバ、樞密院ヲ右ニ國務大臣ヲ左ニ控ヘテ國務ヲ處理スルヨリハ、其外ノモノヲ設置スレバ憲法違反デアルト斯ウ云フ御理由デアルト思フ、之ニ付キマシテ私ハ其意義ヲ理解セザル者デ御坐イマス、樞密院ト國務大臣トノ資格ハ兩立スベキモノデナシ、一緒ニ論スベキモノデハ御坐イマセヌ、樞密院ハ一ノ諮問機關而モ諮問ニ依ラザレバ國務國政ニ干與スルコトノ出來ルモノデハ御坐イマセヌ、國務大臣ハ總テノ國務國政ニ付キマシテ全責任ヲ負フモノデ御坐イマス、之ニ付テ憲政會ノ諸君並ニ齋藤君ガ異議ガ御坐イマスノ御坐イマスカ、國務大臣ハ國務國政ノ實行上之ヲ言葉ヲ換ヘテ申スレバ、大權ノ責任ニ當ル上ニ於テ、臨機應變ノ處置ヲ執ルコトハ自由自在デアルノ御坐イマス、ソレ故ニ何故以テ外交調査會ヲ設置シタコトヲ以テ憲法違反ト御言ヒナサルノデアアルカ、外交調査會ヲ設置シタコトハ、天皇ニ直屬スルガ故ニ憲法違反デアルト御言ヒナサル議論デアルヤウニ思ハレル、之ニ對シテ私ハ説明致シマス、内閣而モ國務國政ニ對シテ全

責任ヲ負フ者ガ、或事項ニ付キマシテ調査スル必要ガアルト認メタトキニハ、調査機關ヲ設置スルコトハ憲政ノ發達ヲ圖ル上ニ於テ必要ナル事デ、是認シナケレバナライコトデアアル、臨時調査會ヲ、陛下ノ側近ニ造ラレマシタ理由ハ何故カト言ヘバ、諸君如何ニ御主張ニナッテモ、我が帝國議會ハ條約締結權、戰爭ニ對シテ宣言スルコト、平和ニ對シテ平和ヲ克復スル權能ヲ有シテ居ラナイノ御坐イマス、是ハ直接、陛下ノ大權ニ依テ……ソレ……處理サレテ居ルモノデアリマス、諸君ハ必ズ斯ウ御言ヒニナルデ御坐イマセウ、國防調査會ト經濟ノ調査會ハ……議會會ト内閣トノ間ニ造ラレタモノデアアルケレドモ、外交調査會ハ、陛下ノ側近ニ造ラレタモノデアアルト御言ヒナサルデセウ、併シ只今申上ゲタ條約ニ對スル締結權ヲ……帝國議會ノ所有セザルコトヲ認メル場合ニハ、之ヲ、陛下ノ側近ニ造ルノハ當然デハ御坐イマセウカ、又齋藤君ハ未ダ會テ、天皇ニ直屬スル所ノ機關ヲ設ケタ慣例ガナイ、故ニ是ハ憲法違反デアルト云フ御主張デアアルノデ、天皇ニ直屬スル機關ハ澤山御坐イマス、會計検査院モ、天皇ニ直屬スルモノデアリマス、(議場騒然)又朝鮮ノ總督モ、天皇ニ直屬スルモノデアリマス、若シ又サウ云フ慣例ガナモノヲ造ッタ例ガ無イト云フ理由ハ、我が憲政上何處ニ御坐イマスカ、若シ又サウ云フ慣例ガ出イニ致シマシタ所ガ今日ノ時局ノ問題ヲ考ヘマシタトキニ、之ニ對シテ異議ヲ申立テル事ガ出來マセウカ、デ我帝國ノ時局ニ對シマシテハ、憲政會諸君モ急迫ニ迫ッテ居ルコトヲ自ラ御承知ナスッテ居ルデハ御坐イマセウカ、デ加藤總裁自ラモ今日ハ非常ナル時局ノ急迫ニ迫ッテ居ルト云フコトヲ大會ノ場所ニ宣言シテ居リマス、又英國ニ於キマシテハ御承知ノ通り實例ノ無イ所ノ聯立内閣ヲ造ッテ居ルノデアリマス、時局ニ際會シテ國家ノ急迫ニ及ンデ、陛下ノ大權ヲ所有スル範圍内ニ於テ、國務大臣ガ責任ヲ負フテ調査機關ヲ造ッタ事ガ、何故憲法違反デ御坐イマスカ、又樞密院ニ諮ラズシテ内閣ノ獨斷ヲ以テ設置シタ事ハ、樞密院ノ權限ヲ侵スモノデアルト云フ御主張ガアリマシタ、樞密院ニ諮ラナイカハ吾々ノ知ル所デアリマセヌ、併ナガラ外交調査會ヲ設置スルニ付キマシテ、陛下ハ御裁可ニナッテ居ルノ御坐イマス、此事實ヲ諸君ハ

無視スルコトが出来マセウカ、之ヲ以テ他ノ諸君ハ憲法違反デアル憲政ノ要義ヲ案スモノデア
 ト御言ヒナサルデアリマセウカ、又齋藤君ハ外交調査會ノ設置ヲ以テ、樞密院ノ權限ヲ侵スモノ
 デアルト御主張ナサツテ居ル、デ樞密院ハ至尊ノ諮問機關ニシテ、諮問アラセラレタ時ニノミ答
 ル機關デアリマス、今日時局ノ窮迫セル場合ニ、自カラ進デテ審查審議スル機關ノ必要ナルコトハ
 滿天下ノ認ル所デアリマス、之ニ對シテ何故是ガ憲法ノ要義ヲ案シ、憲法ノ意義ニ反スルモノデ
 アリマセウカ、又樞密院ノ權能ヲ無視シ、内閣ノ無能ヲ示スモノデアルト云フ御議論ガアッタヤ
 ウデ御坐イマス、樞密院ノ權能ヲ無視シタト云フ理由ハ何處ニ在ルカ、唯言葉ノ斷言デハ分リマ
 セヌ、樞密院ニ之ヲ詢ッテ承諾シタカ否カハ、兎ニ角樞密院ガ此機關ノ必要ヲ認メテ居ルト云フ
 コトハ、憲政會諸君ヨリハ國家ノ窮迫ヲ思ヒ愛國ノ情ニ富デ居ルカラデアリマス、又齋藤君ノ言
 ニ依リマス、國策ヲ確立スルト云フコトハ無意味デアアル、今日日本ノ國策ハ定マツテ居ルト言
 ヒマスケレドモ、齋藤君ハ今日外國トノ我ガ國際關係ガ刻々變化シツ、アル状態ヲ御承知デス
 カ、如何デスカ、第二十八議會ノ解散後米國ノ參戰事件ガアリマシタ、露國ノ政變ガアッタ、支那
 ノ騷擾ガアル、是等ノ事實ヲ齋藤君憲政會ノ諸君ハ御否定ナサルノデスカ、是等ノ事實ヲ御分
 ニナリマシタラ、我國ノ國際關係ハ非常ニ窮迫シテ居ルコト、我國ノ國策ハ是ニ於テ根本的ニ改
 メナケレバナラヌコトハ御承知デ御坐イマセウ、第三十八議會ノ解散前ニ於キマシテ、憲政會ノ
 首領加藤子爵ハ三浦觀樹將軍邸ニ集リマシテ、外交ヲ政争ノ外ニ置ク必要アリト云フ覺書ヲ出
 シテ御居デニナルデアリマセヌカ、三十八議會後ニ尙我國ノ外交政策ハ窮迫シテ居ルノデア
 ル、其點ニ於テ加藤總裁ノ承認シテ居ル事ヲ、憲政會ノ諸君ハ此處デ否認ナサラウト云フノ御
 坐イマセウカ、若シ其事實ガ御分ニナリマシタラバ、外交調査機關ヲ設立サレタ理由ガ自カラ
 明白デアアル、之ニ對シテ諸君ハ異議ヲ申立テ爾權能ハナイ、且外交ノ事ハ内政ト甚シク其趣ヲ異
 ニシテ居リマス、齋藤君ハ外交ト内政ト幾ド同一ノモノノヤウニ御考ニナツテ居ル様デ御イマス
 ケレドモ、内政ノ過チハ私共自ラ改メルコトが出来マス、併ナガラ一度外交上私共ガ過チヲ起ス
 ナラバ、之ヲ再ビ回復スルコトハ容易ナラザルコトデアリマス、此理由ガ御分リニナリマシタナ

ラバ、今日外交調査會ヲ設置シタル事ニ付テ、諸君ハ異議ヲ挾ムベキ理由ハ成立タヌト思ヒマ
 ス、又御承知ノ通り戰爭ヨリハ一國家ノ國策ノ確定ニ就キマシテハ戰後ガ大切デ御坐イマス、日
 露戰爭日清戰爭ノ時ニ、アレ程ノ連戰連勝ガ外交ノ結果ハ如何デアリマセウカ、今日ノ戰爭ハ幾
 ド歐洲ノ各列強ヲ網羅シテ居ルノ御坐イマス、此場合日露戰爭日清戰爭ニ對シテスラ、不満足
 ナル外交ノ結果ヲ見タノデアアル、故ニ今日カラ此歐洲戰後ノ經營ニ對シテ十分ナル考慮ヲ煩ハ
 スト云フコトハ當然ナル事デアリマス、殊ニ今日我國ノ外交ヲ單リ政府當局者ノミニ委
 セテ置クコトハ出來ナイト云フ事ハ、憲政會諸君モ御承知ノ事デアアル、憲政會ノ諸君ハ其故ニ聯
 立内閣ヲ作ッタ宜カラウ、或ハ無任所大臣ヲ置イタラ宜カラウト云フ事ヲ御主張ナサツテ御居
 デナサル、其事實ハ諸君ガ明カニ今日ノ日本ノ外交國策ノ確立ニ對シテハ、如何ナル聰明ナル所
 ノ總理大臣内閣員ヲ以テモ満足スルコトノ出來ナイト云フコトハ、明ラカニ證言ナスツテ居ルモ
 ノデアリマス、マイカ、シテ見レバ、此窮迫ナル時局ニ對シテ、現内閣ガ國論ノ統一ヲ圖ルタメニ臨
 時外交調査會ヲ作ッタト云フコトハ、誠ニ當ヲ得タルモノト謂ハナケレバナリマセヌ、併ナガラ
 私共ハ是ガ最善最良ノモノデアルトハ申シマセヌ、今日我國ノ立憲政治ハ國論ヲ統一シ、聯立内
 閣無任所大臣ヲ置ク程ニ進ンデ居リマセヌ——遺憾ナガラ——我國ノ今日ノ憲政ノ状態カラ考
 ヘマシテ、時宜ニ適スル處置デアルト謂ハナケレバナラヌト私ハ信ジテ居リマス……理由ハ是
 カラ申上ゲマス、御聽キ下サイ、外交調査會ノ官制ノ上諭文ニ「朕時局ノ擴大ニ鑑ミ永遠ノ利害
 ヲ慮リ側近ニ臨時委員會ヲ特設シ中外ノ情勢ヲ考查シテ應機啓沃ノ任ニ當ラシム」ト斯ウアリ
 マス、又其官制ノ第一條ニ、「天皇ニ直隸シテ時局ニ關スル重要ノ案件ヲ考查審議セシム」ト斯ウ
 規定シテアリマス、之ニ依ッテ外交調査會ノ設立ノ趣旨ト目的ハ明瞭デアルト思ヒマス、是ガド
 ウシテ我國ノ憲政ニ背反シ、我國ノ憲政ノ要義ヲ紊亂スルモノデアルト御言ヒニナルノ御坐
 イマセウカ、國務大臣ハ——國務大臣ハ君主ノ大權ニ就キマシテ全責任ヲ負フモノデアリマス、
 其大權ノ範圍ニ於キマシテ特設ノ調査機關ヲ——陛下ノ側近ニ作ルコトガ何處ニ憲法ノ條項ニ照
 シテ違反ガアリマス、齋藤君ハ單ニ之ヲ斷言シタノミデ、憲法ノ何ノ條項ニ牴觸スルト云フコト

ヲ更ニ御言ヒナサラナイ、又我國ノ内閣ト樞密院ト云フコトヲ齋藤君ハ仰シヤイマシタガ、我國ノ憲法ニ内閣ト云フコトハ規定サレテ居リマセヌ、内閣ト云フモノハ内閣官制ニ依ッテ定マルモノデ、國務大臣ハ個々ノ責任ヲ負フト憲法上明ニ規定サレタルコト、其内閣官制ニ依ッテ定メタルコトヲ諸君ガ御認メナサルデヤアリマセヌカ、然ラバ同ジク大權ノ發動ニ依ッテ勅令ニ依リ、外交調査機關ヲ作ルコトガ何故ニ憲法ニ違反スルモノデ御坐リマセウカ、又内閣ト外交調査機關トハ其權能ニ於テ罔晦ナラシムル虞レガアルト云フ議論ガアリマス、私ハ之ニ對シテ斯ク御答ヲ致シマス、諸君、作ッタ者ト作ラレタ者ト何レガ其責任ニ當ルベキモノデアリマセウカ、作ッタ者ガ其責任ヲ放棄セザル限リ、全責任ハ作ラレタモノ、責任ヲモ作ッタ者ガ負フノガ當然デアル、故ニ外交調査會ナルモノガ君主ノ大權ノ發動ニ依リ内閣ガ之ヲ作ッタモノデアルトスルナラバ、外交調査會ト國務大臣トノ間ニ何ノ曖昧ノ所ガアリマセウカ、國務大臣ガ全責任ヲ負フハ當然ノ事デアルト信ジマス、又外交調査會ヲ君主ノ側近ニ作ッタルガ故ニ、宮中府中ヲ混同スルト云フ御說モアルヤウデアリマス、憲政會ノ諸君ハ屢々之ヲ御言ヒニナッテ居ルコトデアリマス、私ハ獨リ齋藤君ノ辯論ノミヲ攻撃スル爲メ、或ハ之ヲ批評スル爲メニ此壇上ニ立ッタ者デアリマセヌ、齋藤君ノ憲法論ノ如キハ殆ド唯一個ノ斷言ニ止ッテ、何等ノ根據ガ無い、批評スル價値ガ無いノデアリマス、畏レ多イコトデアリマスルケレドモ、我ガ 至尊ハ神聖ニシテ侵スベカラザルモノ絕對無責任デアアルノデアリマス、總テ國務國政ニ關スル所ノ責任ハ國務大臣ガ負フベキモノデアリマスカラ、臨時外交調査會ガ君主ノ側近ニ作ラレタト云フ爲メニ是ガ宮中府中ヲ置イタト云フコトハ、唯其所在ヲ説明スルノミデアル、是ガ爲メニ憲法ノ違反ニ違反スルモノデアルト云フコトハ何處ニモ成立シナイト思ヒマス、又外交調査會ヲ設立シタルコトハ、國務大臣ト樞密院ノ無能ヲ表白スルモノデアルト云フ御議論ガアリマス、之ニ對シテ私ハ諸君ニ伺ヒタイ、特ニ憲政會ノ諸君ニ伺ヒタイ、憲政會ノ諸君ヨリハ立憲ノ大道ヲ説キ、憲法ノ章條ヲ遵守スル點ニ於テハ我國國民黨ノ方ガ一層言フベキ權利ヲ有シテ居ルト思ヒマス、過去ノ事實ニ徴シテ憲政ノ發達ニ云々ヲ申スコト

ハ、此議會ニ於テ恐ラク國民黨ヨリ言ヒ得ル權利ヲ持ッテ居ルモノハナイト思ヒマス、之ニ就テ諸君ニ御尋シタイコトハ、諸君ハ外交調査會ノ設置ヲ以テ我國ノ憲政ヲ發達セシムルニ效果アルモノト認ムルカ、或ハ憲政ノ發達ヲ逆行セシムルモノト認メルカ、若シ憲政ノ發達ヲ意味スルモノデアラナラバ、議會ノ勢力ガ伸張シ、政黨ノ勢力ガ擴大サレ、バサレル程、ソレダケ立憲政體ノ發達ニ貢獻スルノデアアル、如何ナル場合ニ於テモ議會ノ權力ヲ縮小シ、政黨ノ勢力ヲ阻止スルモノハ、是ハ總テ憲政ノ發達ニ反スルモノ、是ゾ憲政ノ要義ヲ紊ルモノデアアル、外交調査會ノ設置ハ議會ノ勢力ヲ伸張シ、政黨ノ勢力ヲ擴大ナラシムルモノト私ハ信ジテ居ルノデアアル、嘗テ諸君ハ御承知デ御坐イマセウ、諸君ノ崇拜スル所ノ大隈侯ガ樞密院顧問官タリシ時ニ、政黨ノ首領板垣退助ト會見シタト云フ理由ニ依ッテ、大隈侯ハ樞密院ヲ辭サナケレバナラナカッタ事ガアルコトハ、我國憲政上諸君ハ御記憶デ御坐イマセウ、今日政黨ノ首領ガ 陛下ノ側近ニ接近スルコトガ出來テ、而モ重要ナル外交ヲ審査攻究スルノ權限ヲ與ヘラレタト云フコトハ、偉大ナル政黨ノ勢力ヲ意味スルモノデアリマセヌカ、政黨ガ君主ニ接近スルコト、若シ外交調査會ヲ設立スルニ就キマシテ、政黨ノ首領ヲ辭シテ外交調査會ニ入レト云フヤウナ事デアッタナラバ、諸君ノ說モ稍々立タザルモノデアリマセヌ、然ルニ政黨ノ首領自ラガ君主ノ側近ニ於テ最モ重要ナル時機ニ當ッテ、外交ノ事ヲ審査調査スルコトノ機會ヲ與ヘラレタト云フコトハ、獨リ議會ノ權能ノ振張ノミナラズ、政黨ノ勢力ノ擴張ヲ意味スルモノデアアル、之ニ反對スル者ガ何トテ憲政ノ要義ヲ論ズルコトガ出來マスカ、政黨ノ勢力ノ振張ニ反對スル者ハ憲政ノ發達ヲ論ズル資格無キ者デアアル、私ハ外交調査會ニ憲政會ノ加藤子爵ノ入ラザルコトヲ甚ダ歎ク者デアリマス、齋藤隆夫君ノ御言ヒノ如ク舉國一致ト云フヤウナコトハ、是ハ容易ニ出來ナイ事デアリマス、併ナガラ吾々ハ出來得ルダケ國論ノ統一ヲ期シテ、此國家ノ難局ニ當ッテ國策ヲ確立シナケレバナリマセヌ、ソレニ對シマシテ如何ナル方法ヲ執ルカト云ヘバ、政黨ヲ代表スル者ヲシテ之ニ當ラシムルト云フコトガ、最モ便法デアリマスマイカ、其理由ヲ無視シテ僅カ黨派關係ノ爲メニ、之ニ加ハラザリシ所ノ憲政會ノ心情ハ憫マナケレバナラヌノデアリマス、獨リ憲政會ノ心情ヲ憫

ムバカリナラバ宜イ、斯ウ云フ國家ノ危急ニ際シテ理由モ無ク、譯モ無ク、根據モ無ク、單ニ憲法ニ違背シ憲政ノ要義ヲ紊ルモノデアルト云フガ如キ斷言ヲ爲スニ至ッテハ、決シテ國家ノ爲ニ容スベキ事デハナイノデアリマス、此意味ニ於キマシテ憲政會ノ御主張ハ悉ク成立タナイ事デアルト考ヒマス、ソレノミナラズ憲政會ハ政黨ノ勢力ヲ振張スルコト、議會ノ權能ヲ擴大スルコトニ反對ヲ唱ヘ、憲政ノ發達ヲ壞ルモノデアルト私ハ斷言致シマス、之ニ因ッテ憲政會ノ諸君ノ決議案ハ憲法ノ條項ニ背反スルト云フ理由ガ立タザルノミナラズ、憲政ノ要義ヲ紊スト云フニ相反シテ、憲政會諸君自ラガ憲政ノ發達ヲ妨ゲ、憲政ノ要義ヲ紊亂スルモノデアルト私ハ斷言致シマス
森田茂君ノ演說

私ハ此決議案ニ對シマシテ贊成ノ意見ヲ述ベル積リデアリマス、即チ吾等カラ提出ヲ致シマシタル決議案ガ、臨時外交調査會ヲ以テ憲法違反ナリト云フニアリマス、此議論ニ付キマシテハ去月三十日ノ不信任案決議ノ場合ニ於キマシテ、我憲政會ヨリ致シマシテハ下岡君ノ演說トナリ、又政友會ノ方カラ致シマシテハ、鶴澤總明君ノ演說トナリマシテ、凡ソ此間ニ於キマスル議論ハ定ッテ居ルカノ如クニ考ヘマス、殊ニ提出理由ヲ述ベマシタル齋藤君ノ演說ニ依リマシテ、完膚無キマデニ此會ガ憲法違反デアルト云フコトヲ論ジ盡シタルガ如クニ考ヘルノデアリマス、唯今植原君ノ御演說ヲ承リマシタガ、植原君ハ未ダ此問題ノ琴線ニ觸ル、コトガ出來ズ殊ニ又提案者ノ意見ノ在ル所……此問題ニ付キマシテ既ニ我黨ノ下岡ガ演說ヲサレマシタル其趣旨サヘ、殆ド御了解ガ無イヤウニ私ハ承知致シマス、殊ニ其御演說中ニ於キマシテ、會計検査院ヲ御引合ニ出ス、是ハ何事デアアル、會計検査院ハ憲法ノ上ニ於テ、即チ憲法ノ會計ノ部ニ於キマシテ認メラレタル即チ會計検査院デアリマス、之ニ對シマシテ今回ノ臨時外交調査委員會ト同一ノ議論ヲセラル、ト云フコトハ、甚ダ當ラザルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ然ルベキモノデアリマス、又防務會議ノ事ニ付キマシテ御議論ガアリマシタガ、是等モ亦曩ニ下岡君カラ演說ヲサレマシタ事ニ依テ、又必ズシモ下岡君ノ演說ヲ御聽キナサラナクトモ、防務會議ナルモノ

ガ前内閣ニ隸屬致シマシタル一ノ行政機關デアルト云フコトハ、是ハ何人モ争ノ無イ事デアアル、吾々ノ提出ヲ致シマシタル此問題ト、何等接觸ノ無イ、即チ交渉ノ無イ、全然別ノ問題デアルト云フコトモ亦明カナ事デアリマス、ソレ故ニ植原君ノ演說ニ對シマシテハ、植原君ハ既ニ其出發點ヲ誤リ、議論ノ基礎ヲ誤ッテ居ルト信ジマスルガ故ニ、私共ハ此誤ッタル前提ノ下ニ於テ述ベラレタ所ノ議論ヲ、茲ニ反駁スルノハ、全ク無益ノ業デアルト云フコトヲ信ジナケレバナラヌ、何故ニ是ガ憲法違反デアアルカト云フ事ニ付キマシテハ、是ハ曩ニ下岡君ノ述ベラレマシタル所ニ依テモ明カナルガ如ク、本員共ノ見解ト致シマシテハ、此國務ニ付テ 天皇ヲ輔佐スル者ハ憲法第五十五號ノ國務大臣、第五十六條ノ樞密院顧問ニ是ハ限定サレタモノデアアル、憲法ニ特定ナイ限リハ、總理大臣ノ統轄ヲ離レテ内閣ニ對立致シマシタル所ノ輔佐ノ機關ハ在リ得ナイモノデアアルト云フノガ、即チ吾々ノ議論ノ要點デアリマス、此點ニ付キマシテハ私ハ殆ド何人モ異論ノ有リ得ナイ點デアルト思フ、即チ憲法ヲ理解シ得テ居ル者ハ、之ニ對シマシテ何等異論ハアリ得ナイト云フコトヲ考ヘマス、即チ今回ノ委員會ナルモノハ、此見地ヨリ致シマシテ憲法ニ違反シタルモノデアルト吾々ガ斷定スル事ヲ憚ラヌノデアリマス、成程法學上ノ研究ト致シマシテハ、或ハ憲法外ノ大權ト謂ヒ、若クハ國務大臣ノ輔佐スル以外ノ國務ガアルヤ否ヤト云フヤウナコトハ、研究問題トナリ得ザルコトハナイノデアアル、併ナガラ吾々ガ茲ニ議論セントスル所ノモノハ、國務ノ一タル外交ノ事ニ限定サレテ居リマスル故ニ、此席ニ於キマシテ私共ハ法學上敢テ研究ヲスル必要ハ無イト云フコトヲ信ジマス、先日即チ去月三十日ノ不信任案決議上程ノ日ニ於テ、鶴澤總明君ノ憲法違反ニ非ラズト云フコトハ、私ハ其議論ハ頗ル興味ヲ以テ拜聽致シマシタノデアリマス、殊ニ鶴澤君ハ憲法論ト實質上ノ政策論トニ區別セラレテ論セラレラタコトデアリマスガ、此實質上ノ政策論ト云フ事ニ付テハ、果シテ是ガ當ルカ否ヤト云フコトハ分リマセヌケレドモ、昨日政府ヨリ答辯ニナリマシタル、石黒涵一郎君外四君ノ提出セラレタル臨時外交調査委員會設置ニ關スル質問ニ對スルモノニ依リマシテモ、實質上ノ政策論ト致シマシテ議論ノアル所ハ窺ハレルノデアリマス、唯鶴澤君ノ述ラレタル御演說ノ中ニ於テ、吾々ガ最モ興味ヲ有、

テ拜聴致シマシタル所ノモノハ、此憲法論デアリマス、此點ニ付テ鶴澤君ハ外交調査委員會ノ性質ハ、是ハ極密顧問ニ近イモノデアッテ、一ノ進言機關デアアル、斯ウ云フ御意見デアリマシタ、サウシテ恰モ支那古代ノ太師ニ當ルベキモノニシテ、位三公ノ上ニアアルモノデアアル、是ガ何故ニ憲法ニ違反スルカト云フ鶴澤君ノ御議論デアアル、私ハ此議論ハ鶴澤君ノ御議論ト致シマシテハ甚ダ琴線ニ觸レナイ、憲法第五十五條ノ解釋ヲ適當ニ爲サレタル鶴澤君ノ御意見デナイト云フコトヲ考ヘマス、或ハ恐ル、鶴澤君ノ此憲法第五十五條ニ對スル所謂學者ト致シマシテノ見解ナルモノハ、胸中ニ於テ大イニ留保セラレテソレダケノ御議論ニ止メタモノデハナイカトモ考ヘル、斯様ニ私ハ考ヘラレルノデアリマス、又議論ト致シマシテハ或ハ書經ヲ引キ、若クハ支那古代ノ制度ヲ引證サレマシタガ、所謂引證ナルモノハ甚ダ該博ナリト雖モ、其論旨ナルモノハ頗ル晦澁ナルモノデアッタト私ハ考ヘテ居ル、サウシテ唯今申シマシタ昨日ノ議論ニ於テ朗讀サレマシタル石黒涵一郎君カラノ臨時外交調査委員會設置ニ關スル質問答辯書ニ依リマシテ、又吾々ハ政府ノ所見ヲ聞クコトヲ得タノデアリマス、此答辯書ニ依リマシテ、政府ハ上諭文ヲ敷衍致シマシテ、サウシテ其責任ナルモノヲ成ベク晦マサントスルガ如ク受取ラル、ノデアリマス、今日吾々ガ公布サレマシタル上諭文ニ付キマシテハ、ドウカト申シマスルト、之ヲ拜讀致シマシテ所謂襟ヲ正サナケレバナラヌコトヲ考ヘルノハ、是ハ當然ノコトデアリマスルガ、併シ此上諭文ヲ以テ、此官制ナルモノ、即チ外交調査委員會ナルモノガ憲法ニ抵觸シテ居ナイト云フコトヲ見ルコトガ出來ナイノデアリマス、サウシテ次ニ政府ハ外交調査委員會ト内閣トノ權限ヲ論ジ、該委員會ナルモノハ外交ニ關スル啓沃ノ機關ニシテ、考查審議ノ結果ヲ敷奏スルニ止マル、其責ノ如何ハ依然トシテ國務大臣ノ職責ニ屬スルト云フコトヲ斷定セラレテ、而シテ世間ニ於テ内閣ト委員會トノ職務ノ紛更ヲ來スト云フコトニ付テ、一ノ辯解ヲ試ミラレタ積リデ居ルノデアリマス、併ナガラ吾々ノ論セントスル所ノモノハ、必ラズシモ此責任ノ歸著點ノミヲ見ルノガ、論セント欲スル要點デハナイノデアリマス、吾々ノ言ハント欲スル所ノモノハ、曩キニモ申シマシタ如ク、此立憲政治ニ於キマシテ最モ必要ナル所ノモノハ輔弼ノ責任デアアル、之ニ付テハ憲法第五十五

條ニ依リマシテ、大政ヲ輔弼スルモノハ必ラズ其責任ニ當ラナケレバナラヌデアアル、即チ責任無キモノハ大政ヲ輔弼スルコトヲ得ザルモノデアリマス、故ニ此憲法ノ第五十六條ニ於テ、極密顧問ノ特例ヲ認ムルノ外、第五十五條ニ於テ、天皇ヲ輔弼スルモノハ國務各大臣ニシテ、其責任ズル者モ亦國務大臣ナルコトヲ明記セラレテ居ルノデアリマス、此解釋ナルモノハ頗ル嚴正ナラザル可カラザルモノデ、之ニ對シテハ決シテ勝手ナル解釋ノ出來ルモノデハナイノデアアル、然ルニ政府ニ於キマシテハ、昨日ノ答辯書ニ於テ「憲法第五十五條ノ規定ハ國務大臣ノ輔弼ニ待ツベキ旨ヲ定メタリト雖モ憲法上國務大臣以外ニ啓沃ノ機關其ノ他調査機關ヲ設置スルコトヲ許サ、ルノ義ニ非サルナリト斷言スルコトヲ憚ラズ」斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル、之ニ對シマシテ吾々議會ガ、此政府ノ斯ノ如キ妄斷、即チ暴解釋ニ満足スルコトガ出來ルヤ否ヤ、問題ハ實ニ重大ナル問題デアッテ、憲法第五十五條ノ解釋ナルモノハ、政府カラ致シマシテ決シテ斯ノ如キ回答ヲ得テ満足スルモノデハナイ、議會ハ又議會自ラノ權能ニ於テ、此憲法上ノ解釋ヲ一定スルト云フコトハ、是ハ當然ノコトダト私ハ考ヘテ居リマス、此解釋ヲ一定スルニ非ザレバ、吾々議院ノ權限ナルモノハ、甚ダシク政府ノ爲ニ壓迫ヲ被ルガ如キ結果ヲ得ルニ至ルモノデアアル、斯様ニ決定サレマシタノハ吾々ノ眼カラ見マスルナラバ、是レ明ニ其委員會トサウシテ内閣トノ職責ノ紛更ヲ來シタモノデアルト云フコトヲ言ハナケレバナラヌデアアル、是ガ即チ平生反對論ト致シマシテ、此職責ノ混淆ト云フ點デアリマス、此點ニ就キマシテ政府ハ如何ナル辯解ヲ爲シ居ルカト申シマスレバ、國務大臣ナル者モ其中ニ加ハテ居ル、即チ總理大臣ヲ始メ外務大臣、是等ノ國務大臣モ加ハテ居ルモノデアラシテ、斯様ナ心配ハナイ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、併ナガラ是ハ現政府ノ保障ヲスル位ノモノデアッテ、吾々此現政府ノ保障ヲ以テマシテ、憲法上ノ解釋ノ上ニ、又將來其職責ノ混淆スルコトガ無イト云フニ就テ安心ヲスルコトノ出來ナイノハ當然デアアル、御承知ノ如ク彼ノ極密院ノ官制ヲ見マスルニ、此點ニ就キマシテハ、立法上非常ニ注意サレテ居ルコトハ、諸君ガ御承知ノ通りデアアル、極密院ノ官制ノ上ニ於キマシ

テハ、樞密院ハ單ニ諮詢ノ府デアッテ、其施行ノ機關デナイト云フコトヲ明カニ書イテアル、又自ラ發案スル權利ノ無イト云フコトモ、是モ制度ノ上ニ於テ定マツテ居ルノデアアル、是ハ即チ憲法上ニ於テ認メラレタル所ノ樞密顧問ナル者ト、サウシテ各國務大臣トノ責任ノ混淆ヲ防グ爲ニ、法律ハ斯ク明ニ明定ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ此外交調査會ニ於テハ、其點ニ於テ頗ル混淆ヲ致シテ居ルト云フコトハ何人モ彼ノ官制ヲ見マシテ、又各國務大臣ノ職責ヲ考ヘマシテ、其紛更ヲ來スモノデアルト云フコトニ就テハ異論ヲ挾ムコトガ出來ナイモノデアラウト私ハ思フ、政府ノ説明スル所ニ依レバ、外交調査會ナルモノハ所謂其國策樹立ノ發電所デアアル、サウシテ政府ハ唯之ガ其變歴所タルガ如クニ過ギナイト云フガ如キ説明デアアル、而シテ若シ過失ガアツタ場合ニ於テハドウカト申セバ、是ハ政府ガ其責任ニ任ズルモノデアアル、斯様ニ言ウテ居ル、私共ハ是レガ即チ立憲政治ノ治下ニ於テ甚ダ理解ノ出來ナイ所ノ現象デアルト云フコトヲ考ヘル、由來我國ノ政治ニ於キマシテハ、憲法上ノ無責任者ガ政治上ノ實力ヲ有スルト云フコトガ甚シキ弊害デアリマス、樞密顧問ト雖モ、御諮詢ニ答ヘテ而シテ其責任ヲ見出スコトノ出來ナイノハ、是ハ寧ロ制度上ニ於ケル吾々ノ遺憾トスル所ノモノデアアル、況ヤ元老ヲヤ、又今回設立サレマシタル外交調査會ノ如キ——調査委員會ノ如キ、政府ノ説明スル所ノモノニ依レバ、國策ノ樹立ノ場所デアッテ、實際ノ決定者デアアルガ如クニ説明ヲサレテ居ルノデアアル、然ルニ其責任ナルモノヲ政府ガ負フト云フコトニナリマスルナラバ、外交調査會、即チ政治ニ於ケル實際ノ決定者ハ何等ノ責任ヲ負ハナイト云フヤウナ不都合ヲ來タス、又吾々ガ此議會ニ於テ外交上ノ事ニ關シ、政府ノ責任ヲ問ハントスル場合ニ當ッテ、即チ實際ノ決定者ニ對スル責任ヲ問フコトガ出來ズシテ、全ク其實際ノ決定ヲシナイ所ノ國務大臣ヲ攻メナケレバナラヌト云フヤウナ結果ヲ來タシマスルノハ、是ハ甚ダ不都合デアアル、要スルニ此政府ガ石黒涵一郎君外四人ニ與ヘタル所ノ説明書ソレ自身ガ、其憲法違反デアアルコトヲ告白シテ居ルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、斯様ナ考ヨリ憲法違反ノ事實ヲ告白致シテ居ルモノデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、斯様ナ考ヨリ致シマシテ、吾々ハ此案ヲ提出致シマシテ滿場ノ賛成ヲ乞ハントスル譯デアリマス、初メニ申シ

マシタルガ如ク、此事ニ就キマシテハ既ニ齋藤君ノ御演說ニ依リ、又今迄論議セラレタル所ニ依ッテ大體盡キテ居ルモノト思ヒマスルカラ、私ハ是丈ヲ述ベマシテ賛成ノ理由ト致ス次第デアリマス

中西六三郎君ノ演說

本員ハ本案反對ノ所見ヲ申述ベルベク登壇ヲ致シマシタ、本案ノ内容ハ事體頗ル重大デ御坐リマシテ、法理的ニ見ルモ臨時外交調査會ハ憲法ニ違背シテ居ル、又事實的ニ見ルモ憲法ノ運用ヲ紊ルモノデアルト云フ、此二段ノ意味ニ於テ決議セントスル者デ御坐リマシテ、大凡衆議院ニ於テ現ハル、各般ノ問題ノ中ニ於キマシテ、最大最要ノ内容ヲ有ッテ居ルモノデ、御坐リマスル、然レドモ實ハ本員ノ信ズル所ニ於テハ、此案ハ既ニ生命無キモノデアルト云フヲ憚ラヌノデアリマス、曩ニ内閣不信任案ノ提出ガ提議サレマシタル時ニ於テ、其不信任ノ内容ヲ爲シテ居ル理由ノ重キモノノ中、本案ノ理由ト全ク同一ノモノガ提唱サレテ居ッタノデ御坐リマシテ、而シテ之ヲ理由トセル不信任案ハ、既ニ我院ニ於テ否決シ去ラレテ居ルノデ御坐リマスルカラ、我院ガ此點ニ關スル意見ハ最早確定致シテ居リマス、此見地カラ申シマスレバ、今復タ再ビ斯ル問題ヲ此處デ論議致シマスルコトハ、曩ニ爲シタル——我院ノ決議ノ權威ヲ薄カラシムル嫌ガアルモノデ御坐リマシテ、寧ロ本員ハ斯ノ如キモノハ討論ヲ用フル迄モナク、即決否決スルコソ我院ニ於テハ相當デアアルカト思ヒマス、併ナガラ尙ホ退イテ雅量ヲ以テ考ヘマスルト云フト、此前ノ不信任案ノ時ニ於テハ、有リト有ユル事柄ヲ持出シテ、内閣ノ攻撃ヲサレテ居リマシテ、其間ニハ洵ニ區々タル微々タル理由モ數々御坐リマシタガ爲ニ、其當時ノ論議ノ狀態カラ申シマスレバ、此重大ノ案件モ或ハ他ノ區々タルモノト類ヲ同ジキ觀念ヲ以テ取扱ハレ去ラレタカト云フ事ヲモ多少ハ考慮スル餘地ガアルカト思ヒマスルガ故ニ、今此處ニ此案ガ再ビ現ハレテ、既ニ再ビ是ガ討議ニ掛リマシタ以上、一應ノ意見ヲ申述ベテ置クコト必ズシモ無用ニアラズト思フノデアリマス、提案者ノ御議論ニ依リマスルト云フト、本日齋藤君ノ論セラレマシタ所ニ於テ、曩キノ内

閣不信任案當時ニ於テ、數多ノ諸君ニ於テ論ゼラレマシタルモノヲ見マシテモ、要スルニ根本ニ於テ二ツノ前提ヲ論定サレテ居リマス、第一ハ我憲法ニ於テハ、内閣ト樞密院ト此二ツノモノ、外ニハ、何モノモ存立ヲ憲法的ニハ認メナイト云フコトヲ前提トシテ此議論ガ決定サレテ居リマス、若モ其憲法ノ精神ガ内閣所謂國務大臣及樞密院、此二ツノ機關ニ依ツテノミ政治ノ行使、所謂施政ニ涉ルモノ、ミナラス、其他一切 天皇ノ行動ガ制限サレテ居ルモノデアルト云フナラバ、論理上諸君ノ議論ハ一應ノ徹底ヲ來スノデリリマス、併ナガラ我憲法ニ於キマシテ 天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ、此憲法ノ條章ニ依リ之ヲ行フト云フコトハ申ス迄モナク、所謂政務ノ實行デアリマス、所謂統率權ノ行使デアリマス 天皇ガ統治權ノ行使ヲ遊バズ時ニ於キマシテハ、此憲法ニ依ルコトハ申ス迄モナイ、然レドモ 天皇ノ御行爲ニシテ未ダ統治權ノ行使ト云フ範圍ニ涉ラナイ程度ニ於キマシテ 天皇御自身ノ御判斷ノ資料ノ上ニ 天皇自カラ諮詢サレマスコトハ、此憲法ハ何等干渉ハ致シテ居リマセヌ、勿論憲法ニ於テ 天皇ノ最高諮詢府トシテ樞密院ノ存在ハ認メテ居リマス、然レドモ 天皇ガ御諮詢遊バズコトガ總テノ場合ニ於キマシテ、此樞密院ノミ局限サレテ居ルモノデアルト云フ解釋ハ、全ク本員等ノ所見ト異ツテ居リマス、此點ニ於テ——此點ニ於テ見解ガ違ヒマスレバ、提案者ノ數々議論サレマシタル其他ノ事ハ總テ結論ノ異ナルコトハ、今一々分析シテ論ズル迄モナイノデアリマス、伏シテ惟ルニ我國ニ於キマシテ、吾々ガ聞ク歐羅巴諸國ト歴史ヲ異ニ致シマシテ、天皇ノ統治權ハ建國以來未ダ其大要實質ニ於テ變ハル所ガナイノデアリマス、憲法ガ制定サレマシタル雖モ、此時ニ於テ天皇ノ統治權ガ創設サレ、若クハ付與サレタト云フ意味ハ少シモナイノデアリマス、即チ建國以來ノ 天皇ノ統治權ノ上ニ於テ、此統治權ヲ行使遊バズ、其行使ノ上ニ於テ憲法ノ定ムル所ニ從フト云フコトニ範疇ヲ示サレテ居ルノデアリマス、今問題トナツテ居リマスル臨時外交調査會ナルモノガ、若シ其性質ニ於キマシテ統治權ノ行使ニ涉ルベキモノデアレバ、憲法ノ上ニ疑問ガ生ズルノデアリマスガ、本員ハ此點ニ於キマシテハ政府ノ説明シマスル如ク、是ハ統治權行使ノ機關ナリトハ認メナイノデアリマス、之ヲ以テ統治權ノ行使ナリト立論サレマス彈劾者ノ議

論ハ餘程注意ヲシテ聽キマシタガ、私ハ其論據ヲ見出スコトガ出來ナイ、蓋シ曩ニ不信任案當時ニ於テ論ゼラレマシタルモノヲ參酌シマスルト、上諭文ニ啓沃ト云フコトガアル、啓沃ト云フコトハ單純ナル御諮詢ニ答ヘル意味ニアラズシテ、直チニ國務ノ料理ニ當ツテ干渉スルモノデアルト云フ御意見デアアルマイカ、論旨明瞭ヲ缺イテ居リマスカラ、十分ニ了解ヲ致シマスルコトガ六ヶ敷ウ御坐イマスルガ、多分サウデアアルマイカ、併ナガラ此啓沃ト云フコトハ、是ハ政府ノ辯明ニ於テ能ク分ツテ居リマス、啓沃ト云フコトハ統治權行使所謂施政トハ相觸レナイモノデアリマシテ、現ニ樞密院ノ官制ニ於キマシテモ此言葉ガアル、又元老ニ賜タル各般ノ 勅語ニ於テモ同ジク此言葉ガアリマス、樞密院ガ啓沃ヲ致シテ居ルカラト言ツテ曾テ國務大臣ノ施政ト相觸レタリト云フ疑ヲ生ジタ者ガナイノデアアル、元老ガ啓沃ノ任ニ當ラレルカラト言ツテ、曾テ之ヲ以テ直チニ憲法上内閣ノ權限ト觸レルト論ジタ人ガ無イノデアリマス、俄ニ今日ニ至リマシテ此啓沃ナル文字ノ上カラ立論ヲシテ、内閣ノ責任ト相觸レルト云フ見解ヲ取ルコトハ、寧ロ今日マデ我國ニ於テ行ハレテ居ッタ多クノ前例等ノ上ニモ、相容レナイ見解ニ當ルト考ヘマス、今日齋藤君ノ御議論ニハ其點ハ御述ベニナラナカッタガ、以前ノ御議論ヲ吟味致シマスルト 天皇ノ直隸ト云フコトニ於テ、一ツノ責任上ノ意見ヲ述ベテ居ラル、併ナガラ是ハ又多々實例ノアル事デアリマシテ、啓沃機關ガ 天皇ニ直隸スト雖モ、啓沃ソレ自體ガ施政ト相觸レナイト云フコトデアリマスナラバ、此直隸ト云フ事ノ意味ニ於テ何等憲法上ノ議論ヲ來サスコトハ言フ迄モナイ、蓋シ是迄ノ間ニ御議論テ承ツテ居リマスルト、純粹ノ法理論トシテハ如何ニモ根據ガ薄弱デアリマシテ、寧ロ多クハ實際ノ運用ノ上ニ於テ杞憂サルモノガ深イカラデアアルマイカト思フノデアリマス、若モ今日ノ此ノ外交調査會ナルモノガ、誤ツテ將來ニ於テ其職責ヲ忘レテ、内閣ノ施政ノ上ニ干渉ヲ爲スモノガアルト云フ杞憂ガアルナラバ、憲法上ノ議論ニアラズシテ實際ノ上ニ憂慮スベキモノガアルノデアリマセウガ、本員等ハ其點ニ於テハ全ク此彈劾者ト所見ヲ異ニ致ヲテ居リマス、本員等ハ此點ニ於テハ寧ロ深キ期待ヲ以テ此會ニ待ツモノガアルノデアリマス、元來憲法上法理的ニ此問題ヲ分析シテ論ジマスレバ、數々論究スルコトガ御坐

イマスガ、先程申シタ通り此問題ハ既ニ我院ニ於テハ死セザル問題デアリマスルノミナラズ、茲ニ改メテ諸君ニ御考慮ヲ願ヒタイノハ、今日ニ於テ諸君ハ重ネ、此點ニ付テ憲法違反デアルト云フ議論ヲ提唱セラレマスルガ、先キニ六月中ノ憲政會總會ニ於テ、其總裁加藤子爵ハ懇親會席上デ明ニ憲法違背ニハ非ズト雖モ、此事ニ付テ將來ノ紛更ヲ憂フルト云フ演說ヲサレタコトハ、即チ其當時ノ言行ニ依ッテ各新聞ガ天下ニ公ニ致シテ居ル、苟モ憲政會ガ我院ノ第二ノ大黨ヲ作リ、儼然トシテ天下ニ臨ム場合ニ於テ、其總裁ガ斯ル重大ナル問題ニ當ッテ、憲法違反ニアラズト言ハレテ居ルノニ拘ラズ、若シ諸君ノ間ニ此點ニ對シテ果シテ今日提唱サル、如キ議論ガ此信念ノ上ヨリ出ヅルナラバ、何ガ故ニ先以テ總裁ノ此議論ヲ改メルコトニ御盡力ニナラヌノ御坐リマスカ、苟モ政黨ノ總裁トシテ此問題ニ對シテ憲法違反ニアラズト言ハレテ居ルコトハ、其儘ニ聞キ流シテ置イテ、サウシテ今日院內ニ於テ成リ代リ立代リ此ノ如キ議論ヲ爲サルコトハ、コトハ、何トシテ實面目ニ我議院ニ於テ之ヲ扱ヒ、天下ニ向ッテ之ヲ信ゼシムル事ガ出來ルデ御坐イマセウカ、本員等ハ窃ニ思フ、此ノ如キ問題ヲ微細ニ學理的ニ研究スルコトハ、院內自カラ其人ガアル、併ナガラ今日ニ於キマシテハ之ヲ學理的ニ微細ナル研究ヲ爲スマデモ無ク、我國ノ衆議院ニ於ケル意見ハ既ニ定マリ、憲政會ノ黨首ノ意見既ニ定マリ、勿論他ノ各派ノ意見ハ既ニ定メテ居ル、唯僅ニ今日諸君ガ内閣ニ快カラザル立場ニ在ルガ故ニ、幾度カ此ノ如キ議論ヲ試ミラレルコトハ、餘リトシテ今日ノ時代ニ方リマシテ其提議ニ誠意ナキヲ私ハ悲ムノデアリマス、單リ憲政會トノミ言ハズ、我議院ガ天下ニ向ッテノ面目威信ノ爲ニモ悲マザルヲ得ナイノデアリマス、願クハ本員ハ此ノ如キ議論ヲ眞ニ諸君ガ徹底セル意見ニ於テ闘ハル、モノデアアルナラバ、先キニ不信任案ノ時ニ於テ更ニ、其論旨ヲ盡サレテ、而シテ若シソレニ適シナイコトガアツテ、再ビ茲ニ論議スルト云フナラバ、即チ憲政會ノ中堅ヲ提ゲテ總裁始メ其志ヲ一ニシテ論究サレルナラバ、此ニ於テ議論ノ可否ハ姑ク措イテモ、議論其モノガ一ノ權威ヲ有ッノデアリマス、今日ノ状態ニ於テハ殆ド眞面目ニ此議論ニ向ッテ吾々ハ討究スルコトヲサヘ不快ニ考ヘルノデアリマス、(發言スル者多ク議場騒然)是ハ元來時局發生致シマシテ以來、外交ノ重大ナルコトハ當

局者ト言ハズ國民舉ゲテ此點ニ留意シテ居ルコトハ、我レ人共ニ變ラヌノデアリマス、此重大ナル時局ニ方リマシテ、外交ノ事ガ動トモスレバ他ノ政争ノ爲メニ累ヲ受クル恐ガアルト云フコトハ、其原因ガ何人ヨリ發スルト云フコトノ分析ヲ待ツマデモナク、國民ノ總テハ深キ憂慮ヲ拂ッテ居ッタノデサリマス、丁度此點ニ於テ多クノ憂慮ヲスル時分ニ方リマシテ、端無クモ彼ノ三黨首領ノ會合ガアリマシタ、アノ事柄ニ付キマシテハ本員等ハ其内容ヲ審ニスルコトガ出來ナイノミナラズ、又餘リ多クヲ其人ミカラ説明ヲ加ヘラレマセウカ、本員等トシテハ殆ド解シ兼ネタル一ノ謎ノ如クニハ見タノデアリマスガ、併ナガラ苟モ三黨ノ首領相會シテ此時ノ憂ヲ救フベク肝膽ヲ碎カル、モノデアアルト云フ、其一般の信念ニ於テ心竊ニ何モノカ將來ニ期待スルモノヲ持ッテ居ッタノデアリマス、此當時ニ於キマシテハ憲政會ノ加藤總裁モ是ニ參加サレテ居ッタノデアアル、果セル哉、其後ノ經過ヲ待ツ間ニ吾々ハ多クヲ聞キ得ナイコトデ御坐イマシタガ、此度ノ臨時外交調査會ナルモノガ現ハレタノデアアル、若シ此臨時外交調査會ナルモノガ、論者ノ如ク憲法上ヨリ解決シテ法理的ニ全ク違法ノモノデアアルト言ヘバ、是レ如何ニ美麗ナルモノデアアツテモ如何セン吾々ハ争ハナケレバナラヌノデアリマスガ、純粹ニ法理的ニ解釋シ來タレバ、何等絶對違法ト云フ論定ヲ有サナイモノデアアルト思フ、左スレバ——左スレバ即チ吾々ガ今ノ時代ニ方リマシテ外交ノ事ニ關シテ、國家ノ最モ有力ニシテ且最モ知識ヲ有スル人々ノ間ニ適當ナル考慮考察ヲ加ヘラレマスル事柄ハ、恰モ今日廣ク世間ノ憂慮シテ居ルモノニ向ッテ、一段ノ劃策ヲ施サル、モノデアアラウト信ズルノデアリマス、蓋シ是ハ即チ吾々ガ既往及現在ニ向ッテ拂ヘル信用ノ上ニ於テ、斯ク期待スルノデアアル、若シモ將來ノ經過ニ依リマシテ、此事柄ガ吾々ノ期待ト相副ハザルモノ、如キアラバ、言フマデモナイ其時ニ於テハ吾々ハ實際ノ力ヲ盡シテ此機關ニ向ッテ争ハネバナラヌコトモ御坐イマスガ、今日ハ寧ロ吾々ハ此時局ニ顧ミテ、願クハ此機關ガ今ノ天下ヲ將來ニ進ムルニ於テ、最モ有力ニシテ且最モ有效ナル效果ヲ擧ゲカシト祈ル上ニ於テ、全ク吾々ノ總テノ考ヲ支配シテ居ルノデアリマス、吾々ハ此瞬間ニ於テハ是ヨリ外ニ此會ニ向ッテ何モノモ考慮スル餘地ヲ持タナイノデアアル、諸君ハ此會議ノ内容ノ組織其他ニ於テ

種々ノ憂慮ヲ加ヘラレマスガ、如何ニ考ヘテモ是等ハ既ニ諸君ガ此會ノ將來ヲ惡解サレテノ立論トヨリ外、吾々ハ解スルコトガ出來ナイノデアアル、齋藤君ハ數々ノ議論ヲ試ミラレマシタガ、一々之ヲ辯ズル必要ハ無イノミナラズ、此多クハ憲法ヲ法理的若クハ事實的ニ解釋シタル議論デハ御坐イマセス、此機關ノ運用ガ將來ニ良好ナルベキヤ否ヤト云フコトデ御坐イマスカラ、左スレバ是ハ少シモ本案トハ相觸レナイ立論デ御坐イマス、而モ其中ニ於テ甚ダシキ誤サヘモ述ベラレテ居ル、樞密院ノ諮詢ヲ經ナカッタ——本案ニ付テ樞密院ノ諮詢ヲ經ナカッタト云フ事柄ガ樞密院ヲ侮ッテ居ルノデアアルト云フコトニ於テ、深ク憤慨サレテ居ル、併ナガラ樞密院ノ官制ニモ亦既往ノ實際ノ事例ニモ明ナル如ク、官制ノ制定ニ向ッテハ樞密院ハ觸レテ居リマセス、任用令ノコトニ關シテノミ御諮詢ガアッタノデアアリマス、官制ハ是迄樞密院ニ御諮詢ガナイモノデアアルト云フコトヲ、此案ニ向ッテ強ク論ジマスコトハ、恐ラクハ齋藤君ノ誤解若クハ記憶ノ遺漏デアラウト思フ、其他國論統一ノ力ガ有ル無イ、或ハ外交ノ方針ガ既ニ定ッテ此會ヲ俟ツトカ俟タナイトカト云フ議論ハ、本件ノ大體ノ立論ノ上ニ少シモ交渉ガナイノデアアリマスカラ、一々是等ニ向ッテ論駁ヲ試ミマセス、本會ノ議院ニ於キマシテノ經過ヲ見ルト、實ハ此議論ノ如キハ一應ハ最モ大切ニ扱ハルベキモノデアアリマシタノガ、却テ深キ研究ニ依ラズシテ、容易ニ論結シ去ラレテ居ルト云フコトハ、恐ラクハ諸君ガ既往ニ於テ内閣彈劾ノ爲ニ餘リニ急ニシテ、徒ニ内閣ニ向ッテ惡罵ヲ加ヘラレマシタ結果ノ状態トナッテ居ルノデアナイカト思フ、若シ將來ニ於テ諸君ガ此時局ニ對シテ平生口ニセラル、ガ如ク、其憂ヲ深クセラレマスナラバ、今日ノ状態ノ如ク漫ニ議院ノ紛争ヲ事トセズ、願クハ最モ眞摯ニ、我が議院ヲシテ時代相當ニ緊張セル空氣ニ於テ重要ナル論議ヲ議了スベキ状態ニ導カレンコトヲ望ムノデアアリマス、本員ハ單ニ今日ノ場合ニ於ケル吾々ノ意見ヲ一應述ベテ置キマシテ、詳シキ事ハ既ニ論ゼラレ、及ビ又深く論ズル必要ナシトシテ是ニテ止メマス

古屋慶隆君ノ演說

諸君、唯今中西君カラ種々ノ見地カラ外交調査委員會官制ハ憲法違反デナイ、斯ウ云フ御說ヲ承リマシタガ、私ハ外交調査委員會ハ如何ナル方面カラ見マシテモ、之ヲ法律的ニ論ズル場合ニ於テハ憲法違反デアアル、獨リ憲法ノ精神ニ違反スルノミナラズ、憲法ノ條規ニ戾ルモノデアアルト云フコトヲ確信シテ疑ハナイ者デアアル、立憲國ニ於キマシテハ國務ハ憲法ノ條章ニ準據シテ行ハナケレバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タナイノデアアル、憲法ノ第四條ニ於キマシテ、天皇陛下ハ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フト云フコトヲ申サレテ居ルノデアアリマス、故ニ如何ナル國務ニ付キマシテモ、憲法ノ條規ヲ越シ若クハ憲法ノ條規ヲ超越シテ國務ヲ行フト云フコトハ、是ハ私ハ出來ヌコトデアアルト思フ、即チ立法ハ帝國議會ノ協贊ヲ俟ッテ之ヲ行ヒ、司法ハ之ヲ裁判所ニ委ネ、其他ノ國務ハデス、其他ノ國務ハ國務大臣ノ輔弼ニ依テ行フト云フコトハ明カデアアル、即チ國務ヲ行フト云フコトハ國務大臣ノ輔弼ニ依ルニ非ラズンバ、國務ヲ行フト云フコトハ出來ヌト思フ、故ニ國務大臣ノ輔弼ナル外ニ所謂國務ノ輔佐ナルモノハアリ得ナイト思フノデアアル、外交調査會官制ハ私ノ信ズル所デハ憲法ノ條規ニ違反シテ居ル、何處ガ違反シテ居ルカト申シマスレバ、憲法ノ條規ニ於キマシテハ大政輔翼ノ機關ト致シマシテ、國務大臣ト樞密顧問ト二ツノ機關ガ設ケテアル、是ガ故ニ如何ナル國務ヲ行フ場合ニ於テモ、此二ツノ機關ヲ無視シテ行フト云フコトハ出來ナイノデアアル、尤モ憲法ノ規定ニ於キマシテハ、所謂機關ト致シマシテ、會計検査院アリ、裁判所アリ、サウ云フモノハアリマスケレドモ、大政輔翼ノ機關ト致シマシテハ、國務大臣ト樞密顧問ノ外ハナイノデアアル、然ルニ今外交調査委員會官制ヲ見マスルト、其第四條ニ於キマシテ總裁ハ議事ヲ整理シ敷奏ノ任ニ膺ルト云フコトガアリマス、取リモ直サズ、天皇陛下御自身ヲ輔佐スルモノデアアル、即チ此官制ノ第四條ニ依リマス、委員會ノ決議ヲ總理ガ之ヲ敷奏スト云フコトガアルノデアアル、敷奏ト云フコトハ一體ドウ云フコトデアアル、此敷奏ト云フコトハ是ハ、天皇陛下ニ決議ヲ奏上セラルベキモノデアアルト云フコトデアアル、而シテ此官制ノ前文ニ於キマシテ、官制ノ前文ニ於テ「側近ニ」ト云フ文字ガ書イテアル「側近ニ」ト云フコトハ即チ天皇陛下ヲ直接ニ輔佐スル、斯ウ云フコトデアアル、是ガ果シテ大政輔翼ノ機關トシテヤルト云フコ

ト、矛盾シナイカドウカト云フコトヲ私ハ疑フノデアアル、即チ明ニ此官制ノ状態カラ見マヌル
 ト、陛下御自身ヲ直接ニ輔佐スルモノデアアルト云フコトハ、官制ノ明文カラ見テ疑ヒナイノデ
 アル、官制ノ明文ヲ見テ疑ガナイト致シマスレバ、大政輔翼ノ機關ト致シマシテハ、國務大臣及
 樞密顧問ノ外ニハナイ、然ルニ此官制ニ於キマシテ、大政輔翼ノ機關デアアル樞密顧問國務大臣ノ
 外ニ、内閣ニ獨立ヲ致シマシテ、サウシテ、陛下ニ直屬ノ機關ヲ設クルト云フコトハ、私ハ憲法
 違反ニ非ズシテ何ゾヤト言ヒタイノデアアル、憲法違反デアアルト云フコトハ、モウ是デ澤山ダラウ
 ト思フノデアアル、其以上議論ヲスル必要ハナイ、併ナガラ先刻來種々ノ議論ガアリマシタカラモ
 ウソレニ對シテ(議場騒然)一言辯駁ヲ加ヘタイ、又先刻吾々ノ尊敬スル若キ學者タル植原君カ
 ラ色々意見ガアリマシタカラ、ソレニ對シマシテ憲法上一二ノ批評ヲ致シテ見タイト思フノデ
 アリマス、植原君ハ先刻森田君デシタカ申シマシタヤウニ、側近ニ置ク 陛下直屬ノ機關ト云フ
 モノハ、外交調査會ノミニ限ルモノデアナイト云フ御話、成程一寸考ヘルトサウ云フヤウナコトガ
 アル、會計検査院杯ト云フモノハ、憲法ニ正文ガアルノデアアリマス、例ヘバ參謀本部トカ、或ハ軍令
 部デアルトカ、或ハ内大臣府ノ規定デアルトカ、宮内大臣ノ規定デアルトカ、兎ニ角直接ニ 天皇
 ヲ輔佐スル……(此時議場騒然)併ナガラ直接ニ輔佐スルト云フコトハ、ソレハ國務ニ付テ輔佐
 スルモノデアナイ——國務ニ付テ輔佐スルモノデアナイ、即チ統帥權ノ作用デアアル、或ハ國務トハ
 全然異タル宮内ノ官職ト見ラルベキモノデアアッテ、國務ト云フコトニ付テハ、我憲法上 我憲
 法上 陛下ニ直屬シテ居ル内閣以外ノモノハ、樞密院ヨリ外ニ無イト私ハ確信スルノデアアル、然
 ルニ外交調査會官制ナルモノハ、此點ニ付キマシテハ、ドウ云フ方面カラ見テモ憲法違反デアアル、
 獨リ憲法ノ精神ニ違反スルノミナラズ、憲法ノ條規ニ違反スルモノデアアル、詰リ斯ウ云フモノヲ
 段々拵ヘテ來ルト、憲法破壊ノ端緒ト云フモノガ此處ニ起ルト云フコトヲ心配スルノデアアル、斯
 ウ云フ事ガアリマスカラ、何レノ方面カラ見マシテモ外交調査會ナルモノハ、憲法違反デアアルト
 云フコトハ議論ガ無イノデアアル、然ルニ先刻來、政治上ノ方面カラ、例ヘバ此總理大臣ノ答辯ガ
 滔々數萬言デアアル、併ナガラ吾々ガ此答辯ナルモノヲ見ルト云フト、應機啓沃ノ文字ガ使テア

ル、又樞密院ト同ジヤウナモノデアアルト云フテ居ルノデアアル、私ハ此處ガ敢テ寺内總理トハ言ハ
 ナイ、現内閣ノ法制長官タル有松君ニ一ツ聞イテ見タイト思フコトガアルノデアアル、即チ國務大
 臣ノ職責ヲ決シテ紛更スルモノデアナイ、責任ヲ紛更スルモノデアナイト云フコトニダ、國務大臣ハ
 國務ヲ奉行スルモノデアアル、斯ウ云フコトヲ言フテ居ル、併ナガラ奉行ダケハイカナイ、國務ノ
 發動ニ付テハ一體ドウスルノデアアル、——發動ニ付テハドウスルノデアアル、即チ此發動ト云フコ
 トハ、總理大臣ノ答辯ニ依ルト、全ク外交調査會ノ官制ト抵觸シテ居ル、即チ國務大臣ノ責任ヲ
 紛更スルモノデアアルト私ハ信ジテ疑ハナイノデアアル、又樞密顧問ノ事ニ付テモ——官制ノ事ニ
 付テモ論ジタイコトガ澤山アリマスガ、樞密院顧問ハ 天皇ノ諮詢ニ對ヘ、サウシテハ進ンデ
 積極的ニ輔佐スルコトハ勿論デアアル、併ナガラ此答辯ヲ見テ視マスルト、今度ノ外交調査會ノ官
 制ト云フモノハ、獨リ樞密顧問ノ權限ヲ侵害シテ居ルノミナラズ、更ニ進ンデ國務大臣ノ權限ヲ
 侵害シテ居ルモノト確信スルノデアアル、是ガ即チ私ガ憲法違反デアアルト言フ所以デアアル、即チ憲
 法上輔翼ノ機關トシテハ儼然トシテ國務大臣在リ、樞密顧問在リ(議場騒然)ソレ以外ニ於テ内
 閣ニ離レテ——内閣トハ獨立ニ、陛下ニ直屬シタル所ノ機關ト云フモノハ、私ハ外交調査會ヨ
 リ外ニハナイト思フ、併ナガラ此調査會ナルモノハ、唯今私ガ申シタ通り、所謂大政輔翼ノ機關タ
 ル國務大臣ノ權限、樞密顧問ノ權限ヲ侵害スルモノデアアルト思ヒマスカラ、此憲法ノ上ニ於テ明
 ニ此條文ニ抵觸シテ居ルモノト私ハ信ズルノデアアル、此答辯ヲ見マスト云フト、要スルニ此答辯
 ハ國論統一ガ必要デアアル、外交ヲ政争ノ外ニ置カナクテハナラス、國策ヲ樹立シナケレバナラス
 ト云フコトガ先般ノ答辯デアアル、即チ此制度ニ對スル政治上ノ意味デアアル、併ナガラ私ハ現内閣
 ノヤウナ、所謂秘密外交ヲ以テ趣旨トスル此内閣ニ向ッテ、國論統一ト云フヤウナ事ヲ期スルノ
 ハ、木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルガ如キモノデアアルト思フノデアアル、素ヨリ私ハ政治上ニ於テ、國論ノ
 統一ト云フコトハ大イニ歡迎スルノデアアル、併ナガラ現内閣ノヤウニ自分ノ型ニ嵌ルヤウニ國
 論ヲ強イテ統一セントスルハ、思ハザルノ甚シキモノデアアルト思フノデアアル、是ハ甚ダ宜シクナ
 イ、又外交ヲ政争ノ外ニ置クト云フコトハドウデアアル、此點ニ付テハ國家ノ體面上、自衛上、何人

モ異論アル者ハ無イノデアアル、然ルニドウデアアルカ、此三十八議會ニ於テ、現内閣ノ外務大臣タル本野君ハ、前内閣ノ外交上ノ祕密事項ヲ暴露シタデアアリマセヌカ、何處一體外交ヲ政争ノ外ニ置クノデアアルカ、私ハ斯ノ如キハ内閣ニ向ッテ、外交ヲ政争ノ外ニ置クナント云フコトハ、言語道斷デアアルト確信スル、又國策ノ樹立ト云フコトハドウ云フコトデアアルカ、是ハ或意味ニ於テ、國策ノ樹立ト云フコトハ、吾々モ歡迎シテ居ル、併ナガラ現内閣ノヤウナ、祕密外交ヲ以テ唯一ノ方便トシテ居ル所ノ現内閣ニ向ッテ、國策ノ樹立ト云フコトハ到底要求スルコトハ出來ナイト云フコトハ、私ガ此處デ喋々申述ベル必要ハナイ、即チ國策ノ樹立ト云フ事ニ付テハ、少クトモ國民的外交、所謂時代ノ思潮ト云フモノハドウノ邊ニ行ッテ居ルカト云フコトヲ見ナケレバナラヌ、然ルニ現内閣ハドウデアアリマセウカ、本年ノ二月ノ地方長官會議ニ於ケル總理大臣ノ訓令、又内務大臣ノ訓令、又此頃ノ地方長官會議ニ於ケル總理大臣ノ訓示等ヲ見マスルト、甚ダ失禮ヲ申分デアアルガ、立憲政治ニ對スル正シキ了解ト云フモノガ無イ、唯復古的の反動的、即チ時代ノ思潮ト云フモノハ何ノ邊ニ向ッテ行クカト云フヤウナ事ハ一向御存ジ無イ内閣デアアル、斯ノ如キ内閣ニ向ッテ國論ノ統一又國策ノ樹立ナドト云フ事ハ、是亦思ハザルノ甚シキモノデアアラウト思フノデアアル、又國論統一ト云フコトニ付テハ、先ヅ以外ガ前提ト致シマシテ幾多ノ國論ガアルノデアアル、即チ政治上ニ於テハ種々様々ノ意見ガアル、其意見ヲ各堂々ト發表シテ、其間ニ於テ統一の健全ナル國策ヲ樹立スルノガ當然デアアル、然ルニ現内閣ハドウデアアルカ國論ノ統一ト云フコトヲ言ヒナガラ(發言スル者多ク議場騒然)現内閣ハ型ニ嵌マルニ非ザレバ——如何ナル名論卓說デモ、此點ニ付テハ彼等ハ殆ド自分ノ型ニ嵌メルモノデアアル、彼等ハ國論ノ統一デアナイ、詰リ自分ノ型ニ嵌メル國論ノ均一デアアル、思ハザルノ甚シキ者デアアル、今日外交調査會ナルモノハ、私ハ實ハ是ハ窮餘ノ窮策デアアラウト思フノデアアル、此窮餘ノ窮策ト云フ事ハ何故デアアルカト云フト、即チ現内閣ハ超然主義デアアル、政黨ハ嫌ヒデアアル、去トテ政黨ヲ遠ザケルト云フコトハ出來ナイノデアアル、故ニ已ムヲ得ズ其「チェレンマ」ニ掛ッタ心理状態ヲ具體的ニ現ハシタノガ外交調査會デアリマセヌカ、私ハ斯ノ如キコトニ向ッテ、國論ノ統一ナント云フコトヲ言フノハ、是ハ木

ニ縁ッテ魚ヲ求ムルガ如キモノデアアルト信ズル、即チ斯ノ如キ之ヲ憲法ノ明文カラ見テモ、之ヲ政治上カラ言ヒマシテモ、外交調査會官制ノ如キハ、到底憲法破壊ノ端緒ヲ拵ヘルヨリ外ナイモノデアリマスカラ、私ハ此點ニ付テハ現内閣ハ深ク反省ヲ致シ、速ニ憲法上ノ責任ヲ帶ビテ、又政治上到底不可能ナ事デアアルト云フコトヲ思ヒ及ンデ、男ヲシク處決セラレンコトヲ切ニ希望スルノデアリマスカ

津田毅一君ノ演說

諸君、私ハ極ク簡單ニ僅ニ五分カ六分ノ間申述ベタイト思ヒマス、此案ニ付キマシテハ殊更ニ辯ヲ好ンデ反對ヲ致ス譯デアアリマセヌ、聊カ所信ヲ述ベマシテ諸君ノ教ヲ請ハムト欲スルノデアリマス、暫ク御清聽ヲ煩ハシマス、此外交調査委員會ナルモノガ憲法ニ違反ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、此 陛下ノ側近ニ置カレマシタ所ノ此調査委員會ナルモノガ、果シテ憲法ニ違反ヲ致シマスト云フコトデアリマスレバ、是レハ由々敷キ大事デアアル、之ニ付キマシテ樞密院ト此調査會トヲ比較研究スル必要ガアラウト思フ、併ナガラ既ニ前論者ノ申シマシタ事ハ決シテ私ハ申シマセヌ、樞密院ナルモノハ御案内ノ通り是レハ常設ノ機關デアリマス、而シテ一般ノ重要ナル國務ト云フモノヲ諮詢スル所ノ機關デアアル、即チ權限ヨリ申シマスレバ廣イ——權限ヨリ申シマスレバ廣イノデアリマスケレドモガ、其働キタルヤ消極的デアアル 陛下ノ諮詢ガ無クレバ是レハ出來ナイ所ノモノデアリマス、然ルニ此調査委員會ナルモノハ常設的デアハナクシテ、臨時ノ機關デアリマシテ、外交ニ關スルノモノコトヲ審議調査スル所ノ機關デアリマス、故ニ之ヲ權限カラ申シマスルト一般的ノモノデアハナイ、廣イモノデアハナイ、狭イノデアアルケレドモガ、一方カラ考ヘマスト自動的デアアル、即チ自分ノ方カラ働キ掛ケテ仕事ガ出來ル所ノ機關デアリマス、此點ニ於キマシテ雙方ノ機關ト云フモノハ互ニ扞格スル所ガ更ニ無イノデアリマス、同ク是レ審查機關デアリ、審議ノ機關デアリマスケレドモ、此審議ノ機關ナルモノガ何ノ憲法ニ違反ヲシテ居リマセウカ、大日本帝國憲法七十六箇條ヲ精讀シ玩味研究シテ見マシテモ、一箇條ト雖

モ此調査會ニ抵觸シタコトハ無イデハナイカ、正條ニ無イカラ此ニ於テ法ノ精神ニ背クト云フコトデアアル、憲法ノ要義ニ背クト仰シヤルノデアアル、併ナガラ憲法ノ要義ニ何處ガ背ク、即チ我ガ天皇陛下ニ於キマシテハ行政各部ノ官制ヲ御定メニナル、官制ノ制定權ト云フモノヲ無限ニ有テ居ラレル、此權ニ依ッテ官制ヲ設ケラル、ニ付テ何等ノ制限ハ無イノデアアル、或ハ曰ク樞密院ハ憲法ニ規定シテアル、然ルニ此調査會ナルモノハ憲法ニ無イト云フ、是ハ無論ノ話デアアル、樞密院ハ常設ナルモノデアアテ常ニ一般的ノ重要ノ國務ヲ審議スル所デアアル、諮詢ニ依ッテ審議スル所デアアル、然ルニ是レハ時局ニ鑑ミテ而シテ臨時的ニ出來タ所ノモノデアアルガ故ニ、是レハ憲法ニ無イノハ當リ前ノ話デアアル、何處ニ之ガ不法ナコトガアリマセウカ、更ニ不法ナ所ハナイト思フ、外交ニ關スル事ハ即チ機敏ト秘密ヲ要スル、ソレガ故ニ或ハ諮詢機關トシテ樞密院ニ諮ルコトガ出來ナイ場合モアル、此ニ於テ此特設ナル機關ガ、時局ノ進展ニ鑑ミマシテ斯ノ如キ機關ガ出來ルト云フコトハ何等ノ怪ム所ハナイノデアアリマス、全體我國ノ外交ト云フモノガ振ハヌト云フノハ是レハ憲政會ノ諸君モ同意デアアル、昔カラ外交ハ振ハヌノデアアル、振ハヌノデアアルカラ此外交ガ振ハヌト云フニ付テ御互ニ遺憾トスルノデアアル、吾々ハ此外交ノ點ニ付テハ常ニ遺憾ヲ感ズルノデアアル、サスレバ此特別ナル機關ヲ設ケテ而シテ研究ノ上ニモ研究ヲスルト云フコトハ最モ時局ノ上ニ必要ナル事ト思フ、精鍊達識ノ士ヲ網羅致シマシテ而シテ外交ノ事ヲ調査スルト云フコトニ付テハ、反對黨ト雖モ決シテ是ハ否ヤヲ言フコトハナイ筈デアアル、唯惜ムラクハ加藤高明君ガ此中ニ這入ラナカッタノガ甚ダ遺憾デアアル、併ナガラ加藤君ガ所謂虎穴ニ入ッテ虎子ヲ得ルト云フ秘訣ヲ知ラヌノデアアル、全體此問題ハ六月三十日ノ不信任ノ決議ノ時ニ既ニ盡キテ居ル、又第二ニハ内相彈劾問題、是ガ第一ト第二トノ失敗デアアル、第一ニ失敗シ第二ニ失敗シ、懲リズニ又第三回ヲ出スト云フコトハ如何ニ女々敷イコトデアアルカ、私共ハ此國家多難ノ時、所謂未曾有ナル時局ニ當ッテ徒ラニ黨爭徒ラニ政爭ヲ爲シテ、而シテ國務ヲ審議スルコトヲ遲滯スルト云フノハ甚ダ遺憾デアリマスガ、斯ノ如キ問題ガ出タ以上ト云フモノハ之ニ一言セザルヲ得ヌノデアアル、憲法違反呼バリト云フコトハ、誠ニ金看板テ立派デアリマスガ、是レ

ハ今ノ如ク論ジ來レバ更ニ價値ガナイノデアアル、即チ此論タルヤ鬼ノ面ヲ被ッテ子供ヲ威スヤウナモノデアアル、全體憲政會ノ諸君ガ、成程大隈内閣ノ崩壞スル時ニ當リマシテ、而シテ今度ノオ鉢ガ更ニ御大將ノ加藤サンニ來ルト思ッタノデアアル、所ガソレハサウハ行カナイ、柳ノ下ニ何時モ鱈ハ居ナイノデアアル、ソレガ當ガ違ッテ尾崎サンノ(議場騒然)……油揚ヲ爲ニ凌ハレタト云フコトデアアル、成程是レハ誠ニサウデアアル、嘸御残念ノコトデ御坐イマシタラウ、併ナガラサウ云フコトハ今暫ク陰忍シテ、五年十年或ハ二十年三十年ノ後ハ又花咲ク時節モアラウト思フ、先ヅ先ヅ隱忍ナサルガ宜イ、然ルニ江戸ノ仇ヲ長崎テ取ラウト何遍モ何遍モ同ジ事ヲシテ、其醜態何タルコトデアアルカ、吾々ハ斯ノ如キ案ニ對シマシテ多ク言フ事ハナイ、之ヲ以テ吾輩ハ壇ヲ降ルノデアリマス

次ニ寺内國務大臣ハ本案ニ對シ左ノ辯明ヲ爲シタリ

諸君、此問題ガ暫クノ間討論サレマシタニ付キマシテ、餘リ言論ヲ加ヘル必要ハナイト考ヘマシタガ、一言申シテ置キタイ、本案ハ臨時外交調査會ヲ設ケマシタニ付テ、憲法違反デアアル又憲政ノ要義ヲ案ルモノデアアル、又此實行上ニ於テ責任ヲ罔晦スルモノデアアル、又官制ヲ御發布ニナルニ付テハ、樞密院ニ御諮詢ガ無イ、樞密院ヲ侮辱シタルモノデアアル、斯ウ云フ事デアアル、政府ハ憲法違反ナリトハ考ヘテ居リマセヌ、又憲政ノ要義ヲ案ルモノデアアルトハ考ヘテ居ラヌ、此總テノ實行上ニ於テハ全責任ヲ補弼上執ッテ居リマシテ、現今將來ニ於テモ責任ヲ罔晦スルト云フコトハ誓ッテ爲サヌ積リデアリマス、又過日他ノ議員諸君ノ質問ニ對シマシテ、書面ヲ以テ一通リ御答シテ置キマシテ、詳細ヲ悉シタ積リデアリマス、大體ハ御覽ニナッタデアアラウト思フ、又議場多數ノ諸君ガ此建議ヲ容レラレヌコトハ確信致シテ居リマスガ、此場合ニ於テ政府ノ意見ヲ一言致シテ置クノデアリマス

討論茲ニ終局シ表決ニ及ヒ院議少數ヲ以テ本案ヲ否決シタリ

七 齋藤隆夫君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議

七月十二日齋藤隆夫君ハ森田茂君外二名提出決議案(前號)ノ趣旨辯明ニ際シ不穩(ワイ)連中ノ發言ヲ爲スヤ(議場喧囂)議長ハ其ノ取消ヲ命シ同君之ヲ承認シ尙左ノ發言ヲ爲ス

本員ハ議員ニ言論ヲ妨害スル者ヲ以テワイ)連デアルトハ信ジテ居リマス、併シナガラ此言葉ガ惡ルイト云フナラハ是ハ取消シテ差支ナイ

議長ハ之ヲ以テシテハ取消命令ニ應シタル發言ニ非サル旨ヲ注意シ齋藤隆夫君ハ更ニ其ノ發言ノ取消ヲ爲ス旨ヲ述フ議場囂然タリ

此ノ時横田千之助君ハ議事進行ニ關シ發言ヲ求メ左ノ動議ヲ提出ス

同僚タル衆議院議員ニ向ッテワイ)連中ト云フ言葉ヲ用ヒ議長ヨリ之ガ取消シヲ命ゼラル、ヤ、ワイ)連中ト云フ言葉ハ假リニ取消ストスルモ、ワイ)連中ト云フコトヲ確信シテ居ルト云フコトハ其同僚ヲ侮辱スルノ甚ダシキモノデアリマス、直ニ齋藤隆夫君ヲ懲罰委員ニ付セラレムコトヲ望ミマス

依テ議長ハ齋藤隆夫君ノ發言ヲ中止シ右動議ヲ表決ニ付ス議長ハ多數ノ宣告ヲ爲シタルニ異議ノ申立アリ依テ更ニ之ヲ反對表決ニ付シ院議該動議ヲ可決シタリ(前號參看)

八 齋藤隆夫君懲罰事犯ノ件

七月十二日横田千之助君提出ノ動議可決ノ結果(前號參看)懲罰委員ハ審議ノ末翌十三日本件ハ議院法第九十六條第一項第二號ニ依リ公開シタル議場ニ於テ謝辭ヲ表セシムヘキモノト議決シ報告書ヲ議長ニ提シ又委員小山松壽君外八名ハ本件ハ懲罰事犯ニ非スト議決スヘキモノト認ムトノ少數者意見書ヲ提出シタリ

即日議事日程ヲ變更シテ本件ヲ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク次テ公開ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ齋藤隆夫君ニ出席ヲ命シ同君ニ對シ謝辭ヲ表セムコトヲ求ム同君直ニ登壇左ノ謝辭ヲ述フ

謝辭要領

本月十二日本會議ニ於ケル決議案提出理由説明中予カ爲シタル不穩ナル言動ハ議員ノ體面ヲ損シ議會ノ神聖ヲ汚シタルモノニシテ今ニ於テ之ヲ顧レハ洵ニ慚愧ノ至ニ堪ヘス茲ニ誠意ヲ披瀝シテ謹テ謝意ヲ表ス

九 高見之通君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議

昨十二日決議案ノ討議中衆議院議員高見之通君ハ速記臺ニ登リ扇ヲ以テ演臺ヲ亂打セシ際ノ所

行ハ議場ノ秩序ヲ紊シ議院ノ騷擾ヲ醸スモノニシテ懲罰事犯ト認ム依テ懲罰委員ニ付スヘシ

七月十三日小泉又次郎君之ヲ提出ス同日議事日程ニ入ルニ先チ議長ハ之ヲ議院ニ報告シ以テ院議ニ付シ提出者ハ左ノ如ク動議ノ趣旨ヲ辯明セリ

諸君、私ハ唯今ノ緊急動議ヲ提出スルコトヲ議院ノ神聖ヲ保ツ上ニ於キマシテ、萬已ムヲ得ヌコト、考ヘマスルガ故ニ提出シタ次第デアリマス、是レハ參考書デス、昨日ノ決議案討議ノ際ニ、高見君ハ議長ノ制止ヲモ聞カズシテ此神聖ナル演壇ニ駈上ラントシテ、而モ議院ニ於テ最モ大切ナル所ノ速記臺ニ飛上リ、持參シテ居ル扇面ヲ以テ此演臺ヲ亂打シテ、演説ノ妨害スベキ行爲ヲ敢テシタノデアリマス、其證據ハ速記録ニ明ニ認メテアリマス通リ、議長ハ自席ヲ離レテハイカスト云フ制止ヲサレテ居ル、又政友會ノ幹部ノ御決議カモ知レマセヌ、或ル人々等ガ其亂暴ナル行爲ヲ見ルニ見兼ネタト見エマシテ、自席ヲ離レテ同僚ノ誼トシテ高見君ヲ抑制スベク袖ヲ引捉ヘテ下マデ下ダタト云フコトハ、諸君ガ一般ニ諒知セラルル事實デアリマス、問題ハ異ツテ居リマスケレドモ、齋藤隆夫君ハ僅ナル言葉ノ行違ヒカラシテ、今日ハ懲罰ト云フ重イ罰ヲ受ケテ決定ラセラレテ、今ヤ其動議ガ上ラントシテ居ルデアリマス、凡ソ人ヲ責ムルノニハ先ヅ己ヲ正ウシテ而シテ後人ヲ責ムルト云フコトガ人ノ本性デアリマス、私ハ此簡單明晰ナル理由ヲ以テ、此動議ヲ提出シタノデアリマス、滿場ノ御同意ヲ願フ次第デアリマス

議長ハ衆議院規則第九十六條ニ依リ討論ヲ用キス直ニ該動議ヲ表決ニ付シ少數ノ宣告ヲ爲シタルニ異議ノ申立アリ依テ更ニ無名投票ヲ以テ其ノ採決ヲ行フ其ノ結果百三十九名ニ對スル百八十

五名ノ多數ヲ以テ該動議ヲ否決シタリ

一〇 横山勝太郎君懲罰事犯ノ件

七月十三日懲罰委員長小山温君ハ懲罰委員會ニ於テ同委員横山勝太郎君懲罰事犯アリト認ムルニ因リ處分ヲ求ムル爲議院法第九十五條第三項ニ依リ報告書ヲ議長ニ提出ス依テ議長ハ同日議院法第九十五條第二項ニ依リ同君ヲ懲罰委員ニ付スル旨ヲ宣告シタリ

懲罰委員ハ審議ノ末翌十四日議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ横山勝太郎君ヲ公開シタル議場ニ於テ譴責スヘキモノト議決シ報告書ヲ議長ニ提出シ又委員森田茂君外十一名ハ本件ハ懲罰事犯ニ非スト議決スヘキモノト認ムトノ少數者意見書ヲ提出シタリ

同日議事日程ヲ變更シテ横山勝太郎君懲罰事犯ノ件ヲ院議ニ付シ衆議院規則第九十七條ニ依リ秘密會議ヲ開ク
次テ公開ニ復シ議長ハ秘密會議ノ結果ヲ報告シ左ノ宣告ヲ爲シタリ

議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ横山勝太郎君ヲ譴責ス

第七項 請願

本院ハ大正六年六月二十五日各部ニ於テ請願委員ヲ選舉ス

委員ハ同日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ同月二十七日全委員ヲ分テ二科ト爲シ各分科主査ヲ選定シ其ノ所屬員ハ各委員ノ希望ニ依リ之ヲ定メ以テ請願審査ノ分擔ヲ定メタリ即チ左ノ如シ

第一分科

(内閣、鐵道院ヲ除ク、及外務省、内務省、大藏省、農商務省所管並第二分科所管ニ屬セサルモノ)

委員 二十二名 主査 佐々木文一君

第二分科

(陸軍省、海軍省、司法省、文部省、及逓信省所管並鐵道院)

委員 二十二名 主査 工藤卓爾君

本會期ニ於テ本院ノ受理シタル請願ハ六百九十八通ニシテ請願委員ハ審査ノ末議院法第六十四條第二項ニ依リ院議ニ付スヘキモノト議決シ特別報告ヲ爲シタルモノ六百二十五通(本節第一款參看)他ハ院議ニ付スルヲ要セスト爲シ議員ヨリ院議ニ付スルノ要求ナキヲ以テ委員長報告ノ通確定シタリ

而シテ其ノ内政府ニ參考トシテ送付スヘキモノト決シタルモノ七十通、他ノ委員會ニ參考トシテ送付スヘキモノト決シタルモノ一通、不採擇ト決シタルモノ一通、審査未了ノモノ一通トス(第三十九回衆議院報告第四ノ三參看)

特別報告ニ係ル請願ノ討議及表決ハ左ノ如シ

一 理髮業者試験制度制定ノ請願外二百件

(特一乃至四、七乃至一九、二一乃至三七及四〇乃至四九)

大正六年七月六日及九日報告書ヲ提出ス同月十二日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長齋藤珪次君ハ請願委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

請願委員會ノ經過及結果ヲ報告シマスガ、極ク簡略ニ致シマス、請願委員會ノ組織其他ニ付テハ最早公報ヲ以テ御承知ト存ジマスカラ申シマセヌ、本期議會ニ於テ請願委員會ニ於テ請願ヲ受理致シマシタ數ハ六百九十五件デアリマス、審査ヲ致シタモノハ六百九十二件デアリマス、其結果ト致シテ採擇スヘキモノト決シタルモノハ六百二十一件、政府ニ參考トシテ送付スベキモノト決シタルモノ六十九件、委員會ニ參考トシテ送付スベキモノト決シタルモノ一件、不採擇ニ決シタルモノ一件、審査未了ノモノ三件デアリマス、是ハ本日ニ至ッテマダ請願ガ到著致シマシタ爲メニ未了ニ屬シテ居ルノデアリマス、是ガ大體ノモノデアリマス、而シテ請願ノ種類ヲ見マスト、彼ノ國民ノ最モ利害ヲ感ジテ居ルト見ラレトコロノ義務教育國庫補助費ノ請願ノ如キハ、是ハ合計シテ二百七十六通ノ大多數ヲ占メテ居リマス、ソレカラ軍人恩給法ノ改正ノ請願ノ如キモ是亦大多數ニナッテ居リマス、併シ是ハ舊來繼續ノモノデアリマスガ、義務教育ノ國庫補助ノ請願ハ、今回ニ於テ著シク之ヲ現ハシテ參ッタノデアリマス、ソレカラ此前ノ議事ニモアリマシタガ鐵道ノ敷設ノ請願、延長若クハ速成ノ請願ト云フモノモ此短期議會ニ拘ハラズ二十五件出テ居リマス、是レ國民ノ意向ヲ察スルニ足ルト思ヒマス、其外新タニ現ハレタル請願ハ精米市場法ヲ設定シテ欲シイト云フ請願、是ハ精米市場ヲ造ルコトハ實ニ刻下ノ急務デアアル、即チ日本ニ於テ大阪東京以外ニハ精米市場ト云フモノハナイ、之ヲ造ッタナラバ非常ニ國民ノ爲メニ利

益ヲ生ズルモノデアルト云フコトノ案デアリマシテ、極ク大體ヲ申上ゲマスガ殊ニ目下ノ事情ニ當ツテハ必要ノ案ト存ジマス、ソレカラ人事訴訟法中ノ改正法律案ト云フモノガアリマス、是ハ失踪シタル人ノ如キモノノ戸籍ノ變更手續ガ非常ナ手續ヲ要スルガ爲メニ、是ハ失踪シタル者ノ如キヲ此手續ヲ經ルコトガ出來ナイ爲メニ、畏レ多イコトデアリマスガ彼ノ御大典ノ場合ニ於テ老年者ニソレハ、賞典ヲ與ヘルト云フコトノ場合ニ於テハ、一村ニシテ著シク老年ノ多クアリシ所ノ實例ガアツタト云フコトハ、ソレハ漁師村ノ如キニ於テ難船ノ災害ニ於テ人ガ死亡シテモ失踪者ノ届ヲ非常ニ手續ヲ要サレテ居ルガ爲メニ、失踪者ノ處分ガ付カズシテ百歳以上ノ人ガ一村ニシテ何百人ト滞積シテ居ルト云フ奇觀ヲ呈シテ居ル、是等ハドウシテモ改正ヲシナケレバナラヌト云フ新タナモノデアリマスルガ、實ニ是ハ適切ナルモノト信ジマス、ソレカラ續イテハ信託會社法ノ改正、近頃ノヤウニ流行シテ居ル信託會社ナルモノハ社會ニ利益ヲ與ヘルト同時ニ是ハ害ヲ生ジテ居ルノデアアル、是等モ時勢ニ適應スルヤウニ改正ヲシタイト云フコトデアアル、無盡業法ニ付テモ昔ノ遺法デアアル所ノ無盡ヲ、今日ノ新空氣ニ適應スルヤウニ改正ヲシテ欲シイト云フ改正案、是等モ實ニ時勢ニ適シタモノト信ジマス、ソレカラ本日ノ議題ニハマダ上ツテ居リマセヌガ、總體ノ請願數ヲ報告致シマシタカラ一緒ニ報告致シテ置キマスガ、尙ホ今日ノ時勢ニ最モ適合ヲシタル案ト認ムルノハ、紙價ノ調節即チ紙ノ價ノ調節、文明ノ利器タル所ノ新聞其他總テノ上ニ於テ、紙價ノ騰貴シタルガ爲メニ社會ハ非常ニ難儀ヲシテ居ル、之ヲ調節スル爲メニ外國ニ輸出スル紙ヲ停止シテ欲シイト云フ如キ請願ノ如キモ、是レ寔ニ時勢ニ適シタルモノト思ヒマス、ソレカラ朝鮮ニ官幣大社ヲ奉祀シテ、朝鮮國民ニ日本母國ト朝鮮トハ人種ノ同一ナルコトノ思想ヲ起サシムルベク、朝鮮ニ官幣大社ヲ奉祀セントスルガ如キ請願モ是亦實ニ必要ナルモノト認メマス、ソレカラ鐵ノ價ノ暴騰シタルコトハ御承知ノ通りデアリマス、此爲ニ各地方ニ於ケル、水道敷設、即チ國庫ノ補助ヲ受ケテ水道ヲ敷設シテ居ル所ニ於テモ、鐵ノ暴騰ノ爲ニ其工事費ガ非常ニ増加ヲ致シテ是亦困難ヲ致シテ居ル、之ニ相當ノ補助ヲシテ欲シイト云フ請願モ、是亦請願中適當ナモノト信ジテ居リマス、ソレカラ最後ニ大阪府ノ飛田遊廓取

消ノ請願デアリマス、是モ寔ニ此問題ハ既ニ通過シタ問題デアリマスガ、去リナガラ此人民ガ而モ相當ノ名譽職ノ連署シタル請願ヲ高松正道君ガ紹介デアリマス、其他三千五百五十餘名ノ者ガ連署シタル請願、是ハ島田三郎君ノ紹介デアリマスガ、此飛田遊廓ノ取消ヲ請願シテ來タコトモ是亦寔ニ人ノ耳目ヲ惹クニ足ルベキ請願ト存ジマスカラ、是ダケノ案ハ特ニ一言致シテ置キマス、而シテ是等ノモノヲ綜合致シマシタル請願ガ總テハ唯今御報告シタ案件デアリマスガ、既ニ審査了シタルモノハ六百九十二件デアリマシテ、其中採擇サレタモノデ本日ノ議事ニ上ツテ居リマスルノハ四十九件デアツタカト存ジマス、此モノニ付テ一々之ヲ請願者及ビ紹介議員等申上ゲ其要旨ヲ御話スルト云フコトハ、到底短時間デハ出來マセヌカラ、是ハ前例モアリマスカヲラ一括致シテ速記録ニ載セルコトニ致シマス、然ラハ請願者及紹介議員諸君モ明瞭ニ其處ニ現ハレルノデアリマス、ソレデ今日ノ日程ニ上ツテ居リマスルモノヲ一括シテ議題ト爲シテ贊否ノ御決定ヲ願ヒタイノデアリマスガ、今回ノ請願ハ斯ウ多數デアリマスルガ、寔ニ幸福ニハ審査スル場合ニ於テ委員ハ殆ド何時モ一致シテ贊否ヲ表シテ居リマシテ、之ニ對シテ議論ヲ致シテ火花ヲ散ラスガ如キ議論ハ一ツモ無イノデアリマス、故ニ本席ニ於テモ必ズ反對議論ハ生ジマスマイト思ヒマスカラ、一括シテドウカ御賛成通過アラムコトヲ希望スルノデアリマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇シ即日政府ニ之ヲ送付セリ

二 日露戰役ニ於ケル被擊沈船救恤ノ請願外二十七件

(特五〇乃至五九、六三乃至六五、六七乃至七七、八〇、八一及八三)

七月十一日、十二日及十三日孰レモ報告書ヲ提出ス同月十四日各請願ヲ一括シテ院議ニ付シ委員長齋藤珪次君ハ請願委員會ノ經過及結果ニ付左ノ報告ヲ爲ス

請願委員會ニ付キマシテ第二ノ報告ヲ致シマス、一昨日ヲ以テ第一回ノ報告ヲ致シマシテソレヨリ變化ヲ致シマシタモノガ、本期議會中請願ヲ受理セシ總數ニ於テ六百九十八件トナリマシタ、内採擇スベキモノト決シタルモノ六百二十五件、政府ニ參考トシテ送付スベキモノト決シタルモノ七十件、他ノ委員會ニ參考トシテ送付スベキモノト決シタルモノ一件、不採擇ト決シタルモノ一件、審査未了ノモノ一件デアリマス、總テ請願ハ此一件ヲ殘スノ外ハ、審査ヲ終了致シマシタ、而シテ大體ニ於テ一昨日御報告致シテ置キマシタカラ、最早申ス箇條モアリマセヌ、本日ハ特別報告第五十號ヨリ第八十三號マデヲ一括シテ御議了ヲ願ヘバ濟ムノデアリマスガ、單ニ意思ノ違ヒシ點ヲ一ツ申上ゲテ置キマス、ソレハ一昨日新規請願ノ中ニシテ、考慮ヲ要シ政府ニ注意ヲ促スベキモノ、一トシテ紙ノ價ノ暴騰ガ非常ニ此出版業等ニ害ヲシテ、文教ノ上ニ影響ヲ及ボスコトデアリマスガ、其趣意ハ新聞等ノ事ニ付テ申シタノデアリマスガ、私ノ一寸ソレハ考テ違ヘテ居リマシタノデ、請願人ノ趣意ハ新聞デハナイ、即チ出版業者ガ此請願ヲシテ參ッタノデアリマシテ、此書籍ノ價ヲ高メラル、コトハ國民教育ノ根本タル小學校ノ讀本ノ出版ニ非常ナ影響ヲ及ボシ、之ガ甚ダ國民ノ教育ニ害ヲ及ボス、而モ教科書ハ文部省ノ指定ニ依テ價格ガ極ッテ居ルモノデアルカラ、勢ヒ讀本ハ粗惡ナル出版ニナラナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ趣意デアッタノデアリマス、是ハ紹介議員鳩山一郎君ノ紹介デ、出案ハ出テ居リマスカラ、甚ダ其處ノ違ッテ居ッタ事ヲ鳩山君ニ對シテ御氣ノ毒ニ存ジテ茲ニ訂正ヲ致シテ置キマス、其他或ハ郵便局ノ設置或ハ區裁判所ノ復活ノ如キ、總テ國民ノ行爲權利ニ關スル問題モ御坐イマスカラ、ドウカ本日モ一括シテ總テ御採擇ニ御賛成ヲ願ヒマス

院議異議ナク各請願ヲ採擇シ即日政府ニ之ヲ送付セリ

三 漁港及漁船避難港修築國庫補助法制定ノ請願外三百九十五件

(特五、六、二〇、三八、三九、六〇乃至六二、六六、七八、七九、八二及八四)

七月六日、九日、十一日、十二日及十三日就レモ報告書ヲ提出ス

各請願ハ之ヲ院議ニ付セサルモ第三十七回議會大正五年二月十八日請願取扱ニ關スル決議ニ基キ同種議案可決又ハ同種請願採擇ノ結果之ヲ採擇シタルモノト看做シ七月十四日各請願書ヲ政府ニ送付シタリ

第三章 質問及答辯

本會期ニ於テ議員ヨリ提出シタル質問主意書ハ總テ四十件ニシテ内一件ハ撤回シ其ノ他ハ全部書面ヲ以テ答辯アリ尙其ノ内一件ニ對シテハ口頭ヲ以テ答辯アリタリ今之ヲ所管ニ依リ分類スレハ左ノ如シ

内閣ニ關スルモノ三件、内閣及内務省ニ關スルモノ一件、内閣及内務、司法ノ兩省ニ關スルモノ一件、内閣及内務、司法、文部ノ三省ニ關スルモノ一件、内閣及内務、司法、農商務、遞信ノ五省ニ關スルモノ二件、内閣及文部省ニ關スルモノ二件、外務省ニ關スルモノ九件、内務及大藏ノ三

省ニ關スルモノ一件、外務及農商務ノ兩省ニ關スルモノ二件、内務省ニ關スルモノ六件、内務及陸軍ノ兩省ニ關スルモノ一件、内務及司法ノ兩省ニ關スルモノ二件、内務及農商務ノ兩省ニ關スルモノ一件、陸軍及海軍ノ兩省ニ關スルモノ一件、文部省ニ關スルモノ四件、農商務省ニ關スルモノ二件トス

其ノ質問及答辯ヲ摘記スレハ左ノ如シ

一 鄭家屯事件解決ニ於ケル帝國政府外交失敗ニ關スル質問

昨年八月鄭家屯事件起ルヤ日支兩國間ノ交渉數箇月ニ互リ本年一月ニ至ルモ尙未タ之カ解決ヲ見サリシヲ以テ本員ハ第三十八回議會即チ本年一月二十三日之ニ關スル質問主意書ヲ提出シ其ノ要旨トシテ南滿洲及東部內蒙古ニ於ケル我カ優越ナル地位ハ支那本部ニ於ケルモノト異ナリ條約上、人口上、貿易上、放資上ノ關係ヨリ帝國政府ハ其ノ權利ノ執行及國民的發展ノ必要上前記ニ地方ニ於テ我カ警察官ヲ配置スルコト及支那政府ノ軍隊ニ我カ軍事顧問ヲ置カシムルノ要求ハ斷シテ之ヲ讓歩スヘキモノニ非サルコトヲ力説シタリ不幸議會ノ解散ト共ニ政府ノ之ニ對スル答辯ヲ得サリシカ本年二月二十七日帝國外務省公表ノ「鄭家屯事件交渉顛末」並支那政府ノ發表セル「鄭家屯案交渉始末」及「鄭家屯案中日交渉來往文件」ヲ對照スルニ至テハ帝國政府ハ其ノ

當然要求スヘキ前記ニ條件ヲ支那政府ヨリ拒絶セラレタルノミナラス彼我ノ外交文書ニ徴スレハ我カ國ノ主張及要求ハ悉ク支那政府ヨリ反駁拒絶セラレ帝國ノ面目ハ毀損セラレ其ノ權利ハ蹂躪セラレタルモノノ如シ是レ實ニ現内閣カ徒ニ日支親善ノ空名ニ囚ハレテ遂ニ我カ正當ナル主張ト權利トヲ放棄シ此ノ事件ヲ解決シタル外交上ノ失敗ト謂ハサルヘカラス帝國政府ノ所見果シテ如何

大正六年六月二十五日望月小太郎君ハ右質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ本野國務大臣ハ七月三日其ノ趣旨辯明ニ先チ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ依テ同日議事日程ヨリ之ヲ除却ス

質問者ハ鄭家屯事件ニ關スル解決ヲ以テ帝國政府ニ於テ正當ナル主張及權利ヲ悉ク放棄シ外交上ノ失敗ヲ招キタルモノト爲スモ政府ハ本件事實ノ内容ト日支國交ノ大局ニ顧ミ本件解決ヲ以テ不當ナルモノト認メス殊ニ質問者ノ最モ重キヲ措ケル南滿洲軍事顧問並南滿洲及東部內蒙古ニ於ケル日本警察官駐在ノ件ハ帝國政府ニ於テ之カ主張ヲ放棄セリトスル質問者ノ見解ハ事實ニ相違セリ即チ軍事顧問ノ件ニ關シテハ本年一月十二日附外交總長口上書ノ末段ニ「御來示ノ段ハ應ニ閱悉ス」ト在リテ將來實行ノ餘地ヲ存シ決シテ拒絶ノ意ヲ示シタルモノニ非ス次ニ警察官駐在ノ件ニ關シテハ支那政府ハ帝國政府ニ於テ「再ヒ本件ヲ提議セラルルコトナク尙支那政府カ

本件ノ實行ヲ承認セリトセラレザランコトヲ希望セルニ止マリ帝國公使カ曩ニ支那國外交總長ニ對シ「若シ支那國政府ニシテ之ニ同意ヲ與フルコトヲ躊躇セラルルカ如キ場合ニハ帝國政府ニ於テ必要ニ應ジ之ヲ實行スルノ已ムヲ得サルニ至ルヘキ」コトヲ聲明シタル本年一月五日附口上書所載ノ見地ハ其ノ主張ニ於テモ又事實上ニ於テモ何等之ヲ撤回若ハ變改シタルコトナシ同日望月小太郎君ハ右答辯書ニ對シ質疑ヲ爲ス左ノ如シ

鄭家屯事件ノ解決ヲ以テ本員ハ帝國外交ノ失敗デアルト斯様ニ認メマスルニ就テ、此點ニ關シ外務當局ニ質問書ヲ提出致シマシタ所ガ、唯今其質問書ニ對シ外務當局ハ本員ノ疑問ト致シタ所ノ帝國政府ハ其正當ナル主張及ビ權利ヲ悉ク拋棄シ外交上ノ失敗ヲ招キタルモノト爲ス點ニ就キマシテ、當局ハ本件ノ解決ヲ不當ノモノトハ認メナイト答へ、更ニ進ンデ質問者ノ最モ重キヲ置キマシタル警察官配置及軍人顧問ノ件ニ關シテハ公文書ヲ引用セラレテ、此主張ハ帝國政府ハ依然撤回若クハ變更シタルコトナシト云フ意味ヲ通ゼラレマシタガ、本員ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、依然本員ガ當初質問書ヲ提出致シタル如ク、此鄭家屯事件ノ解決ハ唯今外務省ノ答辯ニアルニ簡條、即チ警察官配置及軍人顧問僱聘、此二條件ニ於テ確ニ此回答書トハ事實ヲ異ニ致シテ居ルト云フコトヲ申述ベテ、本員ノ疑問ヲ當局者ニ質シ、併セテ諸君ノ聰明ニ訴ヘテ見タイト思ヒマス、本來鄭家屯事件ハ御存知ノ如ク、昨年八月我同胞ト支那人トノ間ニ衝突ガ起リマシテ、遂ニ我軍人十數名ノ死傷及ビ日本商人吉本某ガ殺害致サレマシタ、是ガ即チ鄭家屯事件ノ原因デアリマス、我國カラ見マスレバ無節制ナル支那兵ノ爲メニ我ガ忠勇武烈ナル軍人ヲ殺サレ、剩サヘ我軍隊ノ威嚴ヲ傷付ケラレタルノミナラス、是ヨリ日支條約ノ結果ニ伴ヒマシテ、將ニ大的發展ヲ爲サムトスル我同胞ノ新天地トモ目スベキ滿蒙地方ニ於テ、我同胞ノ生命財產ガ頗ル危險ニ陥ルト云フ、斯ウ云フコトガ今後再ビ起ラザルヤウニ其解決ヲ致サウトスルノガ、即チ

此鄭家屯ニ關スル日支兩國交渉ノ外交問題デアリマス、而シテ昨年九月一日カラ引續キ本年一月十二日、即チ現外務大臣ガ就任後ニ互リマシテ約五箇月ヲ經テ、此兩國政府ニ於テ商議決定致シマシタガ、其商議決定致シタ結果カラ論ジマスレバ、本員ハ此處ニ唯今外務當局ノ答辯書ニ照シ、而シテ當時政府ノ發表シタル公文書及支那政府ノ發表シタル公文書ニ照シマシテ、我國ハ此外交ニ於テ全然失敗シテアルト云フコトヲ唯今尙ホ確信シ、而シテ之ヲ事實ニ證明致サウト思フ者デアリマス、申スマデモナク滿蒙ニ於ケル帝國ノ地位ハ所謂特殊ニシテ其權利ハ優越デアアル、此事ハ條約關係カラ見マシテモ、亦通商貿易上ノ關係ヲ見マシテモ、更ニ進ンデ人口ノ關係カラ見マスレバ、我同胞ハ既ニ十萬ノ多キ人々ガ滿洲ニ居住致シテ居リマス、且年々五六千ノ多キ人々ガ此滿蒙ニ移リマスル、其他ニ新附ノ朝鮮人ハ三十萬ノ多キニ達シテ居リマス、是等ノ諸點カラ言シテ我國ハ此滿蒙ニ於テ、我條約上通商上及人口上ノ關係カラ邦人發展ノ便宜ニナルヤウニ、言換ヘレバ支那人ノ爲メニ我ガ權利ヲ阻害セラレザルヤウニ注意セナケレバナラヌノデアアル、此結果我ガ當初ノ支那ニ對スル要求ヲ見マスレバ、斯ク外交文書ニ書イテアリマスル、即チ「本案ハ中國軍隊方面ノ挑發ニ出テ且中國ノ兵力ヲ以テ日本軍隊ヲ包圍襲撃ニ依ルコト疑フ容ル、コトナキ事實ト爲シ事體重大ナル言フ俟タス」ト是ガ即チ我國ガ申出タ所ノ前提デアリマス、而シテ其提ニ基イテ我要求ハ四箇條、更ニ別ニ支那ノ提出ニ隨意ニ任セタモノガ四箇條アリマス、而シテ其要求ノ要點ハ第一、暴行兵ノ師團長ヲ懲戒スルト云フコト、第二ハ責任アル士官ヲ嚴刑ニ處スルト云フコト、第三ハ支那軍隊及軍人ガ將來日本軍隊及軍人及一般人民ヲ挑發スル行動ナカラシムルヤウ、南滿洲及東蒙古ニ在ル支那軍全體ニ警告告示スルト云フコト、第四……此第四條ハ即チ當局ト本員トノ所見ヲ異ニスル論點デアリマスカラ、殊ニ外務大臣ニ御注意ヲ願ヒタイ、即チ此第四ノ要求ニハ「日本政府ハ南滿洲及東部內蒙古ノ日本臣民ヲ保護取締ノ爲ニ必要ト認メタル地點ニ於テ日本警察官南滿洲支那官吏ヲ派遣駐在セシメ尙日本人ヲ增聘シテ顧問ト爲スコトヲ承認スルコト」是ハ外務省ノ公文書ニ依ッテ茲ニ引證致シマシタ、然ルニ是ノミナラス、更ニ支那ヨリ隨意提出スル所ノモノトシテ、別ニ四箇條ノ申出ヲ爲シマシタ、即チ其一ハ南滿洲ニ東蒙古駐在

ノ支那軍隊ニ日本將校若干名ヲ顧問トスルコト、二、支那士官學校ニ日本將校若干名ヲ教授トシテ雇入レシムルコト、三、奉天督軍ヲシテ謝罪セシムルコト、四、被害者ニ對スル相當ノ慰藉料、此前後ノ八箇條ヲ以テ談判ノ骨子ト致シマシタガ、交渉五箇月後兩國政府ニ決定議「セル、即チ我當局ノ發表シタル公文書ニ依リマスレバ、其解決要點ハ第一ニ師團長ノ懲戒、責任士官ノ處罰、支那軍隊一般ニ對スル訓戒的告示、奉天督軍ノ謝罪、日本商人吉本某ノ慰藉料五百弗、之ヲ拂フト云フ五箇條ニ打切テアリマシテ、本案交渉ノ二大眼目タル警察官ノ配置及軍事顧問僱聘ノ二項ハ、全然削除セラレテアルノデアリマス、即チ本員ガ此外交ヲ目シテ一言以テ失敗デアルト云フ論據ハ此處デアリマス、何故ト申セバ滿蒙ノ新天地ニ於テ將來日本同胞ニ對シテ、斯ル迫害若クハ殺戮ノ起ラザル爲ニ、此豫防法トシテドウシテモ我が邦人ノ居住地ニハ第一、我警察官ヲ派遣スルコト、第二ニハ同地方ニ於ケル支那軍隊——不規律ナル軍隊ニ向ッテ我が顧問官ヲ僱聘セシムルト云フコトハ、是ハ此交渉ノ根本目的デアッテ、此二箇條ヲ引拔イタ曉ニハ、此根本目的ハ全然破滅スルモノト本員ハ信ジマス、然ルニ右五箇條ノ決定書中ニハ、此警察官配置軍事顧問僱聘ノ二大目ヲ削除シテ居リマス、若シ當局ガ言フガ如ク警察ニ對スル要求ハ依然保留シテ居ルト云フナラバ、何トテ此公文書中ノ第五ノ次ニ一箇條ヲ加ヘテ之ヲ協定致サナカッタノデアルカ、即チ交渉ノ目的ガ日本人民ノ生命財產ヲ保護スルニ在リトシテ、此保護ガ根本的理想デアッタナラバ、其理想ヲ達スル爲ニ我警察官ヲ配置スルト云フコトニ付テハ、最モ力ヲ入レテコソ差支ナイモノデアルト思フ、何トナレバ當局ノ御存知ノ如ク支那ノ警察官ハ大抵法律思想ガ無ク、申サバ警官服ヲ著セタル無學文盲ノ人足ガ多數デアアル、又此事實ハ支那ガ各國ノ居留地ニ向ッテ、其銘々ノ國々ノ警察官ヲ天津ヲ始メ其他ノ居留地ニ許シテ居ル事實ニ照シテモ明白デアリ、更ニ又支那ノ兵隊ハ支那人ノ所謂良民兵トナラズ、天下ノ流民、賤民、若クハ最モ下等人足ヲ集メタル半バ土匪同様ナ者ガ多イノデアアル、別ケテモ滿洲蒙古ニ於テハ是等ノ警察、是等ノ兵隊ハ其種類ニ於テ最モ劣惡ナリト云フコトハ、總テ此方面ニ事件ガ頻々起ルト云フコトニ照シテモ明カデアリマス、斯ウ云フ譯デアッテ日支交渉ハ我が同胞ガ滿蒙ニ發展スレバスルダケ、我國ガ

其同胞ノ生命財產ノ安全ヲ期スルガ爲ニ、我警察官ヲ配置シ並ニ我軍事顧問ヲ支那ニ僱聘セシメテコソ、初メテ日支親善ノ目的ガ達セラレ、ノデアアル、此日支親善ノ目的ヲ達スルガ爲ニハ、ドウシテモ此二大條件ノ承諾ヲ支那ニ求ムルト云フコトハ、實ハ外務大臣モ三十八議會ニ於テ明言セラレテ居ル筈デアアル、今之ヲ外務大臣ノ言ハレタコトヲ以テ立證致シマセウ、外務大臣ハ斯様ニ述ベラレタ、即チ第三十八議會ノ速記録ニ「滿蒙ニ於テ日本ガ特殊ノ地位ヲ占ムルニ至リマシタノハ日本ガ此方面ニ於テ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ容易ナラザル努力ヲ爲シタル結果デアリマシテ又支那トノ條約及取極ニ依テ特殊ノ權利及利益ヲ得ルニ至ッタカラノコトデアリマス、カシ日本帝國ガ是等ノ權利及利益ヲ防衛スルコトハ帝國政府ニ於キマシテハ國家ニ對スル當然ノ義務デアッテ支那ニ於テ帝國ノ權利及利益ヲ尊重スルコトハ支那國際上ノ義務ニシテ又日支親善ノ實ヲ擧グルモノデアルト云フコトヲ能ク了解シテ貫ハナケレバナラヌコト、存ジマス」本野ノ外務大臣御自身ガ讀ンダ所ノ施政方針中ノ演說デアリマス、此ノ如キコトヲ述ベラレタニ拘ラズ、其滿蒙解決ノ骨子タル警察官配置、軍事顧問僱聘、此二箇條ヲ取除イテ仕舞ッタナラバ、交渉ノ目的物ハ全然破壞セラレタノデアアル、恰モ下手ノ畫家ガ龍ヲ畫クニ睛ヲ點ゼザルニ同ジク、露骨ニ申セバ已ニ期限到著ノ證文ヲ以テ債權者ガ、負債者ニ催促シテ嚴談ノ結果、利息ヲ受取リ證文ヲ返シテ歸ッテ來ルト元金ヲ取ルコトヲ忘レタト同ジコトデ、頗ル是ハ吞氣ナ外交デアルト本員ハ信ズルノデアアル、更ニ本員ハ進ンデ本來此外交文書ヲ提出方法ガ誤ッテ居ルト云フコトヲ指摘シテ、當局ノ教ヲ承リタイ、即チ當初我が要求ノ條項ヲ何故ニ第一ノ要求、第二ノ支那ガ隨意ニ提出スベキモノト云フヤウナ譯ニ區別シタノデアアルガ、要求スベキモノハ當然列舉シテ、サウシテ其列舉シタル以上ノ中、枝葉ハ讓ッテモ根本ダケハ終始一貫之ヲ固執シナケレバナラヌ筈ト思フ、又支那ノ任意ニ任セルト云フ箇條ノ中ニ、此軍事顧問僱聘ノ事ヲ入レテアリマスルガ、誰トテ世界中ニ是ハ隨意ニサッテ宜シト言ハレテ、ソレデ其隨意條項ヲ承知致シマシタト云フ者ガ御坐イマセウカ、何故初カラ此隨意條項ニアッタ所ノ軍事顧問僱聘ノコトヲ、第一ノ要求ニ入レテコソ、初メテ此目的ハ達セラレヤウト私ハ思フ、又今一步進ンデ論ゼンニ、抑、我國ト支那

トノ交渉ノ精神及主張ガ、此協定書ニ依レバ全ク彼ノ爲ニ蹂躪セラレテ居ルヤウニ本員感ズル、當局ハ日支親善ト云フ意味ヲ以テ此交渉ヲ開始シ、又我が權利ニ付テ主張ヲナサレタ、併シ支那ハ一々巧妙且ツ峻烈ニ之ヲ拒絶シテ居ルコトハ、彼我ノ文書ヲ對照シテ見レバ明白デアアル、權利者タル我國ハ恰モ義務ナルガ如ク、却テ義務者タル支那ハ恰モ權利者タルガ如ク、本野外務大臣ハ恰モ伍廷芳ニ教ヘラレルガ如キトコロノ往復文書ヲ、本員ハ此處ニ引用スルノデアアル、尙此引用文書ニ至ッテハ後段ニ二三ノ要點ヲ申述ベテ見マヌルガ、此事ニ付テハ文書ノ上ニ於テ明白デアラウト思フ、即チ帝國ガ提出シタル一月五日士官學校ニ——我將校若干名備入ノ希望ニ對シテ、林男爵ハ斯様ナ交渉書ヲ送ッテ居ル「右ハ將來滿蒙地方ニ派遣セラルベキ支那士官ノ養成ヲ幫助シ以テ日支親善ノ精神ヲ能ク該士官等ニ徹底セシメ長ク滿蒙地方ニ於ケル今同ノ如キ不祥事件發生ノ禍根ヲ絶タントスル趣意ナリ」之ニ對シテ支那外交總長ノ交渉書ハ、眞ニ寸鐵人ヲ殺スノ文字ヲ以テ簡潔ニ日本ノ要求ヲ一蹴リニ蹴飛バシテ居ル、是ハ外務省ノ答辯ノ趣意トハ本員ハ違ッテ居ルヤウニ感ズル、彼レ曰ク「支那士官學校ハ本國陸軍軍人ニ依リテ教授シ未ダ外國人ヲ備聘シ教官ト爲スノ意思ナシ」ト斯様ニ刎付ケテアリマス、又南滿洲デ日本ノ將校ヲ軍事顧問ト爲スト云フコトノ希望ニ對シテ、我國ノ書類ニハ「兩國ノ誤解ヲ豫防スル目的」ヲ以テ云々ト斯様ニ述ベタ、是ガ即チ外務當局ノ答辯ニ對スル本員再質疑ノ要點デアアル、即チ支那ハ張作霖ガ既ニ我將校ヲ備聘シテ居ルコトヲ奇貨ト致シテ斯様ニ言ウテ居ル「奉天督軍公署ニハ既ニ貴國軍事顧問ヲ備聘シ居レリ」——「既ニ貴國軍事顧問ヲ備聘シ居レリ御來示ノ件ハ正ニ閱シ悉セリ」ト云フ文章「ト巧ミニ二三行半ノ離縁狀ヲ以テ斷ッテ居ル、此當局答辯書中ニ言ハレタ所ノ「來示ノ段ハ正ニ閱シ盡セリ」是丈デアリマスガ前文ニ唯今私ノ讀ミマシタル「奉天督軍公署ニハ既ニ貴國軍事顧問ヲ備聘シ居レリ」ト云フ前文ガ附テ、而シテ終リノ「御來示ノ件ハ正ニ閱シ悉セリ」ト云フ文章ガアッテ始メテ首尾一貫シテ全文ノ意味ガ分ルヤウニ信ジマス、殊ニ「御答辯ノ警察官配置ノコトハ我國ハ主張ニ於テモ事實ニ於テモ何等之ヲ撤回若クハ變改シタルコトナシ」ト云ハレマスガ、外務省ノ既ニ公表シタル此交渉文ヲ見レバ、本員ハ斯様ニハ信ゼラレマセヌ、乃チ我國ハ此

時ニ於テ警察官配置ノ件ニ付テ帝國公使ハ堂々トシテ斯様ナ文書ヲ支那ニ渡シテ居ル、曰ク「日支條約施行ノ結果トシテ滿蒙地方ニ増加スベキ帝國臣民ノ保護及取締必要ノ義務及帝國ノ權利」ト斯様ニ述ベテ進ンデ「日支兩國々々ノ圓滿ヲ期スルガ爲メニ」ト説キ一步ヲ加ヘ「此事畢竟領事裁判權ニ伴フ當然ノ處置トシテ支那ノ主權ヲ侵サル、ハ勿論日支兩國官民ノ關係ヲ良好ナラシメ兩國經濟ノ發展ヲ期スル所ナリ」云々ト斯様ニ文章ノ上ニ現シテ居リマス、然モ最後ニ斷案トシテ最後通牒ノ意味ヲ以テ、帝國ハ左ノ文字ヲ加ヘテ居リマス、即チ「若シ支那國政府ニシテ之ニ同意ヲ與フルヲ躊躇セラル、場合ハ帝國政府ニ於テハ必要ニ應シテ之ヲ實行スルノ已ムヲ得サルニ至ルヘキコトヲ茲ニ聲明ス」如何ニモ堂々タル文字デ、近來ノ外交文書中ノ傑作デアリマスガ、併シ支那ノ我要求ニ對スル回答ノ文書ハドウデアアルカ、斯様ニ言ッテアル「日支條約第五條ニ依レバ滿蒙ニ於ケル日本臣民ハ中國警察官ニ服従スルコト、ナリ隨ッテ中國警察之ガ保護取締ヲ實行シ得ル次第ナリ然ルニ更ニ日本警察官ヲ配置シテ日本臣民ノ保護取締目的トセラシムル、ハ既ニ條約ノ規定アル以上再ビ貴國警察ヲ設ケテ支那警察官ト衝突スルガ如キコトナキヲ可トス」更ニ進ンデ彼レハ我主張セル領事裁判權ニ關シテ明白ノ回答文ヲナシテ居リマス、即チ「此警察問題ハ從來ノ法規トハ何等關係ナク支那ガ各國ト條約シテ以來未タ此ノ如キコトナシ」ト拒絶シ、更ニ我が提出シタル日支親善ノ論旨ニ對シテ此「警察官配置ハ支那人民ノ側ニモ宜シカラズ却テ兩國親善ノ妨害タリ」ト斯様ニ明白ニ我が要求ヲ拒絶シテ居ル、更ニ驚クベキ事ハ此談判開始前日露戰爭以後、我國ガ滿洲ニ配置シテ居ル所ノ警察官ニ對シテ、支那ハ明白ニ抗議ヲ申込ンデ居リマス、此申込ノアルニモ拘ラズ、其申込ニ對シテ帝國政府ノ答辯書ニハ一言辯駁ガアリマセヌ、ソコデ此第五條ノ警察官ニ服従スルコト云フコトノ支那ノ申出ハ、是ハ條約ニ對シテ無法違反デアルト本員ハ信ズル、ト申スノハ成程條約ノ第五條ノ本文ニ於テハ斯様デアアル「滿蒙ニ於ケル日本帝國臣民ハ支那國警察法令及ビ課稅ニ服従スベシ」斯様ニ本文ハ規定シテアリマスガ、其第五條ノ支那警察法令ニ關シテ別ニ書面ヲ以テ必ズ我領事ト協議ノ上施行スルト云フ規則ガ書イテアル……簡單ト言ハレテモ是等ノ證據ヲ舉ゲネバナラナイ、此書類ニ依テ見ルト

「日本國領事官ト協議施行スベキ儀ニ有之候」ト是ハ支那ノ外務大臣カラ帝國林公使ニ送ツタ所ノ書付デアル、乃チ此條約及往復文書ニ照シテモ何故ニ我政府ハ支那ノ申出デタ支那ノ警察令ニ服從セネバナラヌト云フヤウナ、此論旨ニ對シテ駁撃ヲ試ミナカッタノデアリマスカ、又奉天ノ軍事顧問ノ事ニ關シテハ是モ亦支那ハ日支條約ノ公文ニ斯様ニ言ツテ居ル「以書翰啓上候陳者總長ハ支那國政府ノ名ニ於テ茲ニ左ノ如ク貴國政府ニ對シテ聲明スルノ光榮ヲ有シ候支那國政府ハ將來ニ鑑ミ滿洲ニ於テ政治財政軍事警察ニ關スル外國教官ヲ僱聘セントスルトキハ眞先ニ日本人ヲ僱聘スベシ」茲ニ御注意ヲ願ヒタイノハ、此書翰中ニアル僱聘セントスル其時ハ何時デアルカ、即チ鄭家屯事件ノ如キ不祥事件ノ起ツタ時コソ絶好ノ機會デアアル、何故ニ此機會ニ我國ノ軍事顧問ヲ僱聘セシメザリシヤ、我帝國ハ此機會ヲ利用シテ始メテ能ク日支條約第五條ニ關スル此覺書ノ公文書ノ精神ヲ活カサナイノデアリマスカ、此論理カラ見レバ如何ニシテモ最後通牒同様ノ文書ヲ加ヘタル、即チ我ハ自由行動ヲ執ルトマデ言ヒ放ツタル警察官配置ノ件、第二ニ軍事顧問、此一條件ハ拔キニシテ茲ニ解決シタト云フ此腕前ハ、如何ニシテモ堂々タル一國ノ外務大臣若クハ大使ノ御資格アル人トシテハ、遺憾ナガラ本員ハ恰モ是ハ外交官試補ニモ及バザル伎倆ト結論セザルヲ得ナイノデアリマス、況ヤ此日支條約前、既ニ我國ニ取ツテ居ッタ既得權トモ謂フベキ、滿蒙ニ於ケル既設ノ警察官及駐在所ニ付テマデモ不承認ノ抗議ヲ提出セラレ、一言之ニ辯駁ヲ加ヘナイノミナラズ、反對ニ最終ノ公文書ニ付テ見レバ支那ヨリアベコベニ當時四平街ヨリ鄭家屯マデ置イタ我兵隊ニ對シテ、何時之ヲ撤退スルカト云フ逆襲ヲ受ケテ居ル、之ニ對シテ我公使ハ支那デ右解決シタ五箇條ガ全部實行サレタ曉ニハ、此事ヲ履行致シマスト斯様ニ言ハレテ居リマス、更ニ最後ニ於テ此日本政府ノ發表シタル公文ニ依レバ、其解決點ハ一二三四五條トアリマシテ、四箇條ト四箇條即チ八箇條、全部ヲ出シテ是ダケ交渉シテ、此五條ダケ得タト言ハズニ唯其得タモノダケヲ示シテ、恰モ我勝利ヲ占メタカノ如ク此公文書ノ發表ハ如何ニシテモ當局者自身ガ自己失敗ヲ隱サウトスル、而モ隱シ切レナイ内部ノ事情ハ、支那政府ガ發表シタモノト幾分力大要ニ於テ同ジ所ノモノガアル、此發表ト支那政府ノ發表シタル鄭家

屯事件、日支交渉ノ往復文書、及始末書、之ヲ較ベテ見マシレバ此詳細ノ八箇條及ビ其交渉文ヲ書カズ「唯得タケノ五箇條ヲ載セテ後ノ必要ナル三箇條中ノ要求ヲ撤回シタト云フコトハ、即チ支那ニ議論ツクメニ於テ負ケタ結果、已ムナク撤回セザルヲ得ナカッタト云フコトヲ、公文書ニ依リテ證明セラル、所謂頭隠シテ尻現ハレタル、是レ馬脚的外交トデモ本員ハ言ハナケレバナラス、遺憾ナガラ彼此ノ公文書ニ付テ此點ニ向ッテ外務大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、最早多言ヲ要シマセヌ、支那ハ此問題ニ付テノ最後ノ解決ニ斯様ニ云ツテ居ル曰ク「支那ノ政府ハ互讓ノ精神ヲ以テ誠ヲ啓キ公ヲ布キ日本公使ト平和各項ヲ協商ス讓歩既ニ證明スルニ足ル」斯様ニ支那ノ公文書ニハアリマスガ、日本カラ申シマスレバ此鄭家屯事件ノ解決ノ總テノ書類ニ依ツテ之ニ本員ノ論評ヲ加ヘレバ「支那政府ハ互讓ノ名ニ於テ其既ニ失墜スル權利ヲ回復シ、帝國政府ハ日支親善ノ空名ニ囚ハレテ其既得ノ權利マデモ讓歩シタルモノデアアル」即チ是ガ本員ガ當局ノ此答辯ニ對シテ依然我正當ナル主張及ビ權利ハ帝國之ヲ拋棄シ、外交上ノ失敗ヲ招ギ、日支親善主義ナルモノハ此大正六年一月二十一日以來日支屈善主義ト改名シタモノデアアルト、此紀念ト恥辱トガ此交渉案デアルト云フ趣意ヲ以テ、當局大臣ノ答辯ヲ望マンガ爲ニ、茲ニ質問ヲ致シタ次第デアアル、終ニ臨ンデ議長ノ許可ヲ得テ此兩國政府ノ公文書ヲ速記録ニ載セルコトニ致シマシテ、天下ノ公論ニ其得失ヲ訴ヘルコトニ致シマス

(參照略)

之ニ對シ本野國務大臣ハ左ノ應答ヲ爲セリ

諸君、唯今鄭家屯問題ノ政府ノ答辯ニ付テ長々ト望月君カラ御質問ガアリマシタカラ、諸君ハ此成行ハ能ク御解リデアッタラウト思ヒマス、唯此問題ニ付テハ既ニ政府ノ意嚮ハ述ベテアリマスカラ、此政府ノ意嚮ニ付テ望月君ト吾輩等ト意見ガ合ヒマセヌノハ甚ダ遺憾ノ至リデアリマスケレドモ、滿天下ノ御具眼ノ御方ハ利害何處ニアルカト云フコトハ明カニ御判斷ガ出來ヤウト

思ヒマスカラ、私茲ニ多辯ヲ加ヘマセヌ、唯ダ一言申上ゲテ置キタイコトハ、滿蒙ニ於ケル帝國ノ地位ヲ明カニシテ帝國ノ利益ヲ増進スルト云フコトニ付キマシテハ、本大臣ガ日露戰爭後如何ナル努力ヲシタカ、如何ナル效果ヲ收メタカト云フコトハ、滿天下之ヲ知ツテ居ルコト、存ジマスカラ、此際喋々ト滿蒙ニ對スル吾輩ノ政策ニ付テ、コ、デ彼此ト述ブル必要ハアルマイト思ヒマス、恐クハ望月君モ能ク御承知ノコトデアラウト思ヒマスカラ、モウ多言ヲ致シマセヌ、殊ニ唯今ノ長イ御演説デ、或ハ諸君モ御疲デアラウト思ヒマスカラ私ハ是デ……

二 言論壓迫ニ關スル質問

現内閣成立以來猶未タ九閱月ナラサルニ言論文章ノ故ヲ以テ行政處分ヲ受ケ又ハ刑事裁判ニ附セラレタル者三百餘件ノ多キニ及ハムトシ就中新聞紙法及出版法ニ依リ安寧秩序紊亂ノ罪ニ問ハレシ者六十件ヲ超ユ特ニ元老攻撃ノ正義論偶當局ノ忌諱ニ觸レ不敬罪ノ惡名ヲ以テ起訴セラレタル者多數ニ上レルカ如キハ之ヲ國體ノ精華ニ鑑ミ實ニ聖代ノ不祥事ト謂ハサルヘカラス願フニ此ノ如キ不祥事ノ頻出ハ政府カ輿論ノ正當ナル發動ヲ防遏シテ以テ元老閥族ノ勢威ヲ維持セムトスル隱險ナル壓迫政策ノ流露ニ外ナラス爲ニ民心枉屈公論萎靡施テ動モスレハ廢頽危險ノ思潮ヲ誘致スルノ虞無シトセス政府ハ速ニ其ノ非ヲ省ミ苛酷峻辣ニ過キタル取締方針ヲ一擲シテ言論ヲ自由ニシ民意ヲ暢達セシメサルヘカラス政府ハ果シテ其ノ必要ヲ認メスト言フカ政府ノ所見如何

六月二十五日小山東助君ハ右質問主意書ヲ提出シ七月三日其ノ趣旨ヲ辯明セリ

本員ハ内閣總理大臣ニ對シマシテ、言論自由ニ關スル問題ニ付テ質問シタイノデアリマス、此問題ニ付テハ過日總理大臣ノ施政方針演説ノアリマシタ時ニ我黨ノ關和知君ガ此壇上ヨリ先ヅ第一聲ヲ揚ゲラレ、其翌日ノ豫算總會ニ於テハ先輩尾崎氏ガ此問題ニ付テ極メテ沈痛割切ナル質問ヲ發セラレテ居リマス、更ニ六月二十日ニ不信任案討議ノ日ニ於テハ武富、尾崎、島田ノ三先輩ガ夫レトシテ此問題ニ付テ議論ヲシテ居リマス、此言論壓迫ノ問題ニ付テハ、他ノ問題ハ兎モ角モ此問題ニ付テハ總理大臣始メ内閣ノ諸公ニ於カレテハ、必ズ深ク省ル所ガアラレル事トハ信ジマスルケレドモ、未ダ其明白ナル保障ヲ得ナイノデアリマスカラ、本員ハ重ネテ茲ニ之ヲ質問致シマス、併ナガラ諸先輩ノ既ニ質問シテアル所デアリマスカラ、本員ハ力メテ議論ノ重複スルコトヲ避ケタイ考デアリマスケレドモ、問題ノ性質上多少重複ヲ免カレナイ點ガアルカモ知レマセヌ、是ハ更メテ御諒察ヲ願ヒタイ、且ツ此問題ニ付テハ私ハ憲政會ニ席ヲ置ク一人デアリマス、又此演説ヨリ此聲ヲ發シタ者ハ殆ド全部憲政會ノ人ニデアリマスルケレドモ、苟モ言論ヲ以テ世ニ立ツ者、又立憲政治ノ發達ヲ冀フ者、思想ノ自由ナル進歩ヲ願フ者ハ、政黨政派ニ關係ナク、皆此問題ニ付テハ心ヲ勞シテ居ル事ト信ジマス、本員モ之ヲ一黨一派ノ問題トシテ茲ニ質問スルノデアリマセヌ、全國ニ互ル所ノ總テノ人々ニ關係スル問題トシテ此質問ヲ提起スル次第デアリマス、願クハ總理大臣ニ於キマシテモ其御積リデ暫クノ間御清聽ヲ願ヒタイ、一體此言論壓迫ノ問題ガ起リマシタノハ、二ツノ大ナル動機ガアルト本員ハ考ヘテ居リマス、此二ツノ動機ノ一ツハ昨年十月ニ於ケル内地ノ政變デアリマス、モウ一ツハ本年三月ニ於ケル露西亞ノ革命デアリマス、此内地ノ政變ト露西亞ノ革命トガ此言論壓迫問題ニ深キ因縁ヲ有ツテ居リマスルガ、此二ツノ動機ニ依リマシテ總理大臣ガ言論思想ノ取締ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ御考ニナツタ根本ノ精神ニ於テハ本員モ聊カ同情ヲ有スル考デアリマス、ソレ故ニ本員ハ此席上ニ於キ

マシテ、本日ハ總理大臣ヲ攻撃スル、總理大臣ヲ彈劾スルト云フ考ヲ以テ此事ヲ質問スルノデハアリマセヌ、本員ハ苟モ寺内首相ガ總理大臣ノ地位ニ居ル間ハ、國政ヲ總理大臣ガ擔當シテ居ラレル間ハ、縱令本員個人ハ寺内首相ヲ信ジナイトシテモ、此首相ガ國政ヲ擔當シテ居ル間ハ、苟モ其爲ス所ニ依ッテ國家ニ禍ノ少シデモ少ナカラムコトヲ希望スルガ故ニ、今日ハ專ラ希望警告ノ意味ニ於テ此質問ヲ發シマス、昨年ノ十月内地ノ政變ノ後ニ寺内伯爵ガ大命ヲ拜受セラレテ、一身ノ成敗利鈍ヲ顧ミズシテ時局ノ艱難ヲ擔當スルト云フコトヲ言ハレテ居ル、私ハ此事ハ寺内伯爵ハ御自身ニ於キマシテハ無論眞實デアラウト信ジマス、併ナガラ是ト同時ニ此政變ニ聯關シテ、多數國民ノ間ニ拂フコトノ出來ナイ疑惑ノ存スルコトモ亦同時ニ眞實デアルト本員ハ信ズル、突如トシテ超然内閣ノ現ハレタ其背景ニ、其根柢ニ元老ノ跋扈權臣ノ横暴ト云フ事實ガ存在シハシナイカト云フ疑ハ全國國民ノ胸底ニ横ハッテ居ルコト、私ハ信ジマス、慷慨ノ餘リ此確信ヲ或ハ文字ニ書キ、或ハ之ヲ演說ニ發表シタ人ハ、少ナカラヌデアリマス、其議論ノ中ニハ寺内内閣ニ取ッテ不利益ナルモノモ多クアッタデアリマセウ、元老擁護ニ對シテ不利益ナルモノモ多クアッタデアリマセウ、己レノ内閣、己レノ一味ニ取ッテ不利益ナ言論ニ對シテ、之ヲ幾分取締リタイ、之ヲ幾分鎮壓シタイト云フノハ人情ノ常デアッテ、寺内内閣獨リ敢テ之ヲ爲ストハ言ハナイ、サウ云フヤウナ氣分ヲ催フセラレルコトハ自ラ當然デアリマセウ、併ナガラ政府ガ自己ノ不利益ナ言論ハ出來ル限リ鎮壓シタイト云フ考デ以テ政策ヲ執ラレタト云フコトニ付テハ、私ハ尙之ヲ穿ッテ深ク穿鑿ハ致シマセヌ、善意ニ暫ク之ヲ解釋シテ置キマセウ、善意ニ解釋スレバ此政府ト元老トニ不利益ナル言論ノ中自ラ 皇室ニ對シテ恐多イ言論ガアリ、自分等ガ攻撃セラレルト同時ニ 皇室ニ對シテ又恐多イ言葉ヲ發セラレルノハ寺内伯爵トシテハ 皇室ニ申譯ナイト云フ御考カラ、何トカシテ之ヲ取締リタイト云フコトモ、私ハ善意ニ解釋スレバ寺内伯爵ノ心理ノ中ニサウ云フ動機ノ存在スルハ、左マデ疑ヒハ致シマセヌ、寺内伯爵ハ宮中ニ對シテ 皇室ニ對シテ恐多イ言論ハ之ヲ取締リタイト云フ御考ヲ有タレタト云フコトハアルカモ知レマセヌ、多分アルデアリマセウ、若シサウ云フ御考カラ出タノカトモ善意ニ解釋スレバ考ヘラ

レマスガ、併シ吾々ノ立場カラ申シマスルナラバ、苟モ元老ヲ攻撃スル、元老ヲ攻撃スレバ自ラ元老ノ宮中ニ於ケル言動ヲ批評シナケレバナリマセヌ、宮中ニ於ケル元老ノ言動ヲ批評セントスレバ、自ラソレガ 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルト云フ罪名ヲ受ケル危険ガアル、否サウ云フヤウナ危険ガ事實ニ現ハレテ居ルト云フコトニナリマスカラ、識者ハ之ヲ憤ラザルヲ得ナイノデアリマス、彼ノ古イ歴史ノ中ニアル、所謂忠臣義士ト云フヤウナ者ハ皆是ハ君側ノ奸ヲ除イテ朝廷ヲ肅清シタ人デアリマス、寺内伯爵ハ前同議會ヲ解散スル時ニ、議院ヲ肅清スルト云フ言葉ヲ發セラレタガ、寺内伯爵ハ今日誠實ナル心ヲ以テ議院ヲ肅清スルトサウ叫バル、カ知ラヌガ、古ヘノ忠臣義士ハ君側ノ奸ヲ除イテ朝廷ヲ肅清シタ、苟モ君側ノ奸ヲ除カントスレバ身自ラ君側ニ近クカ、或ハ言葉ヲ以テ君側ニ觸レルカ、是ハ實ニ已ムヲ得ザル事ト思フノデアリマス、本員ハ大正ノ今日ニ於キマシテ我ガ日本ノ政治家ノ内ニ袁龍ノ御袖ニ隠ル、權臣在リトハ申シマセヌ、聖座ヲ楯トスル元老在リトハ申シマセヌ、併ナガラ若シ日本ニサウ云フヤウナ權臣ガアリ、外國ウナ元老ガアッテ政治上ノ最モ高イ權力ヲ振ッテ居ルヤウナ疑ヲ國民ノ中ニモ懷ク者ガアリ、外國ノ識者モ亦之ヲ懷クヤウナコトガ事實アル以上ハ、本員ハ之ヲ以テ深く遺憾トシナケレバナラヌノデアリマス、寺内伯爵ハ先日豫算委員會ニ於ケル尾崎氏ノ質問ニ答ヘラレタ、尾崎氏ハ古ヘノ忠臣北島親房又高山正之ノ例ヲ引イテ、寺内伯爵ニ質問セラレタノデアリマス、其時ニ寺内伯爵ハ是ニ答ヘテ「今日罪ニ問ハル、人々ハ古ヘノ忠臣義士ト同ジヤウナ人デアアルトハ信ジナイ」ト云フヤウナ意味ノ言葉ヲ發セラレマシタ、或ハ然ラン、北島親房ノ勤王論ト云フモノハ實ニ萬古ヲ照ス所ノ光デアリマス、萬古ヲ照ス光ヲ放ツ、此様ナ大人物ガ何時ノ世ノ中ニモ存在スルト云フコトハ吾々ハ信ジマセヌ、高山正之ガ鴨川ノ畔カラ皇城ヲ眺メテ熱涙ヲ流シタ事ハ今日モ吾々ハ實ニ感奮スル所デアリマス（發言スル者多シ）斯ノ如キ人物——高山ノ如キ忠誠無二ノ人物ガ、今日内閣諸公ノ中ニ在ルカト問ハレタラバ内閣ノ諸公ハ果シテ何ト答ヘラレルカ、吾々ハ今日内閣諸公ノ中ニ高山ノ如キ人物ヲ求ムル者デハナイ（此時發言スル者多シ）寺内伯爵ハ一時ノ御答トシテ、アノヤウナ御言葉ヲ發セラレル事ハ宜イカモ知レマセヌケレドモ、斯ノ如キ御言葉ヲ

發セラレマスルト動モスレバ其真面目ヲ疑ハレル虞ガアルト思ヒマスカラ茲ニ言及シマスガ、私古ヘノハ忠臣義士ノヤウナ人物ガ今日多ク存在スルトハ心得ヌケレドモ、併ナガラ我が日本帝國ノ臣民ノ中ニハ是等古ヘノ忠臣義士ノ精神ガ活キテ働イテ居ルコトハ確信シテ疑ヒマセヌ、若シ此忠臣義士ノ精神ガ我日本帝國ノ國民ノ魂ノ中ニ活キテ働イテ居ナイトスルナラバ、大日本帝國ハ如何ニ之ヲ萬世ニ保全スルコトガ出來マスカ、吾々ハ國民ヲ信ジマス、國民ノ勤王心ヲ信ズル、此國民ノ勤王心ヲ信ズルト否トハ、今日ノ言論ノ自由ニ對スル態度如何ト云フ問題ノ根本ニ關係ガアルノデアリマス、吾々全國ノ中ニ働イテ居ル所ノ此勤王心ハ、是ハ實ニ護國ノ魂デアッテ、皇室ノ藩屏デアアル、皇室ノ藩屏ハ單ニ千戸ニ充タザル華族ノ獨占スベキモノデアリマセヌデ、是ハ五千萬ノ同胞全體ヲ舉ゲテ、皇室ノ藩屏トシナケレバナラヌデアリマス、即チ勤王心ハ少數華族ノ專賣物デアリマセヌ、吾々ハ寧ロ一步ヲ進メテ軍閥官僚ノ徒ノ恰モ獨占的ノモノデアルカノ如クニ唱ヘル、貴族的勤王論ハ之ヲ排斥シテ五千萬同胞ト共ニ民本的勤王論ヲ唱ヘル者デアリマス、寺内伯爵ハ本員ノ意思ノ存スル所ヲ多分御了解下サルコトト本員ハ信ジマスルガ、而モ昨年十月ノ政變ニ伴ヒマシテ幾多ノ刑事事件ガ現ハレテ居ル、本員ハ此處ニ於テ此質問ヲ發シマスル以上ハ、或ル自分ニ關係ノアル一二ノ人ヲ救フト云フヤウナ考ヲ持ッテ言フノデハナイ、本員ハ之ヲ日本國全體ノ問題トシテ質問致スノデアリマスガ、寺内伯爵ハ此昨年ノ政變ニ伴ッテ起レル種々ノ問題ニ關シテ、恰モ日本帝國國民ノ勤王心ヲ疑フカノ如キ感ジテ世間ニ與ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、宜シク政治上執リ得ベキ範圍内ニ於テハ、最モ寛大ナル精神ヲ以テ此國民ニ流マナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、然ルニ元老ヲ攻撃スレバ政府ハ其元老ノ地位ヲ擁護セムガ爲メ、之ニ反對スル言論ヲ爲ス者ノ言葉ヲ捉ヘテ、恰モ不敬ノ罪ニ問フカノ如キ疑ヲ招グト云フコトハ、是ハ寺内伯爵ノ爲ニ取ツテモ甚ダ惜ムベキモノデアリマスカラ、今後ニ於キマシテモサウ云フ辛辣苛酷ナル檢舉ハ御廢メニナッテ、サウシテ政府ノ方針ヲ御一變ニナッテナラバ如何デアルカ、寺内伯爵ハ此ノ如キ考ヲ今日ニ於テハ持ッテ居ラル、ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、若シモ今日ノヤウナ方針ヲ其儘續ケテ參リマスレバ、政府ト民衆トノ間、元老ト民衆トノ

間ニ一種忌ムベキ反感ヲ重ヌルバカリデハナク、洵ニ畏レ多イコトデアリマスガ、民衆ヲシテ唯ダ徒ラニ、皇室ヲ畏レ奉ラシムルト云フコトニナッテ、二千五百年ノ間(此時發言スル者多ク議場騷然)愛ノ關係ニ於テ結ビ附イテ居ル所ノ、皇室ト臣民トノ間ニ、萬ガ一デモ圖ラヌ所ノ罅隙ヲ唯ノ一分一寸ナリトモ生ズルヤウナコトガアッタナラバ、其責任ハ何人ニ歸スルコトニナリマスカ、千丈ノ堤モ蟻ノ穴ヨリ崩ル、ト古人モ言ウデアリマスガ、苟モ、陛下ノ重臣タル寺内伯爵タル者ハ、此ノ如キ重大ナル問題ニ付キマシテハ、薄氷ヲ履ムノ敬虔ナル心ヲ以テ君ト民トノ間ニ存スル愛敬ノ關係ヲ萬世ニ保ツダケノ御用意ガ無ケレバナラヌト信ズルノデアリマス、私ハ誠意アル寺内總理大臣ハ必ズ其點ニ付テ省ミラレル所ガアルト信ジマスカラ、此際特ニ其事ヲ質問スルノデアリマス、是ガ本員ノ質問ノ第一點デアリマス、第二ノ點ニ於キマシテハ私ハ所謂世間ノ言論壓迫ノ方針ナルモノハ、露西亞ノ革命ノ結果トシテ現ハレタト云フコトヲ信ジマス、私ハ此事ヲ申述ベル前ニ一應議場ニ御注意ヲシタイト思ヒマス、私ハ此議場ノ議員ノ言論ニ對スル態度ニ付テ、外ナラザル遺憾ヲ持テ居リマス、先刻樋口君ガ此壇上ニ立ッテ(此時發言スル者多ク議場騷然)樋口君ノ演說ニ對シマシテ或ル一部カラシテ危險思想ト言フ……(議場騷然)言葉ヲ發セラレタコトヲ聞キマシタ、私ガ之ヨリ諸君ニ申述ベヤウトスル意見ハ極メテ機微ナル問題ニ互ッテ居リマスカラ……(此時發言者多ク議場騷然)私ノ言葉ヲ靜肅ニ御聞キ下サイマセヌト云フト、先程樋口君ノ演說ノ場合ニ危險思想ナド、云フヤウナ御發言ガアリマシタ、ガ、私ガ是カラ申述ベル場合ニ又私ニ對シテ之ト同様ナ批評ヲ下サリマシテハ本員ハ甚ダ迷惑スルノデアリマス、注意シテ申述ベル積リデアリマスケレドモ、之ニ向ッテ本員ノ希望ヲ容レナイデ……(議場騷然)今日ノ總理大臣ヲシテ言論思想ノ取締ヲシナケレバナラヌト考ヘラレタ第二ノ動機ト本員ハ之ヲ察スルノデアアル、此露西亞ノ革命ノ起ッタノハ三月デアリマシテ、本員共ハ選舉ニ没頭シテ居タ時デアリマスガ、併シナガラ胸中ニハ此事ニ付テ幾分ノ憂ヲ持ッテ居ッタ、其憂ノ一ツハ此露西亞ノ革命ハ根本ニ於テ「ニコラス」皇帝ガ讓位セラレタ「ロマノフ」ノ王朝ガ倒レタコトデアリマスカラ、境ヲ接シテ居ル露西亞國ノ帝政ガ破レタト云フコトニ付キマシテ吾々ハ深ク

遺憾ヲ感ジタノデアリマス(議場騷然)何故此事ニ付キマシテ吾々ガ憂ヘザルヲ得ナカッタカト言ヒマスレバ、是ハ獨リ本員ノ憂ヘタノミデハナイ總テノ人ノ憂ヘテ居ルコト、信ジマスガ、露西亞ノ皇室ガ意外ニモ脆クモ倒ル、ニ至リマシタノハ「ロマノフ」王朝ガ其基礎ヲ國民全體ニ置カズシテ、一部少數ナル貴族ノ官僚ノ擁スル所トナッタノデアアル、此ニ於テ本員ハ「ニコラス」皇帝讓位ノ悲劇ニ對シテ無限ノ同情ヲ禁ジ得ザルト同時ニ、孰レノ國タルヲ問ハズ宮廷ヲ勢力ノ中心トスル軍閥官僚等ノ寡頭政治ニ對シテハ、滿腔ノ憎惡ヲ禁ジ得ナカッタノデアリマス、(議場騷然)ソレデアリマスカラ思フニ寺内伯爵モ此事件ニ付キマシテハ深ク心配ヲセラレテ、此露西亞ノ革命ヲ對岸ノ火災視スル譯ニハ行カナク、此驚天動地ノ革命ガ帝國ノ中ニ何等カノ惡感化ヲ齎ラサヌヤウニ……寺内伯爵ハ外國ニ起リタル所ノ此事實ガ、日本人ニ惡感化ヲ起サセマイト云フヤウナコトノ爲メニ、言論ノ取締ヲ考ヘタノデアリマセウ、凡ソ外國ノ政變ガ起ッタ場合ニ、其政變ニ伴フ所ノ惡感化ヲ免レヤウト致シマスノハ、苟モ國家責任ノ地位ニ在ル人ノ寺内伯爵ノ此露西亞ノ惡感化ヲ専ラ心配ナサレタト云フコトハ無理モアリマセン、(議場騷然)併ナガラ此ノ如キ政界ノ大變ノ場合ニ於テ、政治家ノ考ヘナケレバナラヌコトガアリマス、今ヲ距ル百二三十年前佛蘭西ノ革命ガ起ッタ場合、英吉利ノ政治家モ同様ニ心配シタノデアアル、其當時ノニ於テアノ英吉利ノ政治家ハ之ヲ恐レマシテ言論自由ノ取締ヲ嚴重ニシタノデアリマスガ、併ナガラ今日百年前ノ英國政治家ノ執ツタ言論取締ノ方針ハ間違ッテ居ル、無用デアッタト云フコトハ明白ニ知ルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ寺内伯爵ハ此露國ノ政變ガ日本ノ思想界日本ノ國民思想界ニ惡結果ヲ齎スコトヲ恐レタ結果デアリマセウ、其取締ノ態度吾々カラ見ルト極メテ辛辣ト考ヘラルルヤウナ方法ヲ執ラレタノデアリマス、是ハ寺内伯爵ノ執ルベキ相當ノ態度デ無カッタト考ヘルノデアリマス、寺内伯爵ガ餘リ辛辣ノ方法ヲ執ラレテ、昨年十一月ヨリ議會ノ開會ニ至ル迄半年間幾ト言論思想界ノ恐怖時代ヲ現出シタト云フコトハ事實之ヲ證明シテ居ル、寺内伯爵ハ左様ナ事ガ無イト考ヘタカモ知ラヌ、併ナガラ寺内伯爵ノ言論取締ノ方針餘リニ苛酷デアアル、餘リニ苛酷ニ過ギテ居ルガ爲メニ口ヲ開カントシテ口ヲ開クコトガ出來ナイ、筆ヲ執ラントシ

テ十分執ルコトガ出來ナイ、一種ノ言論界思想界ノ恐怖時代ヲ出現シタト云フコトハ事實デアアル、若シモ寺内伯爵ガ之ヲ知ラヌ認メヌト言ハル、ナラバ、是ハ餘リニ下情ニ通ザセル者デアアル、若シ所謂下意上達ヲ欲セラル、ナラバ其事情ヲ深ク御考ヘアラシム事ヲ希望シマス、此結果如何ナル事ガ現ハレタカト申シマス、私ハ政論ノ方ハ姑ク措キマシテ、思想方面ノ事實ヲ茲ニ提供シマス、此露西亞革命ノ現ハレタ後、言論取締ノ方針ガ復々極メテ強クナッテ、其結果トシテ政友會所屬ノ方ト思ヒマスガ、彼ノ岡嘉七郎氏ノ主宰シテ居ル雜誌「新公論」モ發賣禁止セラレタノデアアル、其「新公論」ニ載セタ論文ハ「デモクラシー」ノ心理ト題シテアルモノデアリマス、私ハ今此内容ニ立入ッテ論ズルノデアナイ、併ナガラ大體ヲ申セバ此論文ハ一種ノ學術研究ノ論文デアアル、是ハ人ノ知ル所デアリマス、併ナガラ此發賣禁止ニナッタ爲ニ、純粹ナル學問ヲ以テ立ッテ居ル人ハ、其研究ヲ自由ニ發表スル勇氣ヲ失ッタノデアアル、是ニ就テハ寺内伯爵ノ御考ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、此一箇ノ學術的論文ガ發賣禁止ニナッタ結果、新聞記者又大學教授等ノ高キ思想ヲ有ッテ世ノ中ヲ導ク立場ニ居ル人ハ、自分ノ研究ヲ自由ニ發表スル勇氣ヲ失ヒマシテ、自カラ筆ヲ執ルコトヲ恐ル、ヤウニナッタノデアアル、日本帝國ノ思想ノ發達ニ取ッテ非常ナル障害ト考ヘマス、此ノ如クニシテ多數ノ人ハ黙ッテ居ル、沈黙シテ居ルコトガ自分ノ一身上ニ取ッテ安全第一ト云フ考カラ進ンデ社會ノ耳目ヲ開クト云フ先覺者モ其聲ヲ收ムルヤウニナリマシタ、苟モ一國文化ノ源泉デアアル大學教授新聞記者ハ沈黙ヲ守ッテ言論界ハ極メテ平凡ナ黃茅白草ノ觀ヲ呈シテ來マシタ、斯様ナ言論ノミ跋扈シテ雛形ノミノ議論ガ世ニ重ンゼラル、ヤウニナリマシテハ、我帝國ノ興隆ノ機運ヲ拒絶スルコトニナリハシナイカト本員甚ダ之ヲ憂フルノデアリマス、ソレハ思想家ノ一箇ノ論文デアアルケレドモ、此一箇ノ論文ガ發賣禁止ヲ受ケタ、之ガ實ニ思想界全體ニ對スル一大打撃デアルト云フコトハ深ク御考ヲ願ヒタイ、次ハ同ジ五月ノ雜誌「青年雄辯」ガ發賣禁止トナッタ、其中ニ載セテアリマス論文ハ「興國の國民ニ寄語ス」ト云フ論文デアリマス、是ハ某私立大學教授ガ書イタノデアリマス、某教授ノ書キマシタ論文ハ、學術的論文デ一箇ノ倫理思想、極メテ獨創ノ見ニ富デ居ル一隻眼ヲ具ヘタ倫理ノ講演デアリマス、所デ

此論文ヲ載セタ「青年雄辯」ハ發賣ヲ禁止サレタ、サウシテ是ガ起訴セラレ略式裁判ニ依テ處分サレタノデアリマスガ、之ヲ唯一箇ノ事件トシマスト何事モ無イケレドモ、其處ニ大ナル疑問ガアル、某教授ノ書キマシタ論文ヲ起訴致シマシタノハ、僅ニ一行ノ文句ノ故ニ過ギナイノデアリマスケレドモ、此僅カナ一行ノ記事ガ 皇室ニ關係スル國體ニ關係スルコトデアアル、而モ夫レハ一種獨創的ノ倫理思想ナルガ爲メデアリマシテ、是ガ發賣禁止トナツテ司法處分ヲ被タノデアリマスガ、其結果ハドウナルカ、今日ニ於テモ最モ憂フベキコトハ我日本ニ於ケル道德教育倫理教育ノ振ハヌ事デアリマス、何ガ故ニ此道德教育、倫理教育ハ振ハヌカ、倫理教師ハ多ク形式バカリ雛形バカリニ流レテ、生命ノ無イ血肉ノ無イ倫理道德ヲ教ヘテ居ルカラデアリマス、偶々生命アル思想家ガ現ハレマシテ、獨創ノ議論ヲ吐ケバソレガ忽チ司法處分ヲ受ケル、此ノ如クシテ天下ノ思想家教育家ハ自カラ萎縮シテ仕舞フコトニナリマス、結局其倫理學モ道德談モ何等ノ生命ナキモノトナツテシマヒマス、此ノ如キ雜誌論文ニ迄制裁ヲ加ヘルコトニナリマス、恐ラク極言デアアルカモ知レマセヌガ、其極言ハ私ハ決シテ嘘デナイト信ズルノデアリマスガ、日本ノ倫理教師ヲ擧ゲテ雛形教育ヲ教ヘルコトニナツテ、併セテ彼等ヲシテ偽善的皮相的ナ講義ニ其日ヲ送ラシムルノデアアル、本員甚ダ寒心ニ堪ヘヌ、寺内伯ハ其性格ノ上カラ天下ノ倫理道德ニ付テ深ク憂イテ居ル事ト考ヘマスガ、併ナガラ天下ノ倫理教育思想ヲ萎靡セシムルヤウナ、麻痺セシムルヤウナ態度ヲ探ラズ、潑刺タル自由ノ生命ヲ御吹込ミニナルコトヲ希望シテ止マヌノデアリマス、此露西亞ノ革命ハ一面ニ於テ此帝政ノ没落ト云フ點ニ於テ、吾々ハ深ク之ヲ虞ルルノデアアルガ、第二ニ露西亞ノ革命ハ一面カラ見ルナラバ、社會民主主義ノ驚クベキ勃興ヲ意味スルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ寺内伯モ深ク御心配ヲナサレテ居ルコトト思フノデアリマス、私モ亦之ニ付テ深ク心配ヲシテ居リマス、私ハ今日ニ於キマシテ(議場騷然)内ニ在ツテハ社會政策ヲ重ンジナケレバナラヌ、併ナガラ同時ニ他ニ向ツテハ、開國進取ノ國是ニ依ツテ帝國主義的ノ態度ヲ探ルコトモ已ムラ得ヌト思ヒマスガ、露西亞ニ今日現レテ居ルヤウナ社會民主主義ガ我日本ノ思想ノ中ニ浸潤スルコトニ付テハ、本員決シテ贊成シナイノミナラズ

(議場騷然)實ニ深キ心配ヲ持ツテ居ルノデアアル、併ナガラ決シテ外來ノ思想ト云フモノハ唯單ニ之ヲ抑ヘテ、唯單ニ之ヲ堰止メルト云フ丈デハ到底之ヲ抑ヘ切レルモノデナイ、堰止メ得ルモノデアリマセヌ、思想界ノコトハ之ヲ堰止メルト却ツテ混亂スル、一旦之ヲ堰止メテ之ヲ放セバ急湍激流トナリマス、夫故ニ思想界ノ言論ハ自由ニ流レシムルヤウニシナケレバナラヌ、自由ニ流レシメズシテ、徒ニ之ヲ堰止メタリ抑ヘ付ケタリシマス、恐ルベキ結果ヲ生ズルノデ、英吉利ハ自由主義ノ政策ヲ執ツタカラ今日ニ於テハ英吉利ニ於テ殆ド危險思想ナルモノハナイノデアリマス、却テ今日マデ壓迫主義ヲ執ツタ言論ノ自由ヲ許サナカッタ、盛ニ檢閲制度ヲ擴張シテ手嚴シイ制裁ヲ施シタ露西亞ハ、今日ノ如キ状態ニナツテ居ルコトニ鑑ミタラ、今日思想界ニ處シテ如何ナル態度ヲ執ラウカ、世界ノ潮流ニ應ジテ而モ日本帝國ヲシテ甚ダ好マシカラヌ主義ニ浸潤セシメザルヤウニスルト云フコトハ、政治家トシテ將ニ一個ノ見識ヲ開カナケレバナラヌ所ト信ズル、然ルニ寺内伯ハ此點ニ於キマシテ、思想ノ流レヲ堰止メル抑ヘ付ケル態度ヲ執ツテ居タナラバ、或ハ恐ル、危險思想ヲ助成スルコトニナラウト本員甚ダ之ヲ憂ヘテ居ルノデアリマス、本員ノ質問ノ趣意ハ恐ラク寺内首相ガ略、御了解下サレタコト、信ジマスガ、願クハ是等ノ理由ニ鑑ミテ政府ノ政策ヲ一變ナサルト云フ御考ガアルカドウカ、此事ニ付テ懇篤ナル御説明アラシコトヲ希望シマス

之ニ對シ寺内國務大臣ハ口頭ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲ス

諸君、唯今小山君ノ御質問ニ對シテハ簡單ニ御答ヲシテ置キマシテ、詳シイコトハ書面デ御答シマス、政府ハ言論ノ壓迫ト云フヤウナコトハ曾テ爲シタコトハ御坐イマセヌ、又將來ト雖モサウ云フ心得ヲ持ツテ居リマセヌ、併ナガラ言論ト雖モ制限ノアルモノデアリマス、法規ニ於テ許スベカラザル言論ヲナシタルモノハ相當ニ處分スルト云フコトハ、是ハ皆サン御承知ノ通り法規ノ命ズル所デアアル、是ハ政府モ一步モ怠ラズ忠實ニ法律ヲ守ル積リデ、其他ノ事ハ別ニ書面デ御答シマスカラ御答シマセヌ

而シテ後藤及松室兩國務大臣ハ同日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

言論ノ自由ヲ尊重シ民意ヲ暢達セシムヘキハ勿論ナリト雖其ノ言論ニシテ安寧秩序ヲ紊シ風俗ヲ害スルモノアルニ於テハ之ニ對シ取締ヲ爲スハ政府當然ノ職責ナリ然レトモ政府ハ決シテ過酷峻辣ノ取締ヲ爲スモノニアラス新聞紙及出版物ニ對スル禁止處分數ハ別表ノ如クニシテ現内閣ノ成立以來特ニ多キヲ加ヘタルノ事實ナシ而シテ現内閣ノ成立以來新聞紙法ニ依リ安寧秩序ヲ紊スモノトシテ起訴セルモノ十一件新聞紙法第四十二條ニ依リ起訴セルモノ八件ニシテ刑法不敬罪ニ問ヒタルモノ二モナシ又政府ハ元老攻撃ノ故ヲ以テ禁止又ハ告發ヲ爲シタルコトナシ

(參照)

新聞紙法ニ依ル處分處罰件數調(内閣發行)

年別	第二十三條ニ依ル處分件數		第四十一條ニ依ル處罰		第四十二條ニ依ル處罰	
	安寧	風俗	安寧	風俗	尊嚴冒瀆	朝憲紊亂 政體改變
大正二年	四三	〇	二〇	四〇	〇	〇
大正三年	四三四	二五五	一九	一七	一	〇
大正四年	六七	三四	一五	一二	〇	〇
大正五年(前内閣 現内閣)	一一四	一七	四三	二二	五七	〇〇

大正六年
至六月二十日

三六

〇

九

九

一五

六

〇

出版法ニ依ル禁止件數(内閣發行)

年	安寧		風俗		合	計
	案	亂	案	壞亂		
大正二年	一七	一〇九六	一七	一〇九六	一、一三三	
大正三年	三七	六七三	三七	六七三	七二〇	
大正四年	三九	五七六	三九	五七六	六一五	
大正五年(前内閣 現内閣)	三七	四六二	三七	四六二	四九九	
大正六年 至六月二十日	二一	一〇六	二一	一〇六	二二九	

備考

現内閣成立以來出版法第二十六條ニ依ル政體變壞國憲紊亂ノ廉ニ依リ告發シタルモノナシ

三 寺内内閣總理大臣並本野外務大臣ニ對スル質問

六月二十五日樋口秀雄君ハ寺内内閣總理大臣並本野外務大臣ニ對スル質問主意書ヲ提出シ七月三日之ヲ議事日程ニ掲載ス然レトモ當日議事日程ニ入ルニ先チ鵜澤總明君ヨリ該質問主意書ハ第三

第三章 質問及答辯

十八回議會ニ於ケル秘密會議ノ事項ニ關スルヲ以テ之ヲ撤回スヘシトノ動議ヲ提出シ院議該動議ヲ可決シタルニ因リ提出者樋口秀雄君ハ同日之ヲ撤回セリ(本節第六項第四號參看)

四 市町村立小學校教員ノ待遇ニ關スル質問

國力發展ノ上策ハ將來國民ノ中堅タルヘキ小學兒童ノ教育ヲ完全ニスルニ在リ而シテ克ク之カ實績ヲ舉ケムトセハ市町村立小學校教員ノ俸給ヲ國庫ノ支辨ニ移スハ勿論ナリト雖其ノ資格ニ伴フ待遇亦之ニ伴ハサルヘカラス政府ハ左ノ事項ヲ實行スルノ意思ナキカ

一 市町村立小學校教員加俸令ヲ改正シ五年以上勤續シタル者ハ同一府縣ト否トヲ問ハス且其ノ認定ヲ地方長官ニ委セス一般ニ之ヲ給與スルコト

二 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法別表ヲ改正シ俸給相當ノ金額ヲ支給シ得ヘキ途ヲ講スルコト

三 市町村立小學校教員ノ住宅ヲ一般ニ設置シ以テ其ノ位地ヲ安固ナラシムルコト

六月二十五日根本正君外一名ハ右質問主意書ヲ提出シ七月三日根本正君ハ其ノ趣旨ヲ辯明ス

諸君、市町村立小學校教員ノ待遇ニ關スル質問ノ趣旨ヲ述ベマス、國力發展ノ上策ハ將來國民ノ中堅タルベキ小學校兒童ノ教育ヲ完全ニスルニ在リ、而シテ能ク是ガ實績ヲ舉ゲント欲セバ、市町村立小學校教員ノ俸給ヲ國庫ノ支辨ニ移スハ勿論ナリト雖モ、其資格ニ伴フ待遇亦之ニ伴ハサルベカラス、政府ハ左ノ事項ヲ實行スルノ主意ナキカ、一、市町村立小學校教員加俸令ヲ改正シ五年以上勤續シタル者ハ同一府縣ト否トヲ問ハズ且ツ其認定ヲ地方長官ニ委セズ一般ニ之ヲ給與スルコト、第二市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法別表ヲ改正シ俸給相當ノ金額ヲ支給シ得ベキ途ヲ講ズルコト、第三市町村立小學校教員ノ住宅ヲ一般ニ設置シ以テ其地位ヲ安固ナラシムルコト、此三箇條デアリマスガ、帝國ノ安危ヲ定ムルノハ吾々ノ子弟ヲ完全ニ教育スルコト云フコトデアリマス、吾々ノ子弟ヲ教育スルコトヲ完全ニスルノハ、先ヅ以テ其師範タルベキトコロノ教員ト云フモノニ、相當ノ待遇ヲ與ヘナケレバナラヌデアリマス、抑、世界列強ノ歴史ヲ調べ今日世界ノ大勢ヲ調査シテ見マスト、小學校ノ教員ヲ良ク待遇スルトコロノ土地ハ益々進歩發展シ、之ニ粗ナルトコロノ國ハ今將ニ亡ビントスル勢デアリマス、即チ亞米利加ノ如キハ最モ此事ニ注意致シマシテ、既ニ小學校教員ヲ待遇スル途ニ於キマシテハ、實ニ世界ニ冠タルモノデアリマス、其次ニハ英吉利或ハ佛蘭西ト云フヤウナ國ニナリマスルガ、即チ吾々ノ子弟ヲ能ク教育シ國家ノ大計ヲ誤ラザルヤウニスルニハ、如何ニシテモ此小學校ニ重キヲ置クコトガ大切デアル、ソレニ反シテ同ジク米國大陸ニ於キマシテモ、或ハ墨西哥、中央亞米利加或ハ「グワテマラ」伯刺西爾或ハ祕露、歐羅巴ニ於テモ其通リデ、假リニ歐羅巴ノ中デモ英佛ノ外第三國トモ云フトコロノ西班牙其他ノ地方ヘ參リマスト、矢張或ハ中央亞米利加或ハ南亞米利加ノ如ク、同ジ歐米ニ於キマシテモ小學校教員ノ待遇ト云フモノハ行ッテ居ルコトデアリマス、殊ニ我ガ東洋ニ於キマシテハ常ニ上ニ厚クシテ下ニ薄イト云フトコロノ習慣ガアルノデアッテ、殊ニ今日支那ノ今將ニ大亂トナラントスルヤウナ萌シ、既ニ此議場ニ於テモ問題トナラントスルヤウナ譯デ、何カラ起ッタト云フナラバ、即チ我日本帝國ニ於キマシテハ五十年前ニ此小學校令ト云フモノガ出來タゲレドモ、支那ハ今日ニ於テモ此小學校令ト云フモノガ無いコトデア

リマス、是等ノ近キ例ヲ採リテ見マシテモ、此小學校ノ教員ヲ待遇スルニ吾々國民トシテ重大ナル責任ヲ有テ居ルト云フコトヲ明カニ證明スルコトデアリマス、幸ニ我日本帝國ニ於キマシテハ、王政御一新當時ニ於キマシテ、此教育事業ニ付キマシテハ諸君ノ御承知ノ通り、中村敬宇先生ノ如キ、或ハ福澤諭吉先生ノ如キ、殊ニ此行政ニ關係シマシテ文部大臣ト致シマシテハ子爵森有禮君ノ如キ人ガアリマシタカラシテ、幸ニ小學校令ト云フモノガ發布サレテ、今日不完全ナガラモ小學校ノ法令ガ具テ居ルコトデアリマス、是ハ洵ニ我日本帝國ガ東洋ニ於テ何故ニ秀デタト云フコトヲ證明スルコトガ出來ルナラバ、幾ソモ其論證ハアリマスケレドモ、斯ノ如キ吾々ノ先輩タル學者又此學齡兒童ニ對シテ、最モ有力ナル法例ヲ施カレタトコロノ森有禮君ノカヲ實ニ吾々國民トシテ深ク感謝スベキコトデアラウト思ヒマス、幸ニ衆議院ニ於キマシテモ是等ノ趣旨ヲ繼イデ明治三十二年、即チ第十三回議會ニ於キマシテ、小學校授業料全廢ト云フ建議案ヲ通過シマシタ、ソレハ第十三回議會デ明治三十二年二月デアリマシタケレドモ、ソレガ通過シマシタカラ、直チニ此衆議院ニ於キマシテ小學校教育費國庫補助法案ト云フモノガ出マシタ、是モ幸ニ諸君ノ御贊成ニ依テ通過シマシタケレドモ、其金額ハ僅カニ二百萬圓デアリマシテ、今日ノ小學校ノ給料其他ノ費用ハ幾ラデアルカト云フナラバ、諸君御承知ノ通り六千萬圓ニ上ッテ居ルノデアリマス、然ルニ此六千萬圓以上ノ小學校ノ費用ト云フモノニ對シテ、諸君、吾々國民ガ幾ラ負擔シテ居ルカト云フタナラバ、國庫ノ費用トシテハ洵ニ御恥シイケレドモ僅カニ二百萬圓、其外ニ日清ノ戰ニ於テ戰捷記念トシテ置クモノガ五百萬圓、又其他百萬圓ハ長谷場純孝君ガ文部大臣ノ時分ニ出サレマシタコトガアリマス、ケレドモ如何ニシマシテモ僅カニ二百萬圓ホカ出テ居ラス、故ニ國家重大ノ此小學校ノ兒童ヲ教育シマスルノニ、ドウ致シマシテモ國庫支辨、又支辨ガ全部出來マセヌトモ所謂補助法ト云フモノヲシナケレバナラヌ、吾々政友會ニ於キマシテハ第三十八議會ニ於テ之ヲ提出シ、又今議會ニ於テモ提出致シマシタ、之ニ倣ッテ外ノ黨派ノ者カラモ提出サレマシタカラシテ、何レ此事ハ事實ニ行ハレルヤウニナルコトガアラウト思フノデアリマス、最モ茲ニ緊急トシテ文部大臣ニ注意ヲ促シ、吾々政治家トシテモ大ニ注意ス

ベキ點ハ、此小學校ノ教員ノ待遇ガ甚ダ不完全デアルト云フコトデアリマス、其第一ト云フモノハドウ云フ譯デアルカト云フト、諸君ノ御承知ノ通り勅令第三百二十三號明治三十三年ノ發布デアリマスガ、之ニ據リマスト市町村立小學校教員加俸令第三條ト云フモノガアル、其中ニ五年以上ノ下デ「同一府縣内ノ」ノ六字ヲ除キ、又同時ニ「勤績」ノ下デ「地方長官ニ於テ成績佳良ナリト認メ」ト云フ十六字ハ是非削ラナケレバナラヌモノデアリマス、其理由ハドウ云フ譯デアリマカト云フナラバ、小學校教員ノ免許狀ト云フモノガ昔ハ其縣内ダケデ有效デアッタモノデアリマス、所ガ今日ハ其縣ノミナラズシテ、假リニ東京府ノ免狀ヲ持ッテ居リマスルナラバ、北海道へ參リマシテモ又鹿兒島縣へ參リマシテモ有效ニナッテ矢張小學校ノ教員ニナルヤウナコトガ出來テ居ルノデ御坐イマス、然ルニ各府縣ニ行ッテ勤メルコトガ出來ルヤウニナリマシテモ、之ニ對スル年功加俸ト云フモノガ消ユルノデアリマス、是等ハ實ニ文部大臣ヲ初メ其當局ノ者ノ甚ダ不注意デアラウト思フ、此教員ニ向ッテ從前ハ一府縣ニ居ラナケレバ年功加俸ト云フモノハ出サナイ、デアアルカラソレデ宜シカッタ、併ナガラ今日ハ一府ノミナラズ、一縣ノミナラズ、何處へ行ッテモ日本全國中勤メルコトガ出來ルト云ッタナラバ、其轉ズルコトガ出來マシタナラバ矢張年功加俸モ同ジヤウニ通算シテ行カナケレバナラヌ、唯一方外ノ縣へ行ッテモ勤メルコトガ出來ルトナッテ、サウシテ之ヲ罷メル時分ハ年功加俸ハ前ニ勤メテ居ッタ所、或ハ今度來タ所ノ片方ニナルト云フコトハ、洵ニ法律ノ不完全デアリマスカラ是ハ、勅令ガ出テ居リマスガ此勅令ヲ速ニ直サナケレバナラヌ、即チ教員ヲ待遇スルトコロノ唯勤メルノミヲ自由ニシテ、受取ル恩給即チ待遇料ヲ與ヘナイト云フコトハ、洵ニ不完全ナル法律及勅令ノ結果デアリマスカラ、斯ノ如キハ宜シク速ニ文部大臣其當局者ハ改正シナケレバナラヌト云フトコロノ質問デアリマス、其意思ガ有ルカ無イカト云フ——又第二ハ、法律第九十號明治二十三年十月三日ノ改正デアリマスガ、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法別表市町村小學校教員退隱料ノ表中ニ百圓以上ノ欄ヲ設ケナケレバナラヌト云フコトデアリマス、是ハドウ云フ譯カト云フト、此退隱料ト云フモノハ特別ニ下サルモノデアッテ、然ルニ此法律ガ出ル時分ニハ學校ノ教員ハ七十圓カ八十圓ニ極ッタ

モノデアル、所ガ今日ハ百圓以上ノ者ガアルノデアリマス、故ニ法律デ以テ百二十圓マデハ取ルコトガ出來ル、與ヘルコトガ出來ルト云ツテ置キナガラ、此表ニ於テ百圓ノ者ガ無イノデアアル、故ニ東京府ノ如キハ百圓以上ヲ取ツテ居ル者ガアルノデ、若シ此人ガ止メル時分ニナルト、普通ノ所謂判任官ノ恩給法ニ依リマスカラシテ、他ノ學校ノ教員ニ與ヘル所ノ金ヨリモ少ナイ、其理由ハ能ク分ツテ居リマスガ、小學校令施行規則改正ノ結果、同時ニ第四百四十九條ニ本科正教員ニシテ一級上俸ヲ受ケ、特ニ功勞アル者ニハ漸次百二十圓マデ増スコトヲ得ト御坐イマス、然ルニ現在市町村立小學校教員退隱料表中ニハ百圓以下ノ者ノミデ、百圓以上ガ無イノデアアル、故ニ此表ニ百圓以上ト云フモノヲ附加ヘルコトガ出來ナカッタラバ、非常ニ茲ニ損害ヲ受ケルコトガ出來ルノデアリマス、故ニ該表ニ依ル時ハ百圓以上ノ俸給ヲ受ケル者ハ官吏恩給法第五條ニ依ル外途ナキヲ以テ、自然百圓以下ノ俸給ヲ受ケル者ヨリ其退隱料少額トナルノ矛盾アリト信ジマス、實地現在ノ規則ニ依ル時ハ俸給百二十圓ニテ四十箇年勤續ノ者ノ退隱料ハ僅カニ四百八十八圓五十錢、然ルニ俸給七十五圓ニシテ、四十年勤續者ハ退隱料ヲ受ケル者ハ六百圓ニナルノデアアル、七十五圓貫フ人ノ方ガ六百圓貫ヒ、サウシテ百二十圓ノ人ガ僅ニ四百八十八圓五十錢ホカ貫ヘナイヤウニナル矛盾ヲ來シテ居ル、是等モ文部當局者ハ此小學校ニ重キヲ置イテ其責任ヲ盡スト云フコトガ常ニアッタラバ、斯ノ如キ矛盾シタル法律規則ヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ、甚ダ不都合デアアル、斯ノ如キ不注意ノ事ガアリマスレバ、此金ニ關係シタコトノ問題ノミナラズ、吾々ノ子弟ヲ教育スル所ノ所謂程度ニ於テモ斯ノ如キ不公平ナル教育ヲ受ケルカモ知レヌト云フ、疑ヲ起スノデアアル、故ニ是等ノ事ニ付テハ政府ハ宜シク調査ヲシテ片方ノ法律ト片方ノ恩給令ト相違ガナイト云フコトニシタイノデアリマス、第三ハ是ハ即チ住宅料デケリマス、此住宅料ヲヤルニ付テ、即チ二百萬圓ノ國庫支辨中ヨリ割キテ貫ハレマスカ、其額ハ四十一萬三百五十一圓、即チ是ハ住宅及賃借料其他住宅建設費ト云フモノニ十七萬九千八百八十九圓、ソレカラ借家ヲスル人ガ三萬四千五百十三人アル、是等ヲ合セマスト可ナリノ金高ヲ與ヘテ居リマスルガ、實ニ此處ニ不公平ナ事ガアルノデアリマス、小學校教員ハ合計十五萬七千九百八十一人アル、

其中デ住宅料ヲ貫ハヌ人ガ十二萬三千四百六十八人アリマス、是ガ即チ不公平デアアル、立憲政治ニ最モ貴重ナル所ハ公平ナル政治ニシテ、殊ニ注意スベキモノハ、弱キ者ヲ助ケテ強キ者ヲ程ヨクシテ行クト云フノガ是ガ立憲政治デアリマス、ケレドモ今日此政府當局ノ執ル方針ト云フモノハ、富ハ益、富ミ貧ハ益、貧ト云フコトヲ茲ニ證據立テルノデアアル、是ガ唯實業社會デアリマスレバ、富マダ宜シイガ、教育上ニ於テ十五萬人ノ教員ノ中デ、僅ニ三萬四千五百人ガ住宅料ヲ貫ヒ、十二萬ノ人ガ貫ヘヌト云フコトハ不公平デアアル、サテ此貫ヘル人ハドウ云フ性質ノモノカト云フト、此ニ於テ富ハ益、富ミ貧ハ益、貧ト云フコトヲ證明スルコトガ出來ルノデアリマス、各府縣ニ於テ此二百萬圓ノ中ヨリ文部省カラ此小學校ノ住宅料或ハ建築費ヲ出スノハドウ云フ風カト云フト、或村或町ニ於テ一萬圓ト云フモノヲ市町村ノ租稅ニシテ出スト云フコトニナレバ、早ク言ヘバ吳レル、一面ニハ此貧村ニハ吳レナイト云フコトニナツテ居ル、是所ノ教員ハ益、良クナリ、村在ニ住ンデ居ル者ハ住宅ニモ住ハレナイト云フコトニナツテ居ル、是ハ不都合デアツテ、所謂國家ノ金ヲ使フナラバ金ノアル村デモ金ノナイ村デモ、學齡兒童ノ數ニ依ツテ補助スルナラ宜シイガ、私ノ村ニ於テハ千圓租稅ヲ取ルカラ、是等デ教員ノ住宅料ヲ拵ヘルカラシテ、ドウカ政府ニ於テ千圓寄附シテ下サイト云フヤウナ譯ニナリマスルト、金ノアル所ハ住宅料ヲ貫フコトガ出來ル、依ツテ住宅ニ住ムコトガ出來ル、金ノ無イ所ノ町村ト云フモノハ願フコトモ出來ズ、控ヘテ居ルト云フコトニナツテ居ル、是等ノ住宅料等ヲ與ヘル所ノ即チ國庫ノ金ヲ使用スルニ付テハ文部當局ニ於テハ大ニ注意シテ、金ガ有ラウガ無カラウガ、即チ國庫ノ費用デアリマスカラ公平ニ支拂ツテ、公平ニ政治ヲ行フヤウニセヌケレバ、貧ハ益、富ハ富ト云フコトニ教育社會ニマデ及ボスト云フコトニナリマスレバ、實ニ由々シキ事ガ起ルト思フノデアリマス、ドウカ政府ニ於テハ斯ノ如キ住宅料ノ關係ニシマシテモ亦恩給ト云フコトニ關係シマシテモ、亦其他文部省ノ取ル所ノ金ノ割振リニシマシテモ、公平ニセナケレバ實ニ我國ノ教育ニ關係スル、所謂小學教員ナル者ハ其地位ニ安ンズルコトナク、直グ二圓ナリ三圓ナリ五圓ナリ良イ所ガアレバ其方ニ行ツテ仕舞フ、シテ見レバ殘ル所ノ教員ハドウカト云フト實ニ諸君ノ御子

様方ヲシテ實ニ御心配ヲ懸ケルト云フコトガ出來ル譯デアラウト思フ、ドウカ是等ニ付テハ文部當局ニ於テ速カニ調査アラムコトヲ希望致シマス
之ニ對シ岡田國務大臣ハ同日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一、小學校教育ノ實績ヲ舉ケムカ爲ニハ市町村立小學校教員ハ之ヲ優遇スルト共ニ成ルヘク一地方ニ永ク在任セシメ其ノ職務ニ勵精セシメサルヘカラス而シテ政府ハ現ニ地方長官ニ命シ特ニ成績不良ナラサル限リ同一府縣内ニ五年以上勤績シタル者ニハ悉ク年功加俸ヲ給與セシムルノ方針ヲ採リツツアリ若夫レ同一府縣内ト否トヲ問ハス其ノ勤績ニ對シテ年功加俸ヲ給スルコトトセハ或ハ市町村立小學校教員ヲシテ其ノ轉任ヲ頻繁ナラシムルニ至ルノ虞アルヲ以テ尙篤ト考慮ヲ回ラサムトス
- 二、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法別表中ノ一部ニ就テハ教員俸給ニ關スル現行規定トノ關係上改正ノ要アルヘキヲ認ムルヲ以テ成ルヘク速ニ之カ改正ヲ行ハムトス
- 三、政府ハ市町村立小學校教員ニ土地ノ情況ニ依リ住宅又ハ住宅料若ハ住宅賃借料ヲ出來得ル限リ一般ニ之ヲ給セムト欲シカメテ之ヲ獎勵シツツアリ

五 前亞米利加合衆國「シアトル」領事高橋清一ノ太田房太郎不法送還及不法監禁ニ關スル質問

大正二年十一月一日亞米利加合衆國「シアトル」市發信ニテ時ノ内閣總理大臣山本伯及外務大臣牧野男ニ又大正三年四月三日均シク同市發信ニテ時ノ鷹司侍從長及渡邊宮内大臣ニ宛テタル同一筆蹟ノ不敬投書ナルモノアリ之ニ付領事高橋清一ハ日本官憲ノ命令ニ依リ此等不敬投書筆者ノ探索ニ從事セリ而シテ偶太田房太郎ナルモノノ筆蹟カ此等不敬投書ニ類似スルトコロアリト云フ單ナル理由ニ依リ領事高橋清一ハ彼ヲ嫌疑者ト獨斷シテ本國ニ送還セムト企テタリ茲ニ於テ乎「シアトル」日本人會其ノ他同地在留有力者ハ太田房太郎ノ境遇、思想、教育程度等凡テ斯ル嫌疑ヲ否定スルニ有力ナルノミナラス其ノ筆蹟亦決シテ前記不敬投書ニ酷似スルモノニ非スト爲シ領事高橋清一ノ措置ニ反對ノ意ヲ表シ且領事力輕卒ニ在留民ノ送還ヲ企ツルカ如キハ當ニ合衆國ノ國法ニ背反スルノミナラス本邦人ノ海外發展ヲ阻碍スルモノナリトノ理由ニ依リ更ニ領事高橋清一ニ慎重審議セラレムコトヲ懇請セリ然ルニ領事ハ斷乎トシテ在留邦人ノ要求ヲ峻拒シ大正四年十月十九日「シアトル」出帆ノ安藝丸ニ太田房太郎ヲ誘致シ其ノ病室ニ拘禁シテ本國ニ送還シ爾來約一箇年半彼ヲ横濱ノ獄舎ニ監禁セリ此ノ間太田房太郎ハ嚴重ナル取調ヲ受ケシモ罪跡ナキハ固ヨリ本年二月横濱地方裁判所豫審廷ニ於テ豫審免訴ト爲リ檢事ノ抗告アリシモ更ニ四月東京控訴院ニ於テ無罪放免ノ宣告ヲ受ケタリ之ニ依ルモ領事高橋清一ノ太田房太郎及「シアトル」在留邦人ニ對スル措置其ノ當ヲ失シ彼ノ送還及收監ノ不法ナルコト明ナリ然ルニ

外務當局者ハ領事高橋清一ニ對シ更ニ其ノ責任ヲ明ニセサルハ何故ナリヤ

六月二十六日植原悦二郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ七月三日之ヲ延會ス之ニ對シ本野國務大臣ハ同月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

太田房太郎事件ハ曩ニ橫濱地方裁判所豫審廷ニ於テ證據不充分ノ理由ニ依リ豫審免訴トナリタリト雖モ高橋領事ノ執リタル措置ハ精細ナル調査及慎重ナル考慮ノ結果ニシテ當時ノ事情ニ照ラシ適當ナルモノト認ム又同人ノ本邦歸還ニ關シテモ今日迄調査シタル所ニ依レハ同領事ニ於テ何等不法ノ行爲アルヲ認メス

六 前亞米利加合衆國「シアトル」領事高橋清一ノ太田房太郎不法送還及不

法監禁ニ關スル再質問

太田房太郎不法送還及不法監禁ニ對スル本員ノ質問ニ對シ政府ノ爲シタル答辯書ノ如ク高橋領事ノ措置不當ナラストセハ太田ニ對スル橫濱地方裁判所及東京控訴院ノ判決ハ不當ナリト謂ハサルヲ得ス又太田ノ送還ハ米國ノ國法ニ違反シタル行爲ナリト思惟スルモ政府ノ答辯ハ之ニ言及スルコトナシ政府ノ所見果シテ如何

七月十日植原悦二郎君ハ右再質問主意書ヲ提出シ同月十二日議事日程ニ之ヲ掲載シタルモ其ノ趣旨辯明ヲ延期ス

之ニ對シ本野國務大臣ハ同月十四日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

太田事件ニ關スル高橋領事ノ措置ハ前回答辯ノ通當時ノ事情ニ照シ最モ適當ナルモノニシテ其ノ後橫濱地方裁判所及東京控訴院ノ與ヘタル決定ハ高橋領事ノ執リタル措置ノ當否ト關係ナシ又太田歸還ニ關シ高橋領事ニ於テ米國國法ニ違反シタルノ事實ナキコトハ大正五年八月九日附米國國務長官代理ノ在米田中臨時代理大使ニ宛テタル同伴ノ質問書ニ對シ高橋領事ヨリ辯明書提出ノ結果米國政府ニ於テ之レヲ諒承シタルニ徴シテモ明瞭ナリ

同日植原悦二郎君ハ右答辯書ニ對シ意見ヲ述フ左ノ如シ

今日ハ議會ノ最終日デアリ、非常ナ貴重ナ時間デアルノニ、斯ウ云フ問題ヲ持出シマシテ時間ヲ取去ルノハ甚ダ遺憾ト致シマス、併ナガラ此問題ハ諸君ハ委シク御存ジデハ御坐イマスマイケレドモ、太平洋沿岸ニ於キマスル所ノ十萬ノ日本人ノ安危盛衰ニ關スル重大ナル問題デアリマス、故ニ本議會ノ開會ノ劈頭ニ於テ私ハ此案ヲ政府ニ提出致シテ質問シタノデ御坐イマス、是ガ議事日程ニ上リマシタノヲ其當日政府カラ答辯書ガ出マシテ、其質問ニ對スル發言權ヲ一時止ムルノ已ムナキニ至ッタノデ御坐イマス、故ニ又再ビ質問書ヲ提出致シマシテ議事日程ニ上リマシタケレドモ、種種ナル理由ノ爲メニ已ムヲ得ズ又一時發言ヲ中止スルニ至ッタノデ御坐イマス、

今日ニ至リマシテ答辯書ヲ得マシタカラ之ニ對スル意見ヲ述ベナケレバナラナイ、デ此質問ニ對シマシテハ既ニ諸君ノ手許ニ配付サレテアリマス所ノ書類ニ依リマシテ、其輪廓ダケハ諸君ハ御存ジノ事デアラウト思ヒマス、併シ此内容ニ就テハ中々複雑ノ事件デ御坐イマスカラシテ、一通リ説明ヲ致サナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居リマス、事件ハ大分舊イ事件デ御坐イマス、大正二年十一月ニ始テ漸ク本年ノ四月ニ至テ結末ヲ告ゲタ事件デ御坐イマス、嘗テ桑港ニ於テ千九百七年ニ起リマシタ日本人學童問題ニ就キマシテハ、日本國民モ一般ニ米國ノ處置ニ甚シキ反感ヲ懷キマシテ、政友會國民黨カラモ之ニ慰問使ヲ送ツテ、在留民ヲ慰メタ事件モアリマス、又千九百十三年ニ加州ニ於キマス外人土地禁止法案ノ爲メニ、我國ハ日本ノ關係ヲ之ガ爲メニ將來破壊スル憂ガアルト云ツテ、朝野共ニ議論ヲ囂シタ問題デ御坐イマス、私ハ此二問題ニ比較シテ唯今私ガ茲ニ提出シタ質問事件ハ、優レバトテ劣ラザル所ノ太平洋沿岸ニ於ケル十萬ノ日本人ニ對シテ、重大ナル事件デアアルト信ジテ居ルノデ御坐イマス、故ニ其内容ヲ説明致シマシテ如何ニ政府ノ答辯ガ其當ヲ得テ居ルカ居ラザルカノ諸君ノ御判断ヲ煩シタイト思フ、大正二年十一月一日亞米利加合衆國「シヤトル」市發信ニテ、時ノ内閣總理大臣山本伯、及ビ外務大臣牧野男ニ宛テタル所ノ不敬投書ナルモノガアッタノデアリマス、又大正三年四月四日ハ同ジク同市發信ニテ時ノ鷹司待從長、及ビ渡邊宮内大臣ニ宛テタル所ノ同一筆蹟ノ不敬投書ナルモノガアッタノデ御座イマス、是ニ付キマシテ本國ノ政府ハ當時「シヤトル」市ノ領事デアッタ所ノ高橋清一氏ニ命令ヲ與ヘテ、不敬投書ノ筆者ノ探索ヲサセタノデ御坐イマス、今日ニ至リマシテモ此ノ不敬投書ノ筆者ガ誰デアアルカハ明白ニ分リマセヌケレドモ、過去二箇年間「シヤトル」ニ於キマスル所ノ日本人會太平洋沿岸ノ各日本人會ヲ併セテ聯合日本人會、「シヤトル」ニ於キマスル所ノ實業團體ガ寄ツテ調査シタル所ニ依リマスルト云フト、此ノ不敬投書ノ筆者ナルモノハ實際ノ不敬ト云フトコトガ目的デナクテ、或一個人ヲ害スルガ爲メニ不敬ト云フトコトヲ簡單ニ私用シタコトデアルヤウニ、總テノ事實ガサウ思ハレルヤウニナツテ居ルノデ御坐イマス、事實ガハッキリシテ居リマセヌカラシテハ誰ガ不敬投書ノ筆者ノ犯人デアアルカト云フトコトハ申上ゲラレマセ

ヌ、併ナガラ「シヤトル」ニハ三ツノ新聞ガアル、其ノ三ツノ新聞ハ「シヤトル」ニ於テドウシテモ日刊新聞上競争スルコトガ出來ナイト云フノデ、三ツノ新聞ガ一ツヲ倒ス爲メ鎬ヲ削ツテ互ニ罵倒シ、中傷讒誣殆ド新聞同志ノ喧嘩トシテ有ル間敷キ行動ガアッタノデ御坐イマス、時ニ二ツノ新聞ガ筆ヲ揃ヘテ「シヤトル」ニ於キマスル所ノ一ツノ日刊新聞ノ主筆ヲ社會主義者デアアル、彼ハ社會主義者デアアルト云フトコトデ其ノ名譽ヲ傷ケ、是ニ社會主義ト云フ燒判ヲ押シテ此人間ヲ社會カラ葬ラウト企テタノデ御坐イマス、社會主義不敬ト云フトコトハ屢々日本ニ於キマシテ使ハレマスガ、一度此ノ言葉ヲ公ケノ社會ノ其ノ或人ニ與ヘラレマシタナラバ、殆ド社會的ノ致命傷ヲ受ケルノデ御坐イマス、私ハ斯ク信ジテ居リマス、日本ノ國民ニシテ此ノ土地ニ生ヲ受ケ、此ノ土地ニ生ヲ守リ、自分ノ生命財產ヲ此ノ土地ニ持ツテ、然モ先祖代々日本ノ臣民デアアル者ガ、ドウシテ日本ノ國ニ對シテ危害ヲ爲スト云フヤウナコトガ考ヘラレマセウカ、斯ウ云フトコトヲ考ヘマスレバ容易ニ人ヲ社會主義ダトカ、不敬者デアアルト云フトコトハ言ハレナイノニ、日本デアリ屢々之ヲ濫用スル結果、新聞社ヲ倒ス爲メニ不敬投書社會主義ト云フ文字ヲ盛ンニ使ッタノデアリマス、其爲ニ此ノ不敬投書ト云フモノガ企テラレタモノデナカラウカト云フヤウニ、總テノ日本人會實業家ノ調査ニ依レバ幾多ノ事情ノ其處ニ當ツテ居ルノデ御坐イマス、時々又再ビ大正三年七月一日ノ日附デ日本ノ艦隊ガ、彼處ニ參リマシタ、時ニ黒井中將ニ宛テタル不敬投書ガアッタ、又大正四年四月十七日ニ高橋領事日本人會長等ニ宛テタル所ノ不穩ノ文字ヲ使ッタ所ノ投書ガアッタ、是ト大正二年ノ不敬投書ト同一筆蹟ノモノデアアルト云フトコトガ分リマシテ、此ノ「シヤトル」ノ高橋領事及日本人會長ニ宛テタル所ノ不穩ノ文字ヲ羅列シタ所ノ投書ハ、賭博場ノ事ニ關係シテ居ッタ、此ノ太田房太郎ナルモノハ一方ニ於テ勞働者ヲシテ居ル傍ラ、時々支那政府ノ賭博場ニ出入シタト云フトコトヲ新聞ニ關係シテ居リマス者ガ、太田ノ筆蹟ガ能ク不敬投書ノ筆蹟ニ似テ居ルト云フトコトヲ領事館ニ知ラセマシテ、太田ヲ呼ンデ調べテサウシテ稍々其ノ筆蹟ガ似テ居ルト云フトコトガ分リマシタノデ、高橋領事ハ太田房太郎ヲ日本ニ送還スルト云フトコトヲ決定シタノデ御坐イマス、此時ニ「シヤトル」ニ於キマスル所ノ幾多ノ有力者及ビ日本人會實業

俱樂部等ハソレハ甚ダ輕卒ノ處置デア、太田房太郎ハ十六七歳ノトキニ紀州ヨリ亞米利加ニ渡米シ、二十箇年間亞米利加ニ勞働シテ居ル、彼ノ生活ハ盡ク勞働ト云フコトヲ終ルノデア、彼ノ境遇彼ノ思想、彼ノ今日マデノ状態ヲ鑑ミレバ、身體ハ大キイケレドモ勞働者ノ間ニ「ス」ボ「ト」言ハレテ居ル奴ガ、斯ウ云フヤウナ人間ガドウシテ國家トカ、社會トカニ云フヤウナ重大ナル問題ニ關係スベキ理由ガアルカ、高橋領事モ十分ナル所ノ調査ヲ爲ス、御遣リナサッタラバ宜カラウ、此邦人實業家俱樂部ニ於テ言ハレマシタ所ノ記事ガアリマス、斯ウ云フノデアリマス、在留邦人ガ太田送還ニ反對スル理由ハ、領事ガ人權ヲ蹂躪シ、米國國法ヲ無視シテ居留民ヲ送還スル如キ非違ノ甚シキモノナルノミナラス「シヤトル」在留民中ヨリ不敬投書ヲ爲シタル者アリトシテ在留民ヲ疑フハ、在留民ノ名譽ヲ尊重セザルモノナルノミナラス、不敬投書ノ如キハ一個狂人ノ處爲ナルベキニ、斯ノ如キ輕々ノ事柄ヲモ左モ重大事ノ如ク見做シ、犯人ノ搜索ニ狂奔スル領事ノ醜態ニ至テハ驚カザルヲ得ヌ、之ニ對シテ在留民ハ再三再四太田房太郎送還ニ反對シ、領事ニ勸告シタノ御坐イマス、然ルニ領事ハ在留同胞ノ多數ノ意見ヲ用キズシテ、太田房太郎ヲ送還スルコトニナツテ、大正四年十月十九日「シヤトル」出帆ノ安藝丸ニ太田房太郎ヲ誘致シタノデアリマス、太田房太郎ヲ或ル口實ノ下ニ呼寄セテ、サウシテ太田房太郎ヲ安藝丸ノ病室ニ入レテ柔道四段ダト云フ所ノ力ヲ強イ二人ノ者ヲ附加ヘテ、サウシテソレヲ「グイクトリ」ア「港」ヲ出ルマデ「シヤトル」カラ病室ノ中ニ閉籠メテヤツテ來タノ御坐イマス、是ガ不法デナイト云フコトガドウシテ言ハレマセウカ、憲法ノ第二十三條ニ日本臣民ハ法律ニ依ルニ非ズシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ、斯ウ云フ規定ガアリマス、太田房太郎ハヨシヤ不敬投書ノ犯人デアリマシテモ、米國ニ居ル間ハ米國ノ國法ニ從フベキモノデ、米國ハ治外法權ノ國デアリマセヌ、日本ノ領事ノ官權ヲ以テ米國ニ於ケル所ノ日本人ヲ送還スルガ如キコトハ、米國ノ國法ヲ犯サレバ絕對ニ爲シ能ハザル所デアリマス、デ領事ガ如何ニ太田ヲ殘酷ナル處置ヲ見届ケヤウト思ヒマシテ、十月十九日「シヤトル」ヲ出發シテ安藝丸ニ搭乘シテ「グイクトリ」マデ來テ、

態、病室ニ置ケル所ノ太田ヲ引出シテ送還サレルニ至ツタ手續ヲ聞イタ、其時ニ太田ガ言ツタ言葉ガアリマス「領事サンモアンマリダ私如キモノニ大キナ嫌疑ヲ掛ケナスツテ、私ヲ社會主義デヤノ無政府主義デヤノトドウ云フモノカ知ラスケレドモドレタケ拷問サレタコトヤラ首ヲ切ラレヤウトテ知ラスコトハ白狀ハ出來ヌノテ殊ニ領事トモアラウ者ノ勿體ナイ 陛下ヘノ獻納品ニ付テ相談シタケレバ來テ吳レト眞赤ナ嘘デ人ヲ騙シ鼠ヲ箱ニ入レテ蓋ヲシタヤウニ此通り病室ニ監禁サレテ居リマス」之ニ依ツテ領事ガ強制的ニ太田ヲ送還シタル所ノ事實ハ明白デアルト思ヒマス、而シテ太田ハ日本ニ參リマシテ、約一年半横濱ノ根岸ノ監獄ニ密室監禁サレテ幾多ノ取調ヲ受ケタノ御坐イマス、此間「シヤトル」ニ於キマス所ノ在留民デ、本國ニ歸國スル者ハ、横濱ヲ通過スル者ガ検事局ニ喚バレザルモノハ、一人モナイノ御坐イマス、諸君ハ之ヲ簡單ナル問題ト思ヒナサルカ知リマセスケレドモ、不敬事件、社會主義ト言フテ、外國ニ居ル日本人ヲ不法トシテ、一擲ノ涙ヲ濺ガナイデ何デ居ルコトガ出來マセウカ、而シテ太田ハ約一年半經チマシテ、本年ノ一月ニ至ツテ横濱ノ裁判所ニ於テ豫審免訴トナツタノ御坐イマス、幾多ノ事情、是ニハ法律上ノ問題、國際上ノ問題ガ關聯シテ居ルト云フノデ、檢事ハ抗告シテ控訴院ニ至リ、東京ノ控訴院ニ於テモ無罪ノ宣告ヲ受ケタノ御坐イマス、太田ガ横濱ニ居リマシテ密室監禁ヲ解カレタ其時ニ、初メテ一年振リデ亞米利加ノ知己ノ處ニヤツタ書面ニ斯ウ云フ文句ガアリマス「永年獄中ニ日ヲ送リシガ近ク豫審終結スベクト存候得共唯今ハ裁判豫審中ニテ事情申上ゲルコトモ出來ズ小生モ誠ニ殘念トモ無念トモ如何ニ不幸ノ身ノ上トテ無實ノ罪マデ言ヒ掛ケラレ永ガノ年月獄ニ苦ミツ、胸ニ涙ノ乾ク日トテナク誠ニ無念々々」曾テ西原事件ニ付キマシテ島田君ガ色々ノ事ヲ申上ゲタラバ、外務大臣ハ小説的デアルト御批評ナスツタカラ、私ノ事ハ小説的ニ殆ド思ハレル程デアルケレドモ、悉ク事實デス、此間ニ一言ノ脚色モ亦誇張モナイ事實ヲ成ルベク簡單ニ申上ゲルガ爲メニ、成ルベク局限シ縮少シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ事情ノ下ニ送ラレテ、斯ウ云フ待遇ヲ受ケタ者ニ對シテ、此處置如何ト外務大臣ニ問ヒマシタラバ、外務大臣ハ高橋領事ノヤツタコトハ不當

デナイ、斯ウ云フ御返答デ御坐イマス、不法デナイ、素ヨリ此事件ノ起リマシタ時ハ前内閣——大隈内閣ノ時ニ起ッタコトデアルノ御坐イマス、今日此局ニ當ラレマシタ所ノ小池政務局長モ餘リ内容ヲ御存ジナイ、外務大臣ニ於キマシテモ領事ノ一方ノ報告位ハ御存ジデアッタカモ知レナイケレドモ、「シヤトル」在留民ノ取調べタ日本人會ガ取調べタ總テノ事實ハ御存ジ無カラウト思ヒマス、故ニ斯ノ如キ御返答ヲ爲スツタニ違ヒハ無カラウト思ヒマス、又私ハ高橋領事ガ故意ニ惡意ヲ以テ太田ヲ送還シタモノトハ思ヒマセヌ、一言ニシテ申セバ高橋清一ハ愚直ナル人間デアッテ、社會主義者或ハ不敬投書ガアッタカラシテ、ソレヲ取調べテ日本ニ通知セヨト云フコトヲ眞面目ニ受ケテ、何處マデモ太田ガ其犯人デアルト吞込シテ之ヲ爲シタルコトデアルト私ハ信ジテ居リマス、決シテ高橋領事ニ惡意ガアッタトハ思ヒマセヌケレドモ、責任アル官吏、而モ責任アル所ノ地位ニ居ッテ、十有餘萬ノ在留民ノ保護ヲシナケレバナラナイ立場ニ居ル所ノ日本政府ノ代表者ハ、最モ斯ウ云フ事件ニ對シテハ慎重審議事ニ當ラナケレバナラヌト思ヒマス、輕卒ニヤッタカラシテソレデ責任ヲ通レルカ、又惡意ガ無クテヤッタカラシテソレデ責任ヲ通レルカ、斯ウ云フコトニナリマスルト、私ハ斷ジテ此責任ヲ通レル事ハ出來ナイ、間違ッタ事ニセヨ、或ハ誠心誠意ソレガ日本ノ爲メニ——日本國民ノ爲メニ善イト思ッテ居タコトニセヨ、ソレガ法律上不法ノ事デアラナラバ、不法ノ責任ヲ負ハナケレバナラナイト私ハ確信シテ居リマス、官吏ガヤッタカラ或ハ一個人ガヤッタカラシテ其間ニ責任ノ相違ガアルベキ筈ガナイ、之ニ依リマスルト如何ナル點カラ取調べマシテモ、高橋領事ノ措置ハ最モ輕卒ナルモノデアッタ在留民ノ意思意向ニモ反シ太田房太郎ノ境遇意思感情ヲモ取調べズ、唯一時ノ出來心デ太田ヲ送還シタルコト、而モソレガ亞米利加ニ於テ日本ノ法律ノ行ハレザル所、法律ノ命ニ據ラズシテ之ヲ爲シタルモノデアルト云フコトハ一點ノ疑問ガナイデス、而已ナラズ、縱シ太田ガ實際ノ犯人デアルトモ、領事ハ亞米利加ニ居ル所ノ日本人ヲ送還スルト云フガ如キコトハ、亞米利加ノ政府ノ許諾ガ無クテハ出來ナイ事デアリマス、唯今ノ政府ノ辯明書ニハ後ニ高橋領事ガ亞米利加政府ノ許シヲ受ケタ、事後承諾デアアルカラシテソレヲ不法デナイト仰シヤルノデセウガ、高橋領事ガ其行爲ヲナシタル時

ニハ米國ノ一代議士ハ之ヲ米國ノ議院ノ問題トシヤウトシタノ御坐イマス、併ナガラ在留民ハ高橋領事ヲ亞米利加ノ法廷ニ引出スコトハ日本ノ威信領事館ノ權威ヲ傷ツケルモノトシマシテ、日本人自ラガ此事件ノ却下ヲ願ッタト云フノデアリマス、デ若シ高橋領事ガ之ヲ後ニ願フタト云フコトデアッテ、辯明シヤウト思ヒマシテモ、米國ニ於キマシテ事實ヲ御調べニナリマスルナラバ、米國ノ代議士ガ之ヲ問題トシ、日本人ガ亞米利加ノ裁判所ニ高橋領事ノ蹂躪トシテ訴ヲ起シタノデアリマス、ダケレドモ在米ノ有力者ハ高橋領事ヲ罪スルノハ望マナイコトダケレドモ、日本ノ國家ノ威信ヲ害フコトハ實ニ遺憾デアルト云フ立場カラ之ヲ却下スル願ヲ出シテ、此事件ノ終結ヲ告グルニ至ッタノデアリマス、デ斯ウ云フ事實カラ考ヘテ見マシテ、高橋領事ガ亞米利加ノ國法ヲ犯サズシテ、太田房太郎ヲ日本ニ送還シタト云フコトモ言ハレズ、若シ高橋領事ノ行爲ガ不法デ無イモノナラバ横濱——東京控訴院ニ於ケル所ノ裁判ハ不當デアルト言ハナケレバナリマセヌ、デ是等ノ點カラ考ヘテ見マスルナラバ、此事件ハ非常ニ大ナル事デアルト私ハ信ジテ居リマス、故ニ單ニ太田房太郎一個人トセズシテ、在外ニ於ケル日本多數ノ國民ヲ斯ウ云フ領事ノ横暴、人權蹂躪ヲ是認シマシテ、ドウシテ日本ノ海外ニ於ケル所ノ日本人ヲ保護スルコトガ出來マセウカ、デ日本ノ今日ハ海外發展ヲ以テ急務トシテ居ルト云フコトハ、朝野一般ノ希望デアルト私ハ信ジテ居リマス、其場合ニ海外ニ於ケル所ノ在留民ガ、唯一ノ保護者ト頼ム領事ノ斯ウ云フヤウナ行動ヲ是認スルト云フヤウナ事ガアリマシテハ、到底私ハ海外發展或ハ海外ニ於ケル所ノ在留民ヲシテ安心シテ其業ニ從ハシメルコトハ不可能デアルト思ヒマス、故ニ此問題ヲ茲ニ掲ゲテ諸君ノ十分ナル考慮ヲ煩ハシタイト云フノガ私ノ意思デアリマス

七 政府ノ産業政策ノ不統一並國貨滯積船腹調節ニ對シ政府ノ所有船ヲ利用セサル件ニ關スル質問

目下船腹不足ノ爲輸出貨物ノ滯積甚シク政府ハ民間汽船會社ニ船腹ノ調節ヲ強ヒソツアルニ拘ラス政府ノ爲ス所頗ル不統一ヲ缺キ果シテ産業獎勵ノ誠意アリヤ否ヲ疑ハシムルモノアリ左ノ諸項ニ付速ニ明白ナル答辯アラムコトヲ望ム

- 一 農商務省ハ其ノ所有ニ係ル汽船影島丸及惠山丸二隻ノ運轉ヲ明治四十四年以後山本唯三郎ニ委託シ居レリ其ノ契約ノ内容如何
- 二 山本唯三郎ハ一昨年來右兩汽船ヲ歐洲ト南北米間ノ航海ニ從事セシメ本邦ヲ中心トシテ配船スルトキハ船腹調節ニ利用セラルルノ不利益ヲ恐レ一切内地ニ歸還セサル航海ニ從事セシメ居レリ政府ハ此ノ事實ヲ認メナカラ依然トシテ之ヲ傍觀スルカ
- 三 山本唯三郎ニ對スル委託契約ハ本年二月ヲ以テ滿期ト爲リシニ政府ハ此ノ機會ヲ以テ其ノ所有船舶ヲ船腹調節ニ利用セス更ニ其ノ委託契約ヲ繼續シタル理由如何
- 四 農商務省ハ其ノ所有ニ係ル汽船汐首丸ヲ本年五月以來臺灣總督府ノ所管ニ移シ總督府ハ之ヲ南洋開發組ナル所謂政商者ニ其ノ運轉ヲ委託シ同開發組ハ之ヲ南洋航路ニ配船シ居レリ是レ名ヲ南洋開發ノ必要ニ藉ルト雖僅ニ支那人勞働者ノ輸送ヲ爲スニ過キサレ現狀ニシテ刻下國產輸出船腹調節ノ最緊切須要ナル時期ニ於テ二三資本家ノ便宜ノミニ任セ特ニ殆ト無價值ニ均シキ料金ヲ以テ之カ使用ヲ特許セル理由如何

六月二十六日白河次郎君ハ右質問主意書ヲ提出シ其ノ趣旨辯明ハ之ヲ省略スル旨ヲ附記ス之ニ對シ後藤及仲小路國務大臣ハ七月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 製鐵所ハ原料骸炭製造上内地炭ニ開平炭ヲ配合燒成シテ良好ナル成績ヲ得タルヲ以テ開平炭ノ日本一手販賣人タル松昌洋行ト大正元年ヨリ十ヶ年間該石炭ノ賣買契約ヲ締結シタリ松昌洋行ハ之ニ關聯シテ影島丸及惠山丸ノ使用方ヲ願出タルニ依リ製鐵所ハ當時ノ事情ニ鑑ミ之レカ委託ヲ爲スヲ最モ有利ナリト認メ惠山丸ニ在リテハ大正元年七月契約ヲ締結シ大正二年一月ヨリ同四年十二月迄影島丸ニ在リテハ大正元年十二月契約ヲ締結シ大正二年七月ヨリ同五年六月迄各三ヶ年間ノ保管ヲ委託スルト同時ニ契約期間滿了ニ際シ製鐵所ニ於テ本船ノ使用ヲ必要トセサル時ハ期間滿了ノ日ヨリ向フ七ヶ年ニアリテハ本契約ト同一期間及條件ニ依リ本船ノ保管ヲ松昌洋行ニ委託スルコトヲ得松昌洋行ハ之レヲ拒ムコトヲ得サルノ條項ヲ規定シタリ而シテ右期間滿了ノ際ニ於テ同規定ニ從ヒ惠山丸ニ在リテハ大正五年一月ヨリ同七年十二月迄影島丸ニ在リテハ大正五年七月ヨリ同八年六月迄各三ヶ年間ノ保管ヲ繼續委託シ現ニ契約期間中ニアルモノナリ而シテ該船舶ノ修繕費、保險料、船費其他一切ノ經費ハ松昌洋行ノ負擔トシ貸付料ハ惠山丸ハ一ヶ年五萬圓影島丸ハ一ヶ年八萬圓ナリ

二 松昌洋行ハ兩汽船ヲ以テ開平炭ヲ運搬セシカ該船吃水ノ關係ヨリ荷役上ニ於テ甚シキ不便ト不利トアリシヲ以テ他船ヲ之レニ代用シ兩汽船ハ他ノ航路ニ使用シツツアルモノナリ而シテ一昨年以來就役ノ航路左ノ如シ

惠山丸船線

- 一 大正四年十月二十八日上海ヲ經テ秦皇島ヘ向ケ横濱出帆同年十一月二十八日内地歸航
- 一 大正四年十二月四日濠洲ヲ經テ浦鹽ヘ向ケ出帆大正五年三月十一日内地歸航
- 一 大正五年三月二十三日「マニラ」ヘ向ケ門司出帆同年四月二十日内地歸航
- 一 大正五年四月二十二日北米「シヤトル」ヘ向ケ門司出帆同年八月二日内地歸航
- 一 大正五年八月三日北米「シヤトル」ヘ向ケ門司出帆同年十月二十五日内地歸航
- 一 大正五年十一月七日門司出帆「シンガポール」「マルセーユ」「ニューヨーク」ヲ經テ同年五月四日「セノア」著目下「ルゼリア」ニテ修繕中

影島丸船線

- 一 大正四年三月十六日北米「シヤトル」ヘ向ケ神戸出帆同年六月十四日内地歸航
- 一 大正四年六月十八日北米「シヤトル」ヘ向ケ室蘭出帆同年九月二十一日内地歸航
- 一 大正四年九月二十六日浦鹽ヘ向ケ神戸出帆往復トモ濠洲ヲ經テ大正五年六月十日内地歸航

一 大正五年七月十八日神戸出帆瓜哇「バタビヤ」ヲ經テ同年十一月十一日佛國「バブル」著同月二十四日「サウザンプトン」ニテ修繕大正六年一月二十九日同地出帆南米「アルゼンチン」ヲ經テ同年六月八日「ニューヨーク」著目下修繕中

兩船ノ航海ハ前掲ノ如ク一切内地ニ歸還セサル航海ニ從事セシメタルモノニ非ス尙時局ノ關係上松昌洋行ニ對シ特ニ注意ヲ與ヘ置ケリ

三 一ニ於テ述ヘタルカ如ク本年二月ニ於テ滿期トナリシコトナシ從テ本年ニ入りテ其ノ契約ヲ繼續シタルカ如キコト無シ

四 近時南洋方面ニ於テ邦人ノ事業漸ク發展ノ緒ニ就キタルニ拘ラス時局ニ伴フ船舶ノ缺乏寄港地及勞働者積載ノ關係上右事業ニ缺クヘカラサル物資及勞働者ノ輸送ノ必要ニ應スル能ハス事業中止ノ虞アルニ至レリ仍テ之ヲ救済シ南洋發展ノ氣運ヲ助成スル爲汽船汐首丸ノ運轉ヲ委托シタルモノニシテ輸送ノ勞働者ハ主トシテ臺灣人ナリ南洋開發組合ハ南洋關係事業家ヲ以テ之ヲ組織シ南洋開發上必要ナル便宜ヲ圖ルヲ以テ目的トシ出資ニ對シ年六分以下ノ配當ヲ爲スノ外其利益金ハ之レヲ南洋開發ノ爲使用スルモノニシテ二三資本家ノ私利ヲ計リ又ハ營利ヲ主トスルモノニアラス

八 山陰鐵道濱田線其ノ他ノ線路ニ關スル工事建設ノ方針並山陰線中停滯貨物運送方針ニ關スル質問

- 一 濱田線中ニ屬スル溫泉津驛ヲ經テ淺利驛迄ノ工事ハ大正七年ニ竣功シ之ヲ開始スルノ見込ナルカ
- 淺利驛以西濱田迄ノ工事ハ大正九年秋迄ニ之ヲ落成セシメ開始スルノ見込ナルカ
- 此ノ線路中江川ニ大鐵橋架設工事アリ之カ橋臺工事ハ大正七年九月落成ト聞ク引續キ鐵材工事著手ノ計畫確立スルカ又鐵材購求上ニ於ケル準備確立スルカ
- 一 濱田以西益田線ハ來年度ヨリ測量ニ著手シ漸次土地ヲ買收シ大正十二年度迄ニ開通スルノ方針ナルカ
- 津和野線中津和野益田間亦前同様ノ方針ナルカ
- 一 豫定線中益田萩間ノ未成鐵道ハ何年度ヨリ著手シ何年度ニ竣功セシムルノ方針ナルカ
- 一 豫定線廣江線中三次江津間ハ難線ニシテ多大ノ工費ヲ要シ到底急施ノ見込立タサルトキハ輕便鐵道ヲ急設スルノ方針ヲ執ラルルカ
- 一 山陰線中濱田線ノ工事ハ石見東部ヨリ漸次中部ニ進行スヘキヲ知ル今後該地方ニ建設事務所ヲ設ケ諸般ノ施設並監督其ノ他ニ涉リテ便宜ノ途ヲ講スルハ適當ノ方策ナリト認ム當局

ハ將來是等ニ關シ畫策ノ意嚮有ルカ

- 一 山陰線中米子運輸事務所所管內各驛ノ停滯貨物、米穀、繭、魚類、木材、鑛石、薪炭其ノ他運送上圓滑ナラサルモノアリ爲ニ一般ニ苦痛ヲ感シ延テ地方産業ノ發展ニ障害ヲ來スヲ知ル當局者之ニ對スル方法如何

六月二十六日恆松隆慶君ハ右質問主意書ヲ提出シ七月三日之ヲ延會シ同月十日其ノ趣旨ヲ辯明ス

諸君、今回ハ誠ニ短期ノ議會デアリマス、殊ニ又暑氣ノ砌デアリマスカラ、私ガ提出致シマシタ所ノ質問ノ理由ハ、極メテ簡單ニ陳述ヲ致ス積リデアリマス、第一山陰線中ノ濱田線中デ唯今ノ所デハ、仁万驛迄開通致シテ居リマスガ、是カラ以西溫泉津驛ヲ經テ淺利驛迄ハ最モ急ヲ要スルカラシテ、豫定計畫ヲ變更セザルノミナラズ出來得ル限リ急設開通ヲ望ム、且又石見ノ中心樞要ノ地點デアリマスカラ之ガ敷設ノ急ヲ認メテ居ルノデアリマス、其他津和野線、益田線、之ガ敷設ノ計畫並ニ益田ヨリ萩ニ至ル線デアリマスガ、是ハ豫定線ナルニ未ダ工事ニ著手シテナイノデアアル、此ノ線ハ將來下ノ關ニ聯絡スル所ノ日本海沿岸ノ最モ必要ナル沿岸線路デアアルカラ、是等ガ急速ニ工事ニ著手セラレタイト云フコトノ希望ヲ有ッテ居ルノデアリマス、ソレカラシテ又三次ヨリ江津ニ至ル、即チ廣島ヨリ三次ヲ經テ江津ニ至ル鐵道、是ガ未ダ著手シテナイノデアリマス、是モ本鐵道ニ非ラザレバ輕便鐵道ニシテモ宜イカラ、出來ル限リ政府ニ於テ敷設ノ急策ヲ取ラレムコト望ミマス、此各線路ニ於ケル是ガ各線鐵道ノ速成ニ關スル大體ノ件デアリマス、第二ニハ此濱田線其他ノ益田線杯ヲ進メルニ付キマシテハ、鐵道建設ニ關スル事務所ヲ石見ノ中央ノ濱

田ニ設置スルノガ至當ノコトデアアル、工事ノ處辨上便利デアアル、又線路工事諸般ノ施設監督上ニ於テモ最モ必要デアアルト吾々ハ考ヘテ居ルデアリマス、政府ハ近キ將來ニ於テ是ガ適當ナ處置ヲ定メラレルガ、或ハ是ハ私ノ杞憂デアアルカ知レマセヌガ、政府ハ唯今ノ米子ニ在ル事務所ヲ其儘ニシテ置クト云フヤウナ考ガアルカ知レマセヌガ、是ハ甚ダ見當違デアルト思ヒマス、此建設ノ所長カ月ニ一回位二十里三十里位ノ所ヲ行ッテ監督ヲスルト云フコトハ、是ハ屆カナイノデアル爲メニ、今日迄ハ停車場又線路敷地買收ト云フヤウナ時ニ、頗ル混雜ヲ來スノミナラズ、遠ク石見ノ地方カラ米子ノ方ヘ有志ガ度々出掛ケルノミナラズ、進ンデ東京迄出ルト云フヤウナ有様デアアル、是ハ全ク民情ヲ解セザル所ノ甚ダシキモノデアアルカラシテ、ドウカ建設事務所ヲ濱田ニ置クトガ出來ナケレバ、出張所デモ置イテ、首腦ト云フヤウナ向キノ人ガ之ニ詰切ッタナラバ、誠ニ諸般ノ施設ニ關シ眞ニ官民ノ意思ノ上ニ於キマシテ疏通ヲ缺クヤウナコトガナクシテ、圓滿ニ解決スルコト、存ジマスガ、政府當局者ハ如何ノ考デ居ラル、カト云フノガ第二ノ尋ネデアアル、第三ハ山陰線中鐵道貨物停滯ニ對シマシテ、運輸力ノ増加ニ付テ急設ノ必要ヲ感ジテ居ルノデアリマス、ドウカ停滯無カラシメルヤウニ圓滑ニ適當ナル方法ヲ講セラレル所ノ成算ガ立ッテ居ルカ否ヤ、聞ク所ニ依レバ當路者ハ過日全國ノ各管理局ノ運輸課長ヲ召集シテ、是ガ改善ヲ圖リシト云フコトヲ聞キマシタ、ソレガ爲メニ多少ノ結果ヲ齎シタト云フコトガアルト信ジテ居リマスガ、全體夏期ニ於キマシテハ貨物ノ最モ少ナイ時期デアアルニ拘ラズ、今日ノ如ク山陰道ノ僻地又全國鐵道ニ對シマシテハ劣等ナ鐵道デモ非常ニ貨物ガ停滯シテ居ルカラ是ヲ以テ全國各鐵道ノ貨物ノ各驛ニ停滯スルコトハ分リ切ッタ話デアアル、若夫レ貨物ノ多キ時期ニ至リマスレバ一層困難ヲ感ジマスカラ、ドウカシテ今日ヨリ更ニ多大ノ注意ヲ以テ此點ニ於キマシテ相當ノ施設ヲ講セラレタラ宜カラウト思フ、是ガ第三ノ質問デアリマス、實ハ此事ニ付キマシテハ詳シク一々申述ベタイノデアリマスガ何分……此暑サノ時デ御坐イマスルデ、諸君ノ倦怠ヲ招クト云フヤウナコトハ甚ダ相濟マスト思ヒマス、併ナガラ茲ニ山陰地方ノ生産工場、近來ハ製絲場製鐵場其他ノ諸會社ガ非常ニ勃興致シマシテ、是等ノ主要物産ノ取調ヲシタモノガ此

處ニ在ル、空ナ話デハナイ、種々ナ表ヲ有ッテ居リマス、此處デ表杯ヲ讀ムト數字ニ互ルカラ諸君ガ倦怠スルノミナラズ眠ルカラ、是等ハ見合スノデアアル、尙又各停車場ノ貨物ノ停滯シテ居ルコトハ是モ空論デハナイ、此處ニ五月五日調ノ在貨表ト云フモノヲ取調ベテ居ルノデアリマス、是等モノ々申述ベマスト長クナルカラシテ、總テ斯ウ云フヤウナ數字ニ互ル所ノ取調ノ書類、表杯ハ述ベルコトヲ見合スノミナラズ、速記ニ載セルノモ煩雜デアリマスカラ、是ハ省クノデアリマス、是ニ於キマシテ私ノ質問ハ數項ニ互ルコトデアリマスカラ、茲ニ述ベムト欲スル所ヲ一ツ書ニシテ置キマシタ、是丈ケテ議長ノ許可ヲ得マシテ速記ニ載セテ貰ッテ而シテ政府當局者ノ明答ヲ煩スト云フコトニ致シタイノデアアル、今日ハ種々ノ重要ナ問題ガアリマスカラシテ、私ハ第一ノ發言權ヲ得タノデアアリマスケレドモ、茲ニ演說ハ止メ置キマスノデ御坐イマス

(參照)

- 一 山陰線モ追々延長シテ、現今テハ、濱田線中、石見國東部仁万驛迄開通シマシタ、併シ、之カ濱田迄延長シナケレハ、石見人ノ大部ノ幸福ヲ得タトハ申サレマセヌ、故ニ、一日モ速ニ同地ニ達スルコトヲ期待シテ居マス
- 一 仁万驛以西溫泉津驛ヲ經テ、淺利驛ニ開通スルノハ、來年中テアルカ、溫泉津驛ハ港灣ニ接シ、溫泉アリ、海陸連絡ノ要地テ、旅客ノ集ル所、貨物ノ集散スル地方ニ於ケル繁華ノ中樞地點テアル、又淺利驛ハ濱田街道ニ接續シ石見全般カ交通上利便ヲ得ル多大テアルカラシテ、若シ歐洲戰亂ノ影響ニヨリ、鋼鐵ノ輸入乏シク爲メニ、淺利驛迄路面築造工事終了スト雖モ、軌道ノ敷設自然差支ヲ生スルトシテ之レカ延期ナキ様特ニ相當ノ計畫ヲ立テラレ、是非トモ開通即チ豫定ニ變更ナキ様地方一般ノ切望スル次第デアリマス
- 一 淺利驛ヨリ濱田迄ハ、現今十工區ヲ除キ、九、十一、十二ノ三工區ハ現ニ著手中テアルカラ、大正八年又ハ九年中迄ニハ開通ノ御見込確立ナルカ
- 一 第九工區中ノ、江川ノ大鐵橋ノ橋臺工事ハ、來年九月ニハ落成ノ見込ト聞キマスカ、果シテサ

ウテアリマスカ

一 鐵材ハ購入上ニ差支無クシテ、準備完成、濱田迄ノ開通豫定ニハ何等ノ差支ヲ生スル様ノコトハ有リマセヌカ

一 益田線中ノ濱田以西益田間ハ、來年度ヨリ之カ測量ニ著手シテ、土地ノ買收ヨリ、漸次工事ニ著手セラル、ノ計畫ヲ立テラレ、大正十一年又ハ十二年迄ニハ、完成スヘキ見込テアリマスカ

又津和野線中ニ屬スル津和野、益田間ハ、益田線ト同様ノ設計テアリマスカ

一 益田ヨリ萩ニ至ル豫定線ノ鐵道ハ、日本海ニ沿フテ、西海岸線テアツテ、下ノ關ニ連絡上ニ於テ、最モ必要ナル線テアル、故ニ本線ノ施設ハ、實ニ急設ヲ必要トスルノテアル、政府當局者ハ、果シテ何年度ヨリ著手シテ、何年度ヲ以テ終ルノ方針テアリマスカ

一 廣島ヨリ江津ニ至ル陰陽縱斷豫定線ハ、既ニ廣島ヨリ三次迄ハ、私設ノ輕便鐵道實施セラレ、營業ハ開始セラレ、地方ハ著シク開發シマシタ、就テハ、三次ヨリ江津間ニ於ケル鐵道ハ急設カ必要テアル、本線ハ難工事ニ屬シ、工費ニ多額ヲ要シ、未タ布設ノ期ニ至ラサルハ實ニ遺憾テアリマス、三次ヨリ江津間ハ輕便鐵道ニ變更シテモ宜シイカラシテ、急設ノ計畫ヲ立テラレシコトヲ望ミマス、若シ江津迄ノ設計難事テアルナラハ、セメテ濱原、川本迄ニテモ之カ急設ノ方針ニ出テラレンコトヲ望ムト俱ニ、適當ノ政策ヲ立テラレンコトヲ望ムノテアリマス、政府當局ノ意見ハ如何テアリマスカ

一 山陰線ノ濱田線中、建設工事モ石見東部ヨリ西部ニ進行スルヲ以テ、之カ管理上、設計施設上ニ關シ、濱田ニ建設事務所ヲ移スハ、公私一般ノ爲メニ便利テアツテ適當ナルコト、思ヒマス、ケレトモ、若シ之カ出來ナケレハ、濱田ニ其ノ出張所ヲ設ケテ建築事務所ノ主腦ノ人カ之ニ詰メテ、監督セラル、モ宜シイト思フ、米子カラ折々出張シテ監督スルカ如キテハ不便ノ甚シキモノニテ、地方民トノ意思ノ疎通モ十分ナラス、從ツテ土地買收ノ上ニモ煩雜ヲ來スコトカアリマス、故ニ私ハ斯クハ望ム次第テアリマス、運輸事務所ハ同管内ニテ稍々中央ノ地點テアルカラ、之ヲ變更スルニ及フマイト思フカ、當局者ハ諸般ノ上ヨリ觀テ、公平ニ判斷シ、適當ノ處

置アランコトヲ望ミマス

一 鐵道貨物ノ停滯スルコトハ、全國一般ノ趨勢テアル、私ハ他方面ハ實地ノ視察ヲ爲サル、モ、現ニ米子運輸事務所、所管ノ福知山ヨリ米子、境、杵築、仁万間ニ至ル哩程二百三十哩、此間停車場六十三驛ノ現狀ノ大體ヲ觀察スルニ、米穀、木材、薪炭、石鑛其他ノ貨物ノ停滯スルコトハ實ニ多ク、尙増加スルノ有様テアル、現ニ去六月五日、在貨調テハ、二萬六千九十二噸テ、殊ニ米、繭、魚類等ノ如キハ、定價ノ一定セサルモノニテ、時ニ相場ニ高低變化ヲ生スルノテアルカラ、運輸遲滯スル時ハ地方生産家其他ニ不便ト不利トヲ感ゼシメ、引テ地方産業發展上ニ障害ヲ生スルノテアルカラ、大ニ當局ノ注意ヲ望ム次第テアリマス

一 大正五年ノ貨物收入旅客收入ト、六年ノ五月收入ヲ比較スルニ、昨年五月分(米子管内)十九萬一千百一圓テアツテ、本年五月分ハ二十六萬九千六百五十圓テアル、山陰線中、米子所管ノ線路ノ如キハ、全國各鐵道ニ比シテ劣等ナルニ拘ハラス、如斯進步增收シテ居ル、然ルニ、貨物停滯此ノ如シトセハ、當局ニ於テ臨時貨物列車ノ増發取捌ノ計畫ヲ確立セラレンコトヲ望ミマス、若シモ貨車ニシテ不足ナレハ、新調セラレタシ、機關車ニシテ不足ナレハ、豫備機關車ヲ常用セラレ、全國各驛發送貨物ノ増加ニ伴ヒテ、運送機關ノ設備ニ不足ナキ様、之レカ運送上ニ圓滑ナラシムル上ニ、十分熟慮考究シテ、適當ノ方法ヲ講セラレンコトヲ切望スルノテアリマス

之ニ對シ寺內國務大臣ハ同日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 濱田線中溫泉津驛ヲ經テ淺利驛迄ハ大正七年中ニ淺利驛以西濱田迄ハ大正八年中ニ竣工開業ノ見切ナリ此ノ線路中江川大鐵橋架設工事ハ大正七年中ニ鐵桁架設ヲ終ル様準備中ナリ
- 一 濱田以西益田線ハ本年度ヨリ著手シ大正十年中開通ノ見込ナリ津和野線津和野益田間モ亦

同シ

- 一 豫定線益田萩間ハ大正十年度ヨリ著手シ同十五年度ニ竣工ノ見込ナリ
- 一 豫定線廣江線中三次江津間ニ付キテハ今日未確定ナリ
- 一 山陰線中濱田線工事進捗スルモ米子建設事務所ヲシテ管轄セシムルハ足レリト認ムルヲ以テ今日ニ於テハ建設事務所新設ノ計畫ナシ
- 一 鐵道ノ輸送力ヲ地方ノ經濟狀況ニ應シ公平ニ按分スルコトニ對シテハ常ニ至大ノ注意ヲ用ヒ居レリ米子運輸事務所管内ニ於テモ該地方經濟狀態ニ鑑ミ鐵道輸送力ノ調節ヲ圖リ現ニ大正五年度中同管内發貨物總噸數ハ大正四年度ニ比シ約二割五分ヲ増加シ本年度四月ヨリ六月迄ノ實績ハ去年同期ニ比シ約三割三分強ノ増加ヲ示セリ如此増加歩合ハ鐵道トシテハ極度ノ努力ナレトモ尙未タ滯貨ノ減少セサルハ同地方ニ豫想セサル出貨ノ多量ナル結果ニ外ナラス

九 元居留地在住外國人ニ對シ賦課シタル所得稅並營業稅ノ附加稅ニ關スル質問

- 第一 政府ハ市町村ニ對シ居留外國人ニ賦課シタル所得稅並營業稅ノ附加稅滯納者ニ對スル強制徵收ノ禁止若ハ見合セノ通牒ヲ發シタルコトアリヤ否

- 第二 若右通牒ヲ發シタルコトアリトセハ市町村ノ有スル居留外國人ヨリ所得稅並營業稅ノ附加稅ヲ徵收スルノ權利ヲ侵害スルノ虞ナキヤ否
- 第三 若右通牒ニシテ國交上ノ關係ヨリ出テタル一時的通牒ナリトセハ速ニ之カ取消ヲ斷行シ市町村ヲシテ徵稅權ノ完全ナル行使ヲ爲サシムルノ必要アリト信ス政府ノ所見如何

六月二十八日赤尾彦作君ハ右質問主意書ヲ提出シ七月三日之ヲ延會ス之ニ對シ後藤、本野及勝田各國務大臣ハ同月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 第一 明治四十一年三月中神奈川、兵庫、長崎ノ三縣ニ對シ強制徵收見合セヲ通達シタルコトアリ
- 第二、第三、該通達ハ強制徵收ニ因リ生スル國際的紛議ヲ避ケ圓滿ナル解決ヲ遂ケンカ爲メニ發シタルモノニシテ目下尙關係諸國ト交渉繼續中ニ屬ス而シテ政府ハ可成速ニ其終局的解決ヲ見ルコトヲ希望シ居レリ

一〇 東京商業會議所會頭不認可ニ關スル質問

東京商業會議所會頭後任ニ關シ同會議所ハ其ノ詮衡委員ノ推薦ニ係ル添田博士ヲ滿場一致ヲ以

テ選舉セシニ拘ラス仲小路農商務大臣ハ閣議及省議ニテ既ニ決定シタリトテ同博士ノ會頭就任不認可ヲ聲明シ添田博士ヲシテ辭任ノ餘儀ナキニ至ラシメ同時ニ商工業者自治機關ノ面目ヲ蹂躪シタリ斯ノ如キハ獨リ一商業會議所ノ事件トノミ見ルヘカラス自治團體ノ威信ニ關シ一大惡例ヲ貽シタルモノト謂ハサルヘカラス依テ左記各項ニ對シ明確ナル答辯アラムコトヲ望ム

- 一 商工業者ノ自治團體カ適法ニ選舉シタル會頭ヲ漫然不認可ト爲スハ官權ノ壓迫ニ非スヤ
- 二 聞クカ如クムハ添田博士ハ色彩鮮明ナル報知新聞社長ナルカ故ナリト云フニ在レトモ第三十七回議會ニ於テ商業會議所法中改正法律案ノ審議ニ當リ政黨員ニシテ會頭タルモ差支ナキヤト一議員ノ質問ニ對シ時ノ政府委員ハ差支ナシトノ答辯ヲ爲シタルノミナラス政黨員ニシテ會頭タルノ例乏シカラス純然タル政黨員ニシテ尙斯ノ如シ然ルニ政黨ニ何等ノ關係ナク單ニ報知新聞社長タルノ故ヲ以テ添田博士ノ就任ヲ不認可ト爲スハ職權ノ濫用ニ非スヤ

六月二十九日竹村良貞君ハ右質問主意書ヲ提出シ七月三日之ヲ延會ス之ニ對シ仲小路國務大臣ハ七月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 一 商業會議所ノ役員ハ主務大臣ノ認可ニ依リテ其ノ選舉ノ有效ナルヘキコトハ商業會議所法

ノ規定スル所ナリ而シテ主務大臣ノ之ヲ認可スルト否トハ單ニ形式ノ上ニ於テ其ノ選舉カ適法ナリト謂フノミニ非スシテ其ノ實質ニ於テ純然タル商工業者ノ機關タルヘキ商業會議所ノ本質ニ副ヒ法律ノ規定スル目的ヲ完ウスルニ足ルヘキヤ否ニ付テ慎重ナル考慮ヲ爲スヘキハ當然ナリ從テ是等ノ點ニ付テ農商務大臣ハ事前ニ警告ヲ爲シタルコトアルモ商業會議所ノ會頭ノ選舉ニ對シテ漫然不認可ノ處置ヲ爲シタルカ如キコト無シ

二 添田壽一氏カ東京商業會議所ノ會頭トシテ選舉セラレタルモ其ノ認可ノ申請ヲ爲ス以前ニ於テ商業會議所ノ役員ヨリ當局大臣ノ意向ヲ質シタルカ故ニ農商務大臣ハ前項ノ趣旨ニ依リ斷然タル決意ヲ示シ商業會議所ノ爲ニ篤ク其ノ利害ノ點ヲ説明シタルニ其後添田壽一氏ハ自ラ會頭ノ推薦ヲ辭退シ終ニ之レカ認可ノ申請ヲ爲ササリシヲ以テ當局大臣ニ於テモ之レカ就任ニ對シテ不認可ノ處分ヲ爲スノ謂ナク從テ毫モ職權ノ濫用ヲ爲シタルカ如キコト無シ

- 一一 東京商業會議所會頭不認可ニ關スル再質問

七月九日附農商務大臣ノ東京商業會議所會頭不認可ニ關スル質問ニ對スル答辯書ハ更ニ要領ヲ得ス依テ再質問書ヲ提出スルコト左ノ如シ

一 答辯書ニハ會頭不認可ノ處置ヲ爲サストアルモ本質問ノ主意ハ事實ニ在リ添田博士ノ不認可ハ答辯書ニ依ルモ明瞭ナル事實ニ非スヤ

二 答辯書ニ依レハ農商務大臣ハ東京商業會議所役員ニ對シ斷然タル決意ヲ示シテ警告シタリトアリ此ノ警告ハ即チ添田博士ノ辭任ヲ餘儀ナクセシメタルモノナリ之ヲシモ官權ノ壓迫ト謂ハスシテ何ソヤ

三 農商務大臣ノ與ヘタル警告ノ内容如何

七月十日竹村良貞君ハ右再質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ仲小路國務大臣ハ同月十二日其ノ趣旨辯明ニ先チ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ依テ同日議事日程ヨリ之ヲ除却ス

一 東京商業會議所ハ添田壽一氏ノ會頭就任ニ關シ其ノ認可申請ヲ爲ス以前ニ於テ當局大臣ノ意向ヲ質シタルヲ以テ農商務大臣ハ商業會議所ノ本質ニ鑑ミ警告ヲ爲シタリ然ルニ其ノ後添田壽一氏ハ自ラ辭退シ之レカ認可ノ申請ヲ爲ササリシヲ以テ從テ不認可ノ處置ヲ採リタルコトナシ

二 商業會議所ハ純然タル商工業者ノ機關トシテ法律ノ規定スル所ニ從ヒ其ノ任務ヲ完ウセサルヘカラス而シテ苟クモ之ニ背馳スヘキ諸般ノ原因ニ對シテハ之レカ排除ニ努ムヘキハ當

然トス之ヲ以テ官權ノ壓迫ト稱スヘキモノニ非ス

三 二ニ陳フルカ如キ趣旨ヲ反覆シテ關係當事者ノ反省ヲ促シタル次第ナリ

一二 人權蹂躪ニ關スル質問

左ノ事實ニ付内務大臣及司法大臣ニ對シ質問ヲ爲ス

事實

一 東京市芝區仲門前町二丁目二十一番地勳八等鈴木門一(年齢二十六)ナル者其ノ主家タル同市同區愛宕町二丁目十五番地大澤彦次郎方ニ於テ賣懸金約百五十圓許ヲ横領シタリトノ嫌疑ヲ以テ本年六月二十日芝愛宕警察署ニ引致セラレ其ノ儘歸宅ヲ許サレサルヲ以テ本月二十五日ニ至リ其ノ親戚故舊ノ者ヨリ其ノ釋放方ヲ辯護士タル本員ニ囑託シ來レリ本員ハ非現行犯人ヲ檢事ノ令狀ナクシテ司法警察官カ數日間拘禁スルハ不當ナリト信シタルヲ以テ同日午前十時愛宕警察署ニ出頭シ署長ニ面會シ寸時モ早ク釋放セラレムコトヲ請求シタルニ署長ハ主任警部田上兼吉氏ヲ呼ヒ本員ノ面前ニ於テ事件ノ經過ヲ尋ヌル所アリ同警部ハ取調ノ爲今後二日ヲ要スヘシト答フ署長ハ二日ハ要セサルヘク一日ニテ足ルヘシ早ク取調ヲ完結スヘシト命シ同警部ハ之ヲ領シテ去レリ仍テ本員ハ本人ハ青島戰爭ノ勇者ニシテ勳

八等ヲ有スル軍人ナリ且妻子モアリ決シテ逃亡等ノ虞ナク又必要ニ應シ何時ニテモ出頭セシムヘキヲ以テ當日中ニ釋放アリ度旨ヲ懇請シ署長之ヲ容レタルヲ以テ本員ハ辭去シ既ニ當日夕方迄ニハ無論釋放セラレタルモノト信シ居リタルニ去ル二十七日ノ夜ニ至ルモ未ダ釋放セラレサル旨ノ通報ニ接シタルヲ以テ同夜午後十時二十分或ハ三十分頃愛宕警察署ニ出頭シ取調ヘタルニ何ソ圖ラム本件ハ拘留十日ノ處刑ト爲リ居ルトノコトニ付大ニ驚キ本人ニ面會ヲ求メ一面相當保證金ヲ提出スルヲ以テ直ニ釋放セラレ度旨懇請シタルモ宿直警部某ハ頑トシテ之ヲ容レス本員ハ内務大臣、警視總監、檢事正等ヲ煩ハス迄モナク相當處分セラレタシト申出タルニ同警部ハ檢事正等ノ命令ハ肯カスト放言スルヲ以テ本員ハ其ノ無法ヲ極言シ置キテ去リ翌二十八日午前九時東京地方裁判所所屬辯護士平松市藏及大正通信社記者藤本震太郎兩氏ノ立會ヲ得テ主任警部田上兼吉氏ニ面會シ拘留十日ニ處シタル理由ヲ尋ネタルニ職業ナキ犯人ナルヲ以テ浮浪罪トシテ引致ノ即日(即チ六月二十日)拘留十日ニ處シ翌二十一日之ヲ本人ニ通告シタリトノコトナルヲ以テ去テ署長ニ面會シ去ル二十五日本員カ面會釋放ヲ請求シタル際拘留十日ニ處シアル事實ヲ祕シテ告ケス一日モ早ク釋放スヘシト明言シタル理由及浮浪罪ニ處シタル理由如何ヲ尋ネタルニ同署長ハ二十五日ニハ拘留十日ニ處シタル事實ヲ氣付カス又浮浪罪ニ處シタルハ犯罪調査ノ目的ヲ達スルノ手段

トシテ爲シタルモノナリト明言セリ

質問主旨

第一 司法警察官カ非現行犯罪ノ嫌疑アル者ヲ檢事ノ令狀ナクシテ引致シタル事實ニ關スル兩大臣ノ責任如何

第二 犯罪ノ嫌疑者ヲ犯人ノ主家ヨリ引致シ犯罪調査ノ目的ノ爲ニ浮浪罪ニ處スルコトヲ得ルカ

若得ストセハ本件ニ關シ兩大臣ハ如何ナル措置ヲ採ラムトスルカ

第三 宿直警部某カ檢事正等ノ命令ハ肯カスト放言シタル事實ニ關シ如何ナル措置ヲ採ラムトスルカ

第四 至公至正ナルヘキ官吏カ辯護士ニ對シ拘留刑ヲ言渡シタル事實ヲ祕シ置キ法律上釋放スルコトノ不能ナルニ拘ラス一日モ早ク釋放スヘシト明言スルカ如キハ辯護士ノ職責ヲ侮蔑シ官吏ノ威信ヲ失墮スルノ甚シキモノナリト認ム此ノ點ニ關シ内務大臣ハ下官監督ノ責ヲ負フヘキモノト信ス如何

第五 刑事記録ノ冒頭ニハ浮浪罪或ハ道路妨害等ニ依リ拘留刑ニ處セラレタル書類ノ添附セラルル事實ハ從來屢實見スル所ナリ是レ多クハ犯罪搜查、證據ノ蒐集ニ便ナラシムル爲ニス

ル不法ノ略式裁判ニシテ人權蹂躪ノ甚シキモノナリ兩大臣ハ此ノ時弊ヲ矯正スルノ意ナキカ
六月三十日横山勝太郎君ハ右質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ後藤、松室兩國務大臣ハ七月九日書面
ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

第一 司法警察官ハ檢事ノ令狀ナクシテ非現行犯罪ノ嫌疑アル者ヲ引致スルコトヲ得ス
本件ハ浮浪罪ノ現行犯ナリト認メ鈴木門一ニ對シ當該警察官署ニ任意同行ヲ求メタルモノト
ス

警察官署ニ於ケル浮浪罪ノ適用ニ就テハ從來往々ニシテ妥當ヲ缺クノ處置ナキヲ保セス將來
特ニ一層慎重ナル注意ヲ爲サシムルニ努ムヘシ

第二 犯罪嫌疑者ヲ犯罪調査ノ目的ノ爲ニ浮浪罪ニ處シタルノ事實ナシ

第三 宿直警部補某カ拘留ノ言渡確定シタル以上ハ檢事正ノ命令アルモ釋放ノ手續ヲ爲スコト
ヲ得スト云ヒタル事實アルモ單ニ檢事正等ノ命令ハ肯カスト放言シタル事實ナシ

第四 當該官吏ニ於テ拘留刑ヲ言渡シタル事實ヲ祕シ又ハ釋放ヲ明言シタル事實ナシ

第五 犯罪捜査若ハ證據蒐集ノ目的ニ便セムカ爲ニ名ヲ浮浪罪若ハ道路妨害罪ニ藉リ拘留刑ニ
處スルカ如キハ法ノ濫用タルヲ以テ慎重ニ注意シ斷シテ之ヲ爲スヘカラサルコトハ從來屢々

訓示シタル所ニシテ今後尙一層ノ戒飭ヲ怠ラサルヘシ

一三 人權蹂躪ニ關スル再質問

去ル六月三十日本員提出人權蹂躪ニ關スル質問ニ對シ政府ハ之カ答辯書ヲ送付シ來レルモ猥ニ
事實ヲ否認シ證據ヲ無視シ毫モ要領ヲ得サルニ依リ茲ニ再質問ヲ提出スルコト左ノ如シ

第一 政府ハ本員カ東京地方裁判所屬辯護士平松市藏ヲ同道シテ芝愛宕警察署長ノ面前ニ於
テ鈴木門一ヲ拘禁シタル理由ヲ尋ネタル際同署長カ犯罪調査ノ目的ノ爲拘留十日ニ處シタル
コトヲ明言シタル事實ヲ認メサル乎

第二 當日右辯護士ノ面前ニ於テ六月二十五日鈴木門一ヲ拘留刑ニ處シタル事實ヲ告ケサリシ
事實ヲ認メタルニ拘ラス政府ハ之ヲ認メサル乎

七月十日横山勝太郎君ハ右再質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ後藤、松室兩國務大臣ハ同月十二日其
ノ趣旨辯明ニ先チ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ依テ同日議事日程ヨリ之ヲ除却ス

第一 芝愛宕警察署長カ犯罪調査ノ目的ノ爲鈴木門一ヲ拘留十日ニ處シタルコトヲ明言シタル
事實ヲ認メス

第二 同署長ニ於テ拘留刑ニ處シタルコトヲ告ケサリシハ事實ナルモ當時之ニ對シ何等問フ所ナカリシニ依ルモノニシテ故ラニ之ヲ祕シタルコトナシ

一四 傳染病研究所ノ血清、豫防液並血清檢定ニ關スル質問

一 傳染病研究所移管後幾干モナク同所製造血清ノ効力薄弱ノ非難起ルヤ大正四年三月中東京醫科大學青山内科ノ名ヲ以テ米國「マルフォード」會社ニ注文シタル全量八〇〇〇立方仙迷ノ多量ノ「デフテリヤ」濃縮血清ハ青山内科ノ助手酒井某外一名横濱ニ於テ之ヲ受取リタルモ注文者タル醫科大學ニ送ラスシテ直ニ之ヲ傳染病研究所ニ送致シタリ當時該輸入血清ノ用途ニ就キ政府ハ衆議院ニ於テ右ハ研究ノ爲ニ使用シタリト答辯セラレタリ然ルニ爾來二年有餘ヲ經ルモ何等ノ消息ナシ果シテ研究ノ爲ニ使用セラレタリトセハ其ノ研究ノ用途並結果如何

二 大正五年六月六日傳染病研究所ハ新ニ「デフテリヤ」抗毒素ヲ製造販賣スル旨官報ニテ發表シ同時ニ同所長醫學博士林春雄氏ハ右ハ自家ノ發見ニシテ非常ノ成功ノ如ク吹聴セラレタルニ拘ラス事實ハ未之ヲ完成スルコト能ハス世論ノ非難ニ遭ヒ一箇月半後ノ七月十八日僅ニ其中ノ一種而モ極メテ少量ヲ製造發賣シタルモ該品ハ東京顯微鏡院長醫學博士遠山椿

吉氏ニ依リテ檢査ノ結果絕對ニ無菌ナルヘキ内務省令ノ規定ニ違反シテ殆ト腐敗狀態ニ多數ノ細菌ヲ含有スルコト發見セラレ間モナク神奈川縣ニ於テ醫師某カ豫防的ニ其ノ愛娘ニ注射シ危篤ニ陥ラシメタル實例アリ斯ノ如キハ政府事業ノ威信ヲ失墜スルコト甚シキノミナラス公衆衛生上極メテ危險ナリト信ス政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執リタルカ

三 傳染病研究所移管後政府ハ新ニ血清檢定規則ヲ設ケテ民間ノ製造ニ係ル血清ノ檢定ヲ開始シ且名ヲ檢定料ニ藉リテ一種ノ重稅ヲ課シ加フルニ血清ノ製造ニ於テ民間血清製造者ト競爭ノ立場ニ在ル傳染病研究所ニ檢定機關ヲ設置セリ而シテ前項傳染病研究所製造ノ含菌危險ノ「デフテリヤ」抗毒素ニモ亦傳染病研究所檢定之證ヲ貼附シアルヲ見ル右ハ政府檢定ノ威信ヲ失墜スルノ甚シキノミナラス偶該制度ハ一面民間ノ血清ヲ壓迫シ他方官製ノ不良血清ヲ保護スルカ爲ニ設ケラレタリトノ非難ヲ免レサルヘシ政府ハ該檢定機關ヲ傳染病研究所ヨリ分離獨立セシメ以テ嚴正公平ニ之ヲ行フノ意思ナキカ

四 大正五年八月九日ノ交「コレラ」流行ニ際シ豫防注射ノ盛ニ行ハレタルハ防疫上最喜フヘキ現象ニシテ就中政府ニ在リテハ傳染病研究所民間ニ在リテハ北里研究所主トシテ之ヲ製造シタリ而シテ傳染病研究所ハ其ノ製造ニ係ル豫防液カ注射後ノ反應激烈ニシテ非難ノ聲囂々タルニ至ルヤ九月十三日迄ハ豫防液一立方仙迷中ニ密瓦ノ菌量ヲ含有セシメタルニ拘ラス

十六日以後竊ニ且俄ニ之ヲ二倍乃至三倍ニ稀釋シ豫防上ノ効力如何ヲ無視シテ偏ニ目前ノ反應激烈ノ非難ヲ免レムト企テタリ斯ノ如キハ市井ノ奸商猶且恥トスル詐僞的卑劣手段ニシテ文教ノ最高府タル帝國大學研究所ノ所爲トシテハ斷シテ許スヘカラサル罪惡タルノミナラス防疫上轉々寒心ニ堪ヘサル事態ナリト信ス政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執リタルカ

五 大正五年十一月九日神戸ニ於テ日本郵船會社所有船賀茂丸ニ「ベスト」患者發生ノ際豫防注射トシテ傳染病研究所製造ノ「ベスト」血清ヲ船員百餘名ニ注射シタルニ何レモ激烈ナル反應症ヲ起シ就中其ノ六十餘名ハ瀕死ノ危險症ニ陥リ醫治ニ依リ辛シテ之ヲ救フコトヲ得タリ斯ノ如キハ未曾テ有ラサルトコロニシテ血清ノ製法其ノ當ヲ得サルニ在ルコト疑ヲ容レズ政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執リタルカ

六 以上ノ事實ニ照シ現時ノ傳染病研究所ハ血清及豫防液製造ノ能力ナキモノト認ム政府ノ所見如何

七月二日土屋清三郎君ハ右質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ岡田國務大臣ハ同月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

一 東京帝國大學醫科大學ニ於テ研究用ノ爲米國マルフォード會社ヨリヂフテリヤ濃縮血清ヲ購入シタルハ事實ナルモ之ヲ傳染病研究所ニ送致シタルコト無シ而シテ右血清ノ一部ハ同大學藥物學教室ニ於テ之ヲ學術ノ試驗用ニ供シ他ノ一部ハ動物試驗ヲ行ヒタル上之ヲ東京市立駒込病院ニ委託シテ患者治療上ニ使用シタルモノナリ

二 傳染病研究所ニ於テ製造スル血清抗毒素等ニ付テハ同所ニ於テ内務省警視廳及民間ノ專門技術者立會ノ上嚴密ナル學術的ノ検査ヲ行ヒ全ク無菌ナルコトヲ確メテ後販賣スルモノナルヲ以テ其ノ中ニ細菌ヲ含有スルカ如キコトアルヘキ筈ナシ然ルニ昨年七月同所ノ販賣ニ係ル抗毒素ノ一壘カ東京顯微鏡院ニ於テ検査ノ結果多數ノ細菌ヲ含有セルヲ發見セラレタリトノコトヲ聞知セルヲ以テ右ト同一品タル抗毒素ヲ市中ノ店舗ヨリ購入シ尙傳染病研究所ニ殘存セル同一品ニ就キ更ニ内務省及警視廳ノ專門技師立會ノ上検査ヲ行ハシムルニ毫モ細菌ヲ含有セサルコトヲ確メタリ事實如此ナルカ故ニ傳染病研究所ニ於テ販賣セル抗毒素ニハ何等批難スヘキ點ナシト認ム其ノ他神奈川縣ニ於テ某醫師カ抗毒素ヲ其ノ女ニ注射シテ危篤ニ陥ラシメタルカ如キ事實ナシ

三 傳染病研究所ニ設置セル血清檢定機關ハ特別ノ檢定委員ヲ以テ組織シ委員ノ半數ハ研究所外ヨリ選任シ嚴正公平ニ検査ヲ施行シツアルヲ以テ現行ノ檢定制度ノ下ニ於テ何等弊害

アルヲ認メス

四 傳染病研究所ニ於テ昨年中「コレラ」豫防液一、立方センチメートル中ニ含有スル菌量ヲ變更シタルハ毒力強キ菌種ヲ用ヒタルカ爲ニシテ其ノ菌含有量ヲ減スルモ毫モ其效力ヲ減少スルモノニアラス

五 昨年十一月九日神戸ニ於テ日本郵船會社所有船賀茂丸ニ「ベスト」患者發生ノ際「ベスト」血清ヲ船員ニ注射シタルニ副作用ヲ起シタル者多カリシハ事實ナルモ何レモ短日子ノ間ニ快復シタルモノニシテ瀕死ノ危険症ニ陥リタリトイフカ如キハ事實ニ反ス元來「ベスト」血清ハ豫防注射後他ノ免疫血清ノ場合ニ比シ強キ反應症狀ヲ來スコトアルハ從來ニ於テモ其ノ實例ニ乏シカラス是レ今日ノ學術程度ニ於テ免ルヘカラサル所ニシテ之ヲ以テ血清ノ製法其ノ當ヲ得サルカ爲ナリトイフコトヲ得ス

六 以上ノ事實ナルヲ以テ傳染病研究所ニ對シ何等批難スヘキ點アルヲ認メスト雖モ今後益々研究ヲ重ネ血清ノ製造其ノ他ニ就キ一層ノ改善ヲ加ヘシメンコトヲ期ス

一五 傳染病研究所ノ血清、豫防液並血清檢定ニ關スル再質問

一 大正六年七月九日附傳染病研究所ノ血清、豫防液並血清檢定ニ關スル質問ニ對スル文部大

臣ノ答辯ハ頗ル要領ヲ得ス依テ再ヒ精細ナル答辯ヲ求ム

七月十日土屋清三郎君ハ右再質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ岡田國務大臣ハ同月十二日其ノ趣旨辯明ニ先テ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ依テ同日議事日程ヨリ之ヲ除却ス

衆議院議員土屋清三郎君提出ノ傳染病研究所ノ血清豫防液並血清檢定ニ關スル質問ニ對シテハ既ニ詳細答辯セリ重テ答辯スルノ必要ナシト認ム

同日土屋清三郎君ハ右答辯書ニ對シ意見ヲ述フ左ノ如シ

諸君、本員ハ曩ニ傳染病研究所ノ血清豫防液並血清檢定ニ關スル質問ノ要旨ヲ書キマシテ政府ノ答辯ヲ求メテ置キマシタ所、本員未ダ其要旨ヲ説明セザルニ先ツテ、一昨日文部大臣ヨリ答辯ヲ得タノデアリマス、然ルニ其答辯書ハ當ニ本員質問ノ要旨ニ適合セザルノミナラズ、動モスレバ本員ガ質問セントスル所ノ被告ノ地位ニアル傳染病研究所當事者ノ辯解其儘ヲ取次グガ如キ感ガアリマスノデ、本員ハ甚ダ之ヲ遺憾トシ重テ質問書ヲ提出致シマタシ所、先刻再ヒ答辯書ガ交付セラレマシテ、答辯ノ限ニアラズ、斯様ナ答辯ガ有ッタト云フコトデアリマス、私ノ信ズル所ニシテ誤リナシトスレバ、現文部大臣ハ所謂忠勤恪誠ノ士デアツテ、決シテ非ヲ是ニ曲ケ詭辯ヲ以テ世ヲ渡ラントスルモノデナイコトハ本員ノ確信シテ疑ハナイ所デアリマスケレドモ、如何セン本件ハ前大隈内閣ノ時代ニ於ケル失敗ノ中ニ最モ著シキ失敗デアアル、而シテ本員ガ質問セントスル事項モ多ク前内閣時代ノ出來事デアアル、而シテ當時ノ屬僚ハ今尙依然トシテ現文部大臣ノ下ニアルガ故ニ、或ハ彼等ガ謀ツテ以テ現文相ノ聰明ヲ掩フガ爲メニ、斯ノ如キ答辯ニナラザル不得要領ノ答辯ヲシタノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシタガ故ニ、本員ハ茲ニ本員ノ提出シ

タルトコロノ質問ノ要旨ト、ソレニ對スル政府ノ答辯トヲ比較致シマシテ本員ノ立場ヲ明カニシテ置キタト思フノデアリマス、成ベク簡單ニ議論ヲ避ケテ事實ノミヲ擧ゲテ申上ゲルコトニ致シマス、本員ノ質問セントシタ所ノ第一點ハ傳染病研究所ノ移管サレマシテ以來、同所ニ於テ製造スルトコロノ血清ノ效力ガ非常ニ薄弱デアルト云フ非難ガ八釜敷クナッタ、此間ニ於テ大正四年二月ヨリ三月ニ亙リテ、東京醫科大學ノ名前ヲ以テ亞米利加ノ「マルフォード」血清會社ヨリ金額ニ於テ約五千圓、分量ニ於テ八千立方仙迷ト云フ非常ナ多額、之ヲ患者ニ使用スレバ約八千人ノ病人ヲ治療スルコトガ出來ル多量ノ血清デアリマス、此多量ノ血清ヲ醫科大學ノ名前ヲ以テ註文致シマシタガ、其品物ハ青山内科ノ助手酒井繁並書記小峰某ヲシテ横濱ノ税關ニ於テ之ヲ受取ラシメ、サウシテ其品物ハ傳染病研究所ニ行ッテ仕舞ッタト云フコトデアリマス、併ナガラ之ニ對シマシテハ當時ノ議會ヨリ杉山代議士ノ質問ニ對シマシテ、福原文部次官ハソレハ傳染病研究所ヘ送ッタノデナイ、大學ニ於テ試驗ノ爲メニ使用シタ、斯ウ云フ答辯ガアッタノデアリマス、果シテ大學ニ於テ之ヲ使用シタリトスレバ、大學ニ於テハ一箇年間ニ取扱フ所ノ「ヂブテリヤ」患者ト云フ者ハ極メテ少數デアアル、又大學其モノハ血清ヲ製造スル事ニ於テモ、販賣スル事ニ於テモ、亦研究スル事ニ於テモ、寧ロ當時ニ於テハ關係ガ無カッタノデアリマス、其大學ガ當時移管後ノ傳染病研究所ノ血清ガ非常ニ利カナイ、非難ノ聲ガ囂々タルニ當ッテ、傳染病研究所ト最モ密接ノ關係アル醫科大學ガ之ヲ註文シテ、サウシテ其品物ヲ青山内科ノ助手ガ受取ッテ、而シテ其品物ノ行方ガ不明デアルト云フ場合ニ於テハ、此血清ノ行方コソ吾々ガ大ニ質サナケレバナラス所ノモノデアリマス、而シテ先般決算委員會ニ於テ本員ガ松浦政府委員ニ果シテ之ハ大學ニ於テ使用シタリトスルナラバ、其研究ノ用途並ニ結果ハドウデアアルカト云フ質問ヲ致シマシタ所ガ、松浦政府委員ハ之ニ答ヘテ曰ク、ソレハ半分ハ大學ニ於テ試驗用ニ使ヒ、半分ハ大學ニ於テ治療ニ使用シタ、斯様ナ答デアリマシタノデ、本員ハ若シ之ヲ治療ニ使用シタト云フコトデアレバ、醫科大學青山内科ニ無シ、小兒科ニ無シ、當然血清ヲ受クベキ模範藥局ニ無シ、孰レノ處ニ於テ之ヲ使用シタノデアルカ、斯ウ云フ反問ヲ致シマシタ所ガ、松浦政府委員ハ之ニ對

シテ御答ガ無カッタノデアリマス、然ルニ今回政府ヨリ私ニ交付サレマシタ答辯書ヲ見マスルト、是ハ駒込病院ニ於テ之ヲ使用シタト云フコトデアリマシタ、依テ本員ハ一昨朝其當時ヨリ現今ニ至ルマデ駒込病院長デアアル所ノ醫學博士宮本叔君ニ向ッテ、駒込病院ハ醫科大學ヨリシテ亞米利加ヨリ輸入セラレタル「ヂブテリヤ」血清ノ使用ヲ委託セラレタルコトアルカ、ドウカト云フコトヲ質シマシタ所ガ、左様ナ事ハ全然覺エガナイト云フコトデアリマス、サウ致シマスルト私ハ此文部大臣ノ答辯ニ對シテ、孰レガ眞デアルカ甚ダ迷ハザルヲ得ナイノデアリマス、是ガ私ノ疑念ヲ質ス第一點デアアル、第二ニハ昨年ノ六月六日傳染病研究所ハ新タニ「ヂブテリヤ」抗毒素即チ血清ヲ人工的ニ加工シテ濃クシタ所ノモノデアアル、之ヲ發賣スルト云フコトヲ官報ヲ發表致シマシテ、同時ニ林所長ハ各新聞紙ニ向ッテ、此事ノ研究ト云フモノハ先キニ我國ニ於テ佐伯博士ガ試ミタケレドモ失敗ニ終ッタ、自分ガ之ヲ研究シテ非常ニ成功シタ、而モ此事ハ學術ノ上ニ於テ特許ニ値ヒスルモノデアアル、斯様ナ事ヲ吹聴セラレタノデアリマスケレドモ、果シテソレガ事實デアルナラバ、本員ハ我治療界ノ爲ニ大ニ喜バナケレバナラヌ事ト考ヘマシテ、傳染病研究所ニ向ッテ賣下ゲノ出願ヲシマシタ所ガ、甲乙丙ノ三種、之ヲ六月六日官報ニ發賣ヲ發表シタニ拘ラズ、何回催促シテモ賣下ゲ出來ナイ、色々催促ヲ致シマシタ上ニ七月十八日漸ク其中ノ甲種ノ第一號ダケヲ送ッテ參ッタノデアリマス、所ガ官報ニ於テ發表致シマシテ以來往復日ヲ閱シテ出來ナカッタ理由ヲ段々内査致シマシタトコロ、傳染病研究所ハ新聞ニコソ吹聴シタ、併ナガラ實際ニ之ヲ製造スルコトガ出來ズ製造シタ所ノモノハ外カラ來ルトコロノ檢定員ニ依ッテ微菌ガ澤山アツテ、乙丙モ不合格ニナッタト云フコトヲ承リマシタ爲メニ、本員ハ當時其送ラレタ所ノ甲種ノ一瓶ヲ取ッテ東京顯微鏡院長醫學博士遠山椿吉氏ニ此檢査ヲ依頼致シマシタ所ガ、驚クベシ一立方仙米ノ中ニ——其一瓶ノ中ニ二百四十幾ット云フ驚クベキ多數ノ生キタ微菌ガ混在シテ居リマシタガ爲メニ、此事タル當ニ内務省令ノ血清檢定規則ニ違反シテ居ルバカリデナク、知ラズシテ之ヲ治療ノ上ニ用ユルト云フコトハ非常ニ危險デアルト感ジマシタガ故ニ、内務大臣ニ此處置ヲ陳情致シテ置キマシタ所、傳染病研究所ノ當事者ハ……暫ク聽キ給ヘ——當事者

ハ市場ニ殘テ居ルモノヲ悉ク引揚ゲテ、サウシテ他ノモノト詰メ換ヘテ更ニ之ヲ市場ニ賣出シテ、サウシテ此非難ヲ免レヤウト致シタノデアリマス、併ナガラ所謂天網恢々疎ニシテ漏サズ、餘程狼狽致シマシタモノト見エマシテ、同ジ七月十八日ノ封緘血清デアリナガラ、今ノ微菌ノ居ル所ノモノハ檢定番號ガ三號デアアル、悉ク三號デアアル、然ルニ後トカラ知ラヌ顔デ詰メ替ヘテ出シタトコロノモノハ五十一號ノ檢定番號ヲ打ッテアッタノデアリマス、是ハ説明ヲ致シマスルコトハ長クナリマスカラ茲ニ實際ノモノヲ御目ニ掛ケテ詳細ノ説明ヲ略シマス、即チ初メノ時ニ於テハ、微菌ノアル所ノモノハ「ナンバー」三號ト打ッテアッタ、然ルニ其後カラ引揚ゲテ詰メ替ヘテ出シタ所ノモノニハ五十一號ノ番號ヲ打ッテ居ッタノデアリマス、ノミナラズ此血清ヲ知ラズシテ使用シタル所ノ神奈川縣川崎町ノ或ル醫師ハ、之ヲ自分ノ愛嬢ニ注射致シマシタ所ガ、非常ナ副作用ヲ起シ、是ガ爲ニ將ニ一命ヲ落サント致シタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル處置ヲ爲シタカ、斯ウ云フ質問ニ對シテ政府ノ答辯ハ頗ル曖昧デアッタ、傳染病研究所ニ於テハ各専門學者ガ立會テ嚴密ニ檢査ヲシテ居ル故ニ左様ナ事ハナイ、唯或ル一鱗ノミガ顯微鏡院ニ於テ微菌ノアルコトヲ證明サレタ、尙ホ神奈川縣ニ於テハサウ云フ事實ガ無イト、斯様ニ否認ヲ致シテ居リマスケレドモ、此檢査ガ嚴正ナモノデナイ公平ナモノデナイト云フコトハ斯様ナ次第デアリマス、第一ニ血清ヲ檢査スルニハ少クトモ五日ノ時日ヲ要スルノデアアル、然ルニ檢定ニ出シタノハ七月十五日デアッテ、サウシテ十八日ニ早ク封緘ヲシテ出シテ仕舞ッタ、而シテ此檢査ノ最初ニ立會ハレタ所ノ檢査員ニハ豫メ其結果ヲ報告シ、少クトモ其事實ヲ示シテ同意ヲ求ムルノデアリマスケレドモ、民間ヨリハ盛ニ官報ヲ發表シナガラ、何故賣下ヲシナイカト云フヤウナ色々ナ督促ヲ受ケマシタ爲ニ、狼狽ノ餘リ他ノ檢定委員ノ同意ヲ得ズシテ、十八日ニ恣ニ傳染病研究所ノ檢定ノ印章ヲ貼附シテ發賣ヲ致シタノデアリマス、ノミナラズ此菌ガアルト云フコトハ雷ニ顯微鏡院ニ於テ遠山博士ガ獨リ之ヲ證明シタ許リデナク、是ヨリ前キ金杉研究所ニアル所ノ佐伯博士ハ同様ノ抗毒素即チ三號ノ中ニ微菌ガ澤山アルト云フコトヲ見出シテ、サウシテ態々傳染病研究所ノ當事者ニ電話ヲ掛ケテ注意ヲシタ事實ガアルノデアリマス、而已ナラズ

神奈川縣ニ於テ左様ナ事實ガ無イト云フコトヲ答ヘテ居リマスケレドモ、川崎町ノ上堀之内佐藤秀榮ト云フ醫師ガ、其二女ノ二歳ニナル者デ七月十六日ニ感冒ノ氣味デアッテ、十九日ニ大森堀之内藥店ニ依頼ヲシテ傳染病研究所ノ抗毒素ヲ買ッテ注射ヲシタ所ガ、其注射ヲシタ部分ガ非常ニ腫レテ三十九度八分ノ熱ガ出テ、非常ニ神經ガ過敏ニナッテ一時ハ危篤ノ状態ニ陥ッタ、サウシテ此川崎ノ醫師ハ是ガ自分ノ娘デアッタカラ幸デアアル、若シモ他ノ病人デアッタナラバ寔ニ申譯ノ出來ナイコトデアアルト云フコトヲ言ハレタト云フコトガ、當時態々川崎町ニ行カレテ其真相ヲ調べタ所ノ東京毎夕新聞中央新聞並ニやまもと新聞ニ歷々トシテ掲ゲラレテアルノデアリマス、之ヲ否認スルト云フコトハ如何ナルコトデアリマス、第三ハ血清檢定機關、傳染病研究所ニハ血清檢定機關ト云フモノガ設ケテアッテ、而シテ民間ニ於テ製造ヲスル所ノ血清ニ對シテ一定ノ檢定料、名ハ檢定料ニ均シキモノ一種ノ重稅デアアル、此檢定料ヲ課シテ其果シテ内務省令ノ規定ニ適合シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ檢定致スノデアリマス、然ルニ此檢定ト云フモノハ檢定機關タ合シテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ檢定致スノデアリマス、即チ民間ノ血清製造ル傳染病研究所ガ既ニ自分ニ於テ血清ヲ製造シ自分ニ於テ販賣シテ居ル、即チ民間ノ血清製造業者ト同ジ競争ノ立場ニアルニモ拘ラズ、此處ニ於テ民間ノ血清ヲ檢定スルト云フコトガ果シテ發公平デアアルカドウカ、況ヤ前ニ自ラ檢定ノ證ヲ貼附シ、是ガ内務省令ノ規定ニ適合セリトシテ發賣セルトコロノ「ダブテリヤ」抗毒素ノ中ニ、恐ルベキ多數ノ微菌ヲ持ッテ居タト云フコトヲ以テ見テモ、此檢定機關ガ決シテ公平ノモノデナイ、政府ハ之ヲ現在ノ傳染病研究所ヨリ分離シテ、獨立シテ官民共ニ公平ニ之ヲ行フ意思ガアルカ、ナイカ、斯様ナ質問ニ對シマシテ政府ハ傳染病研究所ニ設置セル血清檢定機關ハ、獨立セル檢定委員ヲ以テ組織シ、委員ノ半數ハ研究所外ヨリ選任シ、嚴正公平ニ檢査ヲ執行セシメツ、アルヲ以テ、現行制度ノ下ニ於テ何等弊害ヲ認ムルヲ得ズ、斯様ニ答辯ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ若シモ此血清ト云フモノガ例ヘバ學校ニ於テ生徒ノ答案ヲ調べルガ如ク、若クバ既ニ出來上ッテ居ル所ノ書畫ノ鑑定ヲスルガ如キモノデアレバ、是レデモ宜シイノデアリマセウケレドモ、血清ノ檢定ト云フモノハ非常ニ複雑ナモノデアアル、第二ニハ免疫單位ヲ檢査スル爲ニハ「モルモット」ヲ使用スル、サウシテ此「モルモット」ハ檢

查スベキ血清、之ヲ試驗スベキ抗毒素、此兩者ヲ注射シテサウシテ四日ノ中ニ此「モルモット」ガ死ヌカ生キルカト云フ事ヲ極メルノデアリマス、所ガ其試驗サルベキ動物ハ何レノ處ニ飼養セラ
ルルカト云フト、傳染病研究所ニ飼養セラレテ居ルノデアアル、若シ公平ナラザル所ノ人ガアツテ、
此血清ヲ不合格トスル考ヲ持ッテ居ッタナラバ、外ノ檢定員ノ歸ッタ後デ少量ノ毒素ヲ注射スレバ
宜シイ、之ヲ生カシテ合格ニシヤウト思ヘバ少量ノ血清ヲ注射スレバ足リルノデアアル、即チ免疫
單位ガ規定ノ通りアルヤ否ヤト云フコトヲ確メルニハ、此動物ヲ飼養シテ居ル所ノ傳染病研究
所當事者ノ自由勝手デアアル、次ニハ……成ベク簡單ニシテ置キマス、次ニ微菌ガアルカナイカト
云フコトハ是モ五日間ヲ要スル、而シテ此中ニ微菌ヲ生カスヤ否ヤト云フコトハ、此培養基ヲ保
管シテ居ル傳染病研究所ノ自由デアアル、其他マダ幾ツモアリマスガ、要スルニ傳染病研究所ガ自
分デ血清ヲ製造シ、自分デ民間ノ血清製造業者ト競争ノ立場ニ在ッテ、而シテ此檢定ト云フモノ
ガ自分ノ所ニ於テ自由ニナル以上ハ、其結果ノ公平ニナルト云フコトハ是ハ到底期スルコトハ出來
ヌ、而已ナラズ況ヤ民間ニ於ケル血清ノ製造販賣ハ、此檢定ヲ經テ最後ノ封緘ヲ貼ルマデ警視廳
ノ警部ガ寢ズノ番ヲ致シ、恰モ重罪犯人ニ對スルガ如キ態度ヲ以テ居ルバカリデナク、尙ホ檢定
ニ對シ多額ノ檢定料ヲ課シ、一方傳染病研究所ハ官ノ仕事デアアルト云フ所カラシテ、自由勝手ニ
是ガ出來ルト云フコトガ、何デ是ガ公平デアリマスカ、之ヲシモ公平デアルト云フコトハ、本員
甚ダ其當ヲ得ナイト思フノデアリマス、殊ニ傳染病研究所ヨリ賣出シタ所ノモノニ微菌ヲ含
デ居ル、其危險ナル「チブテリヤ」抗毒素ニ向ッテ自分デ檢査ヲシテ、而シテ是ハ無菌デアアル、民間
ノ醫師共ガ彼此レ非難スルト云フコトハ理由ガナイト云フガ如キコトハ、恰モ刑事被告人ガ判
事ヲ兼ネテ自己ノ犯罪事實ヲ否認シテ、以テ己ノ公明正大ヲ誇ルト何等變ッタコトガナイノデア
リマス、之ヲシモ政府ハ尙ホ嚴正公平何等弊害無イト云フノデアリマスカ、第四ニハ虎列刺ノ豫
防疫ノ事デアリマス、昨年虎列刺ガ流行シタ當時、殊ニ東京市ニ於テハ盛ニ豫防疫注射ガ行ハ
レ、政府ニアツテハ傳染病研究所、民間ニアツテハ北里研究所、其他ニ於テ色々ト之ヲ製造致シマシ
タ其豫防疫注射ノ行ハルルコトハ防疫上非常ニ喜ブベキコトデ、何處マデモ獎勵シナケレバナラ

スコトデアリマスケレドモ、此傳染病研究所ニ於テ造ッタ所ノ豫防疫ハ注射後ノ反應ガ非常ニ著
シイ、或ル者ハ是ガ爲ニ翌日ニ至ッテ九度以上ノ熱ヲ發シ、或ル工場ノ如キハ是ガ爲メニ職工ノ
大部分ガ休マナケレバナラスコトニナリマシテ、非難ノ聲ガ追々ト八釜敷ナリマシタ所ガ、傳
染病研究所ハ八月ノ十三日マデハ一立方糎ノ内ニ二粒瓦ノ虎列刺菌ヲ入レテ居リマシタモノヲ、
此非難ヲ緩和スル爲メニ十六日以後俄ニ之ヲ二倍或ハ三倍ニ薄メテ、サウシテ而モ同十八日ニ
國家醫學會ノ席上ニ於テ、傳染病研究所ノ二木博士ハ傳染病研究所ノ虎列刺豫防疫ハ製造ニ注
意シタ爲ニ反應ガ非常ニ減少シテ、之ヲ使用スルモ安心デアルト云フコトヲ演說ヲ致シ、其演說
筆記ヲ全國ノ醫師ニ配布ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ是ハ製法ニ何等ノ注意ヲ拂ッタモノデ
ハナイ、其儘デハ反應ガ強クテ反應ガ強クテ困ルガ爲ニ之ヲ竊ニ二倍三倍ニ薄メテ——二倍三
倍ニ薄メタガ爲ニ其豫防疫ノ效力ハ二分ノ一或ハ三分ノ一以下ニ減ジテモ、唯々反應ガ強イト云
フ非難ヲ免レサヘスレバ以テ足レリトシテ、サウシテ表面ニ於テハ製法ニ注意ヲシタト云フ看
板ヲ掲ゲテ、其二倍或ハ三倍ニ稀薄ヲシテ賣出シタニ付テハ何等ノ說明ヲ致サナイノデアリマ
ス、當時此事ハ非常ニ醫學界ニ於テ八釜敷イ問題ニナリマシタカラ、北里研究所ノ志賀博士ノ如
キハ精密ニ其事實ヲ試驗シ、是ガ爲ニ所長北里博士ノ名ヲ以テ文部大臣並ニ内務大臣ニ其意見
ヲ陳述致シテ居ッタノデアリマス、傳染病研究所ト云フ政府ノ事業政府ノ最高ノ研究所ニ於テ、
民間ニ對シテ豫防疫ノ藥ヲ一般ニ提供スルニ當ッテ、何等ノ理由ナクシテ途中竊ニ之ヲ二倍三倍ニ
稀薄ニシテ、而モ同一ノ價格ヲ以テ販賣シタト云フコトハ果シテ如何デアアルカドウカ、之ニ對シテ
政府ハ「虎列刺豫防疫ノ菌量ヲ變更シタルハ毒力ノ強キ菌種ヲ用ヒタルガ爲メニシテ其菌含有量
ヲ減ズルモ毫モ其效力ヲ減少スルモノニ非ズ」斯様ナ答辯ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ
答辯ハ素人デアレバ卒サ知ラズ、少クトモ傳染病學細菌學ノ一端ヲ知ル所ノ本員ハ、斯ノ如キ素人
騙シノ答辯ハ許サナイノデアリマス、毒力ノ強イ菌種ヲ用ヒレバ免疫力ノ發生ガ強イト云フコト
ハ、是ハ生キタ微菌ニ付テ言フコトデアツテ、豫防疫ノ如ク煮テ之ヲ殺シタ死骸ノ微菌ニ付テハ、
其毒力ノ生前ニ於ケル——生キテ居ル時代ニ於ケル毒力ノ強弱ハ何等此免疫力ノ發生ニ影響ガ

無イノデアリマス、恰モ生前ニ於テハ英雄デアラウガ凡人デアラウガ、死ネバ同一ノ死骸トシテ取扱ハレル、同一無力ナモノトナルノデアアル、然ルニ之ニ向ッテ毒力ノ強イ菌ヲ用ヒタガ故ニ、假令菌量ヲ減ズルモ其效力ニ何等變化ガナイト云フコトハ、詭辯モ亦甚シイト言ハナケレバナリマセヌ、本員等ノ殊ニ此事ニ付テ憂ヒトスル所ハ斯ノ如ク同一ノ效果アリト唱へ、而モ二倍三倍ニ稀薄セラレテ其效力モ隨テ二分ノ一三分ノ一ニナッテ居ルモノヲ、同一ノ效果アリトシテ使用セラル、ト云フコトハ、防疫上ニ於テ非常ナル影響ヲ及ボスコト許リデナク、尙更ニ憂フベキ事ハ此事業ガ帝國ノ最高學府デアアル東京醫科大學ノ研究所ノ事業トシテ、學者ノ德義上許ス可ラザルコトデアアルト云フ點デアリマス、同一ノ品物ガ薄メラレ其效力ガ隨テ頗ル微弱ニナッタ所ノ其豫防液ヲ、何等ノ理由モ豫告スルコトナクシテ、以前ノ豫防液ト同一ノ效果アリトナシ、同ジ價格ヲ以ッテ之ヲ賣ルコトハ、例ヘバ酒屋ニ於テ初メハ純良ナル清酒ヲ賣出シ、後ニ私ニ之ヲ十割二十割ノ水ヲ加ヘテ、是モ同ジ效アリト稱シテ同一ノ價額ヲ以テ販賣ヲ致シタノト行爲ニ於テ何等ノ差ガナイノデアリマス、商賈ニシテ——商人ニシテ既ニ斯様ナ事アリト致セバ此事實ヲ社會ハ何トスルカ、法律ハ果シテ之ヲ看過スルデアリマセウカ、況ヤ我國ニ於テハ日本ノ製品ガ常ニ見本ト品物ガ段々ニ違ッテ行ク、是ガ爲ニ輸出貿易ノ上ニ非常ナル信用ヲ失シ、是ガ爲ニ態々検査機關ヲ設ケネバナラヌト云フコトハ、是ハ國ノ爲ニ非常ニ憂フベキ事デアアルト云フコトハ、一般ノ識者ノ間ニ囂々トシテ論ゼラレテ居ル、而シテ斯ノ如キ國民ノ信用ヲ向上スルコトハ……文政ノ最高學府デアアル所ノ帝國大學ノ當事者ノ大ニ努メナケレバナラヌ所デアアルニ係ラズ、斯道ノ最高ノ學者ヲ網羅シ、兼ネテ民間ノ血清ヲ檢定スベキ地位ニ在ル所ノ傳染病研究所ノ當事者トシテハ、洵ニ許ス可ラザル罪惡デ、斷ジテ看過スベカラザルコトデアアルト思フノデアリマス、然ルニ之ニ對シテ何等ノ答辯ヲ與ヘナイト云フコトハ甚ダ文部大臣其人ノ誠意ヲ疑ハナケレバナラヌノデアリマス、第五ニハ昨年十一月神戶ニ於テ日本郵船會社ノ所有船賀茂丸ニ「ベスト」ガ發生致シマシタ當時、傳染病研究所ハ之ニ「ベスト」ノ血清ヲ送ッテ、乗組員約百餘名ニ對シテ全部豫防ノ目的ニ此注射ヲ致シタノデアリマス、然ルニ此注射ヲシタ後ニ於テ非常ナ激シイ

反應ヲ起シ、全身ガ腫レテ參リ各關節ガ痛ミ出シ、其六十餘名ト云フモノハ管ヲ咽ニ入レテ纒ニ牛乳ヲ攝ラナケレバナラヌ、又甚シキニ至リテハ脈ガ二三搏毎ニ結代シテイツ何時心臓痲痺ヲ發スカ分ラナイト云フ状態ニ陥ッタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ如何ナル處置ヲ執ッタカト云フノガ私ノ質問ノ趣意デアリマシタガ、政府ハ之ニ對シテ「副作用ヲ起シタル者多カリシハ事實ナルモ瀕死ノ危險症ニ陥リタリト云フガ如キハ事實ニアラス元來「ベスト」血清ハ反應症狀ヲ呈スルコトアルハ從來ニ於テモ其實例ニ乏シカラズ是今日ノ學術程度ニ於テ免カルベカラザル所ニシテ云々」ト斯様ナ答辯ヲシテ居ルノデアリマス、當時其席ニ立會ハレタル所ノ醫師ニ就テ本員ガ親シク聞キマシタル所ニ依レバ、是ガ船ガ碇泊中ニシテ船醫アリ港務醫アリ、神戶ニ於テ行ハレタカラ幸ヒデアアル、若モ是ガ山間僻地ノ醫者ノ無イ處或ハ航海中ニ行ハレタナラバ、此多數ノ人ハ憐ムベシ傳染病研究所ノ「ベスト」血清ノ爲メニ犠牲ニナラナケレバナラヌト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ若モ政府ノ言フガ如ク避ケ難キモノデアッテ、從來サウ云フ事實ガ有ッタト云フナラバ、私ハ斷ジテ其事ノ無イト云フコトヲ明言致シマスケレドモ、若モ左様ナ事ガ有ッタト致シマシタラバ——左様ニ傳染病研究所ノ「ベスト」血清ガ危險デアアルト云フコトヲ承知シテ居ルナラバ、之ヲ豫防注射トシテ健康者ニ用ユルト云フコトハ亂暴モ亦甚シイト言ハナケレバナラヌノデアリマス、要スルニ私ノ質問致シマシタ箇條ハ一々此處ニ證據ヲ並ベテ申上ゲル煩ヲ避ケマスケレドモ、悉ク事實デアアル、悉ク事實ニ基イテ質問致シマシタモノニ對シテ曖昧ナル或ハ事實ヲ無視致シマシタ答辯ヲ爲シ、之ニ對シテ文部大臣ノ答辯頗ル要領ヲ得ズ、故ニ再質問ヲ爲スト云フ質問ヲ致シマシタ所ガ、答辯ノ限ニアラス、斯様ナ答辯ガ世ノ中ニアリマスカ、私ハ現ニ現内閣ニ對シテ十分ナル好意ヲ有ッテ居ル者デアアル、願ハクハ此内閣ヲシテ此非常ナル時局ニ對シテ十分ニ思フ存分ニ善政ヲ行ハシメタイト云フノガ私ノ考ナノデス、殊ニ現内閣ハ大隈内閣ノ失政ノ後ヲ受ケテ、内政ニ外政ニ改メナケレバナラナイ多クノモノヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ此傳染病研究所移管ノ如キハ——移管以後ニ於ケル失態ノ如キハ、當然現内閣ガ之ヲ改メナケレバナラナイ事デアアルニモ拘ラズ、本員ノ熱心ナル質問ニ對シテ、

言ヲ左右ニ藉リテ要領ヲ得タ答辯ヲシナイト云フコトハ、甚ダ之ヲ現内閣ノ爲ニ遺憾トスルノデアリマス、現内閣ハ殊ニ輿論ニ聽イテ其善政ヲ行フト云フ、而シテ現ニ其閣員ニ備ハル所ノ文部大臣ハ願クハ本員ノ縷述シタル質問ニ對シテ良心ヲ以テ判斷セラレ、善意ヲ以テ之ヲ解決セラレムコトヲ希望致スノデアリマス

一六 選舉干渉ニ關スル質問

今回ノ衆議院議員總選舉ニ方リ政府當局ハ、百方陰險惡辣ナル手段ヲ講シテ政府反對黨ニ對シ干渉壓迫ヲ逞ウセルコトハ天下ノ齊シク目睹スル所ナリ乃チ

第一 寺内首相ノ訓示 本年二月十日地方官會議ニ於ル、寺内首相ノ訓示ハ、形式的憲法論ヲ骨子トシ、特ニ議會ノ協贊權ヲ以テ、政府ノ提案ヲ可否スルニ限ルカ如ク妄斷シ、大正ノ聖世ニ應セサル、頑冥不靈ノ言說ヲ敢テシタリ

殊ニ衆議院ノ不信任案討議ニ方リ、反對黨代表者ノ發言ヲ遮リテ、倉皇トシテ解散ヲ行ヒ、未タ反對黨ノ意見ヲ聽カスシテ、漫然其ノ所說ヲ臆斷シ、之ヲ公然ノ訓示ニ披陳シテ、僭妄ヲ極メタリ

而シテ選舉取締ノ勵行ヲ說キ、言論ノ取締ニ論及シテ、濫ニ皇室ノ尊嚴瀆冒等不祥ノ言辭ヲ弄シ、往時佛國ノ權變政家ノ慣用シタル、「法官ヲ用ウルハ、銃鎗ヲ用ウルヨリモ、效力アリ」ノ語ヲ想起セシメタリ

要スルニ首相ノ訓示ハ、反對黨ヲ目スルニ憲法違反ノ不臣ヲ以テシ、之ヲ打破スルノ目的ヲ以テ、地方官ニ對シ、選舉干渉ノ意圖ヲ暗示シ、豫メ其素地ヲ作リタリト思惟ス

第二 後藤内相ノ訓示 首相訓示ノ後三日ヲ經テ、後藤内相ハ、本年二月十三日地方官ニ訓示セ

リ、其演說ノ浮誇放漫ニシテ、論旨ノ支離滅裂ナル、措辭ノ亂暴ナル、不信ノ言ヲ挾メル首相ノ演說ト併セテ、好一對ノ專制式獨斷ヲ暴白シ、其不謹慎ヲ極ムルハ實ニ官界空前ノ出來事ニシテ政府力選舉干渉ノ意思ヲ露骨ニ表明シタリ

特ニ憲政會ヲ貶シテ、「桂公ノ宣言綱領ヲ無視ス」ト罵リ、政友會ヲ揚ケテ「今尙故伊藤公爵ノ創設當初ニ於ケル精神ヲ恪守シ」ト云フニ至リテハ、大正二年ニ於テ、後藤男其ノ人カ「客問答」ト題シ、政友會カ故伊藤公爵ノ精神ヲ蹂躪スト爲シテ、極力罵倒シタル前言ニ對比シテ、矛盾ヲ極ムルモ亦甚ダシク、昨是今非、恬然之ヲ官府ニ演述スルニ至ッテハ、人間羞恥ノ事アルヲ知ラスト云フヘカラスヤ

内相ノ演說ヲ聽ケル地方官ハ、秉公持平ヲ標榜セル内閣ニ、此不公不平ノ言アルニ驚キ、呆然自失スルモノ少ナカラサリシハ、當然ノ結果ニシテ、世論ハ群起シテ之ヲ答メ、遂ニ内相ノ演說ヲ目シテ、狂的發作ト爲スモノアルニ至レリ

然レトモ、首相内相ノ狂熱ハ常識ヲ以テ律スヘカラサルヲ示シ、下僚ヲシテ戰慄セシメ、俗衆ヲシテ、畏怖セシメ、選舉干渉勵行ト、言論壓迫ノ意圖トニ關シテハ、此訓示ニ於テ、十二分ノ示威ヲ爲シ得タリ

内相ノ訓示ニ續キ、永田警保局長ハ、警察部長ニ對シテ、選舉取締ノ嚴正ヲ求メ、内相ノ訓示ト撞著スルノ甚ダシキヲ示セシカ、選舉期日ノ切迫ニ伴ヒ、内相ハ益、其蠻勇ヲ發揮シ、地方官ヲ犬鷹視シテ、狐疑逡巡セルモノヲ脅威壓迫シ、政争外ニ超越スヘキ、大小ノ事務官吏ヲ驅リテ、之ヲ其渦中ニ投シ、選舉運動ニ狂奔セシメタリ、内相政治上ノ責任カ重大ナルハ、固ヨリ論無ク、眞ニ選舉法ヲ勵行セハ、刑法上ノ制裁ヲ免ルヘカラサルモノアリ

第三 訓示徹底ノ強要 首相内相ノ訓示ハ、反對黨ヲ排シ、政府與黨ヲ舉クルヲ期ス、故ニ訓示ノ徹底ヲ圖ラントセハ、宜シク閣員又ハ之ト共ニ進退スヘキ政務官カ公然ノ言論ヲ以テ、選舉民ニ接觸シ、堂々ノ態度ヲ以テ、其政見ノ是非ヲ國民ニ問フヘキナリ

然ルニ閣員中ニハ、自治ノ講演又ハ教育産業ノ視察ヲ名トシテ、地方ニ出張セルモノアルモ、

公然ノ談論トシテ毫モ其政見ヲ發表セテ却テ陰險惡辣ノ手段ヲ弄シテ、御用黨ノ製造ニ憂身ヲ
窺シ、所謂訓示ノ徹底ヲ舉ケテ、之ヲ地方官ニ強要シタリ
是レ實ニ嚴正公平ノ立場ニ在ルヘキ事務官ヲ驅リテ、政務官ノ手足タラシメ、不當ニ官權ヲ害
用シ併セテ官紀ヲ紊ルモノニシテ、大小ノ官吏ヲ舉ケテ、之ヲ選舉干涉ノ爪牙ト爲シタル現内閣
ノ罪惡ハ、誠ニ言フニ忍ヒサル所ナリ

地方官中心アルモノハ、兩大臣ノ訓示ヲ一般ニ傳達シ、管内有權者ニ周知セシムル以上ノ事
ハ、自己ノ職權ヲ濫用セサルヘカラサルヲ以テ、此範圍ヲ守ラント期シタルニ、後藤内相ハ、
非常ノ權幕ヲ以テ、地方官ヲ威嚇激勵シ、徹底的ニ選舉干涉ヲ行フコトヲ命令シタリ、所謂訓示
ノ徹底トハ、結局選舉民ヲシテ、政府ノ意圖ニ從ヒ、政黨ヲ舉ケシムルニ在リテ、言辭夫レ自身
ニ於テ、選舉干涉ヲ意味スルハ、言フ迄モナキ所ナリ、而シテ其徹底ヲ強要スルノ手段ハ、亦執拗
且周密ヲ極メ

一 中央官吏ヲ内密ニ各他方ニ派シ、地方官ノ態度ヲ監視シ、選舉ノ狀勢ヲ視察セシメ若シ豫定
ノ計畫行ハレス、反對黨候補者優勢ノ報告ヲ受ケタル場合ニハ直ニ地方官憲ニ電命シテ、一層
干涉ノ度ヲ強メシメタルコト

二 知事郡長ヲシテ、管内巡視ヲ名トシ、往々政黨ノ候補者又ハ運動員ヲ同行シ、又ハ他方官
吏ヲ要所々々ニ派シ、町村長及ヒ地方有力者ヲ集メ、兩大臣訓示ノ趣旨ヲ敷衍シテ、反對黨壓
伏ニ勗メシメタルコト

三 警察官吏ヲシテ、最寄有權者ヲ集メ、政府ノ信任スヘキ旨ヲ力説セシメ、又ハ巡查ヲ戸々ニ
派シ政府ヲ頌シ、露骨ニ反對派ニ投票スヘカラスト説キ廻ラシメタル事例尠カラサルコト

四 上長官ノ權威ヲ濫用シ、部下ノ有權者タル官吏ヲ脅迫シ、政府與黨候補者ニ投票セシメタル
コト

右等ノ事實ハ、大都市又ハ特ニ人文ノ發達シタル地方ニ於テハ、微温的ニ行ハルルニ過キサリ
シカ阪僻ノ村落部ニ入りテハ其暴戾言語ニ絶シ、全國ヲ通シテ、大ナリ小ナリ之カ實行ヲ見サル

地方ナシ、後文之ヲ證明スヘキ幾多ノ事例ヲ舉示スヘキモ、今之レニ關スル、文書ノ往復、及ヒ郡
長訓示ノ一例ヲ舉ケテ其一斑ヲ示サン

其一 青森縣内務部長ヨリ各町村長ニ宛タル依命通牒

兩大臣訓示徹底方ニ關シテハ相當御配慮ノ事ト存シ候得共今回更ニ萬遺算ナキヲ期スル爲貴
管内各有權者ニ對シテ兩大臣訓示其他ヲ印刷セル冊子現内閣方針一部宛配付セラレタル儀ニ
有之候ニ付テハ各有權者カ果シテ能ク之ヲ熟讀シ遺憾ナク其趣旨ヲ理解シタルヤ否ヤニ付隨
時有權者ヲ訪問取調若シ理解セザル如キモノアラハ懇篤説明ノ勞ヲ採リ以テ其徹底ヲ期セシ
ムル様御取計相成度候

四月六日

内務部長

各市町村長殿

其二 愛知縣某郡ニ於テ郡長ハ、兩大臣ノ訓示ヲ一層露骨ニ說示シテ、政府擁護ノ必要ト、反
對黨壓迫ノ急務トヲ縷說シ、更ニ該訓示ノ徹底ヲ期スル爲、左ノ通牒ヲ發シタリ

大正六年四月七日

某郡役所第一課

何町村長殿

祕收第三〇號
郡長訓示ハ各位ニ於テ服膺セララルルハ勿論之ヲ適當ニ部内ニ徹底セシムヘキハ申ス迄モナキ
次第ニ有之候處從來兎角其方法不充分ニシテ甚タシキハ區長又ハ總代ニモ達セサル向アルヲ
以テ今後部内ニ徹底ヲ要スヘキモノハ遺憾ナキ様御留意相成度此段及通牒候也
追而去月六日町村會議ニ於ケル訓示ノ結果大臣ノ訓示ヲ徹底セラレタル狀況其筋ヨリ照會
ノ次第モ有之承知致度候條來ル十日迄ニ到著候様左記事項ニ付取調内報相成度候

左記

一 町村長ヨリ區長或ハ總代ニ示達シタル月日並ニ其方法

一 町村長ヨリ直接郡民ニ示達シタルモノハ其月日並ニ其方法
 一 區長或ハ總代ヨリ郡民ニ示達シタル方法
 一 町村長又ハ區長總代ニ於テ示達シタル時ノ狀況其後ノ狀況
 其三 廣島縣安藝郡長天野雨石カ、兩大臣訓示徹底ニ付テ、音戸町及ビ矢野村ニ於テ選舉有權者ニ訓示シタル要旨

「寺内首相ハ陛下ノ思召ニ感激シテ一意誠忠ノ道ヲ竭シツ、アル、帝國ニ取リテハ千載一遇トモ云フヘキ重大ノ時局ニ際シ舉國一致事ニ當ルヲ要ス、故ニ現内閣ハ政黨派ニ關係セス關係スレハ舉國一致ノ實ヲ舉クルコト出カ來ヌ、國民ハ何人モ現内閣ヲ援助スヘキ義務カアル、然ルニ反對黨即チ憲政會ハ更ニ反對ノ理由ナキニ反對シテ居ル、時局多端ノ今日、無意味ナル政争ヲ惹起シ國家國民ニ多大ナル迷惑ヲ與ルモノハ憲政會テアル、斯様ナ政黨ハ國家ニ害毒ヲ與フルモノテアル、選舉民ハ深思熟慮シテ投票セネハナラン」

安藝郡ハ憲政會員龍口了信ノ有力ナル地盤ニシテ、又同會員河本柏人、同郡ニ入り運動セル關係アリ、而シテ前者ハ僧侶出身後者ハ醫師ヲ職業トス、天野郡長更ニ放言シテ曰ク「一體醫者ヤ僧侶ノ如キモノカ政治家トナルト云フノカ間違テアル、今回ノ候補者中ニハ僧侶テアルモノ又ハ醫者カアル、斯ノ如キモノヲ選舉シテハナラヌ」

又同郡長カ、町村長會合ヲ席上ニ於テ、訓示シタル一節ニ曰ク「自分ハ大隈内閣ハ繼續スルモノト思ヒ居リシカ、先般郡長會議ノ節知事ヨリ聞ケハ——併シ是ハ祕密テアル諸君ハ職責ニ鑑ミラレテ決シテ他言スヘカラス——前内閣ハ支那問題テ失敗シタ開ハ……中略……右ノ如キ事實ニ依リテ大隈内閣ハ誠ニ取返シツカヌ一大失態ヲ演シ、終ニ辭職スルノ已ムヲ得サルコトニ立チ至ツタ」

是レ果シテ、郡長ノ職ヲ奉スルモノカ、訓示徹底ノ名ノ下ニ、町村長ニ指示セル行政事務ト認ムヘキ歟、其語ル所ハ、徹頭徹尾、憲政會攻撃、政府擁護ニ努メタル極端ナル選舉干渉演說ニシテ其論調ノ愚劣ニシテ、激越ナル、後藤内相ト雖モ當ニ三舍ヲ避クヘシ

凡ソ政談演說ハ、治安警察法ニ依ルニ非レハ、之ヲ爲スコト能ハサルハ勿論ニシテ、内相ノ所謂言論取締ハ、當然郡長ヲモ覇束セサルヘカラス、然ルニ何等ノ手續ヲモ履マス、政治上ノ關係ニ於テハ、最モ嚴正公平ナル職務ニ在ルモノカ、併モ最モ神聖ヲ保ツヘキ、寺院學校等ニ於テ、斯ル政談ヲ試ミタルノミナラス、之ニ集會セル有權者ハ、警察權ニ依リ、強制的ニ出席セシメラレタル事實アルニ至リテハ如何ニ選舉干渉ノ毒手カ、吏僚全般ニ涉リテ、極端ニ遂行セラレタルヤヲ推知スルニ足ルヘシ

第四 選舉取締上ノ奸策 選舉期日切迫シ、各候補ノ勝敗將ニ決セントスルニ際シ、政府ハ偽計ヲ用ヒ、惡ムヘキ干渉手段ヲ決行シタリ、其偽計トハ「憲政會カ、特ニ多額ノ運動費ヲ配付シ、熾シニ大買収ヲ行フ計畫アリトノ虚構説ヲ捏造シ、之カ取締ヲ行フヲ口實トシテ、憲政派ノ運動ヲ拘束スル」

ノ手段ニシテ、此偽計ニ依リ、官憲ヲシテ、憲政派ノ運動者及ヒ選舉人ヲ拘束威嚇シ、百方其勢力ヲ挫折セシメ、其間隙ニ乘シ、政府與黨ヲシテ、横行闊歩、有ラユル不正行為ヲ恣ニセシメタリ、此惡辣ナル手段ハ、殆ント全國ニ通シ行ハレ、選舉取締ノ美名ヲ挾ミテ干渉ノ奸策ヲ實ニセリ

第一號(四月十三日頃内務大臣ヨリ道府縣ニ對シ發シタル電報)「選舉期日切迫ニ際シ、一齊ニ買収ヲ行フノ虞アリ、現ニ憲政會ニ於テハ、巨額ノ金員ヲ配付シ、十五日以降大買収ヲ爲スノ計畫アリト傳フ、此際嚴重内偵ヲ爲シ、疑ハシキモノニ對シテハ尾行其他ノ方法ヲ講シ買収ノ餘地無カラシムヘシ

偽報飛電シ、一犬虛ヲ吠ヘテ、萬犬實ヲ傳フ右ノ電報ニ接シタル地方官ハ、畢竟之レ政府ノ計畫ナルヲ、知ルヤ知ラスヤ、當日又ハ其翌日、右命令書ノ趣旨ヲ、電話其他ノ方法ニ依リテ、各警察本部ヨリ各警察署長ニ通達シ、各署長ハ、或ハ口頭、或ハ印刷物ヲ以テ、部下全般ノ警官ニ内命シタリ

右ノ事項ハ、左ニ例示セル、兵庫縣及ヒ群馬縣ニ於ケル警察署長ノ祕密訓令ニ依ルモ疑フヘカサラル事實ナリ

秘訓第四號

巡查一般

選舉期日切迫ニ連レ一齊ニ買收ヲ行フノ風評アリ現ニ憲政會ニ於テハ巨額ノ金員ヲ配付シ來ル十五日以降大買收ノ計畫アリト傳フル旨、其筋ヨリ電牒ノ次第モ有之ニ付此際嚴密ニ内偵シ疑シキモノニ對シテハ尾行其他機宜ノ方法ヲ講シ買收ノ餘地ナカラシメンコトヲ期セラルヘシ追テ尾行ノ必要アル場合ハ、速ニ報告シ指揮ヲ受ケラルヘシ

大正六年四月十五日

三木警察署長 田村清藏

號外

大正四年四月十五日

群馬縣原町警察署氏名

各駐在巡查殿

選舉期日切迫ト共ニ、一齊ニ買收ヲ行フノ虞レアリ現ニ憲政會派ニ於テハ多額ノ金圓ヲ配布シ十五日以後大買收ヲ爲スノ計畫アリト傳フ、此際嚴密ニ内偵ヲ遂ケ疑ハシキモノニ對シテハ尾行ヲ爲シ其狀況ヲ即報シ指揮ヲ受ケヘシ

大正六年六月八日清野兵庫縣知事ハ、前掲田村清藏ニ對シ、公文書ノ機密ヲ外部ニ漏洩スルニ至ラシメタル廉ニ依リ、文官懲戒令第三條第二號ニ依リ、四ヶ月間月俸七分ノ一ノ減俸ニ處シタルハ、一層裏面ノ事實ヲ證明シタルモノト認ム

又群馬縣警察部ハ、大正六年四月十五日前項命令書ノ趣旨ヲ各警察署長ニ電話ヲ以テ傳達シ、署長ハ口頭又ハ印刷物ヲ以テ部下警官ニ内命シタリ、右電話ノ通達中某藥劑師(姓名省之)ハ業務上ノ爲同縣衛生課ニ出頭中、明カニ此事實ヲ聽取シタリ

右ノ外、四月十五日頃ヨリ十九日ニ涉リ、特ニ政府ヨリ屢々各地方廳ニ電命シテ、選舉取締ニ從事スル官吏ハ、單ニ憲政派ニ對シテノミ、警戒檢舉ヲ嚴ニシ、他派ニ對シテハ、纔ニ世間體ヲ繕フ爲申譯的ノ取締ヲ加ヘシメタルモノ、如シ、今各地ヨリ蒐集セラレタル材料參考ノ價值アリト認メタルモノヲ掲クレハ左ノ如シ

第二號

「最近議員選舉違反者家宅搜查ノ結果、憲政會本部ヨリノ通牒書類押收セリ、之ニ依リテ、最後ノ大買收計畫アルヲ察知セラル、ノミナラズ、十八九日ノ夜間ヨリ、二十日ノ未明ニ之ヲ實行セントスルカ如シ、此際特ニ候補者運動者ノ行動ニ注意シ絶對ニ買收ノ餘地ナカラシムル様、嚴重取締ヲ勵行シテ、遺算ナキヲ期スヘシ」

第三號

「來ル十八九日ニ於テ、憲政會大買收ノ計畫アリ十九日及二十日未明ニ涉リ、運動者ノ家宅搜查ヲ勵行セラルベシ

第四號

「憲政會ニ於テハ、今夜ヨリ明日、投票間際迄、晝夜兼行、大買收ヲ行フヘキ旨、本部ヨリ、各支部ニ電報セラルヤノ聞アリ更ニ十分ノ警戒ヲ加フヘシ」

右等中央政府ノ電命ハ、或ハ一般的ニ或ハ特別ニ地方廳ニ送ラレ、悉ク逐次下移シテ、全國幾萬ノ警官ニ傳命セヨレタルカ、上ノ好ム所、下之ヨリ甚ダシキモノアリ、上司ノ命令ニ忠實ナル彼等ハ、全力ヲ傾倒シテ、憲政派ノ檢舉搜查ニ熱中シ、取締上ノ寬嚴、彼此宵壤ノ差ヲ來セル、良ニ所以アリト謂ハサルヘカラス、

前掲電文ノ骨子タル「憲政會本部ヨリノ通牒書類押收ノ結果」ト云ヒ「晝夜兼行、大買收ヲ行フベキ旨本部ヨリ各部ヘ電報セルヤノ聞アリ」ト云フカ如キハ、固ヨリ何等根據ナキ虛構ノ言ナリ、是等ノ捏造說ヲ口實トシテ、龐大ナル行政機關ヲ舉ケ、政争ノ具ニ供シタルニ至リテハ、天下共ニ赦サ、ル罪惡ナリト言ハサルヘカラス、

第五 取締上寬嚴ノ區別 政府已ニ兩相訓示ノ徹底ヲ強要シ、且ツ惡辣ナル詐術ヲ用キ、特ニ憲政派ノ名ノミヲ指シテ、違反防止ヲ嚴命ス、地方官憲ガ、朝野兩派ニ對スル選舉取締ニ於テ、極端ニ、寬嚴ノ差別ヲナスニ至レルハ、正ニ自然ノ歸結タリ、此事實ヲ證明スヘキ材料ハ、積ムテ山ヲ爲スヲ以テ、後文ニ其一部ヲ摘録スヘキモ、試ミニ其一例ヲ舉ケン乎、即チ左ノ如シ

宮崎縣ニ於テハ、選舉期日前ニ、違反行爲トシテ、搜查又ハ檢舉シタルモノ、殆ント憲政派ニ對

シテノミ行ハレ、併モ、極端ナル人權蹂躪ヲ敢テシ、爬羅剔抉至ラザル無キニ拘ラス、其結果ハ、違反者ノ數極メテ寡少ナリシナリ
之ニ反シ、選舉終了後ニ及ヒ、政府與黨ノ罪跡、到ル處踵ヲ接シテ簇出シ、現ニ南那珂郡ノ如キハ一郡ノ有權者殆ント全部ヲ舉ツテ違犯罪ニ問ハルルノ慘狀ヲ呈スルニ至レリ
右ノ事實ハ、果シテ何事ヲ示スカ、選舉期日前ニ於テハ、極力反對黨ノ運動ニ干渉シテ其當選ヲ妨ケツ、一面政府與黨ニ寛假シタル結果トシテ、政府與黨ノ横恣ヲ來シ罪跡歴々、之ヲ掩フニ由ナキカ爲タラスンハアラス、

若シ、曩ニ松室法相カ、檢察官會議ノ席上ニ於テ、訓示シタル趣旨カ、徹底的ニ遂行サレンカ、又永田警保局長カ、警察部長ニ對シテ爲シタル訓示、即チ、一視同仁ノ方針及ヒ事前ニ於ケル戒告カ、公平ニ行ハレタリト見シ乎、右ノ如キ不可解ナル怪現象ハ、到底實現シ得ヘキニ非ス、此一事例ヲ以テスルモ、總ユル對選舉政略ノ、醜惡ナル暗黒面ヲ想察スルニ餘リアリ、而シテ事實ノ示ス所ニ依リ一般ニ通シテ實行サレタル、惡辣手段ヲ概説センカ、大凡左ノ如シ

- 一 總選舉期日前官憲殊ニ警察官署ニ於テ檢舉、拘引又ハ喚問シタル事件ハ、政府反對派ニ於テ著シク多數ニ上リ、總選舉後ノ檢舉件數及人員ハ却ツテ政府與黨側多數ナルコト
- 一 政府反對派ニ對スル拘引召喚等ハ、内相ノ電訓發送以後殊ニ甚タシク、就中、選舉事務所ノ本部其他運動者ノ幹部ニ向ツテ、極力拘引又ハ壓迫ヲ加ヘ、選舉ノ決勝點トモ云フヘキ、一刻千金ノ時期ニ於テ、其事務所ヲ搜查シ、其主腦ヲ引致シ、依ツテ以テ運動員及有權者潛伏セシメ、加フルニ、政府與黨ヲシテ、事實ヲ誇張謠言セシメ、以テ其一味ノ氣勢ヲ掲グルニ便ナラシメ、官憲ト與黨トハ、相結托シテ、他人ノ當選妨害ニ勗メタリ、之ニ反シテ政府與黨ハ、寧ロ警察ノ掩護ニ依リ、自由勝手ノ振舞ヲ爲シ、其檢舉又ハ招喚ヲ受ケタルモノモ、多クハ其一味ノ氣勢ニ影響少キ、下級運動員又ハ末派ノ有權者ニ過キサリシコト
- 一 豫定ノ作戰計畫ニ基キ、狙撃的ニ落選セシメンコトヲ企圖シタル、政府反對黨ノ候補者、及ヒ其運動者ニ對シテハ、悉ク尾行ヲ附シ、警官缺乏ノ場合ハ、擬似刑事ヲ使用シテ迄、執拗ニ尾

行セシメ、政府與黨ニ對シテハ、殆ント申譯的ニ之ヲ附セル例アルモ、地方ニ依リテ、絶對ニ之ヲ附セサリシコト

- 一 政府反對黨運動者ヲシテ、可成、有權者ニ接近セシメサル爲、或ハ有權者ヲ威嚇シ或ハ運動者ノ自由ヲ阻害スル等、總ユル手段ヲ弄シ、之ニ反シテ、政府與黨ノ運動員ニハ、自由ニ有權者ヲ訪問スル機會ヲ與ヘ甚タシキハ、巡查自ラ立番ヲ爲シツツ、番犬ノ勞ニ服シ、運動者ノ請托ヲ行フニ便ナラシメタルコト
- 一 警察官ノ選舉形勢調査ヲ名トシテ、煩サク戸別訪問ヲ續行シ、其間例ノ訓示徹底ヲ名トシテ政府反對黨ニ贊成セハ、警察署ニ引致サルル、危險アルヲ仄メカシ、露骨ニ又ハ婉曲ニ、有權者ノ自由意志ヲ抑制スルノ手段ヲ執リシコト
- 一 選舉界ノ形勢ハ、時々刻々ニ、之ヲ政府與黨ニ通告シ、彼等ノ不利ナル地方ニハ、警察力ヲ集中シ、反對派ヲ妨ケ、政府派ヲ擁護スルノ手段ヲ弄スルコト
- 一 地方ニ依リ、反對派ノ檢舉ニ關シ、懸賞ヲ以テ、下級警察官ヲ督勵シタル疑アルコト
- 第六 各種印刷物ノ配布 政府ハ、反對黨ヲ惡罵冷嘲シ、之ヲ國賊視セル、幾多ノ刊行物、數百萬部ヲ特別ニ印刷セシメ、之ヲ全國ノ有權者ニ頒チ、以テ反對黨ヲ中傷スルノ用ニ供シタルカ、其印刷ノ重ナルモノ左ノ如シ

- 一 議會解散ニ對スル現内閣ノ方針
- 二 貴重ナル一票ヲ何人ニ投ズベキ乎
- 三 日本帝國ノ一大事
- 四 全國ノ有權者ニ檄ス
- 五 大隈内閣回顧録
- 六 國家ノ興敗此一票ノ行使如何ニ在リ
- 七 時事評論第十二卷第四號
- 八 解散明辯

渡邊爲藏發行民友社印刷
同上
不偏不黨國家統一團發行
國民評論社發行
渡邊勝太郎發行三州社印刷
佐藤春平發行民友社印刷
東京評論社發行
法學博士上杉慎吉述興國社發行

九 國民評論(接戰號)

國民評論社發行

右等印刷物中三四種ハ果シテ政府ニ關係アルヤ否ヤ不明瞭ナリト雖、其他ハ何レモ兒玉内閣書記官長ノ手ヲ經テ、之ヲ道府縣廳ニ配布シ、道府縣廳ハ公文書ノ取扱ヲ爲シテ、郡市役所ニ、郡役所ハ之ヲ町村役場ニ送付シ、市町村役場ヨリ、區内ノ重ナル有權者又ハ青年會其他ノ團體ニ配布セラレタリ、地方ニ依リテハ、物議ヲ醸スヲ慮リテ、差出人不明ノ儘直接ニ之ヲ有權者ニ配付シタルモノアリ、又地方廳又ハ市町村長中、稀ニハ斯ク如キ不當ノ印刷物ヲ配付スルノ義務ナキヲ理由トシ、之ヲ配布ヲ拒絶シタルモノアリ、現ニ秋田市長井上廣居ノ如キハ斷然印刷物一切ヲ突戾シタルニ、縣廳ニ於テハ之ヲ分ニ窮シ、實ハ兒玉翰長ノ依賴ニ基キタルモノ故、枉ケテ配布方ヲ取計ラレ度旨懇請セル所アリシカ、井上市長ハ頑トシテ之ニ應セザリキ

而シテ印刷物ノ内容ハ、立論ノ非理不當ナルハ勿論、大隈内閣ニ對シ、極端ナル毒筆ヲ弄シ、又反對黨ヲ亂臣賊子ノ如ク誣言シテ、匹夫匹婦モ尙且語ルヲ恥ツヘキ惡罵ヲ恣ニシ、堂々タル政治上ノ公爭ヲ、鄙陋賤劣ノ私闘ト爲サントスルカ如キ、帝國憲政ノ前途ノ爲轉々浩嘆ニ堪ヘサルナリ世ニ言論取締ノ必要アリトセハ、斯ル刊行物コソ、政府宜シク之ヲ發行ヲ抑制スルノ責任アレ、然ルニ内閣翰長之カ配付ヲ地方廳ニ囑シ、地方廳ハ、公ノ機關ヲ通ジ、市町村又ハ警察官ヲシテ戸毎ニ配布セシメタル事實ハ、其發行者ガ一人ノ名義タルニモセヨ、其實、政府ノ使嗾ニ依リ、政府ノ費用ヲ以テ、之ヲ印刷發行シタリト認メサルモノ無カルベク、形式上ニ於テハ、政府ノ關知セザル所ナリトスルモ政治德義上、政府ニ於テ當然其責ヲ負擔セサルヘカラス

左ナキタニ、國民ノ政治思想幼稚ニシテ、立憲政治ノ前途尙遠遠ナル今日ニ際シ反對黨ニ對スル禮儀作法ヲ無視シ、武士道ノ本義ヲ滅却スルカ如キ暴論ヲ逞ウシテ、反對黨陷擠ノ武器ニ供シ、而モ尙自ラ知ラサル爲シテ恬然タルニ至ツテハ、殆ント政府者ノ心事ヲ了解スルニ苦マサルヲ得ス

第七 官吏ノ祕密派遣及官公吏ニ對スル威壓 政府ハ隨時所屬官吏ヲ、中央又ハ出張先ニ召致シ、候補者ノ選定及作戰計畫ニ參與セシメタルハ云フニ及ハス、殊ニ後藤内相ノ如キハ屢、地方

ニ出張中、隣府縣ノ地方官ヲ招キタルカ、其神戸滯在中ニハ、遠ク福岡、廣島、岡山等各縣ノ知事ヲ内密ニ電召シ、聲色ヲ勵シテ選舉干渉ヲ教唆セルハ、隱レナキ事實ナリ

此他、政府ハ各省及其系統ニ屬スル、各部大小官吏ノ多數ヲ内密ニ各地ニ派遣シ、選舉運動ニ參畫奔走セシメタル事故舉ニ違アラス

今其數例ヲ舉クレハ

一 鐵道院西部管理局長野村彌二郎ヲ其前任地タル北海道ニ派遣シ、小樽材木組合ヲシテ政府黨擁護ノ決議ヲ爲サシメンコトヲ強ヒ、又運送業者ヲ利用シテ寺田派ニ贊成スヘキ事ヲ勸誘セシメ

二 内務省土木局長小橋一太ヲ熊本ニ派遣シテ宗像候補應援ニ、十數日ヲ費サシメ

三 陸軍省參事官立花俊吉ヲ、其郷里滋賀縣ニ派遣シ、知事ト商議シテ、立候補ノ勸誘ヲ爲サシメ、且附近ノ有權者ヲ招キテ、政府黨ニ贊成センコトヲ懇囑セシメ

四 東部遞信局長竹内友治郎ヲ所管内ノ各府縣ニ派遣シ、頗ル露骨ナル方法ニ依リ訓示徹底ニ努力セシメ

五 其他内務監察官、各省祕書官等ヲ各地ニ派遣シ、地方廳ヲ督勵鞭撻セシメタリ、右等ハ何レモ、公知ノ事實トシテ認メラルルヲ以テ、多ク之ヲ贅スルノ要ナシ、此他鐵道、通信、産業、教育其他諸般ノ行政事務ニ從事スル中央政府ノ吏僚カ、祕密ニ公用出張ノ名ヲ以テ、直接間接ニ選舉運動ニ關係シタル事例多キモ、煩瑣ニ涉ルヲ以テ之ヲ省略ス

政府ハ又、各官廳所屬ノ公吏ニ對シ、種々ノ手段ヲ弄シテ、訓示徹底ノ名ニ依リ、各自選舉權行使ノ自由ヲ奪ヒタリ、即チ上級官衙ノ吏僚ヲ派シテ、明示又ハ默示ノ訓示ヲ爲シ、或ハ各官衙ノ有權者名簿ヲ徵シテ、暗ニ政府黨ニ投票スヘキ示威ヲ行ヒ、甚シキニ至リテハ、各自ノ手蹟ヲ徵シテ政府黨ニ贊成ヲ強ヒタル形跡アリ

殊ニ岡田文相カ府縣視學官ニ訓電シタル事實ノ如キ、各學校職員ヲシテ、其投票セシムヘキ政府黨候補者ノ氏名マテモ、之ヲ指示シ、且視學官ヲシテ充分ニ、之ヲ監督スヘキ旨ヲモ致照シタ

リト云フ、夫レ官僚ハ俸祿ニ衣食スルモ閣臣ノ臣隸ニ非ス、國民トシテ政治ノ得失ニ關スル判定ハ其自由意志ニ決シ、其享有スル選舉權ハ、國家ノ付與セル公權利タリ、然ルニ其保有スル神聖ノ一票ニ對シ、斯ル強壓ヲ加フルニ至ツテハ、實ニ立憲治下ニ於ケル咄々怪事ト謂フヘシ

第八 特ニ事前ノ慰勞手當ヲ下級警察官ニ配與セルコト 薄給ナル下級警察官ニ對シ、上司タルモノ平素ヨリ勗メテ其待遇ノ向上ニ留意スヘキハ勿論ナリト雖モ、後藤内相ハ、選舉期日十數日前、即チ四月六、七日頃ニ於テ、全國ニ涉リ(配與ヲ缺ケル地方モアリ)特ニ選舉取締ニ從事スル、府縣費支辨ノ警部補以下巡查ニ對シ時間外ノ勤務、特ニ多忙ヲ極メ居レリトノ理由ヲ以テ、突如トシテ前例ナキ、慰勞獎勵金若干ヲ配布シ、且其配與シタル人名及ビ金額等ヲ報告セシメタリト云フ、其實ハ元滋賀縣警察部長ニ本年ノ告白ニ依ルモ、其他府縣警察界ノ甲唱乙和ニ依ルモ疑フヘキ餘地更ニナシ、是亦奇怪至極ノ處置トイハサルヘカラス

云フ迄モナク、選舉取締ハ警察官ニ取リテ、職務上ノ一負擔ヲ増スト雖モ、其忙劇ヲ加フルハ選舉期日切迫ノ時期ニ在リ、故ニ其勞ヲ慰ムルモノトセハ、寧ロ之ヲ選舉終了後ニ於テスルヲ當然トス、然ルニ事前ノ勉勵手當ハ、蓋シ前代未聞ノ珍事ニシテ、且不條理ヲ極ルヤ論無シ、或ハ之ヲ勤務獎勵ノ意味ナリト謂ハンカ、斯ル不時ノ恩典ハ、果シテ何物ヲ暗示スルカ、特ニ受給者ノ氏名ヲ報告セシメタルカ如キ、恩ヲ賣ルノ外ニ、受給者ノ心理状態ニ如何ナル印象ヲ與フヘキヤハ問ハスシテ明ナリ

且道途傳フル所ニ依レハ、此手當ハ、多クハ警察部長ノ私文書ヲ以テ、各警察ニ配布セラレ、下級警察官ノ活動振リニ、大ナル影響ヲ與ヘタリト云フ、宜ナル哉、世間之ヲ稱シテ干涉獎勵手當ナリトイフヤ

主務大臣トシテ、選舉取締上、最モ嚴正公平ノ態度ヲ保持スルニ勗メシムヘキ、下級警察官ニ對シ最モ不適當ト認ムヘキ時期ニ於テ、斯ノ如キ違例ノ處置ヲ取ルカ如キハ、如何ニ辯解ヲ試ミントスルモ、到底世上ノ疑惑ヲ解クニ由ナキハ勿論、官紀ノ振肅上、禍根ヲ將來ニ貽スノ虞多ク、其罪斷シテ、之ヲ容スヘカラス

第九 其他 前來敘述セル非違ノ外、尙幾多ノ辯難スヘキ事項アルモ、簡ニ從ヒテ之ヲ略シ、茲ニハ左ノ數件ヲ録シテ、政府ノ干渉手段至ラサルナキヲ明カニセン

(一) 町村長、二等郵便局長、米穀検査員等ニ關スル件
町村長ハ從來其職務ヲ曠廢スル虞ナキ限度ニ於テ、選舉運動ニ從事スルコトヲ承認サレタルカ、今回ノ總選舉ニ際シテハ、地方ニ依リ、臨時官廳ノ命ヲ以テ、政府反對側ノ町村長ニ對シテハ、絶對的ニ其運動ヲ禁止シタルニ拘ラス、政府賛成側ニ對シテハ自由ノ活動ヲ默認シタル例證少カラス、又三等郵便局長及ヒ米穀検査員ニ對シテモ、甲黨ニハ之ヲ默認シ乙黨ニハ之ヲ嚴禁シ監視ヲ付シテ一切ノ自由ヲ拘束シタル類例甚タ多シ

(二) 在郷軍人會ニ關スル件
今回ノ選舉ニ際シ、在郷軍人會ヲ利用シタル例少カラス、群馬縣ニ於テ、政府黨候補者兒玉右二カ、立候補ヲ宣言シタル當初ニ際シ、山根、兒玉、古谷三將軍ノ名ヲ以テ、同縣在郷軍人會分會長又ハ副會長其他ニ對シ、推薦依頼ノ書狀ヲ發送シタリ、後日ニ至リ、世上ノ物議ヲ醸サンコトヲ恐レ、選舉間際ノ四月十八日ニ至リ、兒玉候補ヨリ

「三將軍ハ、單ニ友人トシテ兒玉候補ヲ推薦シ、又名宛先ノ面々ハ、在郷軍人會員ノ資格ヲ離レ、個人トシテ之ヲ勸奨セルニ過キス、畢竟書記ノ錯誤ニ出テタリ」
ト取消ノ辯明ヲ爲セルモ、是レ畢竟表面ノ形式ニ止マリ、實質上ニ於テハ、在郷軍人會ヲ利用シタル責アルヲ免レス、又栃木縣在郷軍人會ニ關係サル鮫島大將カ、政府黨援護ノ爲、東奔西走シテ、同會ヲ選舉ニ利用シタルコトハ、同地方人士ノ一般ニ認ムル所ナリ、又山口縣ヲ始メトシ、各地ニ於テ、之ト類似ノ事實少カラサルモ、多ク之ヲ贅セス

(三) 大日本醫師會ニ關スル件
醫師團ノ代表者ヲ衆議院ニ送り、帝國醫事衛生ノ進歩ヲ企圖セントスルハ、相應ノ理據アルモ政府殊ニ後藤内相カ同醫師會ヲ今回ノ總選舉ニ利用シ、政府黨製造ノ一具ニ供セルハ、周知ノ事實ニシテ、醫師會ヲシテ政爭渦中ニ投セシメタルハ、其醫師會ノ本領ヲ害スルノ所爲ナリ、茲ニ醫

師會ノ運動ニ付、聊カ滑稽ニ類スル一事ヲ舉ケンニ、政友系候補者森本駿カ兵庫縣ニ於テ立候補ヲ宣スルヤ大日本醫師會ハ同人ヲ衛生保健ノ發達上ノ適材トシ、同會ノ名義ヲ以テ其推薦狀ヲ同縣下ノ醫師ニ發送セリ、然ルニ同候補ハ、醫事衛生ノ造詣深キヲ聞カス、殊ニ日糖事件ニ連座セル故ヲ以テ、心アル面々ニシテ大ニ同會ノ處置ヲ非難スルモノ續出シ、却ツテ藪蛇ニ終リタル奇觀アリ、此一事ヲ以テスルモ大日本醫師會カ、其本領ヲ沒却シテ、選舉ニ利用サレタル誹ヲ免カレス

(四)通信機關其他ニ關スル件

這回ノ選舉ニ於テ、通信機關ヲ害用シ、電信電話ノ漏洩、信書ノ開封、郵便物ノ遲著等、疑點甚ダ多シト雖モ、二三ヲ除ク外明確タル證據未タ判明セサルヲ以テ、別ニ之ヲ論スルノ機會アルヘシ以上ノ外、青年會、報德會、各種組合等ニ對シ、政府カ、直接間接ニ、之ヲ利用シタル形跡アルモ、其實績ニ於テ、著シク弊害ヲ流セリト認ムヘカラサルヲ以テ、茲ニハ其說明ヲ省略ス

第十 後藤内相ト自治團 後藤内相ハ選舉干渉ノ元兇ナリ、故ニ本篇ニ掲クル政府凡百ノ非行ハ直接間接悉ク内相ノ干與セサルモノナク、本問題ノ如キハ寧ロ其一小片鱗ニ過キスト雖モ、事內相ノ刑事問題ニ繫屬スルモノナルヲ以テ、先ツ之ヲ干渉事例ノ劈頭ニ掲ク

後藤内務大臣ハ曩ニ自治團ノ組織ヲ提唱シ、本團ヲ政争ノ外ニ超越セシメ、依ツテ地方自治ノ健全ナル發達ヲ圖ランコトヲ主張シタリ、當時何人モ内相ノ言ヲ眞面目ニ信用スルモノナカリシカ、果然今回ノ總選舉ニ際シ、急造ノ自治團ヲ選舉ニ利用シ眞先ニ其馬脚ヲ顯ハシタル事實アリ

後藤内相ハ就任後間モナク、一味徒黨ヲ使嗾シテ仙臺自治團ヲ組織セシメ、三月二十五日同縣會議事堂ニ於テ開カレタル自治團講演會ニ臨ミテ一場ノ講演ヲ爲シ、自治團組織ノ本領ヲ沒却シテ、政府黨ヲ援助スヘキコトヲ露骨ニ從憑シ、同時ニ金千圓ヲ寄贈シ以テ應援運動ヲ委囑シタリ

四月十八日後藤内相ハ、午後一時四十分帝國「ホテル」内郵便局發ニテ、下記ノ如キ至急電報ヲ

仙臺市東華日報社長自治團總代小野平一郎ニ寄セタリ

「此際岩崎總十郎ヲ助ケ必ス當選セシメ自治團ノ有力ナルコトヲ確實ニ示セ」
此事ハ、四月十九日東華日報ニ記載セル所ニシテ、尙ホ、該紙上ニハ左ノ如キ推薦廣告ヲモ掲載シタリ

推薦廣告

明二十日衆議院議員選舉ニ際シ市部候補者岩崎總十郎君ヲ御賛成御投票被下度團員諸君ニ謹告ス

仙臺自治團

有 志 一 同

後藤内相ノ電報及ヒ推薦廣告ハ、世上ノ物議ヲ起サンコトヲ恐レ、四月二十日即チ選舉當日ニ至リテ之ヲ取消シタルモ、其前後ノ事情ヨリ推測セハ、名ヲ自治體ノ健全ナル發達ニ藉リ、最初ヨリ選舉ニ利用スルノ目的ヲ以テ之カ組織ヲ獎勵シタルコトハ明白ナリ、特ニ金千圓ヲ寄附シタル行爲ニ關シテハ、遂ニ内務大臣ノ選舉法違反問題ヲ惹起スルニ至リタリ、其結果如何ニ落著スルヤニ拘ハラス、斯ノ如キ不法ノ事實ハ、形式上一片ノ廣告取消ヲ以テ抹殺スヘキニアラサルナリ

第十一 岡田文相ノ非違 岡田文部大臣ハ兩大臣訓示ノ趣旨ヲ徹底セシムルヲ名トシ、全國教育關係ノ官公吏ニ對シ不謹慎極マル命令ヲ發シ、職權濫用ノ責任免ルカラサル事實ハ之ヲ前章ニ掲記シタリ、而シテ文相ハ又名ヲ教育講演ニ藉リ各地ニ出張シ政争ノ外ニ超然タルヘキ學校職員、官公吏等ノ集會セル席上政府黨候補者ノ推薦演說ヲ爲シ、殊ニ一國風教ノ主腦タルヘキ自巳ノ位地ヲ顧ミス、破廉耻罪ノ判決ヲ受ケタル奥田龜造、及ヒ日糖事件ノ張本人トシテ醜名ヲ天下ニ謠ハレタル松浦五兵衛ノ應援演說ヲ試ミ教科書事件ニテ收檻セラレタル本莊太一郎ヲ應援シ之ヲ國民ノ選良トシテ推賞シタルカ如キハ、世上具眼者ノ擧蹙ニ堪ヘサル所ナリシナリ、加之遠州太田川改修工事費國庫補助ノ件ニ就キ選舉法違反問題ヲ惹起スルニ至レルハ、縱ヒ萬一法

律上ノ制裁ヲ免ルルヲ得ト雖モ、其政治上ノ責任ハ決シテ寛假スヘカラサル所ナリ、今其概略ヲ左ニ掲ク

抑モ太田川改修工事費補助金下附ノ件ハ大正五年九月九日、同川水害豫防組合管理者タル磐田郡長藤田次郎ノ名ヲ以テ、同組合會ノ決議ニ基キ鐵道院ニ出願セラレタルカ、其筋ヨリ未タ何等可否ノ詮議ニ接セサル折柄、偶々本年三月二十二日、中立候補者北井波治目應援ノ爲遊説シタル岡田文相ニ對シ、其歡迎會ノ席上、管理部長ヨリ直接前記助成金五萬圓下附アリタキ旨懇願スル所アリ、文相ハ其願意ヲ快諾シ、歸京後二十五日左記ノ電報ヲ磐田郡笠西村戸倉惣兵衛宛發送シタリ

「二一日朝往ク治水補助當局ノ承諾ヲ得タリ」

元來彼レ戸倉ハ蠶種製造家ニシテ、公共團體ニハ直接ノ關係ナク、隨ツテ該河川改修問題ニ就テハ沒交渉ナリ、而シテ彼ハ今回ノ選舉ニ北井候補ヲ應援スルノ意圖アリシヲ以テ、此電報ヲ受取ルヤ、直チニ之ヲ地方有志ニ内示シテ、盛ニ北井候補ヲ推薦ヲ慫慂セリ、尙該電報ノ到著セル翌日、一方在京中ノ北井候補ヨリ該水害豫防組合委員ノ上京ヲ促シ來リタルヲ以テ、二十五日戸倉惣兵衛外四名ハ急遽上京シ、鐵道院ニ出頭シタルニ當時願書ハ内務省土木局ニテ、鐵道院ニハ未タ書類ノ送達ヲ受ケサルヲ以テ何等要領ヲ得ル能ハス、依ツテ北井ノ案内ニ依リ、岡田文相ヲ其官邸ニ訪問シタルニ、文相ハ殊更ニ面會ヲ避ケ、北井ハ文相ノ意ナリト稱シテ、補助金下附ノ件ハ總理大臣及ビ鐵道院總裁ノ承認アリ、閣議既ニ決定シタル旨ヲ各委員ニ告ケタリ、是ニ於テ委員ハ此吉報ヲ齎シテ歸郷シ、文相及北井等ノ盡力ヲ德トシ盛ニ選舉民ヲ誘導シテ北井候補ノ爲ニ應援スル事トナレリ、若シ普通一般ノ選舉運動者ニシテ此類ノ事ヲ行ハハ忽チ嚴罰ニ處セラルル事ハ更ニ疑ヒナシ、況ンヤ一國風教ノ中樞ニ在ル者、地方ノ利益問題ヲ選舉ニ利用シタル嫌ヒアルカ如キハ、斷シテ寛假スヘカラサルコトナリ、濱松辯護士伊藤茂ハ、岡田良平、北井波治目外一名ノ共謀ニ係ル選舉法違反事件トシテ、之ヲ濱松區裁判所檢事局ニ告發セリ、之ニ對シ、岡田文相ハ新聞紙上ニ左ノ辯解ヲ試ミタリ

「伊藤辯護士カ告訴ヲ提起セル原因ハ、昨秋余カ郷里ニ赴キシ際、同地ノ有志ヨリ（鐵道院ニ對シ）太田川汎濫ノ爲、浚渫及堤防修築ヲ爲スヘク補助サレタシト交渉セル爲、鐵道院トノ間ニ内約成立シ工事ニ著手セリ、然ルニ鐵道院ニテハ、其後何故カ先ノ内約ヲ履行セサルヨリ、（今般歸郷ノ際有志ヨリ）政府ノ内議ヲ聞クヘク懇願セラレシヨリ、歸京ノ上事情ヲ聞合セ回答スヘシト答ヘ、其後鐵道院ニ聞合セタルニ、同院ニテハ内約當時交付スヘク内定シ居レトコト迎

其趣ヲ以テ回答シタルニ止マレリ、其時偶選舉ニ際シテ此ノ如キ誤解ヲ招キタリ云々」蓋シ本川補助問題ハ十數年來ノ懸案ニシテ、關係者ハ屢之ヲ當局者ニ請願シタルモ願ミラレス、沿岸地方民ハ政府ノ補助ノ有無ニ關セス、其共同ノ利益ヲ保護スル必要上、四五年前水害豫防組合ヲ設ケ縣費ノ補助ヲ得テ改修工事ニ著手シツ、アリタリ、然レトモ年々改修ニ伴フ經費莫大ナルカ故ニ、鐵道院ニ對シ補助ヲ爲サシムルヲ相當ナリトノ議組合内ニ起リ、杉山前代議士ニ依頼シテ鐵道院ニ交渉シタルモ、當時調査中ノ名ノ下ニ遷延セラレタリ、然ルニ岡田文相ハ、鐵道院ト組合トノ間ニハ既ニ内約成立セルカ故ニ工事ニ著手シタリ、今般ハ唯其狀況如何ヲ聽取リテ、之ヲ通報セルニ止マル旨辯明セルモ此點大ニ事實ト相違セリ、即チ鐵道院ハ補助金下附ノ申請ニ對シ、未タ何等ノ處置ヲモナササルノミナラス、縱シ相當ノ補助ヲ行フノ意思アリトスルモ、其金額明カナラサルヲ以テ、同川水害豫防組合ハ願意ノ許可如何ニ關セス、單獨ニ水防工事ニ著手シタルモノニシテ、内約成立ヲ俟チテ始メテ工事ニ著手シタルモノニアラス、若シ確實ニ内約成立セルモノナラハ、何ヲ苦ンテ急遽前記ノ如キ電報ヲ以テ而モ組合ニ直接關係ナキ者ニ通報シ又態々多數委員ノ上京ヲ促スノ要アラムヤ、且ツヤ補助申請願書カ内務省土木局ニ在リテ調査中ニ屬スルモノニ對シ、鐵道院決力定的内約ヲ行フヘキ道理ナシ、若シ假ニ何人カ該川補助ノ事ヲ肯諾セル事實アリタリトスルモ、開ハ鐵道院官吏ノ個人的意見ニ過キスシテ、政府ノ處分ハ岡田文相ノ交渉以後ニ於テ、而モ官廳ニ於ケル普通ノ處分手續ニ由ラス急速ニ決定セラレタルモノナリ、何レニシテモ、當局者ハ勿論岡田文相及北井波治目等カ、本問題ヲ奇貨トシテ之ヲ選舉ニ利用シタルコトハ爭フヘカラサル事實ニシテ岡田文相ハ到底其責任ヲ曖昧ニ附スヘカラサ

第十二 青森縣知事川村竹治及其部下ノ干涉一班 今回ノ總選舉ニ際シ中央政府並ニ地方官カ大小ノ官吏ヲ強要シテ、空前ノ大干渉ヲ試ミタルコトハ既ニ前章ニ概説セリ、其中ニ最モ露骨ニ且ツ辛辣ナル干渉ヲ敢テシタルハ實ニ青森縣知事川村竹治ナリトス、本年一月川村知事同縣ニ赴任スルヤ、先ツ疾風迅雷的ニ閩縣全般ニ巨ル警察官ノ大更迭ヲ決行シタリ、而シテ此更迭ハ川村知事赴任ノ際警視廳ヨリ拉シ來リタル高等警察課長警部山田彦四郎及ヒ政友會所屬代議士石郷岡文吉ノ配下タリシ警務課長阪部市太郎兩人ノ畫策進言ヲ採用シタル結果ニシテ、同縣警察機關開設以來空前ノ大異動タリ、當然此計畫ニ參與スヘカリシ警察部長市川覃ハ殆ント與リ知ラサリシニ徴スルモ、既ニ早ク此大更迭ノ裏面ニ潜ム眞意ヲ看破スヘキナリ、而シテ縣廳ハ恰モ政友會本部ノ如ク川村知事ニ恰モ政友會ノ幕僚タルカ如キ奇觀ヲ呈シ、在野黨候補者及其運動者ニ對シテハ有ユル壓迫ヲ行ヒ、縣内各署ノ警官ハ勿論巡查教習所ノ見習ヨリ、警察本部ニ於ケル司法警察ニ關係ナキ各方面ノ警官ニ至ル迄悉ク之ヲ驅使シテ、憲政派ニ對スル拘束牽制ニ熱中セシメ、政府黨ニ對シテハ百方保護勢援ノ手段ヲ執リ、之カ取締ト稱スルモ唯名ノミニ過キス、現ニ青森縣地方裁判所檢事局ニ於テ今次ノ總選舉ニ對シ今次迄取扱ヒタル違反事故中政友派ニ屬スルモノ五十件以上ヲ算スルモ、殆ント警察ノ手ヲ經タルモノナク檢事局直接ニ自ラ手ヲ下シタル所ニ係ル此一事ヲ以テスルモ知事カ警察權ヲ擁シテ如何ニ政友會ヲ曲庇シタルヤヲ推知シ得ヘキナリ

今各府縣ヲ通シテ行ハレタル干渉事實ノ外特ニ本縣ニ於テ遂行セラレタル幾多ノ不法行爲中最モ著明ナルモノヲ左ニ掲ク

其一 五所川原警察署長成田久馬一休職事件 元來成田久馬一ハ資性剛直ニシテ上官ニ媚ヒス、警察官トシテノ手腕モ亦觀ルヘキモノアリ、武田千代三郎ノ同縣知事時代ヨリ保安課長トシテ勤績シ、田中知事ノ時ニ至リ初メテ出テ、黒石警察署長トナリ、大正五年二月八日署長ニ榮轉シタルカ、本年二月二十八日五所川原署長ニ左遷セラレ、四月五日遂ニ文官分限令第十一

條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ゼラレタルモノナリ、而シテ八日署長ヨリ五所川原署長ニ左遷セラレタル事情ハ職務上ノ失態アルニアラス、畢竟川村知事選舉干渉ノ準備行爲ニ外ナラサリシハ、治ネク公知ノ事實ナリトス、即チ當時工場監督官補勤務ノ警部ニ大森三郎ナルモノアリ、政友系ニ屬シ、曾テ黒石署長タリシ當時政友會ノ爲メ極力同黨ノ黨勢擴張ニ傾倒シ、夙ニ干渉上手ノ名アリ、今次ノ總選舉ニ於テ三戸郡憲政會ノ別働隊ト目スヘキ土曜會ヲ壓迫セシカ爲メニハ硬直成田警部ノ八日署長ニアルヲ不便トシ遂ニ上記ノ如ク五所川原署長ニ逐ヒ、其後任ニ大森ヲ据エタルモノナリ、斯クテ成田ハ新任地ニ赴任以來、依然トシテ性來ノ正直一徹ヲ改メス、上司ノ指揮往々常軌ヲ逸スルコトアルモ、彼ハ正當ニ自己ノ本分ヲ守リ、嚴正公平ニ職務ノ執行ニ努力シタリ、而カモ正直一徹ノ成田ト情實萬能ノ川村知事トハ柄鑿到底相容ルヘクモアラス、成田ハ遂ニ選舉干渉ノ犧牲トナリ、突然休職ヲ命ゼラル、ノ不幸ニ陥リタリ、蓋シ硬骨成田休職ノ原因ハ適マ川村知事カ政友會ノ候補者阿部武智雄ナルモノ、有志者三十シタルカノ實跡ヲ顯然タラシム、選舉戰ノ始メ政友會候補者阿部武智雄ナルモノ、有志者三十餘名連記署名ノ推薦狀ヲ印刷配布セリ、成田ハ知事ノ訓示ニ從ヒ嚴正公平ニ選舉取締ヲ行ハシコトヲ期シ、推薦狀署名ハ、即チ一種ノ運動行爲ニ屬スルモノナレバ、右署名者ヲ運動者ト看做シ選舉取締上之ニ警告ヲ與フルハ當然ノ處置ナルヘキヲ信シ、縣訓令ノ命スル所ニ依リ、同署名者中五所川原署ノ管轄ニ屬スル者一同ヲ同署ニ召致シ、取締上必要ナル警告ヲ與フルノ途ヲ取レリ中ニハ即時出頭シタルモノアリ、又不參ノ者モアリ、偶々來會者中ニ代理人ヲ遣シタル者アリタルヨリ、成田署長ハ選舉取締ニ關シ警告ヲ與ヘントスルモノナレバ代理人ヲ許サス、本人必ス出頭スヘキコトヲ申渡シタリ、然ルニ該署名中ニハ明カニ未承諾者アリテ、或ハ文書偽造ノ問題ヲ生シ、延テハ候補者ニ累ヲ及ホスノ虞アリシヲ以テ、阿部ハ直ニ自ラ同署ニ出頭シ、成田署長ニ對シ事ニ托シテ其處置ノ不當ヲ面責シ、怒氣滿面、將ニ拳打セントスルノ氣勢ヲ示シタリ、其謂フ所ハ「推薦狀署名者中ニハ、平山等ノ多額納稅者モアリテ、代理人ヲ許スナリ其他相當手加減ヲ加ヘテ然ルヘシ、予既ニ政府黨トシテ立候補ヲ宣ス、政府ノ

趣旨ヲ體スル警察官タルモノ、宜ク政府黨ヲ掩護シテ多少ノ便宜ヲ圖ルヲ當然トス』トイフニ
 アリ、シカモ成田ハ職務上自己ノ所信ノ懸ヘスヘカラサルヲ切論シ、後日ノ證左トシテ工藤巡
 査部長ヲ立會ハシメ、斷シテ強ト權トニ理義ヲ枉ケス、且ツ曰ク公平嚴正ナル取締ノ結果縱シ
 政府黨ニ不利ナリトスルモ非ハ予ノ與リ知ル所ニアラス、又多額納稅者ナリトテ差別的待遇
 ヲ與フルノ理由ナシト、遂ニ非常ノ激論トナレルカ、是ニ於テ阿部ハ直ニ電話ヲ以テ、在青森松
 森豐ナル者ニ囑シ、川村知事ニ向ツテ成田署長ノ誡首ヲ迫リタリ、知事ハ阿部ノ偏言ヲ聽キ、
 阿部ヲ被告人扱ヒシタリトノ理由ヲ以テ、即刻電報ヲ以テ成田署長ニ休職ヲ命シタリ、然ルニ
 果シテ前記推薦狀署名者中ニハ未承諾者アリ、隨ツテ同推薦狀ノ作成者ハ、私文書偽造ヲ以テ
 律スベキモノナリトテ、阿部候補ノ參謀長尾角左衛門ヲ告發セルモノアリテ、長尾ハ直ニ引
 致收監セラレ目下豫審中ニ屬ス

本件ハ同地方ニ於ケル一般周知ノ事實ニシテ、某巡查部長ノ言明及本人ノ親近者ニ語レル所
 ニ依ルモ疑ヲ容ルヘキコトニ非ス、而シテ彼レ成田ハ尙選舉干渉ニ關スル怪訝ノ事實ヲ知レ
 ルモ在職中ノ秘密ヲ語ルヲ好マサルモノ如ク、同情者ノ彼ヲ慰諭スルモノアル毎ニ唯熱淚ヲ
 揮ツテ長大嘆息シ、官吏カ上官ノ訓示命令ヲ遵奉シテ正直ニ忠實ニ其職務ヲ實行シタル爲メ
 休職處分ヲ受ケサルヘカラサルカ如キハ蓋シ前代未聞ノ事ニシテ、川村知事ノ今次ノ總選舉
 ニ對スル態度コソ、言ノ以テ評スヘキナシト做セリ、彼レ選舉後一タヒ川村知事ヲ縣廳ニ訪問
 シタル際、知事ハ嚇然トシテ悲シ、前記阿部ノ參謀長尾ノ告發セラレタル畢竟彼ノ教唆告發
 ニ出テタルモノナラント面責セリ、彼ハ堂々自己ノ心事ヲ披瀝シ、斷シテ知事ノ推察スルカ如
 キ卑劣ノ行爲ナキヲ辯シ、後日ニ至リテ若シ知事ノ言ノ如クナリセハ、彼ハ知事ノ面前ニ於テ
 割腹其罪ヲ謝スルヲ辭セスト斷言セリ、匹夫モ其志ヲ奪フヘカラス、彼レ微々タル一警部ノ身
 ナリト雖モ、其心事ノ皎潔以テ知ルヘク、川村知事ノ醜陋誠ニ唾棄スヘシ

附言 阿部武智雄推薦狀ハ阿部ノ參謀長尾等カ縣下各郡ヲ物色シテ、作製セル所ニ係リ、
 少クトモ下記四名ノ未承諾アリシモノ、如シ

大川丑之助 憲政會候補者長則昭ノ參謀長タリ、即チ阿部ヲ政敵トシテ、戰ハントスル者、阿
 部ノ推薦狀ニ署名ヲ諾スハレナシ

北島漸三 阿部カ推薦狀ヲ配布セル當時、即チ四月三日前後ハ宿痾重態昏醉狀態ニアリ

安田稔造 當時ハ上京中ニテ不在

佐々木弘造 青森縣下ノ極北下北郡ニ住ス、而シテ阿部カ立候補ヲ決セルハ四月二日ニシテ
 夫迄ハ果シテ候補者ト公認セラルヘキヤ否全ク未定ナリシ、然ルニ二日咄嗟ノ間ニ之ヲ決定
 シ、翌二日付ニテ印刷セルモノナルヲ以テ電報ヲ以テ承諾ヲ求メタリトシテモ日時ナシ

其二 川村知事豫メ政友會幹部ト作戰ヲ謀議シタル例證 川村知事ハ豫メ政友會青森支部ノ
 幹部阿部政太郎、竹内清明等ト今次ノ總選舉ニ對スル作戰ニツキ謀議スル所アリ、在野黨ノ違
 反行爲ニ付テハ、微罪ト雖モ假借スル所ナク悉ク之ヲ告發セヨ、警察權ノ活動シ得ル範圍ニ於
 テ一舉ニ之ヲ檢舉スヘシト謀議セリ、其例證左ノ如シ

四月十六日午後六時過他ノ吏僚ハ已ニ退廳後ナリシカ、山田高等課長ハ保安課刑事係長谷
 川久吉ニ命ヲ下シテ曰ク、自是弘前ニ急行シテ大鰐方面ニ向フヘシ、要件ハ本月弘前署長來廳
 ノ節既ニ打合濟ナレハ、同署長ノ指揮下ニ行動センコトヲ望ム、尙同方面ニ於テ違反事件不明
 ノ場合政友會ノ選舉事務所ニ就テ之ヲ訊スヘシ、政友會ノ事務所トハ何事モ協議濟ナリ云々、
 斯クテ彼ハ四月十六日午後七時五十分發ノ列車ニテ弘前ニ向ヒタルカ、圖ラヌモ汽車中ニテ
 弘前署長ト同車シタリ、同署長ハ清水清澄ト稱シ、川村知事ノ親戚ニシテ香川縣ヨリ拔擢採用
 セラレタルモノ、署長即チ曰ク大鰐ノ事件トハ實ハ憲政會南津輕郡ノ總大將外川平八ヲ檢舉
 セムトスルニ外ナラス、而シテ大鰐駐在所ノ梅村警部補ハ無氣力ニシテ同人ヲ檢舉スル能ハ
 サルノミナラス、弘前警察署ノ方針トシテハ四月十八日頃迄之ヲ放置シ、彌々期日切迫ノ際之
 ヲ檢舉シ、一氣ニ在野黨ヲ粉塵スヘキ作戰ナリシカ、形勢刻々切迫シ今日ニ於テ檢舉セス
 ハ、政府黨ノ不利測リ知ルヘカラサルヲ以テ、俄カニ檢舉ヲ決行セントス、乞フ君ヨリ梅村警
 部補ニ傳言セヨ』外川平八ヲ檢舉シ能ハサルニ於テハ免職スヘシ、此レ予即チ署長ノ嚴命ナリ』

ト是ニ於テ彼ハ職務上已ムコトヲ得ス、梅村警部補ト協力シテ四月十八日外川ヲ檢舉シ、翌十九日迄之ヲ弘前署ニ留置取調ヲ爲シタルカ、二十日選舉當日ニハ黒石署ニ護送シ終ニ外川ヲシテ選舉ニ對シ全ク活動ノ途ナカラシメタリ

其三 干渉ノ手腕ナキ警官ハ隱居役 木造分署長工藤德藏及巡查部長菊池治助ノ兩人ハ著實温健ノ警官ナリ、唯積極的ニ甲黨ヲ掩護シ、乙黨ニ壓迫ヲ加フルト云フカ如キハ彼等ノ得意トスル所ニ非ラサリシカ、四月七日ニ至リ卒然トシテ工藤ハ警務課勤務ニ、菊池ハ僻遠貧弱ノ地タル田名部署ニ轉任ヲ命セラレ後任署長ニハ警務課次席北村警部ヲ配シタリ、初メ青森縣選舉ノ形勢混沌タリシカ、選舉期日ノ切迫スルニ伴ヒ、木造方面ニハ憲政會ヨリ長内則昭、政友會ヨリ阿部武智雄立候補ヲ宣明シ逐鹿界ノ分野自ラ鮮明ナラントシ、競争激甚ヲ加フルノ狀勢トナリシヲ以テ、工藤菊池ノ兩人ヲ以テシテハ、到底政府黨ヲ掩護シ、反對派ヲ壓迫シ難キヲ察シ、遂ニ選舉期日ノ間際ニ於テ如上ノ轉任ヲ行ヘリ、此結果西津輕郡即チ長内ノ根據地ハ縣下ニ比ヒナキ干渉壓迫ヲ加ヘ、殊ニ阪部警務課長ハ知事ノ命ヲ含ミ腹心ノ部下四名ヲ引率シテ選舉期日前約一週間西津輕郡ニ出張シ、木造ヲ中心トシテ辛辣ナル干渉ヲ加ヘタリ、憲政派ノ長老長内ノ落選ト阿部ノ當選トハ何人モ官權壓迫ノ結果ニ基クコトヲ承認セサルモノナシ

其四 川村知事ノ選舉運動 川村知事ハ青森縣赴任以來専心選舉ノ事ニ腐心シ、或ハ學校ノ新築落成式ニ或ハ神社ノ祭典執行ニ或ハ管下視察ノ名ノ下ニ東奔西走殆ンド寧日ナク、而シテ到ル所大臣訓示ノ徹底ヲ名トシテ選舉民ヲ威嚇シ、政府黨ヲ援助スヘキ主旨ヲ暗示セリ、今其一二ヲ例示セン

(一) 四月八日午後五時五所川原公會堂ニ於テ知事歡迎會開催セラルルヤ、會スルモノ管内町村長及町村有力者約九十餘名ニ及フ、知事ハ先ツ歡迎ノ謝辭ヲ致ヘ、總選舉ニ對スル兩相ノ訓示ヲ引援シ、舉國一致ヲ必要トスル現時ニ際シ、列席者諸君ハ宜シク現内閣ノ主旨ヲ體認シ各有權者ヲシテ其方向ヲ誤ラシメサルヲ要スト結論シ、全然政談演說ニ等シキ態度ヲ以テ、政府黨援護ニ努力センコトヲ勸獎セリ、知事ノ地方有志ニ臨ムニ當リ斯クノ如キ態度ヲ以テシテ選舉ノ公正ヲ期スルカ如キハ、木ニ縁ツテ魚ヲ求ムルニ等シ、來會者ノ多數ハ、歡迎會ノ席上知事ヨリ政府援護ノ訓示ヲ聞クハ、奇怪事ナリトテ苦情百出セルモ、遂ニ泣寢入ニ終リタリ

(二) 四月九日午前十時知事出張ノ機會ニ於テ木造公會堂ニ茶話會開催セラレタリ、當日來會者ハ地方有志三十九名ニシテ、川村知事ハ先ツ東北振興ノ急務ヲ説キ、歐洲戰亂ノ狀勢ヨリ舉國一致ノ必要ヲ論シ、轉シテ前内閣瓦解ノ狀況、寺内内閣成立ニ至レル顛末ヲ陳シ、今次ノ總選舉ニ際シテハ宜シク兩相ノ訓示ヲ熟讀シテ其ノ主旨ノ徹底ヲ圖リ選舉權ノ行使ヲ誤ルナカラムコトヲ望ムト陳述セリ

其五 郡長ノ選舉運動 青森縣下ノ郡長中今次ノ總選舉ニ際シ、政友派ノ走狗トナリ熱狂的應援運動ヲ爲シタル者ニ北津輕郡長見坊田鶴雄、中津輕郡長三好與七及ヒ南津輕郡長松下賢之進ノ三名アリ、就中見坊田北津輕郡長ヲ以テ最モ甚シトス、同人ハ川村知事新任後内務屬ヨリ拔擢セラレテ現任ニ就ケルモノ、川村知事ノ爲メニハ、弘前署長清水清澄、高等課長山田彦四郎ト共ニ絶好ノ腹心ナリ、其行動ノ極端ニシテ偏頗ナルハ毫モ怪ムヲ須キサルナリ、彼レ見坊田郡長ハ、四月上旬郡内小阿彌村ニ同村長安田常三ヲ訪ヒ兩相訓示演說ノ趣旨徹底ニ關シ質ス所アリ、安田村長之ニ對シ、駐在巡查ト共ニ各有權者ヲ歴訪シ、一々讀ミ聞カセ置キタリト應ヘタルニ有權者ノ訪問ハ成ルヘク村長自ラ之ヲ行フ事ナク他ノ吏員ヲシテ之ニ當ラシムヘシト指示シ(安田村長ハ憲政會菊池良一ノ無二ノ幕僚ナリ)且ツ同村長ヲ政友系ニ誘引セントシテ或ハ職權ヲ以テ威嚇シ或ハ巧言ヲ以テ懷柔シ勸獎甚タ勗メタリ。其二節ニ曰ク「自分ハ政友會員ナリ、君モ舊ハ籍ヲ政友會ニ置キタル緣故モアルコト故、今次ハ政府黨タル政友會ヲ援ケテハ世上既ニ定評アリ、斷シテ政友派ヲ掩護スヘカラス」ト答ヘタリ、然ルニ執拗ナル郡長ハ「候補者其人ヲ視スシテ政友會其モノヲ視曠目シテ投票シ吳レル譯ニ參ラヌカ」ト百方力説シテ倦マス、最後ニ「貴下トハ尙懇談ヲ重ヌル必要アリ來ル土曜日午後乃至日曜午前在宅スヘキ

ニヨリ枉ケテ來駕ヲ待ツ旨、言ヲ殘シテ辭シ去レリ
其六 其他ノ事項

(イ) 菊池派ハ中津輕兩郡ヲ根據地トナセルカ、其方面ニ於ケル警官ノ干涉頗ル苛辣ニシテ選舉前日ノ十九日、同派ノ有力ナル運動員中津輕郡裾野村須藤清太郎、鳴海征吉、奈良卯作ノ三名引致拘禁セラレ二十日朝釋放セラレタリ、之レカ爲メ、憲政派ノ運動力最モ緊切ナル最後ノ一日ニ於テ頓挫廢絶シタルハ云フ迄モナシ

(ロ) 在野黨ノ運動者ニハ必ラス正服巡查尾行シ、戶別訪問モ勸誘依頼モ全然其自由ヲ奪ヒ去ラレ偶マ街頭ニ於テ憲政會ニ同情アル有權者二人以上會談スル時ハ、尾行巡查直チニ追隨シ來リ禁止的ニ其會合ヲ妨ケル事恰カモ戒嚴令區域内ノ光景ニ彷彿タリ

(ハ) 四月十七日中津輕郡ニテハ菊池派ノ勢力優勢ナル駒越、岩木兩村ノ村會議員ニ對シ行政監査ノ名ヲ以テ郡役所ニ召集シ、二十日選舉當日迄之ヲ抑留シ、當月初メテ歸還ヲ許シ投票ヲ行ハシメタリ

(ニ) 三月二十五日午後七時弘前市和徳町加賀谷權七宅ニ於テ稻荷講ト稱シ有權者運動員十數名ヲ響應シタル事實アリ、加賀谷ハ政友會候補者伊東重ノ運動者ニシテ且ツ自宅ハ伊東候補ノ選舉事務所ニ提供シアリ、當日伊東モ亦之ニ列席シタリ、此響應力選舉ニ關係アルノ疑充分ナルニ拘ハラズ、警察ハ全然之ヲ不問ニ附シ去レリ

(ホ) 弘前市政友會候補者伊東ハ、其運動者ヲシテ同市幸町ノ有權者鈴木鑛之助ニ金參拾圓ヲ提供シ投票ヲ依頼シタルモ鈴木ノ拒否スル所トナリ刑事巡查出張シテ取調ヲナシタルモ何故カ此レ又有耶無耶ノ間ニ葬リ去ラレタリ

(ヘ) 弘前伊東派ニテハ四月十九日深夜ニ及ヒ腕車三臺ニテ二十餘ノ有權者ヲ元寺町旅館齋榮ニ收容シ翌二十日結束シテ伊東候補ニ投票セシメタル事實アリ弘前警察署ハ之ヲ默許セリ
(ト) 弘前市ニ於テハ選舉間際ニ當リ、伊東派ハ巡查保護ノ下ニ種々ナル運動ヲ行ハシメ、憲政派ニ對シテハ巡查消防夫ヲ配置シテ有權者ノ門口ニ立番セシメ、在野黨ノ運動者ヲシテ有

權者ニ近ツカシメサラン事ヲ此レ努メタリ、即チ巡查消防夫ハ公然政府黨ノ運動者ニ異ナラズ
(チ) 四月十八日ヨリ十九日ニ涉リ川村知事ハ部下ヲ特派シテ弘前市ノ學校職員ヲ歴訪セシメ、政府反對派ニ投票スヘカラサル旨ヲ強要シ、選舉當日ハ校長監視ノ下ニ投票セシメタリ、此事實ハ某校職員ノ談ニ依リ明瞭ナルモ姑ク其姓名ヲ省ク

(リ) 北津輕郡中川村ハ六十餘名ノ有權者アリ、二十日選舉ノ當日警察官投票所ニ臨監シ選舉人カ在野黨ノ候補者ヲ記名セントスレハ『君夫レハ間違ッテ居ラヌカ』夫レハ墨色カ薄クテ解リ難イ直スカ宜イトテ、何回ニテモ投票用紙ヲ與ヘ遂ニ六十餘ノ有權者ヲ舉ゲテ政府黨ニ投票セシメタリ

第十三 秋田縣知事川口彦治及其部下ノ干涉一斑 秋田縣前任知事小島源三郎ハ、居常不偏不黨尤モ公平ナル態度ヲ持シ、縣政ノ發達ニ資スル所アリシカ、同縣政友會領袖神田清兵衛政友會ノ頽勢ヲ挽回セントセハ須ラク公平知事ニ代フルニ色彩ノ鮮明ナル後任者ヲ以テセサルヘカラスト做シ、原政友會總裁水野内務次官ニ逼リテ、極力運動スル所アリ、其結果小島ハ本年一月休職ヲ命セラレ、其後任トシテ現任知事川口彦治ノ就任ヲ見タリ、川口現知事ハ赴任勿々秋田警察署長川上警視及警務課長丹警視ノ二人ヲ警視廳ヨリ拔擢シテ之ヲ採用シ、選舉ニ關スル諸般ノ作戰計畫ハ政友會秋田支部及此兩人ヲ股肱トシテ一切ノ謀議ヲ擬シ、内務部長米田甚太郎警察部長豊田勝藏ノ如キハ唯員ニ加ハルノミ、秋田市ニ對シテハ川上警視、郡部ニ對シテハ丹警視ヲシテ專ラ政府黨援護、憲政派打撃ノ任ニ當ラシメタリ

其一 政友會候補田中隆三ノ參謀永井喜久治潛伏事件及司法官憲ト警察當局トノ確執 田中派參謀永井喜久治カ選舉違反ニ依リ告發セラレ、秋田地方裁判所檢事局ニ於テ將ニ同人ヲ逮捕セントスルヤ、身ヲ以テ遁レ何處ニ潛伏シタルカ、四月二十日選舉當日飄然トシテ投票所ニ現ハレ、田中隆三ノ爲メ選舉權ヲ行使シタル上、直チニ收監ノ身トナレリ、此一事ハ表面ヨリ觀レハ單ニ警察ノ怠慢無能力ヲ語ルモノ、如キモ、實際ニ於テハ縣當局者ガ、更ニ重大ノ責任ヲ負フヘキ非

難ヲ免レサルモノ、如シ

抑、永井ガ違犯行爲ヲ告發セラレ、檢事局ヨリ令狀ヲ發セラレタルハ四月十六日ノ事ニシテ、令狀ノ執行ハ秋田警察署長ノ手ヲ以テ爲サレタル次第ナルカ、該令狀カ檢事局ヨリ秋田署ニ移ラレテ後チ豫審廷ニ於ケル申立ニ依レハ、十六日逃亡ノ夜彼ハ秋田市政友會候補者榊田清兵衛ノ妾宅ニ泊シ、翌十七日朝豫テ田中派ノ運動者タリシ秋田遊廓常盤町松鶴樓寺門金五郎方ニ落延ヒ、爾後同樓ノ向ナル車夫某方ニ潜伏シ、同樓ヨリ飲食ヲ供給セシメタリトノ事ナリ、而シテ永井ハ自己ノ罪跡ニ對スル證據充分ナルヲ自覺シ、十七日ニ至リテ寧口直ニ自首セント欲シタルモ、田中派ノ幹部連ハ、全般ノ氣勢ニ關スルコト大ナル故ヲ以テ、切ニ彼ニ請フニ暫ク潜伏セシムコトヲ以テシタリト云フ、秋田市ノ如キ小區域ニ於テ而モ永井ニ關係アルヘキ榊田ノ妾宅、又ハ警察ノ探知ニ便ナル妓樓ニ出入潜伏シタル事實ハ、假令秋田署ノ警察ガ如何ニ無能ナル場合ト雖モ、少シク搜索ニ努力セハ直ニ其踪跡ヲ突止メ得ヘキ筈ナリ、畢竟世間ノ疑惑ハ如何ナル辯解ト雖モ到底之ヲ打消スノ途ナキヲ奈何セン

當ニ本件ノミナラス、川口知事ハ警察權ヲ擁シ、在野黨ノ違反事件ニ對シテハ、如何ナル微罪ニテモ之カ檢舉ニ全力ヲ傾倒セルニ拘ハラズ、政友派ノ違反行爲ニ就テハ却テ之ヲ曲庇シ、檢事局ヨリ令狀ノ執行ヲ命セラル、モ躊躇逡巡シテ、其間罪跡ヲ湮滅セシムルニ力メタルアリ、故ニ裁判所ハ全然警察ノ行動ニ信任ヲ拂ハズ、被告人ノ引致證人ノ喚問等一切延テラシテ之ヲ行ハシメ一モ警察ノ手ヲ煩ササリシト云フ、現ニ今日ニ至ル迄廷丁ノ手ニ懸ケタル者百五六十人ノ多キニ達シ、其罪跡ヲ搜索スルニ際シテモ、曾テ警察ノ力ヲ借ラス、警察署亦殊更ニ知ラサル態度ヲ爲シテ之ヲ傍觀シタリ

而シテ檢事正鱸重康ハ川口知事ニ對シ、巡查カ犯人ノ檢舉、罪跡ノ搜查ヲ行フ能ハスンハ憲兵ヲ以テ之ニ代フルノ外ナシトノ旨ヲ致セリ、此前後ノ事情ニ照シ司法官憲ト警察當局者トノ間ニ犯罪ノ檢舉其他ニ關シ、確執反目彼此相容レサルモノアリシハ蔽フヘカラサル事實ナリ

其二 符牒付投票ハ何物ヲ語ル乎 前掲永井喜久治(選舉違反ノ前科者)長谷川勝太郎及鈴木安孝ハ共ニ田中派運動員ノ頭目ニシテ、彼等ハ何レモ總ユル不正行爲ヲ敢行シ、右三人及ヒ之ニ連累セル多數ノ選舉違反者ハ、既ニ禁錮又ハ罰金ノ刑ニ處セラレ、又ハ何レモ豫審ニ於テ夫レノ有罪ノ決定ヲ受クルニ至レリ、殊ニ注意スヘキハ田中隆三ノ得票三百三十一票中、其三分ノ一即チ約百票ハ何レモ符牒付ノモノニシテ、今其種類ヲ列舉スレハ大凡左ノ如シ

- 一 法學士(符牒)田中隆三
- 一 田中隆三先生(符牒)
- 一 田中隆三様(符牒)
- 一 勳三等(符牒)田中隆三
- 一 從四位(符牒)田中隆三
- 一 田中隆三大閣下(符牒)
- 一 東京麻布實業家(符牒)田中隆三
- 一 元鑛山局長(符牒)田中隆三

斯ノ如キ符牒投票ハ、殆ント天下ニ類例ナキ處ニシテ、選舉人對被選舉人間ニ於ケル何物カヲ暗示セルコト疑ヲ容レサルノミナラス、無記名制ノ意義ハ全然没却セラレ居ルヲ看取スヘシ、隨ツテ若シ警察當局者ニシテ選舉界ノ實情ニ通シ公平嚴正ノ取締ヲ行ハシテ、開票前殊ニ田中派ニ對スル取締ハ自ラ嚴重ナルヘキ筈ナリ、然ルニ秋田警察署ハ選舉前ハ勿論選舉後ニ至ッテモ田中派ノ檢舉ニ付テハ殆ント一指ヲ染メス、管ニ手ヲ拱シテ露骨ナル不正行爲ヲ看過セルノミナラス、寧口積極的ニ之ヲ保護シタル形跡少ナカラス、之ニ反シテ選舉ノ前後ヲ通シ、殆ント違反者ヲ出ササリシ安藤派ニ對シテハ、各運動者ニ付キ必ス二人若シクハ三人ノ巡查ヲ尾行セシメ、有權者ヲ訪問スル場合、直接間接ノ方法ニ依リ、故意ニ之ヲ妨害シテ運動ノ自由ヲ拘束セリ、取締上ノ寬嚴全ク冠履顛倒ノ奇觀ヲ呈セルヲ觀ルヘシ

其三 知事部長ノ選舉運動 川口知事ハ縣内視察ヲ名トシテ、總選舉前各郡ヲ巡回シ、有權者ヲ

集合シテ政友派應援ニ等シキ言動ヲ爲シ、其集會ノ席上ニハ必ラス其地方ヲ根據トシテ立候補ヲ宣セル政友會ノ候補ヲ侍セシメ(云フ迄モナク憲政會ノ候補者ハ一人モ近ケス)暗々裡ニ同人ノ爲メニ投票スヘキコトヲ諭示スルニ勗メタリ、殊ニ三月下旬榊田清兵衛ノ根據地タル仙北郡大曲町ニ於テハ、其宿泊セル旅館ニ於テ同日同所ニ政友會ノ候補者豫選會ヲ開カシメ、全然政友派ノ走狗タルノ實ヲ示シタリ、又三月二十二日北秋田郡ニ於ケル縣立農學校ノ卒業式ニ參列シタル際ノ如キモ、當日恰モ政友會候補者豫選會行ハレ、川口知事ハ該會ニ參列シタルニ非サルモ、其終了ト同時ニ知事歡迎ノ宴ヲ成田直衛(政友會元代議士)邸ニ開催セル場合、政友會候補者高橋本吉ヲ始メトシ、該豫選會ニ參列セル政友派有志ト共ニ列席シテ選舉ニ關スル懇談ヲ遂ケタリ

又仙北郡長吉田穰ハ公然政友會ノ運動者ヲ引率シテ管内角館、神代、生保内、白岩、豊岡、豊川、長野、横澤、長信田、雲澤、中川等ノ各町村長有權者其他ヲ集メ首相内相ノ訓示ノ意味ヲ敷衍シテ演述ヲ終ルヤ、同行政友會運動者ハ、必ス來會者ヲ其儘役場ノ二階又ハ控室ニ集メテ我黨政府ノ權威ヲ假リ、政友會推薦候補者ニ投票センコトヲ依頼勸誘セリ

第十四 元滋賀縣警察部長二木千年ノ告白 元滋賀縣警察部長二木千年ハ、選舉干渉ヲ默視スルニ忍ヒス、不正沒道義ナル政府ノ下ニ職ヲ奉シテ自己ノ良心ニ背カンヨリハ寧ロ自ラ桂冠シテ一身ヲ潔クスルニ若カストナシ、同僚ノ切ナル勸告ヲ斥ケテ辭表ヲ提出シ、遂ニ懲戒免官ニ處セラレタル事ハ世人ノ記憶ニ新ナル所ナルカ、同氏ノ當時見聞シタル事實ノ告白ヲ一瞥スレハ、如何ニ中央政府カ同縣知事池松時和ヲ強要シ、官權ヲ濫用シテ選舉干渉ヲ行ハシメタルヤヲ知悉スルヲ得ヘシ、依テ左ニ掲ク

元滋賀縣警察部長二木千年ノ告白

一 本年二月中警察部長會議ニテ上京ノ際、予ノ隨行員前田高等警察主任ヨリ、「當時地方長官會議ニテ滯京中ノ池松知事ヨリ滋賀縣ニ於テ中立候補者トシテ何人ガ最モ適當ナルヘキヤト尋ネラレタルニヨリ、縣參事會員吉田羊治郎ナルヘシト答ヘ置キタリ」トノ談話ヲ聞キ、予ハ

池松知事カ此ノ時早ク御用候補者ヲ物色シツ、アリシヲ知レリ

一 同シク上京ノ際予ハ豫テ恩義アル法制局長官有松英義氏ヲ麻布ノ私邸ニ訪問シタル際、氏ハ「君カ歸縣ノ上ハ時々選舉ニ關スル情報ヲ寄セラレ度シ、政府ニテハ政友候補モ餘リ歡迎スル所ニアラス、可成金力中立候補者ノ多カラントヲ希望ス、尤モ警察ナトニテ中立ニ引入ル、カ如キコトハ爲ササルカ可ナルヘシ」ト言ハレタルニヨリ、予ハ職責上嚴正公平ヲ恪守スルモノナレハ縱ヒ上司ノ命ト雖モ斯ノ如キ事ハ斷シテ肯ンセサルヘシト答ヘタリ

一 予ハ歸縣ノ後、前田高等警察主任ヨリ池松知事ガ前記吉田ニ會見シ立候補ヲ勸誘シタリトノ事ヲ聞ケリ

一 二月二十五日頃知事ハ吉田羊治郎ヲ中立候補者ノ一人トシテ内務大臣ニ申報セリ

一 前掲報告後ナリト記憶ス、縣參事會員及縣廳幹部ノ懇親會ヲ催シタル際、知事ハ吉田ヲ別室ニ拉シ去リテ密談數刻ニ及ヘリ、事立候補ニ關スルヤ推測スルニ難カラス

一 其ノ後一兩日ヲ經テ余ハ有松氏ニ宛テ、縣下ノ富豪吉田羊治郎ナルモノ立候補ノ希望アリ、本人ハ何レノ政黨ニモ赴クヲ欲セス只其ノ果シテ蹶起スルニ至ルヤ否ヤハ疑問ナリトノ私信ヲ發セリ、豫テ有松氏ノ依頼モアリ情義上一遍ノ通報ヲ寄セタルノミ、然ルニ其ノ後政府ノ態度ニ不可解ノ點多キヲ發見シタルヲ以テ、爾後有松氏ヘハ何等通信スル所ナカリキ

附言 本項ヲ特記セル所以ハ政府側ニ在リテハ此ノ有松氏ニ送レル私信ヨリ牽強附會シテ、二木ハ自カラ吉田ヲ擁立セント欲シ勸誘ニ努ムル所アリシカ、知事ニ功ヲ奪ハレタルヲ憤リ遂ニ辭意ヲ決シタルモノナリト吹聴シ居ル趣傳聞シタルヲ以テ、此ノ間ノ消息ヲ明ニセシカ爲メナリ、抑、予カ吉田ニ面會セシハ前掲懇親會ノ席上ヲ最初トシ又恐ラク最後ナリ

一 超エテ三月十日頃ト記憶ス、警務課長山本武夫官舎ニ來リ「本日知事ヨリ吉田羊治郎ノ郷里ニ出張シ元縣會議員渡邊九一郎ト共ニ同人ノ立候補勸誘ニ努力スヘシトノ内命ヲ受ケタリ、貴官ハ常ニ嚴正公平ヲ持セラレ我等モ能ク其ノ意ヲ體シ居リ、殊ニ自分ハ曩ニ苦キ經驗(川島知事時代ノ高等警察主任トシテ重用セラレ政友會井上敬之助等ト惡縁ヲ結ヒ政友派ノ爲ニ偏

頗ナリシトノ非難ヲ受ケ大隈内閣ノ時長濱警察署長ニ轉勤)ヲ嘗メ居ルコトナレハ斯ル事ニ干與スルハ不本意ニシテ且ツ甚タ苦痛トスル處ナルモ、長官ノ命令如何トモ致シ難シ云々」ト予ハ之ヲ密告シタル心事ヲ諒トシ、尙ホ將來ヲ戒飭スル所アリ山本ハ即日吉田ノ郷里犬上郡へ出張シタルカ、其後モ知事ノ命ヲ受ケテ同方面へ兩三回出張シ(其ノ都度予ニ密告セリ)渡邊ニハ萬事運動方ヲ委囑シタリ

一 縣廳側カ手ヲ代へ品ヲ替へテ勸誘スルニ拘ラス吉田ハ猶モ躊躇シテ起タサルヨリ知事ノ焦慮一方ナラス、折柄山本課長ハ大演習事務視察ノ爲メ九州地方へ三月十八日出張シタルヲ以テ更ニ前田高等警察主任ニ吉田勸誘ノ旨ヲ含メ再三犬上郡ニ出張セシメタリ、元來前田ハ比較的公平ノ男ナレハ衷心知事ノ命ニ當惑シ出張ノ都度予ノ許ニ來リテ苦衷ヲ訴へタリ

一 滋賀縣湖北方面ノ國民黨カ適當ナル候補者ヲ得ルニ苦シミツ、アルニ乘シ、豫テ縣當局ノ意ヲ承ケタル前記渡邊九一郎ハ國民黨派ト中立派ト相協力シテ吉田ヲ擁立セムコトヲ畫策シタリ、是ニ於テ吉田モ遂ニ蹶起ノ躑ヲ固ムルニ至レリ、然ルニ擁立者ノ中堅ハ國民黨ナレハ其ノ推薦狀ニハ現政府反對ノ旨ヲ聲明シタルヨリ吉田ハ豫テ政府トノ關係上(同人ハ三月下旬上京後後藤内相ト面談シタリ)痛ク當惑シ、自分ハ決シテ政府反對ニアラス推薦狀ト自己ノ政見發表トハ別問題ナリト親シク往訪ノ警官ニ向テ辯解シタリ

一 因ニ記ス政府カ斯クマテ吉田ノ蹶起ヲ促スニ腐心シタル所以ハ彼ノ勢力ニ依リテ在野黨候補者、就中憲政會ノ島田候補ニ打撃ヲ加フル望アリタレハナリ

一 附言 予ハ何故ニ、池松知事カ選舉ニ關シ警察力ヲ濫用スルニ對シ、公然抗議ヲ爲ササリシカト云フニ、部下ハ孰レモ知事ノ内命ヲ予ニ密告シタルヲ以テ、當時若シ知事ニ對シテ公然抗爭ノ端ヲ啓カハ、徒ニ部下ヲ窮地ニ陥ル、ノ虞アリ、又斯クノ如キ不法行爲ヲ敢テスル知事ハ、予ノ抗議ニ遭フテ改悛スルコトナク、却テ益々隱密ニ警察力ヲ使用シ結局其ノ目的ヲ達センコトヲ疑ヒナク、而シテ部下ノ警官ハ後難ヲ懼レテ口ヲ緘シ、予ノ知ラサル間ニ不正ノ干渉ヲ決行スルヤ必然ナルヲ以テ、暫ク隱忍シテ時機ヲ俟チタルナリ、但シ予ハ部下ノ密告

ヲ聞ク毎ニ知事ノ所爲ノ不當ナルヲ說示シ彼等ヲ戒飭スル所アリタリ

一 初メ政友會派カ立候補ヲ訴フルヤ、後藤内相ハ兒玉内閣書記官長ノ妹婿ニシテ陸軍省參事官タル立花俊吉ヲ派遣シ、其實父大道誠治ヲ德憑セシメ、其ノ失敗ニ畢ルヤ、更ニ政友派井狩彌左衛門ヲ擁立セント企テ、先ツ其近親井狩彌太夫ヲ說キテ彌左衛門ニ勸誘ヲ試ミタルモ同入ハ元ト養嗣子ニシテ養母等ノ反對アリ終ニ承諾ヲ得ス、立花ハ手ヲ空フシテ歸京シ大ニ面目ヲ失シタルヨリ、罪ヲ人ニ嫁シ己カ使命ヲ果ササリシハ縣當局ノ盡力足ラサル爲メナリト内相ニ復命シタリ、斯事ハ後ニ池松知事ヨリ親シク傳聞セル所ナリ、尙ホ立花ハ滋賀縣滯在中郷里守山町ノ生家ニ土地ノ有志ヲ數回招待シ、政友派候補ニ投票センコトヲ依頼シタル事實アリ、(同町酒商岡田八十司ノ言ニ據ル)同縣滯在中ハ屢々知事ト電話ヲ交換シ知事官邸ニ密議ヲ凝シタリ

一 三月下旬滋賀日報社主三宅忠七(窃盜ノ前科アル者)上京、後藤内相兒玉書記官長等ト面會シ、選舉ニ關スル或ル任務ヲ託サレタリト揚言シ居タルカ、某日縣警察部ニ課長等ヲ訪問シ『池松知事ハ無能漢ニシテ御用黨ノ爲メ努力足ラス、態度冷淡ナリトテ、政府者間ノ評判頗ル惡シ』云々、或ハ『警察部長ハ著任勿々トテ縣ノ事情ニ暗ク頼ムニ足ラス若シ夫レ大津市ノ如キハ一度ヒ其運動者ヲ拘禁セハ忽チ御用候補吉村派ニ傾キ必勝ヲ期シ得ヘシ』云々ト放言セシ旨課長ヨリ聞知セリ、其意蓋シ知事等ニ之ヲ傳聞セシメ以テ御用派ノ爲メニ一層ノ發奮ヲ促サシメン策略ナリ、前田高等警察主任カ知事ノ談話ナリトテ予ニ語リシ處ニ據レハ、三宅ハ確ニ政府ノ意ヲ承ケテ歸縣シ同時ニ多額ノ金ヲ擱ミ居レリト、知事ハ其後兩三回三宅ト官邸ニ於テ會見密談シタルカ、其ノ當時三宅如キ鼠輩ニ翻弄セラレ、知事ノ態度ハ、見ル者ヲシテ嘲笑ヲ禁セサラシメタリト

附言 三宅ノ談話中『運動者拘禁』云々トアルハ本縣ニ於ケル政友派知事ノ慣用手段ニシテ、往年川島純幹ノ知事時代、總選舉ニ際シ國民黨候補者人見米治郎ノ運動者數名ヲ數日拘留シタルコトアリ、時ノ彦根警察署長タリシ正光實丸(現大津署長)ハ、當時ノ事實ヲ予ニ語ッ

テ曰ク『彼ノ時程困リシ事ハナカリキ、元來何等取調ノ事由ナク單ニ知事ノ高壓的命令ニ依リ留置シタルモノナルヲ以テ、其口實ニ窮シ已ムナク、彼ノ事ヲ考ヘ見ヨ此ノ事ハ如何ト無稽ノ訊問ニ時ヲ移サシメタリ』ト

一 予ハ一日池松知事ニ對シ、三宅カ警察部ニ來リ斯々ノ事ヲ喋リ居タリトノ事ナルカ、斯ル小人輩ハ餘リ相手ニセラレサルカ可ナルヘシト忠告シタルニ『實ハ先般水野次官ヨリモ御用派候補ニ對スル縣ノ態度冷淡ナリトテ詰責セル書面來レリ』ト知事ハ遂ニ實ヲ吐クニ至リシヲ以テ、予ハ豫テノ想像通り知事ノ今日迄ノ行爲ハ全ク其ノ筋ノ意ヲ承ケタルハ勿論時ニ其ノ壓迫ニ基因シタルヲ確信スルニ至リ、且三宅カ政府ノ走狗タリシ事實モ頷カレ、今更ノ如ク一驚ヲ喫セサルヲ得サリキ

- 一 其ノ後知事ハ上述ノ事情ヨリ一層焦慮シ今一度、井狩彌右衛門ニ對シ説得ヲ試ミント欲シ、前田高等警察主任ヲシテ之ニ當ラシメントシタルカ、予ニ於テ前田ヲ沮止シ又前田自身モ到底努力ノ效無キコトヲ知事ニ説キタルヨリ、知事ハ已ムナク梶巡查部長ニ旨ヲ含メテ井狩方ニ派遣シタリ、同人歸廳後井狩彌太夫ノ言ナリトテ予ニ告ケテ曰ク『先日立花氏ヨリモ縣當局者カ援助スルヲ以テ是非出馬スヘシト勸メラレタレトモ家事ノ都合上遺憾ナカラ御斷ヲ致シタリ』ト蓋シ井狩ハ縣官ナルカ故ニ心ヲ許シ、詐ハラサル告白ヲ爲シタルモノナリ
- 一 三月中兒玉書記官長ヨリ首相内相ノ訓示ヲ骨子トシ、暗ニ憲政會ヲ誹謗セル印刷物ヲ知事ニ送付シ町村長其他有效ナル方面ヘ頒布ヲ委囑シ來レリ
- 一 四月初メ内務省ヨリ知事ヘ宛テ從來大臣ノ訓示カ人民一般ニ徹底セサル憾アリ、今回ノ訓示ハ如何ナル徹底方法ヲ執リ居ルヤ近日内務監察官ヲ派遣スヘシト通牒シ來レリ
- 一 同月初メ官公吏ノ有權者調査方ヲ内務省ヨリ命シ來レリ
- 一 同月初メ内務省ヨリ電報ヲ以テ、今回ノ選舉取締ニ從事セル警部補巡查等ニ至急配付アリタシトテ金八百圓送金シ來レリ、地方費支辨ノ警部補巡查等ニ對シ國費ヲ以テ慰勞シタルハ從來其ノ例ヲ見サル所ニシテ、余カ東京市內某署長ニ就テ確メタル所ニ依レハ、市内ノ巡查等

ハ該慰勞金ノ分配ニ預ラサリシト言フ、由之觀之内務省ハ府縣ニ依リ區別ヲセサリシモノト見ユ、咄々怪事ト云ヘシ

- 一 同月六日頃内務監察官赤池濃氏選舉事務視察ノ爲メ來縣ス、余ハ同僚等ノ面前ニ於テ赤池氏ニ向ヒ、後藤内相ハ前回ノ總選舉ニ於テ地方官等カ政府ノ命ヲ承ケテ干渉ヲ敢テシ、不自然ノ多數黨ヲ生セシメタリト公言セルハ、實ニ地方當局ヲ侮辱スルノ甚シキモノナリトテ、其ノ不謹慎ナル態度ヲ攻撃シ、且ツ内相ノ其レノ如キ不穩當ナル訓示ハ到底之ヲ人民ニ徹底セシムル方法ヲ講スル能ハスト斷言セリ
- 一 同月五日夜内務大臣ヨリ突然知事ニ召電アリ、同夜知事ハ予ヲ官邸ニ招キ留守中ノ事ヲ託サル、其ノ際予ハ多分警察部長交迭ニ關スル召電ナラント戲レタルニ、知事ハ或ハ自身ニ關スル事ト思惟シタルカ稍不安ノ色アリキ、知事ハ翌六日朝上京シ八日朝歸廳早々予ヲ官邸ニ招キ曰ク『矢張り君ニ關スルコトナリシ、次官ニモ大臣ニモ面會シタルカ二本ハ憲政會ニ偏シ不公正ナリトノ評アリ、果シテ如何トノ事ナリシヲ以テ自分ノ知レル限ニ於テハ然ル事ナシト辯解シタリ、依テ今ハ了解セラレタリ』ト然ラハ予ノ一身ニ關スル要件ノミヲ以テ、能ク知事ノ上京ヲ命セラレタリシヤ、ト切リ込ミシニ知事ハ『否夫レノミニアラス要スルニ御用派候補ノ當選ヲ期スル様盡力セヨ』トノ事ナリシト、告白シタルヲ以テ、予ハ知事カ今日マテ政府ノ意ヲ承ケテ御用派ノ爲ニ盡ス所、已ニ業ニ不當ノ所爲タルヲ免レサルニ、此ノ上尙盡力セヨトハ極端ナル干渉ヲ強フルモノニ外ナラス、自カラハ秉公持平ノ標榜ノ下ニ惡事ヲ働キ、却テ正道ヲ踏ム者ヲ目シテ不公平ト誣フルカ如キ沒道義ノ政府ノ下ニハ、一刻モ職ヲ奉スルヲ潔トセス、即坐ニ挂冠ノ決意ヲ知事ニ告ケタレハ、知事ハ事ノ意外ニ驚キ、切ニ慰撫スル所アリシモ、到底辭意ヲ翻ス能ハスト斷言シテ退出セリ、予ハ歸宅後直ニ旅裝ヲ整ヘ即夜上京ノ豫定ナリシカ知事ハ、夜ニ入りテ再ヒ官邸ニ詰メ切リ、内務部長伊東氏ト共ニ百方慰撫ニ努メタルモ、到底其ノ效ナキヲ見ルヤ某料亭ニ酒ヲ命シ強テ拉シ行カントセラレタルモ予ハ頑トシテ應セサリシ、併シ之レカ爲メ即夜上京スル能ハス、翌朝旅行屆並ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘタル辭職願

ヲ知事ノ手許ニ提出シ、將ニ出發セントスルニ際シ知事ハ又々官舎ニ來訪シ上京ヲ沮止セント試ミタルモ予ハ斷然豫定ノ時刻ニ出發シタリ

一 伊藤内務部長ハ知事ノ命ヲ承ケ予ヲ追跡シテ東上シ、予ノ寓所ヲ訪問シテ辭意ヲ翻スヘク勸告セラレ、且ツ有松法制局長官並ニ永田警保局長カ面談シタキ旨傳言セラレタルモ、今回ノ事タル畢竟、主義ノ問題ニシテ先輩ノ説諭ニ依リ信念ノ渝ルヘキニ非サルヲ以テ會見モ無益ナリト信シ謝絶シタリ

一 同月十二日、予ハ所用ヲ畢リ、將ニ歸縣セントスルニ際シ、予ノ恩人タル某博士ノ招キニ應シテ訪問シタルニ、圖ラサリキ予ノ辭職ニ關シ同日有松法制局長官ヨリ博士ニ書面ヲ寄セ、予ノ辭意ヲ翻スヘク慰撫セムコトヲ依頼セラレタルナリ

附言 有松氏カ予ヲ留メントセラル、ハ無論内務省ノ依頼ニ出テタルコト明カニシテ此ノ際予ノ上京ニ對シ何等詰責スル所ナク、却テ再三慰撫ノ態度ニ出テナカラ、後ニ至リ同一行爲ヲ以テ懲戒免官ノ一理由ト爲セシハ實ニ驚カサルヲ得ス

第十五 宮崎縣ニ於ケル選舉干渉事例 這般ノ總選舉ニ際シ宮崎縣ハ全國中官邊ノ干渉壓迫最モ深刻ヲ極メタル地ナリ、元來本縣ニ於ケル代議士定員四名ニ對シ、今回ハ候補者數七名ニ及ヒ憲政會ハ三浦得一郎一名ヲ公認シ、其地盤東西白杵二郡及兒湯郡東部、宮崎郡ノ一部ニ及ヒ、殊ニ東西白杵二郡ハ何レモ郡一致ヲ以テ三浦候補ヲ推薦シ、其結果他派ニ比シ最モ鞏固ナルモノアリシヲ以テ、反對派ハ單ニ地盤攪亂ノ目的ヲ以テ二名ノ候補者ヲ擁立シ、官憲亦彼等ト策應セルモノ、如ク、憲政會派運動員ニ對シ故ラニ誣告ノ事ヲ構エテ羅織至ラサルナク、爲メニ運動員ノ或者ハ畏怖ノ念ヲ抱キテ中途ニ運動ヲ廢絶シ、有權者ノ或者ハ無辜ニシテ罪ニ坐スルノ奇禍ニ遭フ、其始メ反對派ハ殆ント公會演説若クハ政見發表ヲナサス、只裏面ニ於テ陋劣ナル手段ヲ弄スルノミ、形勢萎靡振ハサルニ反シ、憲政會派ノ遊説到ル所ニ歡迎セラレ、勝敗ノ數歴然タルモノアリキ、然ルニ選舉間際ニ至リ官邊ノ干渉壓迫極端ニ及ヒ開票ノ結果、彼我ノ勝敗其處ヲ異ニセルハ、世人ノ觀テ以テ意外トナセシ所、以下官憲ノ非違ニ關シ、其例證數箇ヲ舉示セントス

其一 延岡警察署ノ大怪事

(一) 不法ノ家宅搜索 東臼杵郡延岡警察署ハ選舉期日ノ數日後ニ迫レル四月十四五日ノ比ヨリ遽カニ苛辣ナル干渉ヲ開始シタリ、即チ同十五日反對派ノ密告ニ基ツキ延岡町三浦選舉事務所ノ家宅搜索ヲナシ、其間運動員ノ出入ヲ禁シ、諸帳簿一切及暗號電報符號等ヲ押收シ、爾來晝夜ノ別ナク運動員ニ刑事巡查ヲ尾行セシメ、其訪問シタル有權者ニ對シ、運動員トノ對話ヲ尋問シ、有權者ヲシテ雷ニ煩累ニ堪ヘサラシメタルノミナラス、一種ノ恐怖心ヲサヘ誘發セシメタリ

(二) 多額納稅者ニ對シ五錢十錢ノ未精算剩餘金ノ問題ヲ以テ橫領罪ニ擬ス 更ニ十七、十八、十九ノ三日間ニ互リ早朝ヨリ事務所々屬ノ運動員全部ヲ警察ニ召喚シ、正午迄空ク留置シ午後ニ至ツテ取調ニ著手セリ、尋問ノ要旨ハ主トシテ授受シタル辨當料宿泊料ノ計算等ニシテ(辨當料二十錢宿泊料八十錢)規定ヨリ僅々五錢十錢ノ過拂、又ハ違算等アルトキハ之ニ乘シテ益々尋問ヲ嚴ニシ一流ノ財產家タル運動員ニ對シテ少額云フニ足ラサル剩餘金ヲ橫領セルモノト誣ヒ、暗ニ運動ヲ斷念セシメントスルノ手段ヲ執リ、或ハ當該運動員ノ自宅ニ警吏ヲ派シテ威嚇脅迫ノ態度ニ出テ、又毫モ違反行爲アラサル運動員ヲ徒ニ召喚シ、其幹部員ハ汝ニ買收費トシテ金若干ヲ授ケタリト聞ク、其詳細ヲ告白スヘシトテ無根ノ事實ヲ假設質問シ、其事實無根ナルヲ辯解スルモ頑トシテ肯カス、其儘留置場ニ拘禁シ、一方幹部員ノ居宅ニ警吏ヲ派シ、某運動員ハ貴下ヨリ金若干ヲ密授セラレタリト白ヘリ、其金額幾干ヲ訊シ、幹部員ハ事ノ虛偽ナルヲ辯シ其報告ノ果シテ何人ヨリ出テシカヲ反問スルニ及ヒ、警官其答ニ窮シテ辭シテ去レリ

(三) 極端ナル人權蹂躪 同月十九日反對派ノ捏造的密告ニ依リ運動員柳田波治ナル者ヲ、延岡警察署ニ拘引シ同人カ幹部ヨリ買收費ヲ受領シ居レリトノ嫌疑ノ下ニ日夜苛酷ナル尋問ヲナシ、或ハ同人家族全部ヲ召喚シ、或ハ家宅搜索ヲナセルモ、更ニ其證據ナク遂ニ深更ニ時人靜マツテ後チ拷問ヲ行ヒ、二三名ノ警官激シク顔面頭部ヲ毆打シ、著衣全部ヲ脱セシメ

其憤鼻揮ヲスラ除カント命シ、具サニ之ヲ點檢シタルモノ一物ヲ得ス、本人資性豪膽ニシテ不屈ナリ、其憤鼻揮ヲ脱スル際ノ如キ警官ノ頭上ニ之ヲ振り廻ハス等ノ滑稽ヲ演シタリト云フ、拷問ノ際ハ手拳ヲ以テ兩顔面ヲ強打セラレ爲メニ顔面ハ暗紫色ヲ呈シ、甚シク腫脹、疾痛亦甚シキニ依リ醫師ノ診斷ヲ乞フモ許サレズ腫脹ノ稍減シタル四日目ニ至リ漸ク放還セラレタリ、此時憔悴甚シク顔面ノ腫脹尙存シ頰部ニ暗紫色ヲ呈シ衣服ハ散々ニ破レ居タリ、其將ニ放還サレントスルヤ、平素親近アル一巡查彼ニ耳語シテ曰ク、事ノコ、ニ出テシモノ固ヨリ予ノ本意ニアラス、職務上誠ニ已ムヲ得サルニ出ツ、不日酒食ヲ饗シテ謝意ヲ表スヘシ、請フ寛恕ヲ望ムト、此一事ニ徴スルモ其留置場内ノ警吏ノ凶暴ナル態度推シテ知ルヘキナリ

其二 司法官憲ノ職權濫用

(一)略式命令ノ濫用 而シテ檢事局ニ於ケル憲政派運動員ニ對スル檢事局ノ尋問ハ尋問ト云ハシヨリ寧ろ脅威喝トイフヲ當レリトスヘク、檢事ノ命令ニ異議ノ申立ヲナスニ於テハ、直チニ收監スヘシト威嚇セラレ、之カ爲メ他日正式裁判ヲ仰カハ無罪トナルヘキ者モ、收監云云ノ威嚇ニ畏怖シテ、即座ニ略式命令ニ服シタルアリ、違反者ニシテ略式命令ニ服シタルハ全部此類ナリ

(二)非常識ナル處罰 反對派ニシテ違反行爲ノ歴然タルモノ、例ヘハ買收ノ契約又ハ辨當料トシテ、毎日六十錢ヲ支給シタル上、事務所出發ノ際別ニ辨當ヲ與ヘタル事實ヲ認メ、之ヲ當局ニ上申スルモ、カッテ一回タモ取調ヲナセシ事ナク、只選舉ノ當初、形式的ニ二三ノ違反者ヲ檢舉シタルニ過キス、然ルニ憲政派運動員ニシテ略式命令ニ處セラレタルモノ數件ニ及ヒ、(其一)某村ニ事務所ヲ開設シ、事務所費ヲシテ其運動員ニ二十圓ヲ送附シ、其運動費中ヨリ數名ノ晝食代二圓内外ヲ立替ヘタル事手記ニヨリテ檢事ノ知ル所トナリ、罰金百圓他ハ各四十圓ヲ科セラレシモノ、(其二)辨當代晝夕二回分トシテ四十錢ヲ支給シタルニ對シ、辨當代ハ一日一回ニ止マルモノナリトテ主任者(私立病院長)ハ六十圓之ヲ受ケタルモ

ノ各三十圓ノ罰金ヲ科セラレシモノ(其三)某村事務主任者(郡會議員)某運動員ニ辨當代等ノ前金トシテ金二圓他ノ者ニ金六十錢ヲ交付シ他日其過不足ヲ精算ヘキ筈ナリシニ、些細ノ殘金ニ付其儘等閑ニ附シ居リシ爲メ、主任者ハ六十圓ニ、他ハ三十圓ノ罰金ヲ科セラレシモノ(其四)前同様ノ事實(其五)四月二十日午前八時頃反對派ノ攪亂候補者二名カ到底當選ノ見込ナキ爲メ二名ノ得票ヲ一名ニ纏メン爲メ、投票賣買ノ相談成立セリトノ報告ヲ得テ、延岡選舉事務所書記二名カ直ニ其趣ヲ各事務所及若干ノ有權者ニ對シ、電報ヲ以テ通知シタル爲メ、即日當選妨害ノ罪名ノ下ニ收監セラレ目下豫審ヲ了シ、宮崎地方裁判所ニ依リ收監セラレタルモノ即チ此レナリ

(三)不法ナル家宅搜索及身體檢査 又二十一日午後三時頃延岡裁判所長高尾判事山口檢事ハ巡查十數名ヲ引率シテ突然延岡事務所ニ臨場シ、事務所ノ表裏ニ巡查ヲ配シテ一切出入ヲ禁シタリ、時ニ同所ニ居合ハセタルハ、三浦候補ヲ初メ幹部運動員並ニ有志者等約三十名、開票後ノ豫想談ニ耽リタルカ、判檢事ハ何ノ嫌疑トモ言明セスシテ、事務所内ノアラユル書類ヲ檢閲シ、次テ家宅搜索ヲナシ、同時ニ居合セタル者ニ一々手帳ノ有無ヲ尋問シ、其所持セサル旨ヲ答フルヤ、身體檢査ヲナスヘシトテ三浦候補ヲ除ク其他全員ノ身體檢査ヲ行ヒ、何等得ル所ナクシテ退去セリ、司法權ノ濫用モ極マレリトイフヘシ

第十六 愛媛縣ニ於ケル干渉事例

其一 武内候補ニ對スル壓迫 元來愛媛縣郡部ハ定員七名中過去數回ノ總選舉ニ於テ、政友會ハ四名ノ候補ヲ立テ三名當選シ、國民黨ハ一名ノ候補ヲ立ツルモ尙落選シタル場合多ク、憲政會ハ非政友ノ名義ヲ以テ常ニ四名ノ候補ヲ立テ、大抵總テ當選シ來リタル地ナリ、然ルニ今回ノ總選舉ニハ、政友國民黨兩派ノ候補ハ悉ク當選シ、憲政派僅カニ一名ノミ當選セル變態ヲ呈シタルハ政府カ猛烈ナル干渉ヲ敢テシ、前者ニ對シテハ特別ナル保護ヲ加ヘ、後者ニ對シテハ所有手段ヲ盡シテ其運動ヲ妨害シ其自由ヲ檢束シタル結果ニ外ナラス、今先ツ東豫四郡即チ武内候補ノ地盤ニ於ケル顯著ナル事實ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 四月十八日ヨリ二十日ノ間各郡ニ涉リ、各警察署ハ武内候補ノ主タル參謀若クハ運動者ニ對シ虛構ノ罪名ヲ附シテ引致シ同時ニ武内候補並ニ參謀ハ總テ拘留セラレタリトノ虛說選舉區全體ニ流布セラレタリ

(イ) 宇摩郡ニ於テハ、十八日郡内ニテ投票最モ多キ寒川豐岡兩村ニ於ケル運動指揮者宮崎源吉(寒川)佐々木國助(豐岡)ノ兩名ヲ三島警察署ニ引致シ、十九日放還シタルモ放還ニ際シ歸村セサル様警告シタルヲ以テ、兩人ハ三島町ニ泊シ全然運動ヲ拋棄シタリ、之レ兩人カ數日前選舉運動中ハ晩酌モヤレメト道路ニテ談笑シツ、アリシヲ奇貨トシ、選舉違反ノ名義ニテ引致シ、西條區裁判所檢事局ニテ取調ノ末不起訴ニ決シタルモノナリ

(ロ) 新居郡ニテハ、憲政會ノ根據地タル大町村ニ反對派ノ運動者入込ミ買収ヲ爲スノ風聞アリシヲ以テ、人夫十人ヲ雇入レ十九日終夜見張ヲ爲サシメタルニ、之ヲ選舉法違反ト稱シテ、二十日早朝參謀伊藤勝次郎日野福多加藤洗太郎武田兼三郎及ヒ人夫等ヲ西條警察署ニ引致シ、終日取調ヲ爲シタルモ、是亦西條區裁判所檢事局ニ於テ不起訴ニ決シタリ

(ハ) 周桑郡ニ於テハ十九日早朝ヨリ刑事巡查ハ物々敷先引付ノ人力車ニテ、參謀長青野謙三郎(庄内村ノ人)參謀渡邊源太郎(楠河村ノ人)近藤喜十郎(壬生川町ノ人)ヲ丹原警察署ニ引致シ、翌二十日朝放還シタリ、取調事項ハ三月六日武内候補カ、壬生川町ニ至リ金二十五錢以内ノ辨當ヲ饗應シテ運動ヲ依頼シタリト謂フニアリ、無論事實無根ナレハ不起訴タリ

(ニ) 越智郡ニテハ、十九日早朝憲政會員ノ組織セル丙辰俱樂部ノ常任書記ニシテ、事實上ノ參謀長タル松本熊次郎ヲ、今治警察署ニ引致シ、同時ニ刑事巡查二人連ニテ仰々敷參謀連ノ所在ヲ追跡セシメ、人心恟々トシテ一時ハ參謀連モ所在ヲ匿スニ至レリ、松本ハ二十日正午過キ放還セラレタルカ、其後武内候補ヲ始メ參謀八木春樹其他諸氏ノ取調ヲ受ケタル處ニ依レハ數日前々記松本カ料理屋ニテ自己一人妓ヲ招キ飲食シタルコトアルヲ奇貨トシ、選舉費積領ノ嫌疑アリトシタルモノニシテ無論不起訴ニ終レリ

(二) 各村駐在所巡查ハ、武内候補ノ各村事務所ニ至リ、出納簿ヲ點檢シテ自ラ謄寫シ、或ハ謄寫ヲ差出サシメ、又運動者ニハ巡查尾行シ、運動者ノ去リタル後「運動者ハ何ト云ヒシカ」ト選舉人ニ推問シ、宇摩郡關川村駐在所近藤巡查ノ如キハ、公然政友會員ニ投票スヘク勸誘シタリ、選舉事務所ニハ巡查ノ出入絶ユルコトナカリキ

(三) 夜間十二時後ノ運動ハ警察ノ命令ニテ禁止セラレ、憲政會ニ對シテハ特ニ此命令ヲ勵行シナカラ、政、國兩派ハ參謀運動員總出ニテ、徹夜運動ヲ持續スルモ警察官ハ之ヲ默認シテ、彼此取扱ヲ二三ニシタリ

(四) 今治警察署松原警部補、渡邊巡查部長西之内刑事巡查ハ、管内各村駐在所巡查ヲ巡訪シ、「憲政會ハ二圓宛ニテ買収スルノタカラ嚴重ニ取締リ檢舉セヨ」ト命令シ「未タ舉ラヌカ何ラシテ居ル」ト再三督勵シ、四月十八日ニハ「武内派ハ幹部會ヲ開キ、金二圓宛ニテ買収スル目的ヲ以テ、憲政派選舉人ノ居宅ヲ訪問シ、便宜火鉢ノ下ニ金ヲ置キ、不同意ノ爲メニ發覺スレハ遺失シタリト辯解スル策ヲ決議シタリ、取締勵行セヨ」トノ書面命令(玉井高等刑事ノ筆蹟ニ依ル複寫版)ヲ發シタリ、之レ無根ノ事實ヲ虛構シ巡查ニ選舉干涉ヲ命令シタルモノナリ

(五) 右渡邊巡查部長ハ、越智郡乃萬村駐在所巡查越智岩之丞ニ命シテ、同村大字神宮ノ長野與四郎ノ長男軍治ニ對シ、強姦罪ノ嫌疑調査中ノ事件ヲ交換條件トシテ、與四郎及其親族兩人ヲシテ政友會候補者藤野正年ニ投票セシムヘシト說カシメタルカ、同人ニ拒絕セラレタリ、其後越智巡查ハ時事ヲ憤慨シテ辭職シタリ

(六) 越智郡島部ニ於テハ、駐在所巡查ハ選舉違反調査ノ爲ナリト稱シ、有權者ニ配布セル武内候補ノ推薦狀ヲ選舉人ヨリ取上ケ、選舉人ニ推薦狀ヲ受取リタル手續書ヲ認メシメタリ

(七) 如斯憲政派ニ對シテハ所有手段ヲ講シテ壓迫干涉ヲ加ヘタルニ不拘、政、國兩派ニ對シテハ、全然其態度ヲ異ニセリ、其實例左ノ如シ

(イ) 四月二十日午前一時頃、越智郡龜岡村山崎卯吉山崎役太郎ノ兩人ヲ、政友派運動者越

智紋藏カ二圓宛ニテ買収シツ、アル現場ヲ、同村白石忠朝カ實見シ、駐在所巡查植村忠太郎ニ告發シ、又同時刻同村大字種ニ於テ、光長常太郎(政友派ノ運動者)カ横田良造ヲ五十錢ニテ買収シタル事實發覺シ、植村巡查ハ事實ヲ自白シタルヲ以テ、犯人ヲ連行シ隣村タル菊間町駐在所伊藤巡查部長ニ引度サントシタルニ、伊藤部長ハ却ツテ職務精勵ノ結果、巡查ノ精神ニ異狀ヲ呈セシモノナリ休養ス可シトテ、慰勞金五圓ヲ與ヘ巡查ニ靜養ヲ命シ、犯人ハ總テ釋放セリ、後巡查ノ精神異狀問題喧傳セラルルニ至リ、五月中越智紋藏ノミ二十圓ノ罰金ニ處セラレタリ

(ロ) 越智郡波方村會議員森猪七ハ四月十八日村役場ニテ多人數集會ノ際青野米市カ、憲政會ノ爲メ運動ヲ爲スハ生意氣ナリトテ、亂暴ニモ毆打シタルヲ以テ、直ニ駐在所巡查ニ告發シタルモ不問ニ附サレタリ

(ハ) 越智郡日高村大字高橋及清水村五十嵐ハ、政友會ノ根據地ニシテ蒼社川上流ニ位シ、兩岸村落ニ對シ水利上特種ノ地位ヲ有スルヲ利用シ、公然各村ノ有志ニ勸誘シタリ、現ニ日高村大字小泉ノ總代仙波岩吉カ、武内ノ推薦狀ヲ配布シタルニ、白石貞治豊島角次等ハ仙波ヲ太山寺ニ呼ヒ寄セ夏季水利ノ便益ヲ受クルヲ條件トシテ、既ニ配布セル推薦狀ヲ取戻サシメタリ、因テ直チニ中野今治警察署長ニ報告シタルモ不問ニ付シタリ

(ニ) 日高村大字高橋ノ渡邊元介ハ富田村ニ於テ、同二宮孫左衛門ハ、乃萬村大字山路ニ於テ、水利ヲ利用シ投票ヲ勸誘シ駐在巡查ハ之ヲ承知シナカラ放任シタリ

(ホ) 政友會參謀黒田廣次國民黨ノ參謀楠岡謙吉等ハ、四月十九日武内候補ハ拘引セラレタリトノ虚説ヲ流布シタルモ、警察署ハ毫モ省ミサリシ

(八) 憲政會派ノ村長ハ勿論、助役書記ニ至ル迄、郡長ヨリ絶對ニ運動ヲ禁止セラレ、越智郡日吉村々長河上喜勢治ハ、二回郡長ノ注意ヲ受ケ、新居郡角野村助役美野清左工門氏及モ同泉川村書記日淺元助氏ハ、郡長ヨリ始末書ヲ徵サレタリ、然ルニ政友派ナル東伯村長深見寅之助氏ハ、越智郡ノ參謀長トシテ、新居郡高津村々長小野寅吉氏及金子村々長松本幾市氏ハ

新居郡參謀長トシテ公然東西ニ狂奔セルモ郡長ハ制止セサリシノミナラス、内務大臣ノ訓示及ヒ貴重ナル一票ト題スル小冊子ヲ選舉人ニ配布セシメタリ爲メニ周桑郡壬生川町ト吉川村ニ於テハ、選舉人ト村長トノ間ニ紛擾ヲ惹起シタリ、特ニ噴飯ニ堪ヘサルハ、篠田宇摩郡長カ古谷氏ノ爲ニ後援會ヲ組織セント發意セル事ナリ

(九) 廣島郵便局書記林左一ハ、東豫四郡ニ出張シ憲政會派ニ同情スルノ傾アル郵便局長ニ對シテハ種々ノ嚴談ヲ爲シ、宇摩郡新立村郵便局長眞鍋悅太郎氏ノ如キハ、其親族ノ運動マテ差止メラレタリ、之ニ反シ國民黨ノ總參謀今治郵便局長堀田駒造ハ、全部ニ涉リ公然運動セルモ放任シタリ

(十) 四月十八日宇高今治警察署長ハ内海新聞社長長尾忠雄ニ對シ、檢舉補助トシテ村落ノ有志運動員ノ黨派別ヲ承知シ居レル新聞記者二名、費用ノ多寡ニ拘ラス雇入レ度旨申込タリ、是レ畢竟取締上寬嚴ノ差ヲ行フノ意思アルカ故ニ、若シ駐在所巡查以外ノ警官カ、誤ツテ政友會若クハ國民黨ニ關係アル者ヲ檢舉セシメサルノ注意ニ基ケルコト、長尾社長ノ他ニ語リタル所ニ依リテ明了ナリ、此一事能ク警察當局者カ如何ニ細心ノ注意ヲ拂ッテ干涉ノ毒手ヲ揮ヒタルカヲ想察スルニ足ル

(十一) 前記ノ如キ不公平ナル大干渉ハ、愛媛縣保安課長林鉞吉、宇摩郡上居村松本旅館ニ、同警部補松本作一郎、新居周桑ノ兩郡ニ、重見徳太郎、越智郡ニ出張シ、連日鳥打帽子ヲ冠リ、自轉車ニ乘シテ飛ヒ廻リ監視督勵中ニ行ハレタルモノナリ

其二 今西候補ニ對スル壓迫 今西候補ノ根據地タル南豫方面ニ於ケル著シキ事例ヲ摘記スレハ左ノ如シ

(一) 四月十八日午後四時半、和島警察署長ノ命ニ依リ數名ノ警官、今西候補ノ中心根據地タル好藤村大字國遠ニ到リ、運動員中井福太郎外十數名ヲ宇和島署ニ引致シ、道路改修補助ノ事ニ付選舉違反ノ嫌疑アリトシ、種々ノ威嚇ヲ試ミテ尋問ヲ爲シ、殊ニ想像タモ及ハサル所タル今西候補カ本件ニ干與セルモノトシ、糺問辛辣ヲ極メ、其取調時間二十三時間ノ長キニ

涉リ、引致ノ時ヨリ歸宅ノ時迄三十二時間ヲ費シ、何等ノ犯跡ナキニ窮シ、種々ノ辯解ヲ試ミテ之ヲ放還シタリ、此機會ニ乘シ、反對派ノ新聞ハ盛ニ誇大ノ記事ヲ掲ケテ、今西派ノ氣勢ヲ殺クニ勗メタリ

(一) 十七日午前零時高光村運動員上田庄七ヲ宇和島署ニ引致シ、戶島刑事ハ虛構ノ言ヲ以テ彼ヲ訊問シ、『今西ノ參謀香川角次ヲ拘引シテ取調ヲ行ヒタルニ其自白ニ依レハ、香川カ運動費ヲ上田ニ渡セリ云々』ノ旨ヲ以テシ彼ヲ壓迫シテ、一種ノ拷問的取調ヲ行ヒタリ、而シテ十九日ニ至リ卒然選舉法事件(態サト選舉法違反事件ト云ハス)ニ就キ拘引狀ヲ示シテ、香川角次ヲ警察署ニ引致シ何等ノ取調ヲ行フコトナク翌々二十一日午後四時半迄之ヲ留置場ニ拘禁シ、其間投票所ニ赴キ貴重ナル選舉權ヲ行使センコトヲ請ヒタルモ之ヲ許サス、同日午後五時ニ至リ上田庄七及上田宇一郎ニ關スル事實ニ就テ取調ヲ行ヒ、宇和島分監ニ留置セリ

(四) 反之、政友會古谷候補ノ運動員吉田町ノ有力者井上豊太郎及其部下一名ニ對シテハ十八日午後一時選舉違反ノ嫌疑ニ依リ、宇和島警察署ニ呼ビ出シ取調ヲ爲スノ形式ヲ取リタルモ、即日其歸宅ヲ許シ翌々二十一日午後二時更ニ之ヲ引致シテ起訴手續ヲ行ヒタリ、又岩村村成田候補ノ運動員江口守夫、本田傳等數名ニ對シテモ、十九日違反行爲ノ嫌疑ニテ取調ニ著手シタルモ、二十日選舉當日迄之ヲ延期シ引致中ニモ拘ラヌ巡查附添ニテ投票ヲ行フノ便宜ヲ與ヘタリ、殊ニ江口本田ノ兩人ハ選舉違反ノ前科者ニシテ其犯跡判明ナリシニ拘ハラヌ、憲政派ニ對スル處置振トハ全然其趣ヲ異ニシタルハ、何人モ其不當偏頗ヲ非難セサルナシ、且ツ又右江口等ノ手ニテ北灘村ノ有權者十三名高近村ノ有權者九名買收サレタル事實歴然タルモ、其拘禁中身體ノ自由ヲ與ヘ、巡查附添ニテ投票ヲ行ハシメタリ

(五) 高橋宇和島警察署長ハ選舉運動上ノ訓示ヲ行フニ際シ、各派運動員ヲ同一日ニ招致シ、公平ナル立場ニ於テ取締上ノ訓示ヲ爲スヘキ等ナルニ、殊更兩派ニ對スル召集日時ヲ區別シ、一方ニ對シテハ極メテ峻嚴ニ、他方ニ對シテハ極メテ寛大ノ態度ニ出テ、其取扱振ヲ二

三ニセルハ、一般公知ノ事ニ屬ス、例之今西派ニ對シテハ一食二十五錢ノ辨當料ト雖トモ、土地ノ狀況ニ依リ之ヲ違反者ト看做ス場合アリトシ、飲酒ハ固ヨリ絶對ニ之ヲ禁止セルニ拘ハラヌ、政友國民兩派ニ對シテハ頗ル手心ヲ用フルノ意ヲ暗示シ、現ニ訓示事項ニ違フト雖モ之ヲ訓戒又ハ處罰スルノ處置ヲ爲サ、リシ事例甚多シ

其三 其他

(一) 吉田町ニ於テハ、古谷候補ノ爲ニ奔走シ、有志ニ對シテ運動方ヲ依頼シ廻リタル巡查某ハ、選舉後ニ到リ宇和島署ニ榮轉セシメラレタリ(姓名明ナルモ茲ニ略之)宇摩郡ニ於テモ古谷候補ノ爲ニ運動シタル巡查近藤某アリ、或ハ憲政派ニ對スル流言蜚語ヲ警察署ニ於テ製造シ、警官ヲシテ之ヲ流布セシメシノミナラス、選舉者ノ戶毎ニ就キ憲政派ニ投票スルノ危險ナル意味ヲ説示セル事例少カラストイフ

(二) 選舉期日數日前遞信當局者ハ、至急官報ヲ以テ三津ヶ濱海務署長ニ宛テ選舉人名簿ニ關スル照會ヲ爲シ、超エテ十八日更ニ至急官報ヲ以テ、政府黨候補ニ投票スヘキ旨電命セルハ同署員ノ漏セル事實ナリ

(三) 愛媛縣立西條中學校ニ於テハ『卒業生同窓會及道前學會々友有志』ノ名義ヲ以テ、政友會候補者河上哲太ノ爲ニ推薦狀ヲ配布シタリ、該會ハ何レモ私的團體ナレトモ、學校職員及在學生モ亦其會員中ニ包含セルヲ以テ公費ヲ以テ設置セル縣立學校ヲ、政爭ノ渦中ニ投シタル非難ハ免カル、能ハス、之ニ對スル教育當局者ノ責任モ、亦決シテ看過スヘキニ非サルナリ

第十七 山口縣ニ於ケル干渉事例 山口縣ハ所謂長閑發祥ノ地ニシテ、寺内首相ノ鄉國又實ニ茲ニアリ、特ニ今回ノ總選舉ハ彼等運命ノ興敗ニ關シ、假令他縣ノ政戰ニ於テ捷利ヲ博スルモ、此地ニ一敗センカ痛ノ輕重正ニ定マラントス即チ本縣ニ於ケル政府ノ干渉壓迫ガ如何ニ激甚ナルヘキハ事前ニ於テ何人モ豫想シタル所ナリ、果然、官邊ノ毒手ハ全縣ニ互リテ其爪牙ヲ顯ハシタリ、縣下ノ都會地ニ於テハ巧妙ノ手段ニ依リ取締上ノ手心ヲ爲シタルヲ以テ格別物議ノ種ヲ

貽ササリシト雖モ、郡部殊ニ僻遠ノ地方ニ於テハ最モ露骨ナル迫害ト苛酷ナル脅威ヲ敢テシタリ、左ニ其最モ著ルシキモノヲ引例ス

其一 臨時雇入レノ多數刑事、懷中ノ捕縄ヲ示シテ憲政會ヲ威嚇ス 今回ノ總選舉ニ關シ山口縣ニ於ケル刑事巡查ノ數非常ニ多ク、何レノ方面ニ於テモ、其激増ニ怪訝ノ念ヲ挾マサルモノナシ、若シ選舉ニ際シ特ニ臨時ニ雇傭シタルモノトセハ、其經費支辨ノ途如何、若シ政府黨ガ假裝刑事ヲ以テ有權者及反對派ヲ脅威シタルモノトセハ、其術策ノ陋劣ナル誠ニ言語道斷ニシテ、白晝公然斯ル詐謀ヲ默認シタル縣當局者ノ責、斷シテ容ルルヘカラサルナリ、而シテ憲政會派ノ運動員ニハ必ラス尾行巡查ヲ附シ、有力ナル運動者ニ對シテハ特ニ兩三名ノ刑事ヲ前後ヨリ追隨セシメテ、其自由ヲ拘束シ、且ツ運動者カ有權者ヲ訪問シタル後ヲ遂フテ其家ニ抵リ「今何ヲ話セシカ」「買収セラレシナラン」「何程貫ヒタルヤ」ト難詰シ、彼等ヲシテ其煩累ニ堪ヘサラシメ、甚タシキニ至ッテハ「與黨候補者ニ贊成スルハ可、苟モ憲政會ニ投票スルニ於テハ當方ニ考ヘアリ」トテ懷中ノ捕縄ヲ示シタルカ如キ實例アリ

- 其二 政府ニ反對スルハ皇室ニ反對スルモノナリ 前掲刑事又ハ刑事體ノモノ東奔西走全縣下ニ涉リテ活躍シ、有權者ヲ威嚇シテ
- (一) 『政府ニ反對スルハ是レ皇室ニ反對スルモノナリ』
- (二) 『永田、瀧口等憲政會員カ大切カ天子様カ大切カ考ヘテ見ヨ』
- (三) 『政府ニ反對スルハ國賊同様ナリ』
- (四) 『憲政會ニ投票セハ汝モ選舉違反ナルヘシ』
- (五) 『憲政派運動員ニ刑事カ尾行若クハ同行スルモノヲ指シテ、「アレ見ヨ、政府ニ反對スルモノハ彼ノ通ナリ」』

等大正聖世ノ今日ニ於テ何人モ想像タモ及ハサルカ如キ言辭ヲ弄シ、政府黨ノ保護ト憲政派ノ排斥トニ全力ヲ傾注シタル事實枚擧ニ遑ナシ
其三 軍資提供ト警察官威壓トノ條件付運動 三月二十日頃ヨリ二十五日ノ間ニ於テ貴族院議

員柴田家門ヨリ都濃郡未武南村、林永太(元代議士政友會員)ニ近藤候補ノ爲メ援助ヲ依頼シタルニ對シ、林ハ充分ナル軍資提供ト、都濃、熊毛、大島三郡ノ警察官全部ノ威壓又ハ懷柔ヲ條件トシテ家門ニ諮ル所アリ、家門之ヲ應諾シ爲メニ林永太ハ何等後顧ノ憂ナク、活動ヲ試ムルヲ得タルノ事實ハ、本人ヨリ辯護士千々松安太郎ニ曰ヘル所ニ徴シテ明ラカナリ
其四 小學校長集會席ニ於ケル内務部長ノ勸誘 四月十八日山口縣吉敷小學校長集會ノ際、貴族院議員古賀廉造、特ニ臨席シテ教育上ノ講話ヲ爲シ其ノ際山口縣内務部長大賀雄次郎ハ、選舉ニ關スル訓示ヲ行フト稱シ、政府黨ノ候補ヲ援助スヘキコトヲ慫慂シタル事實アリ、尙翌日吉敷郡長柏村唯雄ヨリ、管内小學校長ニ宛テ「各學校職員ノ有權者數ヲ取調ヘ返報セヨ」ト命令セリ、是レ明カニ政府黨ノ投票ヲ強要セルモノニシテ、開票ノ結果各自カ何レニ投票セルヤハ自ラ判明スルキカ故ニ相警戒シテ監督者ノ意思ニ背カシメサラントシタル威嚇手段ニ外ナラサリシハ云フヲ俟タス

其五 永田派會計帳簿ノ取上ケ 四月二十日選舉當日、早朝永田派ノ各村事務所ノ會計帳簿ヲ駐在所ニ取上ケ、運動者立會ノ上之カ調査ヲ開始シ、永田派ノ活動力ヲ阻害シ、且ツ特ニ投票所ニ赴カントスル永田派有權者ノ心理狀態ヲ一變スルノ手段ヲ弄シタリ
其六 在郷軍人會ノ利用 選舉期日ノ切迫セル際、陸軍豫備二將官來縣シ、各方面ニ活動シタル事實アリ、是レ在郷軍人會ヲ選舉ニ利用シタルモノナリトノ風聞一般ニ高シ、又吉敷郡ニ於テハ故意ニ郵便物ヲ遲着セシメタル形跡アリ
第十八 東京府郡部ニ於ケル干渉事例 東京府郡部ニ於テハ政府ハ夙ニ全力ヲ傾注シテ、憲政會候補者秋本豐之進ヲ狙撃スルノ方策ヲ廻ラシタリ、隨ッテ警察官憲カ橫暴偏私ノ事跡ハ歷々トシテ數フヘク、茲ニ唯二四ノ事例ヲ掲ケテ全豹ヲ推知スルノ資料ニ供ス
其一 北多摩郡府中警察署長木島忠義ノ非違 四月十日頃政友會系ニ屬スル調府町長石井寅造ナル者、秋元喜七ノ爲メニ狛井村富永勇次ヲシテ、同村有權者ヨリ一票壹圓宛ニテ七票ヲ買収セシメタル事實アリ、然ルニ勇次ノ息某ハ非政友派ニ同情セルモノ、外出先ヨリ歸來シテ此事實ヲ

知リ、大ニ其非ヲ難詰シ、父ヲシテ金員全部ヲ富永ニ返還セシメタリ、秋本豊之進派ノ谷田部茂人ナル者、此事實ヲ駐在所巡查ニ告發シタルヲ以テ同巡查ハ直ニ調査ノ上、木島署長ニ報告シ、署長ハ更ニ刑事係ノ巡查ヲ派遣シテ之ヲ再調セシメ、告訴ノ事實ヲ確メタル後チ、調書ヲ齎ラシテ警視廳ニ出頭シ上司ノ指揮ヲ仰ケリ、然ルニ警視廳ハ同事件ヲ曖昧裡ニ葬リ去ルヘシトノ命令ヲ與ヘテ該事件ヲ揉消サシメントシタリ、是ニ於テ谷田部ハ的確ナル事實ヲ曲庇スルノ非違ヲ憤リテ駐在所巡查ニ詰問シ、該巡查モ亦大ニ上官ノ施爲ニ平ナラサリシ警察官ニテハ到底公平ノ處置ヲ期待シ難キヲ看取シ、右ノ事實ヲ東京地方裁判所檢事局ニ告訴シ、辯護士横山勝太郎ヨリ檢事局ニ交渉シタル結果、檢事金山歸逸外四名前記石井方ニ出張シテ一切ノ書類ヲ押收シ石井ハ本事件ニ關シ總選舉後約十日間收監セラレ、五月上旬ニ及ヒ保釋セラレタリ、本件ハ尚繫屬中ニシテ司直府ノ決定未タ明ナラスト雖モ、金山檢事ハ四月十四日頃木島署長及駐在所巡查ニ關スル調書ヲ作成シ、木島ハ五月十八日依願免官トナレリ、而シテ道路傳フル所ニ依レハ本件ニ關スル主動者ハ被告人同様ノ訊問ヲ受ケタリト云フモ未タ何等ノ制裁ヲ付セラル、ニ到ラ

其二 青梅警察署長久源熊ノ非違 青梅警察署長久源熊ハ、大島官房主事ノ旨ヲ啣ミ、選舉干渉ノ目的ヲ以テ總選舉前青梅署ニ轉勤ヲ命セラル、ヤ、劈頭武内巡查部長ヲ他ニ轉勤セシメ、自己腹心ノ部下ヲ督勵シ、極端ナル選舉干渉ヲ遂行シタリ、今其最モ著シキモノヲ掲記スヘシ

(一) 政友派ノ有力ナル參謀調布村長岩波光二郎ナル者、青梅署長ト結托シ、同村岩波源二郎ヲ所謂「玉」ニ使用シ憲政派ノ非違摘發ヲ試ミントシタリ、四月十八日午後十一時頃、光三郎ハ源二郎ヲ其自宅ニ訪問シ、之ヲ恐喝シテ秋元派ニ不正行爲アリトノ自白ヲナサシメント企テタルモ源二郎ハ絶對ニ其事ナキヲ應ヘ且ツ「訴ヘル事由アラハ正式ニ訴フヘシ、相當ノ所ニテ事實ヲ陳述スル迄ナリ」ト云ヘル語末ヲ捉ヘテ不正行爲アリシモノト虛構シ、十九日午前二時頃光二郎ハ同村上長淵駐在所ニ至リ前記源二郎ニ違犯事項アリト密告セリ、同巡查ハ直ニ之ヲ久警察署ニ報告シ署長ハ其事實ヲ誇大ニシテ上司ニ移牒シ、一方ニ於テ光二

郎及秋本派(豊之進)西多摩ノ參謀荒井惣太郎外二名ヲ拘禁シタリ、右違犯事件ノ報告ニ接シ、檢事二名直ニ青梅署ニ出張シ、瀧川檢事主トナリテ本件ヲ調査シタルニ、全然無根ノ虛聲タルニ過キサリシヲ以テ、署長ハ上司ノ詰責ヲ受ケ一先ツ落着ヲ告ケタルモ、畢竟是レ政友派運動者ト久署長ノ間ニ於ケル憲政派妨害ノ一手段タリシハ明ナリ、然ルニ久署長ハ事ヲ構ヘテ憲政派ヲ窮地ニ陥レントノ計圖ヨリ、此虛構ノ事實ヲ基礎トシ四月十九日左ノ親展書ヲ部下ニ配付シタリ

「憲政派運動二名調布村ニ於テ西洋紙ノ封筒ニ金子並ニ名刺ヲ入レ買收ニ着手セルヲ發見セリ、各町村ニ於テモ行ハルヘキニ付憲政派運動員ニハ必ス尾行ヲ附シ其違反行爲ヲ發見スルニ努ムヘシ」

(二) 青梅署管内ニ於テ届出ヲ爲シタル運動員ハ、憲政派ニ在リテハ木村信外十二名、政友派ニ在リテハ細谷俊藏外十九名ナリ、而シテ前者ニ對シテハ、運動届ヲ爲シナカラ警察ノ壓迫甚シキニ辟易シテ實際ニ運動ニ從事セザリシ者兩二名ヲ除ク外全部ニ對シ、一名又ハ二名ノ尾行ヲ附セルモ後者ニ對シテハ絶對ニ之ヲ附シタルコトナシ各地方ニ於テモ尾行巡查ハ多ク憲政派ノミニ附セリト雖トモ唯申譯のニ政府黨ニモ尾行ヲ附セル例少カラサルカ本管内ニラハ巡查配備表ニ依ルモ全然其事實ナカリシ事明白ナリ、如何ニ久署長カ最モ露骨ニ非政府黨ヲ壓迫スルニ汲々タリシカラ看取シ得可シ、併モ之ヲ選舉後ニ於ケル違反事件檢舉ノ狀況ニ顧ミレハ、政府黨ノ買收行爲ハ續々トシテ發覺セラレ、警察當局者ノ取締方針全ク間違ヒナリシ事ヲ證明セリ

(三) 久署長カ四月十九日部下ニ達示シタル要旨

「選舉場取締ノ任ニ當ルモノハ豫メ選舉人名簿ヲ作成シ、有權者カ投票用紙ニ記名スルヲ監視シ人名ノ頭部ニ符ヲ付シテ、選舉後直チニ各候補者ノ得票數ヲ報告スヘシ」

此レ警官ノ監視ニ依リ有權者ヲ壓迫セル罪惡タルノミナラス、明カニ無記名投票ノ本旨ヲ没却セル違犯行爲ナルヲ以テ當時ノ候補者秋本豊之進ヨリ當選訴訟ヲ提起セリトイフ

(四) 四月十三日監督部長ヲシテ部下巡查ニ口達セシメタル要旨
『自今他ノ一切ヲ抛ツモ可ナリ專心選舉取締ニ任シ憲政派運動員ニハ必ラス尾行シテ其不正
行爲ノ監視ニ努力セヨ』

(五) 久署長ハ選舉違反ニ關スル報告ニ接スルヤ必ス先ツ其何派ナルヤヲ糺シ、政友派ナル
トキハ之ヲ放任シ、憲政派ニ關スルモノ、ミヲ採用シテ取調ヲ爲シタルハ、同署中野巡查カ
憤慨ノ極口外シタル所ナリ

(六) 前田米藏政見發表演說會ノ青梅町ニ開カレタル三月十八日床次竹二郎同會場ニアリ、
米田氏運動員前府會議員本崎平六ヲ以テ署長ニ會見ヲ求ム署長ハ倉皇前田派常備人力車二
臺ニ分乘シテ演說會場初音座ニ至リ、横田千之助出演中同座樂屋ニ於テ床次竹二郎ト會見
シ何事カ擬議シテ直チニ辭去シタリ會見ノ内容素ヨリ不明ナルモ公正ナル取締ノ任ニ當ル
ヘキ警察署長ノ行爲トシテ不謹慎モ極マレリト謂フヘシ

其三 青梅郵便局ノ不法行爲 秋本派運動員ハ前日來青梅郵便局ニ就テ郡内ノ他局遞送便結束
時間ヲ問合セ、四月十九日朝西多摩郡一圓ノ有權者全部ニ配達スヘク官製はがきノ依頼狀千二百
枚及前項ノ切手ヲ貼用セル私製はがき千二百枚ハ十八日午後三時半ニ青梅郵便局ニ投函セリ、然
ルニ翌十九日大野村ニ至リ、其配達ノ狀況ヲ視察セルニ、官製はがきノ分未配達ナルヲ以テ其事
由ヲ精査シタルニ、同地方ハ一回配達地タルニ拘ラス、當日ニ限り一回配達ノ制ヲ採リ、午後ニ
至リテ該はがきノミヲ配達セリ、大久野村ヲ受持管内トセル五日市局ハ之ニ對シ辯解ヲ試ミテ
曰ク該郵便物ハ青梅局ヨリ誤ッテ澤井局ニ遞送シ、再ヒ返送ノ手數ヲ重ネタル爲メ、青梅局事務
員森田某ニ自轉車ニテ五日市局ニ之ヲ搬ヒタリ、一日二回ノ配達ハ五日市局ニ於テ違法ナルモ
遞信事業ノ威信ヲ保持スル目的ヲ以テ、直チニ人夫ヲ雇ヒ配達ニ從事セシメタリト、青梅局ニ對
シテハ其前日秋本派運動員ヨリ切手賣下ノ問題ニ付再三ノ交渉ヲ重ネタルコトアリ、延イテ該
葉書カ如何ニ選舉ノ重要ノ關係アルヤハ十分知悉セル所ナルヲ以テ誤達ヲ爲スカ如キハ到底常
識ヲ以テ想像シ難キ所、現ニ青梅局ニ該郵便物ノ殘存シタルヲ目撃セルモノアリトイフ、此等ノ

事實ニ鑑ミレハ青梅局ニテ故意ニ郵便物ヲ遲著セシメタル非難ハ免レ難キモノ、如シ
其四 八王子警察署ノ非違 憲政會秋本豐之進カ立候補ヲ發表シ、其運動ニ着手スルヤ、數日ヲ
出テサルニ府下八郡ニ涉リ、一齊ニ同派運動員數十名ヲ檢舉シテ、先ツ其氣勢ヲ殺カントセリ、
而シテ此等ノ運動員ハ何レモ最初ヨリ被告人ノ如ク、或ハ不法ノ監禁ヲ受ケ、或ハ拷問ヲ加ヘラ
レ當局官吏ノ非違擧ケテ云フヘカラス、而カモ其結果何等犯跡ノ認ムヘキナク釋放セリ、今八王
子署管内ニ於ケル二三非違ヲ例示スレハ次ノ如シ

(一) 不法監禁(一室ヲ密閉シテ火焙ヲ行フ) 南多摩郡小宮村字大和田小室兼吉ハ、三月九
日午後三時頃八王子警察署ノ召喚ヲ受ケ拘禁セラレタリ、而シテ其取調ノ要點ハ、本年二月
中同人カ東京芝櫻田町ナル八郡俱樂部ノ主任中溝玉吉ト共ニ、八王子停車場前ノ旅館末廣
館ニ於テ飲食セシコトアリヤ、又運動費ヲ貰ヒ受ケタリヤト云フニアリ、同人ハ午後四時頃
ヨリ翌日午前ニ涉リ三回ノ長時間訊問ヲ受ケ睡眠時間纔カニ一時間ニ過キス、擔任者長内
警部ハ尺器ヲ以テ同人ノ膝ヲ強カニ突キ、且ツ種々ノ暴言ヲ吐キテ侮辱ヲ與ヘタリ、斯クテ
十日ハ早朝ヨリ巡查宿直室ニ同人ヲ拘禁シ、故ラ二個ノ火桶ニ炭火ヲ盛リテ白熱ニ近キ熱
火ヲ煽リ室内ヲ密閉シタルマ、監視巡查一人ヲ附セリ、前夜來ノ睡眠不足ニカヘテ今又此
慘酷ナル苛責ニ苦シメラレ眩惑惱亂殆ント其場ニ悶絶セントセリ、翌十一日協議室ニ引出
サル、事四回、後チ復ヒ烈火ノ室内ニ投セラレ、十二日ハ午前六時ヨリ十一時半頃マテ、殆
ント類例ナキ長時間ノ訊問ニ逢フ、而モ無根ノ事實ニ如何ニ強要セラル、モ陳述スルニ由
ナク、遂ニ二十三日モ正午頃マテ熱火ノ室内ニ監禁セラレ、始メテ東京地方裁判所ニ護送セラ
レタリ、護送ノ途中附添ノ井上刑事ハ威嚇シテ曰ク、不服ヲ申立ツレハ重刑ニ處セラルヘ
シ、宜シク服罪スキヘナリト、サレト檢事局ニ於テハ同人及同派ノ違反嫌疑者三名共、何レ
モ不起訴トナリ、直チニ釋放セラレタリ、因ミニ末廣館主人夫妻モ亦不當ノ拘禁ヲ受ケ、留
置所内ニテ云フヘカラサル漫罵凌辱ヲ被レリ

時間ニ涉リ訊問ヲ受ケ、十二日夜ハ太田警部補立會ノ上重ネテ長時間ノ取調ヲ受ケタルカ、長内警部傍ラニアリ雖ヲ持シテ頻リニ馬鹿呼リヲ爲スニ及ヒ小林今ハ堪フル能ハス其ノ無禮ヲ咎メテ切齒シ、拳自ツカラニシテ堅シ、太田警部補之ヲ慰諭シテ僅カニ事ナキヲ得タルモ、長内警部ハ冷然トシテ佇立ラ小林ニ命シ、一時間餘之ヲ行ヘリ、小林ハ六十八歳ノ額齡ニシテ曩ニ縣會議員村長等ノ公職ヲ經タリ、然ルニ其ノ之ヲ遇スルコト斯ノ如シ、同夜ハ深更十二時ニ至ルマテ取調ヘテ續行シ、最後ニ署長入り來リシカ、偶マ市中ニ失火アリ、警鐘鳴リ渡リテ署内遽カニ混雜ヲ來シタルタメ、取調ヲ終了セリ

爾來秋本派ノ運動員ニ對シ二名ノ尾行巡查ヲ附シテ其ノ行動ヲ制シタルカ、他派ノ違反行爲ニ對シテハ、殆ント風馬牛相關セス、現ニ政友派力不承諾者ノ推薦狀ヲ作成シタル私文書偽造事件ノ如キ、再三被害者ヨリ、告訴狀提出シタルモ却下シテ之ヲ受付ケス、東京地方裁判所ニ願訴スルニ及ンテ始メテ受理セラレタリ、又憲政派運動員横山村字館、奎代要太郎カ淺川村原之宿ニ於テ、政友派壯士ニ毆打セラレテ負傷シタル事件ニ付、其加害者ノ檢舉頗ル冷淡ヲ極メタル、當該官吏ノ心術果シテ那邊ニ存シタルカヲ推知スルニ足ルヘシ

第十九 群馬縣ニ於ケル干渉事例

其一 奇抜ナル選舉干渉 選舉期日切迫シ各候補ノ勝敗將ニ決セントスルニ際シ、憲政會派ハ多額ノ運動費ヲ配布シ、熾ニ大買収ヲ行フ計畫アリトノ謠言ヲ構造シ、之カ取締ヲ口實トシテ憲政會派ヲ拘束シ、同派ノ運動員ト選舉人トニ恐怖ノ念ヲ惹起セシメタルハ、全國殆ント其揆ヲ一ニシタリシカ、群馬縣ニ於テハ頗ル露骨ニ且ツ組織的ニ決行セラレタリ、抑モ買収運動ノ嫌ヒアルモノ獨リ憲政會派ニ限ルヘキニ非ス寧ロ政友會及ヒ御用中立派ニ多キハ事後ノ檢舉數ニ徴シテモ明白ナリ、然ルニ特ニ憲政會ノ名ヲ指シテ内命ヲ下シタル所以ハ、其半面ニ同派以外ノ運動者ニ對シテ内偵監視ノ必要ナシ、其ノ爲スカ儘ニ放任セヨトノ意味ヲ含ムコト昭々タリ、而モ此内命ハ當局ト政友會トノ間ハ氣脈相通シ居ルコトヲ明白ニ證明シ得ヘキ實例アリ、高崎市政友會土谷全次ノ選舉事務所ニ於テハ『土谷』ト大書セル多數ノ提灯ヲ新調シ、電燈瓦斯ノ光明晝ヲ

欺ク市内ニ於テ薄暗キ提灯ヲ携帶シテ、熾ニ選舉人ヲ訪問シタレハ、市民ハ是ソ誠ニ選舉ノ提灯持ト冷笑シタリ、然モ此ノ提灯隊ノ赴ク處ニハ警察官ノ影タモ見エス無提灯派ハ悉ク憲政會派ト認メテ警官必ス尾行シタリ、就中矢島派參謀相澤吉平ノ如キハ數時間ニ涉リテ巡查小林某ニ尾行セラレ、十九日午前三時ニ及ヒタリ

獨リ提灯ノ有無ヲ以テ運動員ヲ鑑別スルノミナラス、憲政派ノ選舉本部油屋旅館ニハ、監視ノ名ヲ以テ警官ヲ常置シ、此外行商人ノ如ク變裝シタル密偵入込ミ、道ヲ隔テ、向側ノ寫眞店金子修治方ノ二階ニハ二名ノ巡查アリテ、晝夜監視ヲ怠ラス、以テ同派ノ運動ヲ拘束シ、一面ニハ選舉ニ對スル一種ノ示威的行動ヲ爲シタリ

其二 憲政派地盤ニ警官集中 群馬縣郡部定員六名ニ對シ立候補ノ當初ヨリ當選ヲ期セサル賣名候補高木某清水某ヲ除キ、眞面目ナル競争者七名アリタリ、内憲政派ニ屬スルモノ須藤嘉吉、本間一郎兩名ニシテ其何レカ一人落選セハ政府黨全部當選スヘキ形勢ナリシヲ以テ、本間ヲ倒サンカ須藤ヲ落選セシメンカハ當局ト政友會トノ間ニ、屢々肝膽ヲ碎キタル問題ナリ、四月九日農商務大臣仲小路廉ハ高崎市ニ到リテ同市長内田信保等ト會見シ、翌十日前橋市ニ泊シテ同縣知事三宅源之助ト會見密議シタル結果、愈々郡部ニ於テハ須藤ヲ狙ヒ、高崎市ノ憲政派矢島八郎ヲ倒シ、郡市ヲ通シテ政府黨候補全勝ノ方略ヲ定メタリシコト、警察官ノ配置並ニ取締リノ手加減等ニ徴シテ固ク信スヘキ理由アリ、即チ選舉期日切迫スルニ從ヒ、東部上州ノ警官ハ多ク之ヲ西部上州ニ移動シ、就中前橋市ノ如キハ政府黨ノ同志打ナルカ故ニ之ヲ自由競争ノマ、放任シ、須藤嘉吉ノ競争地盤並ニ矢島八郎ノ高崎市ニ警察勢力ヲ集中シ、極力兩者ノ運動ヲ壓迫シタリ齊シク憲政派ニ屬スル本間二郎カ格別ノ干渉ヲ蒙ラサリシハ、假令之ヲ壓迫スルモ、取テ代リ得ヘキ政府黨候補無カリシ爲ナリ

第三章 質問及答辯

高崎市警察署長乘竹警視ハ、比較的公平ノ態度ヲ持スルヤ、警察本部ハ之ヲ『役ニ立タヌ』モノトナシ、應援ヲ名トシテ保安課長佐藤金松自カラ高崎ニ出張シ、警察本部其他政友派地盤ヨリ引上ケタル巡查約三十餘名ヲ召集シ、毎朝高崎市警察署内ノ道場ニ於テ一種ノ訓示ヲ與ヘ、政友派

本部ノ派遣員群馬縣知事大芝惣吉等ト屢次會見打合ヲ爲シタリ
 其三 憲政會壓迫ノ實例 須藤嘉吉ノ參謀長松井萬次郎ハ、毫末モ選舉法違反ノ疑ナキニモ拘
 ハラス、四月十九日午後十一時選舉場裡ノ最モ緊要ナル時刻ニ於テ、利根郡沼田警察署ニ召喚セ
 ラレ、長時間ニ涉リ違反行爲ナキ様警告セラレタリ、斯ル切迫時ニ於テ何ノ警告ノ必要アラシ
 ヤ、運動妨害ト威嚇ノ目的ニ出テタルコト多言ヲ待タス、高崎驛機關庫員タル長島仁作、鈴木德
 次郎、井上重太郎ノ三名買収サレタリト警察部ニ密告スルモノアリ、保安課ニ於テハ先ツ政友派
 ノ參謀岩井彌市ニ對シ、右三名ハ土谷派ナリヤ將タ矢島派ナリヤ照會シ、其ノ矢島贊成者ナル
 ヲ確メテ後、高崎區裁判所檢事局ニ通牒シ、檢事石田基ハ四月十六日午後三名ヲ召喚取調ヲナ
 シタルモ、更ニ犯跡ナカリシヲ以テ放還シタリ、此類ノ事例枚舉ニ違ナシ
 其四 政友派ノ違反「聞キ措ク」 高崎政友派候補土谷金次ノ謂ユル提灯隊ハ、四月十八、十九兩
 日ニ涉リ猛烈ナル運動ヲ開始シタルカ、選舉前若クハ其ノ後ニ於テ一人ノ喚問又ハ檢舉サレタル
 モノナシ、是レ取締ノ不行届ナルカ爲ニ非ス、該派ノ非行ハ全然放任サレタルカ爲ナリ、官許的
 醜運動ナレハ、誰憚ル所ナク最モ大膽ニ決行セラレタルナリ、其一、二ノ實例ヲ舉クレハ、(一)政
 友派栗田德次郎ハ、同市八島町長原龍海ニ金四圓、同町園原三十郎ニ金五圓ヲ提供セント申込ミ
 テ斷然拒絕サレタリ、(二)同派富所良之助ハ宮喜作ニ對シ金十圓ヲ以テ買収センコトヲ申込ミ、
 是亦拒絕サレタリ、(三)土谷派選舉事務所ノ主人井田源太郎ハ、大原由松、同庄三郎及ヒ本元要
 次郎三名ヲ金五圓ニテ買収シテシタルコトヲ四月十八日午後三時頃矢島派佐々木喜助カ由松ヨ
 リ直接ニ聞知シ、之ヲ川田巡查ニ告ルト共ニ、矢島派選舉本部ニ報告シタリ、本部員ハ監視ノ爲
 ニ出張中ノ巡查高橋源八ニ訴ヘタルモ同巡查ハ何等ノ手段ヲ取ラス、依テ居合セタル上州新聞
 記者吉田四郎ハ自ラ高崎警察署ニ出頭シ高等主任巡查部長中島利三郎ニ面談シ前掲ノ事實ヲ訴
 ヘタリ、時正ニ十八日夜十二時、中島部長曰ク「本署ニ於テハ如何トモ爲シ難ケレハ、警察本部ノ
 指揮ヲ受ケン」ト吉田ノ面前ニ於テ警察本部ニ電話シ、高等主任渡邊某ニ報告指揮ヲ求メタリシ
 カ、之ニ對スル指揮ハ單ニ「聞キ措ク」ノ一言ナリシ、然シテ是ハト明白ナル違反事件ハ、選舉前

ハ勿論其後ニ於テモ全ク有耶無耶ニ葬ラレタリ
 其五 選舉干渉ヲ告白スル假裝會 官紀振肅ヲ奈何 五月六日伊香保温泉千明仁泉亭ニ於テ警
 察官新聞記者聯合懇親會アリ、列席者四十餘名、餘興トシテ「警察部長馬場一衛、選舉干渉ノ功勞
 ニ依リテ知事ニ榮轉スルヲ送ル」ノ假裝會ヲ演ス、主人公馬場ハ事故アリ缺席シタレハ、前橋警察
 署長安間某代リテ馬場ニ扮シ群馬新聞社長加藤德量ハ、原政友會總裁トシテ祝辭ヲ朗讀シ、且ツ
 驢トシテ福女面ヲ贈リ上州新聞社長高橋東ハ、憲政會總裁ノ送辭ヲ讀ミ、鬼面ヲ贈レハ、安間某ハ
 恭シク之ヲ受ケテ答辭ヲ述ヘタリ、抑、斯ノ如キハ一場ノ座興トハ云ヒナカラ、滿座ノ警官ト記
 者ト共ニ選舉干渉ヲ認メテ何等怪シム所ナキヲ推知スルニ足ルヘシ、平生官紀振肅ヲ口癖ノ如
 ク唱フル寺内首相果シテ何ノ面目ノ
 其六 鐵道院技師ノ干渉 鐵道院技師丸尾美穂ハ四月十八日高崎市ニ到リ、機關庫内ニ鐵道關
 係ノ有權者ヲ集メテ秘密ノ訓示ヲ爲セリ、後藤總裁ノ意志ヲ尊重シ、政府黨ニ投票セヨトノ趣
 旨ナリシ如シ、夫ヨリ碓氷郡橫川驛ニ到リ、同様ノ訓示ヲ爲シタル結果、同驛二十餘名ノ有權者
 打揃ッテ投票所ニ入りタリ
 其七 遞信局吏員ノ干渉 遞信省東部遞信局長竹内友次郎ハ四月中旬高崎前橋兩郵便局ヲ視察
 シテ密カニ訓示スル所アリ、兩局ハ之ヲ各組合幹事ニ傳達シ、各組合幹事ハ各三等郵便局長ニ傳
 達シタリ、或ル信スヘキ根據ニ依レハ其訓示中ニハ「三等郵便局ノ經費增加並ニ局長增俸問題等
 多年ノ希望ヲ貫徹セン爲ニハ、政府黨ヲ援助セヨ」トノ趣意ヲ含ミタリト稱ス
 第二十 茨城縣ニ於ケル選舉干渉事例
 其一 海老澤派ニ對スル干渉 今回ノ總選舉ニ方リ、本縣ノ憲政派候補中一人トシテ多少ノ干
 涉壓迫ヲ被ラサルモノナキモ、其最モ甚シキハ海老澤爲次郎ニシテ、同氏ノ落選ハ全ク是ニ起因
 セルコト勿論タリ、元來氏ノ主タル運動區域ハ猿島結城ノ二郡ニシテ、政友會候補小久保喜七ト
 ノ對抗ナレハ、小久保ヲ落選ノ運命ヨリ救済スルノ意味ニ於テ、一層猛烈ノ攻撃ヲ加ヘタルモノ
 ノ如シ、今其ノ選舉干渉ノ事實ヲ綜合查覈スルニ、大要左記ノ如キ方法ヲ採リタルヲ認ム

- 一 先ツカメテ海老澤派ノ選舉法違反ヲ摘發シ、一般有權者ニ對シテ海老澤派ニ贊成スルノ危險ナルヲ自覺セシムルコト
 - 二 更ニ一層其效力ヲ充分ナラシムル爲メ、海老澤派臭味ノ有權者ヲ戸別ニ訪問シ婉曲ナル威嚇ヲ行フコト
 - 三 選舉法違反ヲ未前ニ防止スルカ爲メニ注意ヲ爲ストノ口實ヲ以テ、海老澤派ノ檢舉事件ヲ引例シテ有權者ヲ説得シ、此際ハ小久保ニ投票シテ一身ノ安全ヲ計ルニ如カストノ觀念ヲ起サシムルコト
 - 四 主タル運動者ニ對シテハ好意ヲ裝ヒ、危險ノ身ニ逼レルヲ注意シ、運動ヲ放棄シテ他地方ニ退去スルヤウ仕向クルコト
 - 五 意志ノ鞏固ニシテ其術策ニ陥ラサル場合ニハ、監視ヲ嚴重ニシテ運動ノ餘地無カラシムルコト
 - 六 小久保派ノ運動ハ、取締ヲ寬ニススト云フヨリモ寧ロ之ヲ幫助シ各地ノ狀況ヲモ内示シ、而シテ其ノ違反行爲ハ一切摘發セサルコト
- (一) 深刻ナル海老澤派ノ檢舉 投票期日ニ先ツコト十數日、海老澤ノ勢力益々振ヒ小久保ノ運命危殆ニ陥リシ頃、小久保ハ上京シテ豫ネテ親交アル内務當局ニ窮狀ヲ懇ヘ救濟ヲ求メタリトノ風説アリタルカ、此時以來其筋ノ干渉ハ一層苛酷トナリ、前後ノ狀況ニ格段ノ相違ヲ示セリ、茨城縣警察部保安課勤務地刑事部長ハ、犯罪捜査ニ就テ非凡ノ手腕ヲ有スト稱セラル、者ナルカ、四月四五日頃猿島郡境町(海老澤ノ居住地ニシテ運動ノ策源地)ニ特派セラレ、同月十一、二日頃迄約一週間滞在シテ境警察署在勤刑事巡查ヲ督勵シ頻リニ海老澤派ノ犯跡ヲ物色シ居タルカ、遂ニ四月十日ニ至リ海老澤氏ノ家宅搜索及ヒ幹部員ノ檢舉ヲ見ルニ至レリ、當日早朝ヨリ海老澤派ノ幹部員湯本林吉、片倉角之助、初見清次郎、高橋岩吉、村田文吉ノ六名相繼テ警察署ニ引致セラレ、之ト同時ニ海老澤ノ居完及ヒ選舉事務所外幹部員居宅三ヶ所ノ家宅搜索ヲ行ヒタルカ、家宅搜索ハ正午ヨリ午後五時ニ互リ約五時間、

頗ル綿密嚴重ニ執行セラレタルニ拘ラス一點ノ證據物件ヲモ發見スルコトナクシテ引アケタリ、又警察署ニ引致セラレシ六名中高橋、湯本、村田、初見、片倉ノ五名ハ、翌日午前三時迄ノ間ニ悉ク釋放セラレ、僅ニ木村哲三郎一人ノミヲ公判ニ附セラレ、越ヘテ五月十一日水戸地方裁判所ニ於テ、認定的ニ罰金八拾圓ニ處セラレタルニ過キス、大仕掛ノ家宅搜索ノ結果ハ眞ニ泰山鳴動シテ鼠一疋ノ觀アリキ、而モ法律の果實ハ斯クノ如ク輕少ナリシニ拘ラス、海老澤派壓迫ノ目的ハ充分ニ達セラレタリ、勿論斯クノ如キ大仕掛ノ家宅搜索ハ淳朴ナル境町地方ニ在リテハ前代未聞ノ大事件ニ屬シ、以テ里人ノ耳目ヲ聳動スルニ足ルノミナラス、海老澤以下ノ人々皆近郷相手ノ營業ニ從事シ日々店舗ニ出入スル顧客少カラサルヲ以テ、約五時間ニ互リ表裏ノ入口ニ警官ヲ配置シ、家人ハ元ヨリ訪客ト雖モ一度足ヲ店內ニ踏ミ入レンカ再ヒ外出スルコトヲ絕對ニ禁止セル物々敷キ状態ハ、忽チ近郷近在ニ喧傳セラレ甚シキハ海老澤自身ガ拘引セラレタルヤノ噂ヲ傳ヘラレシヲ以テ、海老澤派ノ打撃ハ尠少ナラサリキ

(二) 勝手ニ罪人ヲ作ル 前掲木村哲三郎カ境警察署ニ拘引セラレタルハ、同人カ報償ヲ約シテ佐怒賀貞三郎ナルモノニ、買収運動ヲ依頼セリトノ佐怒賀ノ供述ニ基ケルモノナリシカ、佐怒賀ハ水戸地方裁判所ノ公判廷ニ於テ、左ノ事實ヲ告白セリ

「佐怒賀カ小泉境警察署長ノ取調ヲ受ケ己レニ買収ヲ依頼セルモノ、姓名ヲ訊問セラル、ヤ事實買収ヲ托サレタルモノハ齋藤藤市ナルモノト主人ナリシヲ以テ其ノ名ヲ顯スニ忍ヒス大ニ躊躇シ居タルニ此間ノ事情ヲ熟知セル小泉署長ハ、木村哲三郎ハ海老澤ノ參謀長ニシテ到底罪ヲ免ル、能ハサル可キヲ以テ木村ヨリ依頼サレシトセハ如何木村トスルモ齋藤トスルモ何レニテモ差支ナシ」ト云ヒシ故齋藤ヲ助クル心算ニテ木村ヨリ依頼ヲ受ケシ旨陳述セルナリ

即チ小泉署長ハ佐怒賀ヲ誘惑シテ木村ヲ陥レントセルナリ、因ニ木村ハ海老澤ノ義弟ニシテ同派ノ總參謀長ナレハ、此一人ヲ失フハ百ノ齋藤ヲ失フヨリモ一層苦痛タルヤ論ナク、小

泉署長ノ木村ヲ奪フニ腐心スル所以モ亦茲ニ在リ

(三) 陳述ト相違セル聽取書 猿島郡八俣村谷貝初見周吉(海老澤派幹部)ハ、同郡長須村染谷信太郎ニ對シ、三月二十一日報償ヲ約シテ運動ヲ依頼セリトノ嫌疑ヲ以テ拘引セラレ、小泉署長ノ取調ヘテ受ケタル際、染谷ハ初見ヨリ「損ハサセナイカラ運動シテ呉レ」ト依頼サレタリト陳述セルニ拘ラス、聽取書ニハ「アトテ禮ヲスルカラ運動シテ呉レト云ハレテ依頼ニ應シタリ」ト認メアリ、染谷ハ陳述ト相違セル旨ヲ抗爭シタルモ、署長ハ「孰レテモ意味ハ同シタ」ト稱シテ訂正ノ要求ニ應セス、此數語ノ相違ノ爲メニ兩名トモ五月三十日有罪ノ宣告ヲ受ケ、初見ハ禁錮二ヶ月染谷罰金ハ五拾圓ニ處セラレタリ、而モ初見ハ斯クノ如キ冤罪ニ服スル能ハストシテ東京控訴院ニ控訴シタリ、

(四) 警官ノ違反者釣リ 古河警察署在勤花ヶ崎佐藤兩刑事ハ巧ミニ運動員風ニ變裝シ、猿島郡香取村大字釋迦ノ有權者ヲ戸別のニ訪問シ、自分ハ海老澤ノ高等運動員ナリト稱シテ、投票ノ買収ヲ勸誘シ誘導的ニ犯罪ヲ捜査シ、此奇計ニ依リテ鈴木傳右衛門ナル有權者及ヒ運動員齋藤始次ヲ獲タリ、海老澤派運動員牧野喜太郎ヲ同行シ、午前九時ヨリ午後八時迄留置シ巡査交ルヽ取調ヘテ爲シタルモ喜太郎カ知ラサル旨ヲ答フルヤ、一刑事ハ足ヲ舉ケテ喜太郎ノ足ヲ蹴リ面ヲ亂打シタリ

(五) 電報ノ奇禍 結城郡宗道村山中茂一郎(海老澤ノ親族)ハ、其親族ナル結城町ノ吳服商小篠彦平ニ宛テ註文ノ反物送レトノ意味ヲ打電シタルニ、「反物」トアルハ金ノ事ナラントノ嫌疑ヲ受ケ、結城警察ノ取調ヘテ受ケタリ、之ニ反シテ御用派參謀等ハ同シ郵便局ヨリ屢々カネオクレト打電シタルニ拘ラス、一回モ取調ヘテ受ケタルコトナシ、警察ハ如何ニシテ信書ノ祕密ヲ知り得ルカ甚タ疑問ナルカ、宗道村駐在所塙巡査ハ同村ノ松村局長ニ向テ、選舉關係ノ信書ハ總テ檢閲シタシト申込ミ拒絶セラレタル事アリト聞ク

(六) 告發ヲ不問ニ附ス 猿島郡幸島村大字仁蓮及同郡岩井町ニ於ル小久保氏政見發表演說會ニ於テ、縣會議員香取類作ナルモノ口ヲ極メテ海老澤氏ノ人身攻撃ヲ爲シタルヨリ、中田

清川カ臨監ノ警官ニ向ヒ口頭ヲ以テ辯士ノ處分方ヲ告發シタルモ遂ニ之ニ應セザリシ

(七) 巡査ノ有權者威嚇 四月十七日警察本部ヨリ米川巡査部長二名ノ巡査ヲ率ヒテ結城郡山川村ニ來リ、同村ノ名望家沼田豐三郎カ海老澤候補ノ爲メニ盡力シ同村ノ八九分ヲ占メタルヲ聞キ、一名ノ部下ヲ同人ノ監視ニ充テ、十七日以後出入毎ニ尾行セシメ有權者ヲ威嚇シテ其運動ヲ妨害シタリ、又同村海老澤派赤塚傳ニ對シテモ同様ノ監視ヲ爲シ、十八日同人ノ訪問セル有權者野口惣三郎、高島富藏、飯谷宗一郎ノ三名ヲ駐在所ニ召喚シ、米川部長自ラ取調ヘテ爲セリ

又米川部長等ハ十六日夜、結城郡江川村長ニシテ小久保派ノ大參謀タル池田甚吉方ヘ一泊シ、同村ノ有權者中海老澤ニ傾ケルモノヲ戸別のニ訪問セルコトハ、池田自カラ海老澤派ノ石塚新三郎ニ語レリ

(八) 警官ノ營業妨害 猿島郡猿島村大字染谷齋藤藤市方ヘハ、早朝ヨリ薄暮迄連日同村駐在關野巡査カ詰メ切リ、店頭ニ腰ヲ下シテ動カス、頗ル迷惑ヲ感スルコト三日ニ及ヒ遂ニ抗議ヲ申込ミ退去セシメタリ、同郡境町藥種商木村豐治方ヘハ、境署ノ阿見巡査毎日半日以上詰メ居タルカ、同家ハ丁字形街頭ノ正面ニ在ルヲ以テ一層人目ヲ引キ非常ノ迷惑ヲ感シタリ

(九) 警官乎運動者乎 境町ニ於ケル小久保ノ股肱タル逆井伊七郎ハ、常ニ小泉署長ノ宅ニ出入シテ選舉事務所ト警察トノ聯絡ヲ保チ居タリ、同町ノ代書業沼田甚三郎ハ屢々海老澤派ヨリ斯ク々々ノ投書警察ニ來レリト語リタリトイフ、警察ノ祕密書類ヲ代書人ガ知悉セルハ不思議ナラスヤ、結城郡結城村大字平塚大里奎之助ハ、表面安藤万吉ノ運動者トシテ警察署ニ届ケ置キシ處、四月十二日頃同村駐在小林巡査來訪シ、安藤ハ既ニ斷念シ海老澤ハ當選ノ見込無ケレハ森隆介ノ運動ヲ爲シテハ如何ト勸告セリ

其二 水戸市ニ於ケル干渉
(一) 太田派幹部ノ引致ト電話ノ不通 水戸市憲政派及實業派ノ擁立セル候補者太田政之ハ

小山田政友會候補ニ對抗シ非常ニ立運ナカラ蹶起シ、殆ムト空拳ヲ以テ理想的ニ闘ヒタルニ拘ラス、選舉間際ニ至リ必勝ノ形勢ヲ占ムルニ至レリ、是ニ於テ水戸警察署ハ、何等犯罪ノ根據ナキニ太田派ノ運動幹部中神永千代吉渡邊實二人ヲ除クノ外、悉ク之ヲ引致シ格別ノ取調ヲモ爲サスシテ翌朝マテ留置シテ同派ノ運動ヲ阻止シタリ、剩ス所ノ神永渡邊兩名モ既ニ引致ノ網ヲ張ラレタリトノ流言ヲ放チ、政府黨新聞ヲシテ太田派全滅ノ號外ヲ發行セシメ以テ人心ノ動亂ヲ惹起セシメタリ

之ヨリ先キ柳澤署長ハ、自轉車隊ヲ組織シテ太田派ノ運動ニハ必ラテ數名ノ監視ヲ附シ、頗ル陰險ナル威壓ヲ加ヘタリ、四月十九日太田派ノ幹部續々干涉ノ弊ニ陥リテ大混亂ヲ極メタル際、午後五時頃ヨリ同十時迄ニ至ル間同派事務所ノ電話全ク不通トナリタルハ、選舉妨害ノ目的ナリシコト、後日いばらき新聞編輯長伊東利男カ某官吏ヨリ聞知シタリト稱スル談話ニ依リテ傳ヘラル

(二) 警察ノ看過シタル小山田派決死隊檢事局ノ手ニテ檢舉サル 小山田派カ其根據地盤トシテ樂觀シアリタル下市ニ、太田派侵入シ七分以上奪取サレタルヲ發見シタル四月十七日、小山田派ノ最高幹部タル神永清氏ハ、其配下ノ幹部及運動員ヲ以テ決死隊ナル奇名稱ノ下ニ盛ナル投票買収ヲ公行シタルニ對シ、大久保巡查ハ柳澤署長ノ指揮ヲ求メタルニ唯々聞置クノ一言ヲ以テ更ニ檢舉スル狀ナカリシカ爲メ、大久保巡查ハ其偏頗ニ憤慨シテ此等ノ消息ヲ小林定文ナルモノニ洩ラシタルヨリ遂ニ檢事局ノ知ル所トナリ、四月三十日神永清一派ハ悉ク檢舉サル、ニ至リタリ、這ハ柳澤水戸署長ノ甚タ不本意トスルトコロナルハ勿論ニシテ、彼ハ昵近ナルいばらき新聞某記者ニ向テ、政府黨ヨリ犯罪者ヲ出シテハ自己ノ失策ニシテ、政友會ノ批難攻撃ノ爲メ永ク現職ニ止マルコト能ハサルヘシト嘆息セリトハ、眞面目ナル述懐談ナルヘシ

其三 遞信當局及ヒ鐵道院ノ干涉 遞信省東部管理局長ハ、大正六年三月下旬祕密親展電報ヲ以テ郵便局關係ノ有權者ヲ報告セシメ、四月ニ至リ局員ハ棄權セシ投票セヨトノ訓示ヲ發セシ

メ、更ニ四月十五日全縣下ノ重ナル郵便局長ヲ水戸市ノ公會堂ニ召集シテ政府黨ヲ援助セムコトヲ求メタリ、鐵道關係ノ有權者モ亦四月十九日中央ノ電命ニ基キ上官ヨリ政府黨ニ投票セムコトヲ殆ント命令的ニ申渡サレタリ

其四 其他 憲政會支部評議員タル東茨城郡大野村清水松太郎ハ、河野正義ノ爲ニ活動スル所アリシカ、四月十八日磯濱町巡查派出所ニ引致セラレ、何等ノ犯跡ナケレハ取調フルコトモナク、翌日午後四時迄空シク留置セラレタリ、同郡澤山村憲政會支部評議員小田部長松外四名ハ、四月十六日石塚村巡查派出所ニ引致セラレ、翌日放免セラレタリ、那珂郡勝田村ノ名望家川崎信夫ハ、四月十八日午前八時頃ヨリ午後五時ニ至ルマテ、湊警察署ノ巡查ニ前後ヲ取捲カレ、殆ント凌辱的ノ取調ヲ受ケタルカ、水戸檢事局ニ於テ事ナク免サレタリ

第二十一 廣島縣ニ於ケル干涉事例 廣島縣ニ於ケル選舉干涉ノ實況ハ、亦頗ル慘憺タル現象ヲ呈シ、殊ニ四月上旬後藤内相カ馬淵廣島縣知事ヲ神戶ニ電召シタル以後ニ於テ、益々其辛辣ノ度ヲ高メタリ、憲政派候補者龍口了信ニ對スル壓迫ノ如キ、茲ニ之ヲ公表スルノ自由ヲ有スルニ到ラスト雖モ、誹詐狡猾ノ手段ヲ弄シテ其落選ヲ企圖セルモノ、如ク誠ニ言語道斷ノ事ナリトイハサルヘカラス、今干涉事例ノ重ナルモノヲ摘記スレハ左ノ如シ

其一 政府黨犧牲候補者柿本雷雲ニ關スル馬淵知事ノ處置 安藝郡海田市町明顯寺住職柿本雷雲ハ本年三月二十三日附ヲ以テ西本願寺執行所ヨリ歸俗ノ許可ヲ得テ立候補ノ宣言ヲ爲シタルリ、元來僧侶ハ選舉期日二ヶ月前ニ還俗シタル者ニ非サレハ、衆議院議員タルノ資格ヲ有セサルコトハ選舉法ノ規定スル所ナルカ故ニ、彼レ柿本候補ニ被選資格ナキコトハ一點ノ疑義ヲ挿ム餘地ナシ、然ルニ彼ハ自ラ其筋ヨリ數千圓ノ運動費ヲ得タリト揚言シ、三月二十七日以降選舉當日ニ至ルマテ郡内數ヶ所ニ選舉事務所ヲ設ケ、數十人ノ運動者ヲ使喚シ數十ヶ所ニ涉リテ政見發表ノ演說會ヲ開催シ、政府黨ノ犧牲トシテ反對派ノ地盤侵蝕ニ熱中シタリ、龍口候補ハ馬淵知事ニ面談シテ、柿本ノ無資格ナル證據書類ヲ提出シ其取締方法ニ就キ百方質ス所アリシモ、知事ハ宗制上疑義アリトノ口實ノ下ニ徒ラニ日時ヲ經過セシメ、四月十九日即チ選舉期日ノ前夜ニ

至リ始メテ其無資格タルコトヲ郡市長ニ通達セシハ、明カニ他人ノ選舉ヲ妨害セシメタル有志
故造ノ所爲ト斷スルノ外無シ

其二 警察官ノ不法行爲
(一) 四月某日賀茂郡東高屋村白布實科高等女學校々主福原稻造カ、其實兄有田候補ノ爲一
名ノ運動員ヲ引連レ安藝郡倉橋島村ニ於テ運動中、ニ同地駐在所巡查等ハ何等ノ理由ナキ
拘ラス、右兩名ヲ駐在所ニ連行シ、殆ント強制的ニ之ヲ裸體トナシ携帶品全部ヲ検査シテ其
儘之ヲ放免シタリ

(二) 安藝郡牛田村森川駐在所巡查ハ、同郡長ノ選舉訓示ニ際シ有權者ノ出席ヲ勸誘スルニ
當リ、戸毎ニ就キ其出席ノ有無ニ付各自ノ調印ヲ強要セリ

(三) 廣島市西警察署刑事ハ、四月十六日同市天神町教念寺ニ出張シテ、同寺滯留中ノ龍口候
補ノ令嬢某(十一歳)及下女某(十五歳)カ警察ノ強要ニ對シ大ニ恐怖ノ念ヲ抱キ、泣テ應セ
サルモノヲ無理押ニ警察署ニ引致シ、終夜苛酷ノ取調ヲ爲シタル後放免シタルカ、爾後此兩
女ハ殆ント精神ニ異狀ヲ呈シタルカ如キ慘狀ニ在リ

(四) 安藝郡矢野村砂原駐在所巡查ハ始終河本派運動員ニ尾行シ、運動者ノ訪問セル戸毎ニ
就キ其談話ヲ聞糺シテ一々嚴重ナル取調ノ結果ヲ手帖ニ筆記シ、運動者及有權者ヲ恐怖セ
シメタリ、然ルニ從來此地方ニ何等ノ關係ヲ有セザリシ井上候補力侵入シテ選舉運動ヲ爲
シタルニ拘ラス強制的ニ取締上ノ警戒ヲ行ハス運動者自由ノ活動ニ放任シタリ

(五) 龍口了信ノ檢舉セラル、ヤ佐伯郡沿岸部一帶ノ駐在所巡查ハ有權者ニ向ヒ、同氏ニ投票
スルモ無効ナルヘキカ故選舉スヘカラサル旨公然明言シタリ

(六) 廣島市西警察署長下村警視ハ、管内ニ於ケル貸座敷營業者ノ如キ直接監督ノ下ニ在ル
選舉有權者ニ對シ、自ら直接ニ憲政派候補者ヲ選舉スヘカラサル旨嚴談セリトイフ

(七) 廣島市ニ於テハ例ノ如ク早速派運動員ニ對シ各自ニ二三名ノ刑事巡查ヲ尾行セシメ、
政友派運動員ニ對シテハ全ク其事實無ク、且ツ有權者戸毎ニ巡查ヲ派遣シテ威嚇的ノ言辭

ヲ弄シ、動モスレハ何等ノ事由ナク早速派ノ運動員ヲ警察署ニ召喚シ、其干涉壓迫ノ程度ハ
世人ノ想像外ナリシトイフ

其三 警官ノ自白 加茂郡某所ノ巡查(姓名省之)ノ自白ニ曰ク、憲政派ノ運動者ヲ檢舉スルハ
自由ナルノミナラス、寧ロ功績トナルモ、政友派ノ運動者ニ對シテハ、假令違反ノ事實明瞭ナル
モノト雖モ、一應之ヲ署長ニ報告シ、其命令アル迄之ヲ檢舉スルコトヲ得ストノ内訓アリシト

其四 鐵道院ノ選舉干涉 山陽線宮島驛長百目木某カ四月中旬吳市ニ於ケル同僚ノ懇親會ニ臨
ミ二三ノ友人ニ左ノ談話ヲ試ミタル事實アリ
「自分ハ此度ノ總選舉ニハ龜口氏ニ投票セント志セリ、同氏ハ學識モアリ殊ニ小方村大倉製鐵
所ノ設置ニ付テハ氏ノ盡力セル所多大ナルカ故ニ、余ハ切ニ同氏ノ當選ヲ希望ス云々」
然ルニ四月十七日ニ到リ鐵道院西部管理局長ハ、卒然本人直接電話ヲ以テ百目木驛長ノ轉任
ヲ命ジ、翌十八日更ニ公文ヲ以テ即時上神スヘキコトヲ命セリ、是ニ於テ百目木ハ命ニ從ヒ直ニ
赴任セシニ、四月二十一日ニ至リ家族其他ノ跡始末ヲ爲シタル上改メテ歸任スヘシト命令セリ、
元來局長カ指定地以外ノ驛長ニ對シテ直接ニ任免又ハ轉勤ヲ命スルカ如キハ過去ノ實例ナキノ
ミナラス、百目木ノ新任勤務先ハ通常雇員ノ擔當シ來レル統計課ニシテ、即時赴任ヲ命スルカ如
キ急迫ノ事務アラザリシモノ、如ク、何人モ官邊ノ干涉手段カ如何ニ細心ノ注意ヲ拂ハレタル
ヤヲ驚カサルモノナシ、之ト類似ノ事例ハ獨リ廣島縣ニ限ラス尙他ニ多々アリト雖モ、唯一例ト
シテ茲ニ之ヲ掲ク

第二十二 山形縣ニ於ケル干涉事例
其一 憲政派候補者黒金泰義ノ運動者ニ對スル壓迫
(一) 政府筋ニ於テハ當初ヨリ黒金派ノ參謀長格椿宮太郎及木村忠三ニ對シ、百方事ヲ構ヘ
テ兩人ヲ檢舉拘束センコトヲ企テタル形跡歴然タルモ、到底之ヲ遂行シ得ヘキ手懸リ無カ
リシヲ以テ、茲ニ同派ノ有力者鳥羽雄助、小濱藤吉ノ二人ニ著眼シ、兩人共何等嫌疑ヲ受ク
ヘキ犯行ナキニ拘ラス、之ヲ引致審問シテ且其家宅搜索ヲ行ヒ尙此以外ノ運動者ヲモ連日

ニ涉リ續々檢束ヲ加ヘテ容易ニ之ヲ釋保セス、此機會ニ乘シ小林派ハ有權者ニ對シ「黑金派ヨリ金ヲ貰フタナラハ今ノ内ニ返附スヘシ、貰ハヌトモ此際黑金ニ投票スレハ必ス不辜ノ嫌疑ヲ免レサルヘケレハ、宜シク小林ニ贊成シテ其身ノ安全ヲ謀ルヘシ」ト、我田引水ノ運動ヲ爲スヲ得セシメタリ

(一) 黑金派運動員蕎麥屋ニ於テ二十五錢ノ會食ヲ爲シタル者ヲモ選舉違反ナリト認メ之ヲ檢舉シテ處罰シタルモ、其略式命令ニ服セスシテ控訴シタルモノハ悉ク無罪トナリタリ反之小林派ニ對シテハ檢舉ハ勿論警察署ニ引致シタルモノ極メテ稀ニシテ、彼此對照スルトキハ取締上寬嚴ノ度雲泥ノ差別アリシコトヲ看取シ得ヘシ、殊ニ奇怪ナルハ、黑金派ノ運動者某々檢舉セラレヘシトノ風評卒然トシテ市中ニ流布セラレ、政友派ノ機關新聞先ツ之ヲ報道シ、一兩日ヲ經テ必ズ其實現ヲ見タルハ、如何ニ官邊ノ處置公明ヲ缺キタルカヲ推知シ得テ餘リアリトイフヘシ

(二) 黑金派運動員ニハ必ス尾行ヲ附シ其乘用車夫ハ毎日一回必ス警察署ニ召喚シテ訪問先ヲ取調ヘタルモ、小林派ニ對シテハ此事實殆ント無ク、又警官日々有權者ヲ訪問シテ政黨ニ投票スルノ安全ナル事ヲ説示セル實例少カラス、選舉期日ノ切迫ニ伴ヒ益々猛烈ノ度ヲ高メタリ

其二 郡ニ於ケル警官ノ壓迫 郡部ニ於ケル警官ノ干渉壓迫ハ一層猛烈ニシテ、局ニ當レル警官自ラ未曾有ノ干渉ヲ強ヒラレタルコトヲ自白セルモノ少カラス、自白者ノ姓名明カナルモノアルモ茲ニ之ヲ省ク

其三 通信機關秘密漏洩ノ嫌疑ト北部遞信局員ノ行動 選舉期日切迫前迄ハ、米澤市ニ於ケル兩派ノ競争激甚ヲ極メタルニ拘ラス、通信上何等疑惑ヲ挿ムヘキ事無カリシカ、仙臺ヨリ北部遞信局員吉田某ナルモノ飄然來米澤タル以來、黑金派發著ノ電信電話ノ秘密ハ、反對派ニ漏洩セラレタル嫌疑頗ル多カリシ、今的確ノ證左ヲ茲ニ掲クルニ由ナキヲ以テ他日ノ調査ニ俟ツコトトス、尙此吉田某ハ管内ノ三等郵便局長ヲ召集シ、自己ノ手帳ニ小林源藏ノ四字ヲ自署セシメ、

同時ニ各自ノ氏名ヲモ併記セシメタリ、是レ何ノ爲ナルヤヲ知ラスト雖モ蓋今次ノ總選舉ニハ小林ニ投票スヘシ、各自ノ手蹟ハ之ヲ徵シ置キタルカ故ニ違背スルヲ許サストノ意味ヲ暗示スルノ手段ナルヘシ織工細匠盡サ、ルナシト謂ツヘシ

其四 專賣局官吏ニ出張ヲ命シタル事 米澤煙草專賣支局長會澤茂ハ黑金派ト認ムヘキニ依リ、大藏省ハ選舉前特ニ同人ニ對シ出張ヲ命シ、其日程迄同省ニ於テ之ヲ作製シ、選舉當日米澤ニ歸著シ得サル手段ヲ取リタル事實アリ

第二十三 福井縣ニ於ケル干渉事例 福井縣知事川島純幹ハ、新任勿々干渉準備トシテ郡長及警察官ノ大更迭ヲ行ヒ、且ツ自己カ當縣ニ來任セルハ、特ニ選舉ニ對スル重大ノ任務ヲ帯ヒタルニ依ルコトヲ放言シテ憚カラス、當初ヨリ其干渉壓迫ノ激甚ナルヘキヲ想像セシメタリ、然レハ從來憲政會員タリシ松井文太郎カ曩ニ同會ヲ脱シ中立ヲ標榜シテ候補ヲ宣シタルハ、實ニ知事ノ選舉ニ對スル態度ノ辛辣ナルヘキヲ慮ハカリ、其去就ヲ一變スルノ已ムナキニ至レリト稱ス其一 當選保證付ノ立候補勸誘 川島知事ハ、憲政會候補山口嘉七ノ地盤ヲ打破セン爲メ、同地方ニ於ケル數名ノ有力者ニ對シ、直接問接ニ立候補ヲ勸誘セルモノ之ニ應スルモノ無カリシヲ以テ、遂ニ同地出身實業家横井藤四郎ヲ物色シ、當選保證ノ條件ヲ附シテ彼ノ決心ヲ促シタルハ、地方公知ノ事實ナリトイフ

其二 在野黨ヲ目シテ警察反對派ト稱ス 訓示ノ徹底取締ノ手心ヲ加フル上ニ於テハ他府縣ト同様ノ常套手段ヲ用ヒタルモ、嶺南四郡ニ於テ殊ニ峻烈ナリシ、殊ニ敦賀町ニテハ警察ノ干渉殆ムト公然ニ行ハレ「オ前ハ警察派カ警察反對カ」ト推問シ在野黨ヲ目シ、警察反對派ト稱スルニ至レリ

其三 其他

(一) 小濱區裁判所復活問題ハ、同地方ノ利害ニ重大ノ關係ヲ有スルヲ以テ、松室司法大臣ノ

同地ニ出張シタルハ、暗ニ政府黨候補ノ應援ニ資シタルモノナリト稱セラル

(二) 敦賀港ハ露國トノ貿易ニ密接ノ關係アルヲ利用シ、日露協會ヲシテ露西亞語學校ヲ同

地ニ設置スルノ企圖アルコトヲ暗示シ、此際現政府ニ反對スルハ地方公益ノ爲メニ害アリト思ハシメタリ

其四 縣外ニ於ケル知事ノ運動 川島知事干涉ノ魔手ハ單ニ福井縣ニ止マラス、前任地滋賀縣ニモ及ヒ三月十二日ヨリ十五日ニ涉リ一回、又四月十日過一回、密カニ同縣ニ到リ膳所町佐々方ニ滞留シテ、縣内ノ有志ヲ招致シ政府黨ノ應援ト反對派ノ壓迫ニ努力シタリト

今參考ノ爲三月二十九日發行大阪朝日新聞記事ヲ左ニ摘録ス

川島知事ハ大隈内閣ニ誠ラレテ寺内内閣ニヨリテ援ヒ揚ケラレタル人ニシテ政友系ノ知事タルハ一般ニ認ムル所ナルカ、地方ニ於テハ昨今種々ノ風説アリ、即チ若狹ニ於テハ山口嘉七派ノ重ナル有志ヲ二三日引致セハ、政友派ノ當選請合ナリトテ知事自カラ立候補ヲ德憑セリト傳ヘラレ、敦賀町ニ於テハ政友會ニ贊成セハ官有地トナリ居レル松原(七十餘町歩アリ)ノ拂下ケヲナシ、外國語學校ノ分校ヲ敦賀町ニ設クヘシトナシ、更ニ敦賀町大和田莊七氏ニ對シテハ政友會ニ贊成セサレハ、同一家ノ經營ニカ、大和田銀行ノ取扱ヒ居ル支金庫、縣金庫ヲ取上クヘシトテ大和田氏ヲ政友側ニ立タシメタルナリトノ説アリ、更ニ又丹生郡ニ於テハ、内務省ノ事業トシテ漸ク著手サレタル天王川改修工事費中、福井縣ノ負擔金六萬三千圓ノ内二萬圓ハ、直接利害關係ヲ有スル十郷用水組合ニ於テ、大正六七兩年度ニ一萬圓ツ、ヲ分擔納付スルコトトナリ居リ、既ニ縣會ノ決議ヲ經テ六年度ノ縣豫算ニモ計上サレ居ルガ、政友會ニ贊成セハ該二萬圓ノ分擔ヲ免除セラレ、又淺水川附換ノ結果、丹生郡立待村地係ノ附帶工事ニ關シ佐藤前知事力不認可トナセルヲ、政友會ニ贊成セハ之ヲ認可セラル、ナリトノ説流布サレツ、アリ、之カ爲メ地方民ハ甚タ迷ヒ居レルカ以上ノ流説ハ何人ニヨリテ傳ヘラレタルカ明瞭ナラサルモ、先年落選シ今回モ形勢不可ナリトシテ一旦斷念シタル横井藤四郎氏カ、強敵山口嘉七氏ニ對抗シテ急遽立候補ヲ決心シ、而モ其立候補ノ決定ヲ上京中ノ川島知事ヨリ、政友會支部ニ傳送セラレタル事實ニ徴スレハ、強チ流説トシテ打消ス事能ハサルカ如シ

第二十四 高知縣ニ於ケル干涉事例

其一 濱口候補ニ對スル壓迫 今回ノ總選舉ニ際シ高知縣ニ於ケル干涉ハ亦空前ノ出來事ニシテ、殊ニ政府ハ當初ヨリ濱口候補ヲ狙撃シ百方之カ落選ニ腐心シタルカ故ニ、其手段方法頗ル陰險辛辣ヲ極メタリ、今之ヲ證明スヘキ事例ヲ掲クレハ左ノ如シ

(一)運動者ニ對スル不公平 濱口派運動者ニ對シテハ常ニ尾行ヲ附シ、且ツ四月十八日午後七時突然何等ノ根據ナキニ拘ラス、事務所會計主任岩川圓次郎ヲ高知警察署ニ引致シ、格別ノ取調ヲ行ハスシテ、長時間留置シ、同派ノ運動上多大ノ不便ヲ與ヘタリ、然ルニ中野派ニ對シテハ何等尾行ヲ附シタル事ナク、又會計帳簿ノ検査ヲ行ハス、而シテ此差別的取締方法ニ關シ、濱口派ノ詰問ニ對シテハ、不條理ニモ唯憲政側ニ警察力ヲ傾注シタル結果、政友

派ニ向クヘキ餘力ナカリシ事ヲ以テセリ

(二)事務所制限ニ關スル偏頗ノ處置 高知警察署ハ豫メ憲政會支部ニ對シ、市内ニ於ケル同派選舉事務所數ヲ北町四、南町三、上町三、江ノ口一トナスヘシト制限セルモ、此時既ニ北町六、高知町四、南町三、上野二、江ノ口一ノ事務所ヲ設置セシ後ナリシカハ、警察ノ指定ト其ノ總數ニ於テ相等シケレハ、現狀ノ儘ニテ認可ス可シト交渉セルモ聞カス、遂ニ北町ヲ五トシテ妥協スルヲ得タリ、然ルニ高知署ハ此一事ヲ楯トシテ、政友派中野候補ノ爲メニ質屋古物商組合ヨリ組織セル中野後援會ナル團體ノ選舉事務所ヲ到ル所ニ設置セシメ、偏頗ナル處置ヲ執リタリ

又高知市ニ於ケル選舉干涉ノ實況視察ノタメ來縣セル東京通信社員菅野永眞ハ、國府本縣警察部長ヲ訪問シテ、「縣政界ノ現狀ハ憲政派カ多數ヲ占メ居レリ、今斯ノ如キ干涉ヲ敢テスルニ於テハ、爾來縣治ノ運用ヲシテ澁滞ヲ生セシム可ク、殊ニ來ル縣會ニ於テ或ハ提案ニ係ル警察費ニ對シ、反對ヲ買フナシトセス」ト云ヘルニ對シ、部長ハ「其ハ當然ナリ、固ヨリ原案執行ノ覺悟ナリ」ト放言セリ

(三)前科者ノ運動者 警察署ヨリ人民ニ示シタル選舉心得ノ中ニハ、前科者ヲ運動員ニ使用スヘカラストノ明文アルニ拘ラス、中野派ノ幹部前代議士光森德治ノ如キハ、日々三名ノ前

科者ヲ伴ヒテ戸別訪問ヲナシ、且ツ中野派ノ上街方面ノ運動者ニハ、恐喝取財ノ前科ヲ有スル松本某アリ、下町方面ニモ是又恐喝ノ前科ヲ有スル濱田某アリ、其他窃盜、度量衡取締規則違反、詐欺等ノ前科者數名アリ、殊ニ古物古着商組合ト稱スル朦朧團日頃警察及檢事局ノ注意意リナキ某惡徳新聞社員等、時ヲ得顔ニ跳梁跋扈セリ、而カモ警察ハ是ヲ不問ニ付スルノミカ、却テ私服ノ警官等ハ是等惡漢ト携ヘテ私語喃喃々街路ヲ横行スルサヘ認メタリ

(四)警察ト政黨ノ私通……滑稽ナル低級運動員 十八日午前五時頃、高知市ノ幹部須田周太郎等カ高知署ニ召喚サレテ三十分ヲ經サルニ、政友會ノ機關紙タル土陽新聞ハ、逸早ク事件ノ内容ヲ報道セル號外ヲ發行セリ、是レ特ニ警察カ同紙記者ニ相通シテ爲セルモノ、如ク、其當時土陽新聞ノ記者小原驕馬外數名ハ、盛ニ高知署ノ祕密室ニ出入シ、重要書類ヲ閱覽シ、吾カ者顔ニ振ル舞居タリ、殊ニ滑稽ナルハ、低級ナル中野派運動員中ニハ、態、變裝シテ刑事ニ伍シ、三々伍々濱口派運動員ヲ尾行シテ運動ヲ妨害シ、或ハ前科付ノ無賴漢カ、今日ハカリト云ハンハカリニ傲然トシテ派出所ノ椅子ニ倚リ、巡查ト共ニ茶ヲ喫シ居ルナト十七、八、九日ノ高知市ハ百鬼夜行ノ醜態ヲ暴露セリ

(五)國府警察部長ノ自白ト放言 十九日午後一時、憲政會所屬縣會議員高原伊三郎、織田信福、別府鹿太郎、中山猿膽、宇田友四郎ハ國府警察部長ト會見シテ、選舉取締上ニ關シ數ヶ條ノ問答ヲ交換セルカ、縣會議員ハ何故憲政派ノミニ酷ニシテ政友派ニ寛容ナリヤトノ質問ニ對シ、部長ハ「憲政會側ニ警察ノ全力ヲ傾注セシタル警察ノ餘力ナキ事トナリ、其ノ爲メ政友會ノ取締リ出來サリシノミ、秉公持平ハ念頭ニ無キニアラスト雖モ、官吏ノ身分トシテ時々上司ヨリ注文ヲ受クレハ亦已ムヲ得サルナリ」トテ窃ニ今回ノ選舉干涉ヲ承認シ居レリ

其二 幡多郡ニ於ケル警官ノ非違

(一)妨害的訓示……部長堀内某ノ失言 四月上旬幡多郡貝同村寺院高野山ニ於テ中村警察署勤務巡查部長堀内某ハ選舉心得ニ關スル訓示中「今回ノ選舉ニ於テハ政府黨ニ投票スルカ當然ニシテ、憲政派候補者ニ投票スルハ至當ノ事ニ非ス」ト述ヘシカハ、出席中ノ郡會議員

渡邊登太郎氏ハ憤然席ヲ蹴ツテ「選舉ニ關シテハ、吾人既ニ定見アリ何ソ警官ノ干涉ニ待タシヤト退席セルヨリ、聽衆一同異口同音是レニ和シ、何レモ退席遂ニ場内一名ノ聽衆ナキニ及ヒ、訓示ハ止ムヲ得ス中止トナレリ

(二)有權者ヲ脅喝ス……村田刑事ノ暴言 幡多郡後川村田ノ川ニ於テ憲政派縣會議員和田和氏一行ハ石本候補應援ノ爲メ政談演說會ヲ開催スヘク、同派ノ運動員島崎、廣田兩氏ヲ先發セシメテ準備中、中村署ノ刑事村田某ハ窃ニ同村ニ至リテ、今回ノ選舉ニ於テ、憲政派候補者ニ投票スルハ危險ノ極ナリ、既ニ本郡内ノミニテモ一千餘名ノ間諜ヲ放チアレハ、些々タル違反行爲ト雖モ直チニ暴露スヘシ、而シテ憲政派ノ演說會ニ出席スル有權者ハ、八分通り買收サレシモノト見做シ、檢舉ノ端緒トナルモノナリ、ト威嚇セシカハ、折柄田役(村民ノ義務トシテ服スヘキ勞役)ニ從事中ナリシ村民等ハ傳ヘ聞キテ、何レモ恐怖シテ同夜ノ演說會ニハ出席セサリシナリ、翌日此事ヲ探知シタル同心會幹事ハ憤慨シテ、岡崎榮吉氏ヲシテ正木署長ニ交渉セシメシニ、署長ハ其ハ戲談ナリシナリト辯解大ニ努メ、村田刑事ヲシテ謝罪セシメタリ、斯ハ明瞭ニ選舉妨害ノ事實ト認ム

(三)牽制的威嚇……一巡查ノ暴行 四月十九日幡多郡宿毛町宇須々木有權者益田某方ヲ襲ヒシ宿毛分署ノ一警吏ハ、益田ニ向ヒ、「汝ハ運動員北村力馬(憲政派有力者)ヨリ金三十圓ノ運動費ヲ受ケ取り居ルニ非スヤ、右ハ既ニ北村ノ自白スル處ニシテ北村ハ目下拘留中ナリト威嚇セシモ、全ク覺ヘナシトテ是ヲ否認スルヤ、巡查ハ最初平手ニテ益田ノ頰ヲ毆打シ、續テ帶劍ヲ解キ鞘ノ儘ニテ數回亂打セリ、然ルニ益田ハ飽マテ是ヲ否認スルヤ遂ニ言ヲ更ヘ、決シテ憲政派ノ運動ヲナス可カラストノ意味ヲ以テ說論的言辭ヲ弄シ立チ去リタリ、而モ北村力馬ハ一回ノ召喚ヲタニ受ケタルコトナシ、是レ全ク益田ノ態度如何ニ依ツテ、宇須々木部落ノ投票左右セラル、ヲ知り豫メ威嚇的ニ牽制セシモノナルヲ信ス

(四)滑稽ナル威嚇巡查……良民ヲ欺瞞ス 四月上旬宿毛分署長警部入交秋生カ、管内各町村ニ於テ選舉心得ニ關スル訓示ヲ爲スニ當リ、同分署在勤ノ伊尾木巡查ハ所在地管内ニ於テ

「今回ノ訓示會ニ出席セサルモノハ政府反對者ト見做スヘシト不得要領ノ言ヲナセシモ、其ノ第一回ニ於テハ全ク不成功ニ終リシヨリ」今回ハ必ス出席スヘシ、若シ出席セサレハ治安警察法ニ依リ不應召喚罪トシテ告發スヘシト無智ノ良民ヲ威嚇且ツ欺瞞セリ

(五)有權者ニ質問 幡多郡ハ最モ極端ナリ、中村警察署及宿毛分署ハ四月十九日管内三十六ヶ町村ノ有權者ニシテ、旗色不鮮明ナル者ヲ殘ラス訪問シテ、一々何人ニ投スルヤト質問シ、暗ニ憲政派候補者ヲ排シ政友派ニ誘致セントセシ選舉干渉ノ證歴然タルモノアリ斯ノ事ハ縣下一般ニ互リテ見ラレシモ幡多郡ニ於テハ殊ニ甚ダシキカノ感アリ

其三 伊野警察署ノ拷問…政友派ノ誣告 吾川郡諸木村字西諸木ニ於テ、伊野警察署ノ警部補本田某カ、有權者馬場榮之助、同人妻瀧尾、馬場勘次ノ三名ヲ、何等根據ナキ御用派運動員ノ密告ニ依リ、不法ナル取調ヘヲナスニ當リ、毆打負傷セシメシ怪事件アリ

四月十五日同村土居榮之助ノ家庭ニ起レル事件ノ調停者トシテ、憲政派ノ有力者土居鹿之助、馬場榮之助ノ兩名ハ高知市ニ向フ途中歸村後土居榮之助ヨリ慰勞ノ饗應アルヘキモ、是レヲ受クルハ心苦シケレハ寧ロ二人ニテ杯ヲ舉ケヘシト、弘岡部落ノ牛肉店ニテ牛肉ヲ購ヒ、人ヲシテ自宅ニ届ケシメシニ、前記土居、馬場兩名トハ地方ノ習慣ニ依リ兄弟分ノ盟ヲ爲セル池幸由ナル者、該牛肉ヲ料理シテ同夜十時兩名ノ歸村スルヲ待チ、馬場榮之助方ニ於テ酒宴ヲ催セリ、然ルニ同村ノ政友派運動員高橋義智ハ是レヲ知リテ、斯ハ有權者ヲ饗應スルナルヘシトテ、十六日同村駐在所ニ密告、セリ十七日ニ至リ一同駐在所ニ召喚サレテ取調ヘヲ受クルニ當リ、本田警部補ハ馬場榮之助、妻瀧尾ノ手足ヲ細綱ニテ縛シ、且ツ平手ヲ以テ左耳ヲ毆打シ、鼓膜ヲ傷ケテ疾病休業三日間、全治迄三ヶ月ヲ要スル傷ヲ負ハシメタリ、此ノ取調ハ正午十二時ヨリ午後六時頃ニ及ヒシニモ拘ラス、諸木村駐在所巡查某ハ、一同ノ歸途ヲ東諸木石崎ニ擁シテ取調ヘハ簡單ニシテ叮嚀ナリシト村民ニ告ケヨト説諭セリ

政友派運動員ノ誣告ヲ材料ニ、不法ノ取調ヘ無謀ナル危害ヲ良民ニ加ヘナカラ、尙ホ職權ヲ濫用シテ不法取調ヘノ内容ノ社會ニ漏ル、ヲ防止セントス、官憲ノ橫暴モ茲ニ至リテ極マレリト

謂ッヘシ 第二十五 鹿兒島縣ニ於ケル干渉事例

其一 警官有權者ヲ寺院ニ引率シテ政友派ノ爲ニ保護ス 鹿兒島縣肝屬郡申良村ニ於テハ、選舉投票日ノ早朝ニ及ヒ、山本派其他非政友候補側ニテ買収ヲ行フノ虞アリト稱シテ、警察官自ラ有權者二十二名ヲ同村所在ノ寺院ニ引率シ、彼等カ政友派ニ投票スルノ見込附キタル後之レヲ同道シテ投票所ニ趨カシメタリ

其二 警官ノ勸誘 薩摩郡西水引村ニ於テ、巡查カ各有權者ヲ訪問シ、若シ非政友派ニ投票スルトキハ、處罰ヲ受クル虞アル故寧ロ政友派ニ投票スル方安全ナリトノ事ヲ言廻リタル事實アリ 其三 電話ノ立チ聽 鹿兒島市旅館山城屋ニ非政友候補山本實彦及同參謀タル東水引村長高木正七同宿シタリシカ同村長カ屢、電話ヲ以テ選舉ニ關スル事項ヲ各地ニ通話セルヤ、刑事武松某ナルモノ密カニ鄰室ニ陣取リテ之レヲ聞取リ、常ニ之レヲ政友派ニ通知シタル形跡アリ

其四 投票認知ノ方法ヲ取レル事 (一) 日置郡串木野村(奥田森之進居村)投票所ハ殊更ニ從來ノ場所ヲ變更シ選舉立會人及警官等ヨリ認知シ得ヘキ狹隘ノ投票記載所ヲ設ケ、各選舉人ノ投票ヲ監視シ得ルノ方法ニ依リ、政友派ニ有利ナル手段ヲ講シタリ

(二) 薩摩郡高城村投票所ニ於テハ、投票記載所ノ傍ノ障子ニ穴ヲ明ケ立會人以外ノ者ヲシテ投票人カ投票ヲ記載スルヲ監視セシメタリ (三) 始良郡重富村投票所ニ於テハ、投票記載所ニ候補者日野辰次ノ氏名ヲ大書シタル張札ヲ爲シ投票ヲ勸誘シタリ

以上不法ノ事實ニ基キ、選舉人ヨリ鹿兒島縣知事ヲ相手取り、選舉無效ノ訴訟ヲ提起シ目下長崎控訴院ノ審理中ニ屬ス 其五 其他 非政友派ニ對シテハ特ニ尾行ヲ附シ、又選舉期日切迫ニ際シ非政友派ノ參謀ヲ殊更ニ引致シ、後ニ至リテ何等ノ事犯ナキ爲メ之レヲ釋放シタル事例ハ各府縣ト同様甚ダ多シ

又政友派ハ各地到ル所警察電話ヲ殆ムト我物顔ニ使用シタル事實アルハ、是亦偏頗不當ノ處置ナリトイハサルヘカラス

第二十六 島根縣ニ於ケル干渉事例 島根縣ニ於ケル選舉干渉ノ方法ハ他府縣ト同様ノ手段ヲ執リ、特例トシテ茲ニ揭記スヘキ事項ナシト雖モ、其壓迫ノ程度ハ却ツテ峻烈ヲ極メ、政府反對派ヲ畏縮セシメタルモノ、如シ、今數箇ノ事例ヲ掲載スレハ左ノ如シ

其一 松江警察署長ノ偏頗ノ處置 松江警察署長橋本警視及其部下松下警部補ハ、專心一意憲政派ノ違反行爲ヲ檢舉スルニ勗メ、現ニ他ノ密告ニ依リ政友派ノ違反事實ヲ探知セルモ、單ニ形式上一片ノ訊問ヲ行フニ留メテ深ク之ヲ追窮セス、反之憲政派ニ對シテハ何等ノ根據ナク又ハ最モ薄弱ナル密告ヲ受クルモ、直ニ多數ノ部下ヲ派遣シテ大活動ヲ爲シ、嫌疑者ヲ引致シテ訊問糺明最辛辣ヲ極メ、質朴ナル郡村有權者ハ拷問的強壓ニ堪ヘ兼テ無根ノ事實ヲ肯定セシメラルルニ至リタリ、此事實ハ松江組合辯護士多數ノ憤慨措ク能ハサルモノナリ

其二 能義郡廣瀨分署ノ不法行爲 能義郡廣瀨分署管内ニ於テ、憲政派事務所ニハ晝夜ニ涉リ數名ノ角袖巡查ヲ立番セシメ出入者ヲ誰何セシメシカ、政友派事務所ニハ絶對ニ之ヲ置カス又前者運動員ニハ必ラス尾行ヲ附セシカ後者運動員ニハ全ク之ヲ附セス、最モ露骨ニ彼是取扱ヲ異ニセリ、四月十八日午後憲政派運動員北山豐次郎カ藤井候補ノ爲廣瀨町及飯梨村ヲ訪問スルヤ、飯梨村駐在巡查高島松一郎ハ、之ニ追隨シテ不正ノ勸誘ヲ行ヒタルモノト豫斷シ、松江地方裁判所ニ報告シタルヲ以テ、大里檢事急行同地ニ赴キ嚴重ナル審問ヲ行ヒタルモ、何等犯跡ナク二十日午前十時ニ到リテ、同人及關係者ヲ解放シタリ、之カ爲メ同巡查ハ大里檢事ヨリ粗漏ノ罪ヲ詰責セラレタリ、然ルニ右關係者カ召喚セララル、ト同時ニ、政友派ハ郡内各村ニ急使ヲ發シ虛ニ乘シテ、大活動ヲ開始シ、一方憲政派ニ於テハ、此類勢ヲ挽回センカ爲メ焦慮セルモ人力車全部ヲ政友派ノ爲ニ買收セラレ、遂ニ其目的ヲ達スル能ハサリシナリ、道路相傳ヘテ是レ警察ト政友派ノ謀合シ置キタル計略ナリシト云フ、斯ノ如ク一刻萬金ノ時機ニ際シ、無責任極マル警官ノ行動ハ其全般ニ涉ル遺リ口ニ照シ、故意ニ憲政派ヲ妨害スル奸計ナリシトノ非難ヲ被ルモ、恐ク

之カ辯解ノ辭ナカルヘシ 八來郡内駐在所巡查某々二名ハ今回ノ選舉ニ關シ憲政派ノ違反行爲ハ極力ノカ搜查檢舉ニ努力スヘキモ、政友派ニ對シテハ可成追窮セサル方針ヲ執ルヘキ内命ヲ受ケタルヲ自白セリ(氏名ハ特ニ掲記セス)

其四 政府黨ノ違反行爲ヲ等閑ニ附ス 憲政派ニ對スル檢舉ノ方針深酷ヲ極メタル事例ハ、尙多々列舉シ得ヘキモ姑ク簡ニ附キ之ヲ省略センカ、政府黨ニ對スル處置振リハ全然之ト異リ其犯跡明瞭ナル事件ト雖モ之ヲ不問ニ附シタル事例甚多シ今其二ヲ掲ケンニ

(一) 政友派島田候補ノ推薦連名者中ニ三四名ノ不承諾者アリ、現ニ其一人ハ憲政派石田候補ノ運動者ニシテ、他ノ一名ハ他行不在中ニテ未承諾者タル事明瞭ナルニ拘ラス、之ヲ密告セルモ、選舉後ニ到リテ之ヲ檢舉スルモ敢テ遲カラスト言ヲ左右ニ托シテ採用セス、而モ選舉後ノ今日ニ至ルモ尙何等調査ヲ行ヒタル形跡ナシ

(二) 昨年補缺選舉ノ際、憲政派運動員八東郡來待村土江源吉ハ政友派運動者武田來次郎ト村内ニ於テ競争ヲ避クル爲買收方ノ妥協ヲ爲シ、來次郎ヨリ二十圓ヲ受取リタル事實アリ、此度憲政派ノ違反事件檢舉セラル、ヤ、彼レ取調ヲ受クルニ際シテ此事實ヲ陳述シタルモ警官及檢事ハ之ヲ聞流シ毫モ取調ヲ行ハス、之ヲ憲政派ノ補缺選舉ニ關スル事件ノ檢舉ノ狀況ニ比スレハ、彼此其取扱ヲ異ニセルヲ觀ルヘシ

第二十七 長崎縣ニ於ケル干渉事例 長崎縣ニ於ケル選舉干渉ノ狀態ハ、亦極メテ峻烈ニシテ選舉界空前ノ出來事ナリト認メラル
其一 多數ノ變裝巡查 憲政派ハ各候補ノ各地事務所ニハ、毎日刑事又ハ平服巡查ヲ出入セシメ、往々事務所附近ニ車夫、職工、農夫又ハ書生體ニ變裝セシメタル巡查ヲ配置シ、運動員ノ出入ヲ監視シ且ツ其往來ヲ尾行セシメタルカ政友派ニ對シテハ此事ナシ
其二 巡查ノ名刺配布 警察官ヲシテ有權者ニ就キ何人ニ投票スルヤヲ訊問セシムルハ無記制ノ本旨ニ反シテ不都合ノ事ナルカ、各地到ル處之ヲ實行セルノミナラス、甚シキニ至ッテハ駐在

所巡查自ラ政友會候補者ノ名刺ヲ有權者ニ配布シタル事實アリ、現ニ西彼杵郡時津村ニ於ケル
證跡歷然タルモノアルモ、當局者ハ之ニ對シテ何等ノ制裁ヲ加ヘタル所ナシ
其三 不法監禁 左記ノ者等ハ總テ被告ト爲ラサリシニ拘ラス、東白杵郡早岐警察分署ニ於テ
短カキモ三晝夜長キハ六晝夜ニ互リテ不法ノ監禁ヲ行ハレタリ

自四月二十四日午後一時	百六時間	松本 福壽
至同 二十八日午後十一時	百九時間	力武 袈裟利
同 二十四日午前十一時	百三時間	山村 五郎
同 二十四日午後三時	八十三時間	福留 七次
同 二十四日午後七時	八十二時間	西川 慶太郎
同 二十四日午後六時	七十五時間	中尾 今朝治
同 二十四日午後六時	百六時間	神崎 作之介
同 二十四日午後十一時	百四十五時間	神崎 作之介
同 二十七日午前九時	百二十九時間	鳥羽 國太郎
同 二十七日午前九時	百七時間	田中 貞太郎
同 二十七日午後六時	八十時間	林 善充
同 二十八日午前八時	八十二時間	山川 龍作
同 二十八日午前九時	百二十二時間	迎 喜平

此外早岐分署ニテハ、喜多川榮治外十名ヲ拘留スルニ先チ八十時間乃至百時間令狀ヲ發セス

シテ監禁シタリ
其四 橋本候補ニ對スル壓迫 佐世保市ノ橋本派ニ對スル檢舉ノ峻烈ナリシ事ハ何等確實ナル
證跡ナキニ拘ラス、唯一片ノ投書ヲ基礎トシ、四月二十五日早朝ヨリ日没迄ニ五十七戸ノ家宅搜
査ヲ行ヒ何等得ル處ナカリシ事實アリ
殊ニ同候補ニ對シテハ、選舉後其信書電報ヲ抑留シ遲著延著頻々トシテ起リ、同人ノ營業上多
大ノ迷惑ヲ與ヘタルノミナラス、同候補氣付ノ他人ノ信書ヲ檢事局ニ於テ開封シタル不法ノ事
實アリ

第二十八 兵庫縣ニ於ケル干渉事例
其一 清野兵庫縣知事、前代議士多木久米次郎ヲ懲罰シテ松本候補ヲ應援セシメタル事
四月十一日、後藤内相來神ノ際、政府黨候補者松本誠之ノ懇請ニ依リ清野知事ニ命ヲ下シ、同知
事ハ前代議士多木久米次郎ヲ官邸ニ招致シテ内相ノ旨ヲ承ケ松本候補應援ノ事ヲ懇囑セリ
此事實ハ多木家ノ同族ニシテ且ツ久米次郎ノ腹心タル多木増次郎カ兵庫縣國民黨候補者中川
孝太郎其他ニ對シ自白セル所ニシテ、疑ヲ容ル、餘地ナシ、果然十四日以後ニ至リ多木ハ無關係
ナリシ松本候補ノ爲、多數ノ使用人親戚知己ヲ集メテ遽カニ大活動ヲ開始シ、殆ムト松本候補得
票ノ半ハ多木ノ應援ニ依リ獲得シタルモノニシテ其結果辛フシテ當選圈内ニ入ルコトヲ得タリ
左ニ參考ノ爲大阪朝日新聞四月十四日夕刊記事ヲ掲グ

○兵庫縣ノ選舉干渉
△後藤内相ノ旨ヲ受ケテ
『曩ニ兵庫縣郡部ヨリ出馬セントシ根據地郡民多數ヨリ、御用候補ノ理由ヲ以テ手痛キ反對ヲ
受ケタル爲遂ニ已ムナク立候補ヲ斷念シタル前代議士多木久米次郎氏カ、十一日午前十時頃來神
清野兵庫縣知事ヲ官邸ニ訪問シ、密談數刻ニシテ辭去シタルコト、時節柄世ノ注目ヲ惹キ、或ハ
清野知事カ後藤内相ノ旨ヲ受ケテ多木氏ノ出馬ヲ懲罰シタルニアラスヤトノ説傳ヘラレ居タル
カ、十四日ニ至リ、右ハ清野知事カ後藤内相ノ旨ヲ承ケテ多木氏ヲ官邸ニ招キ、郡部ニ於ケル御

用候補松本誠之氏ノ應援ヲ懇囑シタルコト暴露スルニ至レリ、即チ政府ニ於テハ何トカシテ兵庫縣ヨリ純然タル御用議員ヲ一名ニテモ立タセントシ、清野知事カ旨ヲ承ケ先般來警察部ニ命シテ選舉形勢ヲ調査研究シタル結果、御用候補松本誠之、柴原龜二兩氏中、松本氏ノ勢力存外優勢ナルモノアルヨリ、若シ多木久米次郎氏ヲ援ケシメハ、或ハ松本氏當選スルヤモ知レズ、松本氏當選セハ最モ弱キ憲政會ノ唐端清太郎氏落選スヘケレハ、一舉兩得ナリトシ、種々畫策中去ル十日後藤内相來神ノ際、松本誠之内相ヲ「トアホテル」ニ訪ヒ、既ニ二千票獲得ノ見込ハ確實トナリタレハ、此上一千票ヲ得レハ當選疑ヒナキモ、此儘ニテハ到底一千票獲得ノ見込立タズ、若シ多木久米次郎氏ノ應援ヲ得ルナラハ當選確實ナリトテ、内相ヨリ多木氏ヲ動かスヘク哀訴スルニ至リ、彼此レ謀議ノ結果、遂ニ清野知事ガ後藤内相ノ旨ヲ承ケテ多木氏ヲ招キ、松本氏應援ノ依頼ヲナスニ至リシ次第ニテ、多木氏ハ或ル條件（一説ニハ加古川改修問題ナリト云フ）ノ下ニ之ヲ承諾シ、同日午後歸郡スルヤ、晝夜兼行ノ有様ニテ人眼ヲ避ケツ、殊更ニ辻車ヲ選ヒテ、加古、印南兩郡ノ有志ヲ訪問シ、十四日ノ如キ大飛躍ヲ試ムニ至レリ、斯クト知リタル憲政、國民兩派ハ勿論、心アル選舉民ハ清野知事ノ陋劣ナル選舉干渉ヲ憤慨シ居レリ」

其二、取締上偏頗ナル處置、憲政派ニ對シテハ、小事細故ヲ口實トシテ其運動員ヲ喚問拘束シ、若シクハ之ヲ途上ニ擁シテ懷中ヲ搜索シ身體ヲ検査スル等不當ノ處置ヲ行ヒタルニ拘ラス、人格信望自ラ世間ノ定評アル政府黨候補松本誠之ノ選舉事務所及其運動員ニ對シテハ、何等ノ警戒ヲ加ヘタルコトナク却テ其運動主腦者ニ對シ、私カニ援助ヲ與ヘタリトノ風評盛ナルカ如キ、深ク穿鑿スル迄モ無ク、取締上公平嚴正ノ態度ヲ缺ケルコトヲ推知シ得ヘシ、殊ニ此事實ハ篠山警察署長森口警部ノ所管内ニ於テ最モ著シカリシモノ、如シ

之レヲ證明シ得ヘキ事例ハ多々アルモ煩瑣ニ涉ル嫌アルカ故茲ニ之レヲ省ク

第二十九 富山縣中新川郡立山村長金山從革解職問題ノ件 大正六年三月二日中新川郡長ハ町村長ヲ召集會同シテ、衆議院議員選舉ニ關スル訓示ヲ爲シ、且ツ兩大臣訓示ノ要旨ヲ朗讀シタルニ際シ、立山村長金山從革ハ首相及内相ノ訓示ニ關シ質問ヲ試ミ、從來衆議院解散ノ都度政府ノ

訓示アリタルモ、今回ノ如キ前内閣ヲ誹謗シテ稅政百出ト迄之ヲ攻撃シ、又多數黨ヲ貶シテ少數黨ヲ褒揚援護シ、多數黨ニ對シテ全然挑戰的態度ヲ示シタルモノハ前例ナキノミナラス、内閣組織當時聲明セラレタル秉公持平ノ趣旨ニ反スルコト甚シ、斯ノ如ク不當矛盾ノ訓示ニ基ク郡長ノ訓示ハ、之ヲ郡民ニ周知セシメ難キコトヲ痛論シ、郡長ヨリ充分満足ナル説明ヲ與フルニ至ル迄該訓示ニ關スル處置ハ之ヲ後廻シト爲スヘキコトヲ主張シタリ、列席ノ町村長中内金山村長ト同一ノ意見ヲ有シタルモノ尠ナカラサリシカ何人モ更ニ發言ヲ繼續スルモノナカリシヲ以テ同會議ハ有耶無耶ノ裡ニ終了シタリ、然ルニ此事富山日報北陸タイムス等新聞紙上ニ掲載セラレタルヲ以テ、郡長ハ該記事取消ノ手續ヲ爲シ、一面各町村長ニ對シ郡長ノ訓示ハ後廻シト爲ラサリシ事ヲ通牒シタリ、爾後郡長及金山村長トノ間ニ押問答アリタル後、金山村長ハ追テ充分ノ説明ヲ得ルニ至ル迄該訓示ヲ服膺シ且ツ之ヲ施行スルニ由ナキ事ヲ申立タリ、是ニ於テ本件ハ將ニ同縣町村吏員懲戒審査會ノ議ニ附セラレ、金山村長ニ對シ解職處分ヲ決行セラレムトシタルヲ以テ、金山村長ハ之ニ先チ斷然其名譽職ヲ辭スルノ手續ヲ取レリ

然ルニ元來金山家ハ、舊藩以來庄屋ヲ勤メシ名家ニシテ祖父及父ノ兩代戸長ノ職ヲ奉シ、同人亦町村制施行以來現時ニ到ル迄二十九年間勤績ノ村長ニシテ、同村自治事務ニ貢獻シタル功績顯著ニ其德望一村ヲ覆フモノナレハ、同村會ニ於テハ彼ノ辭任ニ拘ハラズ直ニ之ヲ再選シタルモ、監督官廳ハ其認可權ヲ振廻ハシテ彼カ就職承諾ノ意志ヲ翻サシメントシ、目下同村自治機關ノ運用上苦々シキ現況ヲ見ルニ至レリ

蓋シ兩大臣訓示ノ内容ハ下ニ掲クル中新川郡長ノ訓示ト共ニ、何レモ政治上ノ意見ニ過キスシテ行政事務ノ範圍外ニ屬ス、從ツテ行政事務ヲ擔任スル行政官吏及市町村長等ノ關與スヘキ限リニアラス、畢竟之レ上司ノ職權ヲ濫用シテ職務外ノ行爲ヲ市町村長ニ強イタルモノナレハ、金山村長カ特ニ充分ノ説明ヲ得ルニ至ルマテ斷然之ニ服從スヘキモノニ非ラサル事ヲ主張セルハ正當ノ行爲ニ屬ス、然ルニ縣當局ハ中新川郡長ガ各町村長ニ對シテ爲シタル衆議院議員總選舉ニ關スル訓示ハ、監督官廳タル郡長ノ當然ノ權限ニ屬シ、被監督者タル町村長ノ任意ニ拒否シ

得ヘキ性質ノモノニアラストノ理由ノ下ニ、解職處分ヲ以テ彼ニ迫リタルハ、畢竟全國ノ市町村長ヲ驅リテ政府黨ノ爪牙タラムコトヲ強ヒ、之ヲ肯諾セサルモノハ悉ク之ヲ懲戒的ニ解職スヘシトイフニ等シク、之ヲ法制上ノ理論ニ見ルモ、將又之ヲ常識ノ判斷ニ訴フルモ豈ニ立憲治下ニ於ケル一大怪事ナラスヤ

左ニ參考ノ爲メ中新川郡長ノ訓示ヲ掲載ス、之ヲ一讀スレハ、婉曲ニ政府黨ニ賛成シ反對黨ヲ抑制セヨトノ意味言外ニ躍始タリ、即チ是レ郡長カ選舉事務ニ關シ與ヘラレタル權限ヲ踰越シタル不當ノ訓示タルコト異議ヲ挾ム餘地ナシ

○中新川郡長カ管内町村長ニ與ヘタル訓示

今同諸君ノ會同ヲ煩ハシタルハ、郡市長會議ニ於ケル長官訓示ノ趣旨ニ併セ事務上ニ付各位ノ留意ヲ求メントスル爲ナリ

方今世界ノ戰亂ハ正ニ酣ニシテ列國ノ興廢窺ヒ知ル能ハサルモノアリ本邦ハ戰ヒノ中心ヲ離ル、コト遠キノ故ヲ以テ幸ニ安ヲ貪リ往々ニシテ兵火ヲ知ラサルカ如キ感ナキニアラスト雖戰後ノ影響ニ想到セハ國運ノ消長ニ關シ轉々寒心ニ禁ヘサルモノアルヘシ歐洲列國ハ今ヤ危急存亡ノ繫ルトコロ日夜研鑽シテ須臾モ怠ルナク精銳ナル軍器ノ發明ヲ始トシ百般ノ科學工藝駁々トシテ進ミ其隆運刮目シテ見ルヘキモノアリ之ヲ開戰當時ニ比スレハ實ニ隔世ノ感アルカ如此時ニ當リテ獨リ我國ハ平靜ニ慣レ管輸出超過ノ好況ニ甘ニスルニ於テハ戰後殺到スヘキ經濟ノ競争ニ於テ蓋シ戰慄ヲ禁スル能ハサルヘシ今日内ニ鬪キテ蝸牛角上ノ爭ヲナスヘキニアラサルコトハ上下均シク痛切ニ其所感ヲ共ニス舉國一致ノ必要ハ今日ニ於ケルヨリ更ニ適切ナル時ハアラサルヘシ赤誠國ニ奉シ拮据經營寢食モ尙且之ヲ忘ルヘキトキハ今日ヨリ急ナルハナカルヘシ然ルニ此時ニ當リ不幸ニシテ議會ノ解散ヲ見ルニ至リタルハ實ニ遺憾トスル所ナリ

内閣總理大臣並ニ内務大臣ノ地方官ニ對スル訓示ハ別冊ニヨリテ明ナルカ如ク政變ノ由テ來レリ所以ヲ彼シ議會ノ解散ノ實ニ已ムヲ得サルニ出テタルコトヲ闡明シ適當ナル輿論ノ向背ニ依リテ國家ノ大計ヲ立テんコトヲ思惟セラル、モノナリ之レ蓋シ亦誠ヲ披瀝シ滿腔ノ所見ヲ吐露セラレタルモノト信ス

選舉界ノ肅清ヲ圖ルハ社會ノ要望ナリ今回ノ選舉ヲシテ後日ノ範タラシメントスルハ現内閣ノ誠實ナル希望ナリ選舉ノ公正ニ依リテ眞ニ輿論民意ノ所在ヲ知リ穩健ナル國民ノ自由意思ニ基キテ國家選良ノ選出セラレンコトヲ望ムヤ切實ナリ諸君ハ本官ト共ニ選舉事務ニ軼掌スルノ任ニアリ細心ノ注意ヲ拂ヒ部下ヲ督勵戒飭シ斷シテ過ナキヲ期セシメ忠實事ニ當リ最善ノ努力ヲ爲シ靜穩ニ選舉ヲ終了センコトヲ期待ス

第三十 其他各府縣ニ於ケル干渉事例

憲政派ニ對シテハ種々ノ手段ヲ弄シテ多大ノ壓其一 北海道函館區ニ於ケル當局者ノ不公平 憲政派ニ對シテハ非常ニ寛大ナル取扱ヲ爲シタル事前掲各地追ヲ加ヘタルモ反之政府黨タル佐々木派ニ對シテハ非常ニ寛大ナル取扱ヲ爲シタル事前掲各地ノ状態ト相等シ。例之(一)平出派稻垣榮吉ガ工藤吉藏ナル者ニ對シ「選舉ガ濟メハ一極飲セルカラト戲言半分ノ言ヲ爲シタル事實ヲ捉ヘテ之ヲ糾問シ遂ニ略式命令ヲ以テ罰金七拾圓五箇年間選舉停止ノ處分ニ處シタリ、然ルニ(二)同人ニ對シ佐々木候補ノ須田長吉カ「君ノ身分モ知レルコト故只テハ運動サセヌ、又運動上如何様ノ事起ルモ當方ニ於テ引受ケル故是非頼ム」トノ言アリシモ、之ヲ不問ニ附シタリ、又(三)佐々木派ノ推薦狀ニ石川清其他多數ノ未承諾者アリシハ明白ナル事實ニシテ、之ヲ告訴シタルモ取上ケサリシ、(四)佐々木派幹部員堤清六商會ニテハ、商取引ノ關係ヲ利用シ有權者ヲ誘導セルカ、就中鎌重函館支店ニ對シ、同派ヲ援助セサルノ故ヲ以テ其註文ヲ取消シタル事實アルモ尙之ヲ檢舉スルニ至ラス(五)其他佐々木派ノ違反行爲ト認ムヘキ事件尠カラサリシヲ以テ、一々具體的ニ其關係者ノ住所氏名場所ハ勿論其状態ヲ詳記シ警察署又ハ檢事局ニ交渉ヲ重ネタルモ、總テ之ヲ不問ニ附シ去リタルハ、誰カ之ヲ公平嚴正ノ處置トイフヲ得ムヤ

事實ヲ基礎トシテ巡查部長宇井貞治郎ヲ介シ、其承認ヲ得テ直ニ之ヲ曦分署長加藤金藏ニ上申
 告訴シタリ、然ルニ署長ハ此明白ナル事實アルニ拘ハラズ、篋子、相川兩人ヲ喚問スルニ際シ、豫
 メ兩人ニ對シ有利ノ口述ヲ内示シテ起訴事實ヲ湮滅ニ歸セシメタリ、同巡查ハ署長ノ措置ヲ憤
 慨シ目下辭表提出中ニ屬スルモ、未タ何等ノ沙汰ニ接セストイフ
 其三 福島縣實業團ト後藤内相 曩ニ福島縣須賀川町熊田榮作及同郡仁井田村吉田武七外數名
 等相謀リテ一信託會社ヲ須賀川町ニ創設シタリシカ、大正五年七月ニ至リ之ヲ一大銀行ニ引直
 スノ計畫ヲ樹テ、大藏省ニ向ヒ許可ノ運動ヲ試ミタルモ其目的ヲ達セザリシナリ、然ルニ内閣ノ更
 迭ト共ニ、後藤内相カ須賀川町ニ縁故深キヲ頼リトシ、大正六年三月前記熊田吉田等内相ニ對シ銀行
 設立ノ許可ヲ懇請シ、且ツ之ト同時ニ福島縣南實業團ナルモノヲ組織シ之ヲ總選舉ニ利用スル
 ノ默契ヲ爲シタリ、是ニ於テ該實業團ハ咄嗟ノ間ニ創設セラレ四月十日其發會式ヲ舉行スルニ
 當リ、内相ハ特ニ前田祕書官ヲ臨席セシメテ内相ノ祝辭ヲ代讀セシメタリ、翌十一日直ニ評議員
 會ヲ開キテ候補者選定ノ議ヲ進メ、當初ハ杉原榮三郎ヲ舉クル目的ナリシカ勝算ノ見込充分ナ
 ラサリシヲ以テ、會津方面ニ於ケル中立候補者中野寅吉ヲ援助シ、以テ内相ノ希望ニ添ハシコト
 ヲ期シタリ、而シテ該實業團ノ成立及爾後ノ活動ニ要セル費用ハ素ヨリ其所不明瞭ナリト雖
 トモ想像外ニ多額ニ上リタルモノ、如ク、隨ツテ其選舉運動頗ル露骨ナリシ結果警察方面ニ於
 テモ之ヲ不問ニ附スルコト能ハス、四月十五日團長以下幹部若干名ヲ檢舉スルノ已ムナキニ至
 リタリ、畢竟本團ハ銀行設立ノ目的ヲ基礎トシ、産業振興ノ美名ノ下ニ仙臺自治團ト同工異曲ノ
 計畫ニ依リ、堂々タル政治的公爭ヲ避ケテ、陰密ノ間ニ政府與黨ノ製造ヲ企圖シタルモノタルコ
 ト明瞭ナリ、此事實ハ亦後藤内相ガ選舉干涉ノ目的ヲ達スルガ爲メニハ、如何ナル手段方法ヲモ
 擇ハサリシコトヲ證シテ餘リアリ
 右ハ僅ニ其ノ一端ヲ指示セルモノニ過サルモ猶政府ノ暴戾ヲ表示シテ餘アリト認ム之ニ對スル
 政府ノ辯明如何

七月二日森田茂君ハ右質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ寺内、後藤、松室、岡田、田、仲小路各國務大臣
 ハ七月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

- 今回ノ衆議院議員總選舉ニ方リテハ政府ハ其取締ヲ以テ永ク後日ノ範タラシムコトヲ期シ取
 締ヲ嚴正公平ニシテ國民ノ自由意思ニ基キ選舉權ヲ行使セシメ法規ヲ勵行シテ選舉界ノ廓清ヲ
 努メタルモノニシテ質問主意書ニ云ヘルカ如ク政府反對黨ニ對シ干涉壓迫ヲ加ヘタルコトナシ
 乃チ
- 第一 寺内首相ノ訓示ハ議會解散前後ノ顛末ヲ縷述シテ政府ノ所見ヲ披瀝シ總選舉ニ際シテハ
 其ノ監督ヲ嚴正ニシテ法規ヲ勵行スヘキヲ訓示シタルモノニシテ毫モ質問主意書ニ云フカ如
 キ選舉干涉ヲ暗示シタルモノニアラス
 - 第二 後藤内相ノ訓示モ亦總選舉ヲ行フノ止ムヲ得サルニ至リシ實情ヲ明カニシテ其ノ所信ヲ
 述ヘタルニ過キス而シテ選舉取締ニ關シテハ至公至正一點ノ私曲ヲ挾マス嚴ニ部下ヲ戒飭シ
 テ其ノ態度ヲ公明ニシ荷モ疑惑ヲ容ル、ノ餘地ナカラシメ今回ノ選舉取締ヲ以テ永ク後日ノ
 範タラシメンコトヲ期スル旨ヲ述ヘタルモノニシテ之ヲ以テ選舉干涉ノ意思ヲ露骨ニ表明シ
 タルモノナリト云フ 全ク誤解ナリ
 - 第三 大臣訓示ノ徹底ヲ圖ルヘキハ官吏當然ノ職責ナルヲ以テ政府ハ之カ勵行ヲ期シタルハ勿
 論ナリト雖モコノ訓示タルヤ上述ノ如ク何等選舉干涉ヲ意味スルコトナク只總選舉ヲ行フニ
 至リタル實情ヲ明カニシテ取締ノ嚴正ナルヘキヲ述ヘタルモノナレハ地方長官ヲシテ之カ徹
 底ニ努メシムルノ不可ナルヘキ理由ナク之カ爲ニ官紀ヲ紊リタルヲ認メス又官吏ヲ舉ケテ干
 涉ノ爪牙ト爲シタルモノニアラサルヤ言フ俟タズ而シテ質問主意書ニ列舉セル事項ノ如キモ
 何等選舉干涉ト目スヘキモノニアラス官吏ノ出張ハ皆必要ナル事務ノ視察ノ爲之ヲ命シタル
 モノニシテ之ヲ以テ干涉ノ手段ト爲シタリト云フカ如キハ全ク事實ヲ誤レルモノナリ知事、郡

長ノ管内巡視ニ際シテモ反對黨壓迫ニ最メシメタルコトナク又警察官吏ヲシテ有權者ニ説示セシメタリト云フハ違反豫防ノ爲メ選舉法罰則ノ趣旨ヲ周知セシメシモノニシテ反對黨ニ投票スヘカラスト説キ廻ラシメタルカ如キコト全然無ク又上長官ノ權威ニ依リ部下官吏ヲ脅迫シテ政府黨候補者ニ投票セシメタルカ如キ事實ナシ

第四 選舉取締方ニ關シテハ今回ノ總選舉ニ際シ候補者運動者等ハ皆取締ノ大ニ嚴重ナルヘキヲ豫期セシモノ、如ク選舉運動者間ニ於テハ選舉期日間際ニ買収ヲ斷行スレハ或ハ檢舉セラレ、者ヲ生スルモ投票ノ無効トナルコトナキヲ以テ當選ヲ期スルカ爲メニハ危險ヲ冒シテ斷シテ最後ノ買収ヲ行フヲ可トストノ風説盛ナリシヲ以テ之カ豫防取締ニ付テハ一層ノ注意ヲ加ヘ居リタルトキ偶々憲政會ニテハ大買収ノ計畫アルヤノ聞ヘアリ且ツ憲政會ニテハ(前略)「我黨ハ其ノ機先ヲ制スル爲メ十六七日頃ヨリ十八日正午迄攻勢ヲ執リテ我カ爲スヘキコトヲ爲シ了リ」云々又(前略)「候補者ハ運動費ヲ自己ノ信用スル者ニ交付シテ其ノ支出ニ關スル幹部會ニハ一切出席セサルコト、當選後ノ代議士ノ失格ハ皆之レカ禍因ト爲リ居レリ(中略)往復文書ハ其ノ要件ヲ速ニ解決シテ悉ク燒棄スルコト(中略)競争ハ彌、第二期戰ニ移ラントス然ルニ最後ノ勝利ハ勇斷ノ二字ニ存ス斷シテ行ヘハ寺内内閣何カアラン政友會何カアラン」云々等ノ別紙添付ノ如キ同會本部ヨリノ通牒アリタルノ事實明白トナリタルヲ以テ各府縣ニ訓令シテ取締ヲ嚴シシ必要アル場合ニハ黨派ノ如何ヲ問ハス疑ハシキ者ニ對シテ尾行ヲ付スル等機宜ノ方法ヲ講シテ犯罪ヲ豫防スヘキヲ命シタルモノニシテ特ニ憲政會派ニ對シテノミ取締ヲ嚴シシ又ハ尾行ヲ付スヘキヲ命シタルモノニアラス

第五 取締ハ上述ノ如ク黨派ノ如何ヲ問ハス勵行シタルモノナリ而シテ檢舉拘引喚問等ハ違反行爲アリ若ハ其ノ疑アルモノニ對シテ之ヲ行フモノナルコト勿論ナルヲ以テ不正行爲ノ如何ニ因リ或ル候補者ニ多ク他ノ候補者ニ少キ場合ヲ生スヘキハ當然ノコトニ屬ス敢テ故ラニ寬嚴ノ差別ヲナシタルモノニアラサルハ言フ俟タス尾行ノ如キモ亦犯罪豫防上必要ナル場合ニノミ之ヲ付シタルモノニシテ擬似刑事ヲ使用シタルカ如キコトナク又有權者ヲ威嚇シ其ノ

自由意思ヲ抑制シ若クハ或ル運動者ノ請托ヲ行フニ便ナラシメタル等ノ事實ナシ而シテ宮崎縣ニ於テ選舉期日前憲政會派ニ對シテノミ檢舉ヲ爲シタル事實ナシ

第六 印刷物ニ就テハ質問主意書ニ列舉セルモノ、中「議會解散ニ對スル現内閣ノ方針」ヲ適當ノ向ニ配付セシメタルノミ、此ノ印刷物ハ兩相訓示及訓示ノ理由ノ説明ヲ掲載シタルモノナラテ以テ政府ノ解散ヲ行ヒタル主旨ヲ明ナラシムル爲メ之ヲ適當ノ向ニ配付セシメタルハ敢テ不當ニアラス又干渉ニモアラス其ノ他ノ印刷物ニ至リテハ政府ノ關スル所ニアラス又公ノ機關ヲ通シテ之ヲ配付セシメタルノ事實ナシ而シテ質問主意書ニ警察官ヲシテ配付セシメタルト云ヘルハ恐ラクハ選舉罰則ヲ平易ニ説明シタル「選舉ニ就テノ心得」ヲ大正四年總選舉ノ際ニ於ケルト同様有權者ニ配付セシメタルノ印刷物又ハ憲政會ヲ批難セル印刷物等多數

第七 官吏ノ出張ハ皆必要事務ノ爲メニシテ内務大臣ハ出張中選舉干渉ヲ教唆シタルコトナク其ノ他列舉ノ官吏モ選舉運動ニ參畫奔走シタルコトナシ又政府ハ各省所屬官公吏ニ對シテハ全ク其ノ自由ノ意思ニ依リテ選舉權ヲ行使セシメ決シテ之ニ干渉シタル事實ナシ

第八 選舉競争ノ激甚ナル地方ニアリテハ下級警察官ハ日夜東西ニ奔走シ最モ繁劇ナル勤務ニ從事スルヲ以テ之ニ對シ相當ノ手當ヲ給スルハ毫モ差支ナキモノト認ム

第九 ニ對シテハ特ニ辯明ノ要ヲ認メス

第十 後藤内務大臣ハ個人トシテ仙臺自治團ニ金千圓ヲ寄附シタル事實アルモ何等選舉ニ關スルモノニアラス

第十一 岡田文部大臣ハ教育者モ亦選舉權ヲ尊重シテ棄權スルカ如キコト之レナカルヘキ旨ハ之ヲ訓達セリト雖モ全國教育關係ノ官公吏ニ對シ不謹慎極マル命令ヲ發シ又名ヲ教育講演ニ藉リ學校職員官公吏集會ノ席上ニ於テ政府黨候補者ノ推薦演説ヲ爲シタルコトナク松浦五兵

衛ノ爲メニ個人トシテ知人ニ對シ依頼狀ヲ發シタル事アレトモ同人及奥田龜造ノ爲メニ應援演說ヲ試ミタル事實ナシ又本莊太一郎ノ應援ニ關シテハ同人ハ前内閣ノ時ニ於テ中學校長ニ任セラレ現ニ本年三月ニ至ル迄勤續シタル者ナルカ故ニ個人トシテ之ヲ推薦シタルハ何等ノ都合無シト信ス太田川改修工事費國庫補助ノ件ニ關シテハ質問主意書ニ記載スル處ハ事實相違ノ廉甚タ多シ太田川、原ノ谷川兩川堤防ノ修築ニ就テハ鐵道院ニ於テ相當ノ費用ヲ該工事ノ爲ニ補助スルノ約束曩ニ成立シ而シテ該地方ニ於テハ縣ノ補助ヲ受ケテ其ノ工事ニ著手セリ然ルニ鐵道院ニ於テハ土地ノ調査等ノ爲メ補助ヲ與フルコト遷延セシヲ以テ地方有志大ニ之ヲ憂ヘ議會解散前岡田文部大臣歸郷ノ際縷々陳情スル所アリタルモ之ニ對シテハ鐵道院ニ於テ既ニ内約アル以上決シテ之ニ違フコトアルヘキ筈ナキ旨ヲ說示シ置キタリ、越テ本年三月歸郷ノ際地方有志再ヒ來訪シ鐵道院ヨリ何等ノ通知ニ接セサルヲ以テ地方公益ノ爲同院ニ催告ヲナサンコトヲ懇請セルヲ以テ歸京後個人トシテ鐵道院當局者ニ問合セタルニ前約通り補助スヘシトノコトナリシヲ以テ此趣ヲ地方有志ニ通知セルニ過キス事實以上ノ如クニシテ本件ヲ總選舉ニ利用セルカ如キコトナシ

第十二 川村青森縣知事カ赴任後間モナク管内警察官ノ交代ヲ行ヒタルハ事務上ノ都合ニ依ルモノニシテ選舉事犯ノ檢舉ニ付テハ黨派の偏頗ノ行動ヲ認メス其ノ一五所川原警察署長成田警部ニ對シ休職ヲ命ジタルハ事務上ノ都合ニ依ルモノニシテ議員選舉ト何等ノ關係ナシ其ノ二選舉取締ニ關シテハ政黨派ノ區別ナク何レニ對シテモ公平嚴肅ニ之ヲ勵行シタルモノニシテ川村知事ハ何レノ黨派トモ通謀謀合シタルコトナシ而シテ外川平八ハ候補者菊池良一ノ參謀運動者ニシテ自宅ニ於テ同派運動者木村惣之助中田彌市ニ對シ一人當四十錢ノ饗應ヲ爲シタル違反事實ニ依リ外川平八ハ罰金五十圓木村惣之助ハ罰金二十圓何レモ五箇年間選舉權被選舉權禁止ノ言渡ヲ受ケ已ニ確定シタルモノニシテ取締ヲ勵行シタルノミ其ノ三前陳ノ如ク警察官吏ノ異動ハ事務ノ都合ニ依ルモノナリ其ノ四川村知事ニハ選舉ニ關スル運動行爲ナシ其ノ五郡長ニ就テモ亦同シ

第十三

川口秋田縣知事ハ選舉取締其ノ他ニ關シ何レノ政黨派トモ謀議交渉シタルコトナシ其ノ一四月十六日田中候補ノ運動者永井喜久治ノ違反事件ヲ探知スルヤ所轄秋田警察署ハ直ニ搜查ニ著手シ各關係者取調中永井ハ早クモ之ヲ覺知シ累ノ自己ニ及フヲ恐レ逃走踪跡ヲ晦マシタリ於是秋田警察署ハ巡查部長其ノ他三名ノ巡查ヲシテ極力其ノ所在搜索ニ專從セシメタルモ直ニ之ヲ發見スルコト能ハスシテ豫審判事ノ令狀ヲ執行スルヲ得サリシハ聊カ遺憾ノ點アリシカ引續キ極力搜查繼續中四月二十日投票場閉鎖間際ニ至リテ漸ク發見シ勾引狀ヲ執行シタルモノニシテ秋田署ハ決シテ令狀ノ執行ヲ躊躇遂巡シタルニアラス發覺シタル違反行爲ニ對シテハ黨派ノ如何ニ依リ之ヲ曲庇シタルカ如キコトナシ又警察署ト司法當局ト確執シテ檢事局カ警察ノ行動ニ信任ヲ拂ハサリシ等ノコトナク總檢事正カ川口知事ニ對シ巡查カ犯人ノ檢舉罪跡ノ搜查ヲ行フ能ハスハ憲兵ヲ以テ之ニ代ユルノ外ナシトノ旨ヲ致シタル事實ナシ其ノ二ニ就テハ特ニ辯明ノ要ヲ見ス其ノ三知事郡長ニハ不當ノ行動ヲ認メス

第十四

滋賀縣ニ就テハ中央政府カ同縣知事ヲ強要シ官權ヲ濫用シ選舉干渉ヲ行ハシメタル等ノ事實ナシ而シテ同縣太上有志ハ何レノ黨派ニモ屬セサル中立候補ヲ推薦スルヲ以テ自郡ノ利益ナリトシ會合協議ノ結果吉田羊治郎ヲ中立候補トシテ推薦スルニ至リタルカ本人ハ一旦候補ヲ辭退セリ然ルニ吉田ノ起否ハ滋賀縣郡部選舉界ニ至大ノ關係アルヲ以テ各派注目ノ焦點トナリ憲政會派ハ吉田ヲ阻止セムトシ政友國民ノ兩派ハ互ニ各自派ヨリ立候補セシムトスル等凡ユル手段ヲ以テ勸誘ヲ試ミ又ハ壓迫ヲ加フルノ狀況ナリシヲ以テ選舉界ノ狀勢視察ノ爲前田警部又ハ山本警部等ヲ時々派遣シタルコトアルモ吉田ノ立候補ニ關シ容喙シタルコトナシ吉田ハ一旦立候補ヲ辭退セシモ同郡有志ノ勸誘切ナルモノアリテ終ニ之ヲ承諾スルニ至リタルモノナリ又野洲郡井狩彌左衛門ノ立候補談ハ政友會滋賀縣支部ニ於テ前ヨリ從憲シツハアリシモノニシテ何人ニモ井狩ノ立候補ヲ從憲セシメタルコトナシ又梶巡查部長ニ對シテハ各郡選舉狀況視察トシテ絶ヘス出張セシメ居タルカ偶々栗太野洲兩郡出張ノ途次井狩彌左衛門ノ親族井狩彌太夫ヨリ候補談ノ經過ヲ聽取シタルコトアルモ是亦井狩立候補勸誘ノ爲出

張セシメタルコトナシ而シテ中立候補者ノ當選盡力ニツキ内命ヲ下シタルコトナシ其ノ他列
舉ノ事項ニ就テハ答辯ノ要ナシト認ム

第十五 宮崎縣ニ於テモ官邊ノ干涉壓迫ノ事實ナク何レノ黨派トモ策應セルコトナシ其ノ一四
月十五日三浦事務所ニ至リ會計帳簿ヲ領置シ二三ノ關係者ヲ取調ヘタル事實アルモ不法ニ家
宅搜索ヲ爲シタル事實ナク又質問書記載ノ如キ不當ノ訊問若クハ拷責ヲ爲シタルコト斷シテ
ナシ而シテ右取調ハ金錢供與事犯ノ捜査ノ爲メ之ヲ爲シタルモノニシテ其ノ結果柳田某外數
名ハ起訴セラレ何レモ有罪ノ確定判決ヲ受ケタリ其ノ二檢事カ略式命令ノ請求ヲ爲スニ當リ
被告人ニ對シ異議ヲ申立ツルトキハ收檻ヲ爲スヘキ旨ノ威嚇ヲ爲シタル事實ナク略式命令ニ
服シタルハ被告人ノ任意ニ出タルモノナリ科刑ノ當否ノ如キハ事實ノ外觀ノミニ依リテ云爲
スヘキモノニ非ス而シテ二十一日ニ三浦事務所ニ於テ不法ナル家宅搜索及身體檢査ヲ爲シタ
リト云フカ如キハ全然事實無根ナリ

第十六 愛媛縣ニ於ケル事例ニ就テモ選舉取締ニ關シテ殊更甲乙候補者ニ對シ取締上寬嚴ノ差
ヲ施シタルコトナシ

第十七 山口縣ニ於テモ取締上手心ヲ爲シタルコトナシ其一臨時雇入レノ多數刑事懷中ノ捕繩
ヲ示シテ憲政會ヲ威嚇ス其ノ二政府ニ反對スルハ皇室ニ反對スルモノナリトノ件ハ何レモ全
ク事實無根ニシテ其ノ四ハ政府黨ノ候補者ヲ援助スヘキコトヲ慫慂シタル事實ナク其ノ五永
田候補運動者三輪剛外十二名ハ報酬トシテ金錢受授ノ違反事件發覺シ審理ノ結果山本梅吉外
六名ハ何レモ已ニ罰金ノ言渡ヲ受ケ確定シ三輪剛外五名ハ審理中ニシテ犯罪ヲ認知シタルヲ
以テ取締上相當ノ措置ニ出タルモノニシテ殊更選舉運動妨害ノ意思ヲ以テ檢舉ヲ行ヒタルニ
アラサルハ勿論ナリ其ノ他ノ事項ニ就テハ特ニ辯明ノ要ナシ

第十八 東京府郡部ニ於テモ黨派ニ因リ偏頗ノ事跡ヲ認メス其ノ一北多摩郡調布町石井寅三選
舉違反事件ハ豫テ密告ヲ受ケタル同町駐在巡查ヨリ府中警察署長ニ報告スル所アリシモ元來
石井家富永家ハ同村內ニ於テ相對崎セル有力者ニシテ平素圓滿ナラサルヤノ風評アリ斯ル關

係ヲ生スルノ理由ニ付疑惑ナキ能ハス尙精密内偵ヲ遂ケシメタルモノニシテ決シテ警視廳ニ
於テ曖昧ニ葬ムルコトヲ命令シタルコトナシ其ノ二青梅警察署長以下ノ轉勤ハ事務ノ都合ニ
因ルモノニシテ選舉干涉ノ目的ニアラス

(一)久青梅警察署長ハ政友會派參謀岩沼光二郎ト一面識ナク勿論同人ト結托シテ憲政會派ノ
非違摘發ヲ試ミムトシタルコトナシ又荒井惣太郎岩根源次郎ノ兩名ハ西多摩郡調布町ニ於テ有
權者ニ對シ金錢ヲ交付シタル旨岩根自身ニ於テ他人ニ口外シタルコト其ノ他犯罪嫌疑事實ア
ルヲ探知シ捜査ニ著手シタルモノニシテ選舉運動妨害ノ意思ニアラス青梅署長ハ單ニ憲政會
派ニ限リ取締ヲ嚴重ニスヘキ旨偏頗ナル命令ヲ發シタルコトナシ(二)(三)(四)(五)ニ就テモ各派
ノ間ニ取締上ノ寬嚴ヲ加ヘタル事實ナク(六)三月十八日青梅署長ハ前田米藏政見發表演說會
場初音座ニ徒歩臨場シ偶然床次竹二郎ト入口ニ於テ出會シ一禮シタル事實アルモ其ノ他ハ一
切事實無根ナリ其ノ二ニ就テモ黨派ニヨリ偏頗ノ行爲ナシ其ノ四八王子警察署ニ於テハ(一)選
舉違反者取調ニ際シ不法ニ監禁シタルコト及取調主任長内警部カ尺器ヲ以テ同人ノ膝ヲ突キ
タルコト種々ノ暴言ヲ吐キテ自由ヲ強ヒタルコト護送中井上刑事カ威嚇シタルコト等更ニナ
シ火鉢ヲ供シタルハ當夜寒夜ナリシヲ以テ好意的ニ與ヘタルモノナリ而シテ小室兼次郎ハ選
舉ニ關シ響應ヲ受ケタル事實アルヲ以テ檢舉シタルモノニシテ末廣館主人夫妻ハ證人トシテ召
喚取調ヲ爲シタルモ終了後直ニ歸宅セシメ拘禁凌辱等ノ事實ナク(二)秋本候補者ノ運動者小
林儀兵衛ハ報酬トシテ金二十圓ノ供與ヲ受ケ尙隣村ノ運動ヲモ引受クルノ申出ヲ爲シ別ニ金
十圓ノ供與ヲ受ケタル事實ヲ探知シ取調ノ結果事實明白トナリタルヲ以テ同月十二日檢事ノ
指揮ニ依リ東京地方裁判所ニ同行シタルモノニシテ長内警部カ「錐ヲ持シテ馬鹿呼ハリ」ヲ爲
シ「冷然トシテ佇立ヲ命シ」タル等ノコト及其ノ他記載ノ事實ナシ而シテ運動者ニ對シ付シ
タル尾行ハ各派同様ニシテ特ニ秋本派ニ制肘シタルコトナシ

第十九 群馬縣ニ於ケル事例ニ就テハ其ノ一 選舉運動者ノ提灯携帯ハ單リ土谷派ノミニアラ
スシテ矢島派ニ於テモ同様使用シタリ所轄警察署ハ別段氣勢ヲ張ルモノトモ認メサリシヲ以

テ共ニ之ヲ放任シタルニ過キス從テ提灯ノ有無ニ依リ運動者ニ對スル取締向ヲ區別シタルコトナシ其ノ二 憲政派地盤ニ警官集中ト稱スルモ應援警察官吏ノ派遣配置ハ選舉競争ノ狀況ニ應シ適當ニ配置シタルモノニシテ他ニ何等ノ意ナシ其ノ三 憲政會派壓迫ノ實例其四 政友會派ノ違反「聞き措く」及ヒ其ノ五 選舉干渉ヲ告白スル假裝會ノ官紀振肅ヲ奈何ノ三項ハ何レモ猜疑臆測ニ過キス其ノ六及其ノ七ハ全ク事實無根ナリ

第二十 茨城縣ニ於テモ選舉ノ取締ハ最モ嚴密ナリシモ黨派ノ如何ニ依リ公平ヲ缺クカ如キコト毫モナシ從テ其ノ一ニ列舉セル項目ハ皆何レモ事實無根ナリ其ノ二 水戸市ニ於テモ亦運動者ニ對スル尾行其ノ他選舉取締ハ太田派ノミニ嚴シテ其ノ他ニ寛ナルカ如キ偏倚的行動ナシ其ノ三 政府黨ヲ援助セムコトヲ命シタルコトナシ其ノ四 選舉違反嫌疑者ノ取調ハ何等運動妨害其ノ他干渉ノ意思ニ出テタルモノナシ

第二十一 廣島縣ニ於テモ干渉又ハ壓迫ヲ加ヘタル事實ナシ

第二十二 山形縣ニ於テモ殊更黨派ニヨリ偏頗ナル取扱ヲナサシメタルコトナシ

第二十三 福井縣ニ於ケル川島知事ニ何等不當ノ事實ナク郡長及警察官ノ更迭ハ事務ノ都合ニヨルモノニシテ又知事ハ不當ノ放言ヲ爲シタルコトナシ其ノ一其ノ二ニ就テハ特ニ辯明ノ必要ヲ見ス其ノ三松室司法大臣カ小濱出張所ニ出張シタルハ單ニ事務視察ノ爲ニ過キスシテ選舉應援ヲ爲シタル事實ナシ其ノ四縣外ニ於ケル知事ノ行動ニ就テハ川島知事カ滋賀縣滋賀郡膳所町親戚佐々竹之丞方ニ來訪シタルハ事實ナルモ右ハ同家人ノ病氣見舞トシテ私事旅行シタルモノニシテ時恰モ選舉ニ際會スルヲ以テ世人ノ誤解ヲ招ク虞アリトテ何人ニモ面會ヲ謝絶シ居タルモノニシテ新聞記事ノ如キハ全然事實無根ナリ

第二十四 高知縣ニ於ケル事例ニ就テハ其ノ一濱口派ニ對スル壓迫ト稱スル(一)運動者ニ對スル不公平ノ取締(二)前科者ノ運動者ニ關シテハ運動者ノ取締ハ兩派差別セシコトナク公平ノ取締ニ出テタリ兩派トモ注意ヲ要スル運動者ニ對シテハ同様ニ尾行ヲ附シタリ事務所出納簿ノ検査ハ濱口派中野派ニ對シ一應平等ニ之ヲ行ヒ四月十九日犯罪捜査ノ必要上濱口派ノ検査ヲ

行ヒタルモノニシテ岩川圓次ハ事務所會計主任タルヲ以テ之ニ對シ辯明ヲ求メテ午後十一時帰宅セシメタルモノナリ前科者ヲ運動者ニ使用スヘカラサルコトハ豫テ警告シタル事項ノ一ナレトモ事犯輕微ノ者又ハ犯時古ク改悛ノ情アル者ハ之ヲ默認シタリ高知市ニ於テ前科アル運動者ヲ默認シタル者ハ濱口派二十五名中野派十三名ニシテ不適當トシテ否認シタル者ハ濱口派二名中野派三名ナリ又(二)事務所制限ニ關スル措置ニ關シテハ高知署ハ四月四日必要ヲ認メテ市内ニ於ケル選舉事務所ノ設置數ニ制限ヲ加ヘタリ當時濱口派ニ在リテハ已ニ十七箇所ヲ設置シ居リテ指定總數ニ對シ一箇所ノ超過ヲ來シタルヲ以テ同派ノ申出ニ依リ一箇所ノ廢止ニ伴ヒ町別指定總數ニ照シ北街ニ一箇所ノ制限外ヲ認メタリ當時中野派ニ在リテハ總數十ニ箇所ノ設置アルノミニシテ制限總數ニ達セサルコト四箇所タリシナリ而シテ中野候補後援會ナルモノハ一部ノ有權者等カ組織セルモノニシテ別ニ弊害ノ生スルカ如キコトナカリシヲ以テ之ヲ默認シタルニ過キス狀況此ノ如クナルヲ以テ事務所ノ制限ニ關シ何等偏頗ノ處置アリシヲ認メス(四)警察ト政黨ノ私通滑稽ナル低級運動員ト稱スルモノモ土陽新聞カ逸早く號外ヲ發行セルハ敢テ警察ノ關知スル所ニアラス勿論警察官憲ト同新聞社員乃至政友會派ト何等通謀等ノ事實ナキハ言ヲ俟タス尙私服警察官吏ト選舉運動者ト配伍同行査察シタル等ノコト更ニナシ其ノ他ノ事項ニ就テハ特ニ辯明ノ要ヲ見ス

以上詳細辯明シタル以外ノ各項ニ就テハ茲ニ一々答辯ノ要ナシト認ム畢竟前記各項ノ如ク皆全ク事實無根又ハ甚シク事實ヲ曲解シタルニ過キス

之ヲ要スルニ政府ハ今回ノ衆議院議員總選舉ニ際シテハ嚴正公平ナル取締ヲ勵行シタルモノニシテ質問主意書ニ記載セルカ如キ干渉壓迫ヲ爲シタルコトアルヲ認メス

(別紙一)

拜啓總選舉ハ彌々接戰期ト相成候處我黨最後ノ決戰的態度ハ地方ノ狀勢ニヨリテ變異スルモノニシテ敢テ一律ノ許ニ規定スルモノニ非サルハ當然ナルカ概シテ左ノ方針ヲ執ルヲ利益ナリト思考仕候間茲ニ大要ヲ列記シテ御參考ニ資シ申候

- 一 我軍ノ弱キヲ示シテ飽迄敵ヲ驕ラシメ安堵セシメ油斷セシムル方針ヲ執リ警察ノ探偵ナトニハ決シテ真相ヲ漏ラサス彼等ニ告クルニハ皆同志得票ヲ悲觀シタル材料ノミヲ以テスル事
- 二 當選點ノ算出方法ヲ誤ラス而シテ其ノ點數ヲ安全ニ獲得スルニ付テハ機敏迅速勇斷果決以テ合法ノ措置ヲ執ル事
- 三 反對黨候補者得點ノ調査ヲ精密ニシ彼等ノ得點ヲ算出スルニハ我運動員ノ報告ヨリモ尙幾分増加スルモノトシテ調査シ置クノ必要アル事
- 四 支部幹部ニ於テ冷靜ニ全局ノ大勢ヲ達觀シ精細ニ考慮シテ各候補者ノ得票ヲ調節シ得ルトキハ所謂寡ヲ以テ衆ヲ敗リ得ルモノナリ況ンヤ我カ多數ノ得票ヲ調節シテ敵ヲ壓伏スルコトハ決シテ困難ナル事業ニ非ス偏ニ幹部ノ御努力ヲ切望スル事
- 五 選舉干涉ノ聲ニ畏縮シテ運動員ノ士氣鎮沈セル地方アリ斯ル方面ノ幹部ハ極力御督勵アラムコトヲ切望ス萬一當局ノ行動ニ干涉カマシキ事有之候時ハ堂々其ノ非違ヲ糾スノ方法手段ヲ取ルハ勿論逆ニ之ヲ利用シ善用シテ反動的ニ大ニ人心ヲ鼓動スヘシ又司法官憲ハ概シテ公平ナリト信ス故ニ神經過敏ニナラスシテ之ニ對應交涉セラレ度事
- 六 從來ノ經驗ニ徴スルニ敵ハ十八日ノ夜頃ヨリ二十日ノ朝迄猛烈ニ襲撃シ來ルカト被思依テ我黨ハ其機先ヲ制スル爲十六七日頃ヨリ十八日正午迄攻勢ヲ執リテ我カ爲スヘキ事ヲ爲シ了リ而シテ十八日夜頃ヨリ敵ノ襲撃シ來ルトキハ既ニ已ニ防勢ニ轉シ運動員全部結束シテ十八十九日ノ兩夜ハ徹宵警戒シ如何ナル事實ニ遭遇スルモ決シテ驚カス狼狽セス敵ノ作戰ニ應シテ機宜ノ處置ヲ執ル事

以上

大正六年四月十一日

憲政會本部

(別紙二)

拜啓選舉違反ノ罰金刑ハ裁判所カ略式命令ヲ以テ科刑シタル場合七日間ノ正式裁判請求期間

有之規定ニ候處當該裁判所ハ言渡ト同時ニ拋棄同意書ヲ徵シ以テ直ニ事件ヲ確定セシムトスル趣ニ有之候處斯クテハ罪ノ有無ヲ充分ニ審理スルノ餘地ナキノミナラス確定ト同時ニ貴重ナル選舉權ヲ喪失スル譯ナルヲ以テ將來萬一誤テ選舉事犯發生シ之ニ對シテ略式命令アリタルトキハ拋棄同意書ノ提出ヲ止メ直ニ正式裁判請求ノ手續相成度候尙爲念左ノ各項御注意迄得貴意候也

- 一 候補者ハ運動費ヲ自己ノ信用スル者ニ交付シテ其支出ニ關スル幹部會ニハ一切出席セサルコト當選後代議士ノ失格ハ皆之カ禍因トナリ居レリ
- 二 幹部會カ運動費分配ニ關シ其ノ均衡ヲ得ル便宜上各町村ノ投票數ヲ標準トシテ分配スルコトアリ是往々當局者ニ投票買收費ト誤解セラル、所以ナリ又被誤解者ニ法律思想ノ乏シクシテ「投票數」單ニ分配ノ標準ニ過キササルコトノ辯解ヲナシ得サルモノアリテ奇禍ニ罹ルコトアリ依ッテ運動員ヲ分配スルトキハ有權者全部ニ配付スル立候補ノ依頼狀宣言書等ノ印刷費郵便費演說會場費運動員ノ辨當及車馬費有權者全部ニ依頼スル電報料等ニ見積リ計算ヲ明ニシ置クヲ要スル事
- 三 選舉競争中料理屋等ニ同志集會シテ飲食スルコトハ十分注意セラレタシ其ノ會合ハ各自相當ノ會費ヲ拂ヒ決シテ違犯行爲ニアラサルモ嫌疑ヲ受ケテ萬一其ノ筋ノ取調ヲ受クルコトアルトキハ一刻千金ノ時間ヲ徒費シ且全軍ノ士氣ニ關スルコトアリ故ニ幹部ハ一切斯カル集合等ヲ催シテ嫌疑ノ禍因ヲ作ラサルコト
- 四 反對黨從來ノ行動ニ徵スルニ種々ノ事ヲ捏造シ警察署又ハ裁判所ニ密告シテ我カ幹部及運動員ヲ奇禍ニ陥ラシメ或ハ其ノ運動ヲ拘束セムトスルコトアリ此ノ點ニ付テハ深刻ナル御注意御警戒ノ必要ヲ認ムル事
- 五 機會アル毎ニ警察官殊ニ司法官ニ接近シテ意思ノ疎通ヲ圖リ置クコト最モ必要ナル事
- 六 往復文書ハ其ノ要件ヲ速ニ解決シテ悉ク燒棄スル事
- 七 小生ノ直覺スル處ニ依レハ政府ハ來ル四月十五日頃第二ノ檢舉ヲ爲スカト思ハル此ノ檢

舉カ公正ナルカ將カ偏頗ナルカハ後日ノ問題ニシテ我黨員ニ檢舉セラル、行爲ナク假令反對黨ノ虛構セル密告等ニテ一時誤解セラレ嫌疑ヲ受クル者アリテモ決シテ狼狽スルコトナク飽迄邁進ノ勇ヲ鼓シ公明正大ノ運動ヲ持續シテ作戦計畫ヲ遺算ナカラシムルニアリ各位ハ此ノ點ニ付テ特ニ變ニ應シテ機宜ノ處置ヲ誤ラサル様周到ナル注意ヲ拂ハレンコトヲ切望スル事

以上ノ各項中選舉法違犯ニ關スルコトハ皆誰モ知り切リタル平凡ナル事柄ナルモ唯之ヲ實行スルコト困難ナルコト各位幸ニ御同感ニ候ヘハ各候補者ノ選舉事務所幹部其ノ他ニ徹底スル様御注意願上度候最早各地候補者ノ推薦正ニ決定セムトシテ競争ハ彌々第二期戦ニ移ラムトス然ルニ最後ノ勝利ハ勇斷ノ二字ニ存ス斷シテ行ハ、寺内内閣何カアラム政友會何カアラム小生ハ各位ノ努力健闘ニ依リテ我黨ノ全勝ヲ確信スルモノニ御座候
右本部ノ通牒ニ基キ申進候要スルニ神聖ニ選舉ノ行ハル、ヲ期シ度候
大正六年四月五日

一七 選舉干涉ニ關スル再質問

曩ニ提出シタル選舉干涉ニ關スル質問ニ對シ政府ノ答辯ハ要領ヲ得ス更ニ明確ナル答辯ヲ望ム

七月十日森田茂君ハ右再質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ寺内、後藤、松室、岡田、田、仲小路各國務大臣ハ同月十二日其ノ趣旨辯明ニ先チ書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ依テ同日議事日程ヨリ之ヲ除却ス

質問主意書ハ政府ノ答辯ヲ以テ要領ヲ得スト云フモ如何ナル點ニ於テ不明ナルカヲ指示セス政府ニ於テハ質問ニ對シ答辯ヲ要スル各項目ニ互リ詳細明確ニ答辯ヲ爲シタリ

一八 南洋ニ於ケル邦人ノ起業抑壓、發展阻止及帝國ノ威信毀損ニ關スル質問

英領馬來半島ニ於テ今春以來外國人ニ對スル官有地ノ拂下ヲ禁止的ニ制限セリ是レ豈ニ英國政府カ彼地ニ於ケル邦人ノ摯實ナル起業ヲ抑壓シ其ノ正當ナル發展ヲ阻止シ延テ帝國ノ威信ヲ毀損スルノ頗ル甚シキモノアルニ拘ラス我カ政府ハ恬トシテ省ミル所ナキノ行爲ニ非スマ本件ニ付政府ハ英國政府ニ對シ如何ナル交渉ヲ遂ケ又ハ交渉ヲ試ミツツアルカ又其ノ交渉ニ依リ能ク南洋ニ於ケル邦人ノ起業發展ヲ助長シ且帝國ノ威信ヲ伸暢スルノ自信アルカ

七月三日小西和君外二名ハ右質問主意書ヲ提出ス之ニ對シ本野國務大臣ハ七月九日書面ヲ以テ左ノ答辯ヲ爲セリ

英領馬來半島ニ於テ今春以來官有地拂下ニ制限ヲ加ヘタルハ事實ナルモ右ハ均シク一般外國人ニ適用セラレル制限ニシテ戰時ニ於ケル特殊ノ事態ニ基クモノト認ム然レトモ輓近本邦人ニシテ同地方ニ於テ護謨園其ノ他ノ起業經營ニ從事スル者少ナカラサル事實ニ鑑ミ帝國政府ニ於テ

ハ右制限ノ結果我當業者ノ蒙ルヘキ打撃ヲシテ可成輕微ナラシムルノ目的ヲ以テ目下英國政府ト交渉中ナリ

一九 南洋ニ於ケル邦人ノ起業抑壓、發展阻止及帝國ノ威信毀損ニ關スル再質問

一 馬來半島ニ於ケル土地拂下ノ禁止的制限ハ一般外國人ニ對スルモノニ相違ナシト雖同半島ニ於テハ米國人ノ土地拂下ヲ受クル者極メテ稀ナリ支那人ハ同半島出生ノ者多クシテ英國臣民ト看做サルルヲ以テ事實上此ノ制限ヲ受クルモノニ非ス其ノ他ノ外國人ハ現時土地ノ拂下ヲ受クル者殆ト絶無ナリ然ルニ邦人ハ十餘年來拮据經營試驗的起業ノ結果輒近ニ至リテ漸ク合理的事業ナルヲ確知シ得タリ而シテ邦人ノ起業經營ハ其ノ方法極メテ摯實ナルカ爲土地拂下ノ制限ニ依リ最痛切ナル影響ヲ蒙リツツアリ之ニ對スル政府ノ所見如何

二 英國政府カ外國人ニ對シテ馬來半島ノ土地拂下ヲ制限セル理由ハ戰爭ノ爲資本其ノ他ノ關係上英國臣民ハ該地拂下ヲ手控ユルノ外ナキニ至リ此ノ場合ニ於テ外國人ニ土地ヲ拂下クルトキハ輿論沸騰ノ虞アリトスルニ在ルカ如シ然ルニ實際ニ於テハ英國人拂下ノ地積ハ戰役開始ノ前後ニ於テ何等ノ差異ナシ而モ同半島ニ於ケル英國人ニシテ同盟國人民ニ對シ土地拂下ヲ制限セル自國政府ノ處置ヲ非難スル者スラ尠カラサルナリ之ニ對スル政府ノ

所見如何

三 馬來半島ニハ到ル處未開地ノアラサルナク同半島官製色分地圖ヲ一瞥スレハジョホール、ケダ、バハン、スランゴール、ネギス、ミラン等ノ各州ヲ通シ墾成セラレタル土地ハ頗ル鮮少ナルヲ知得スルニ難カラス故ニ英領海峽殖民地政府ハ起業開拓ニ付勸誘獎勵ニ努ムルノ事實アリ然ラハ即チ邦人カ土地ノ拂下ヲ受ケ開墾栽培ノ業ヲ營ムハ同半島ニ於ケル富源ヲ啓發スル所以ニシテ英國側トシテモ利アリテ害ナク戰時中ト雖何等英國人ノ利權ヲ侵害スルモノニ非サルヤ明ナリ政府ノ所見如何

四 英國政府ノ外國人ニ對スル馬來半島未開地拂下ノ制限ハ主トシテ邦人ノ起業ヲ抑壓スルノ結果ヲ生ス然ルニ英國政府カ敢テ此ノ處置ニ出テタルハ諒解ニ苦シム所ナリ政府ニシテ能ク事實ノ判明ト道理ノ徹底ニ努ムルニ於テハ英國政府ハ必スヤ我カ希望ヲ容レ我カ交渉ニ應スヘク之ニ依テ圓滿ナル解決ヲ見ルニ至ルヘキヲ疑ハス政府ハ能ク如上ノ方法ヲ執リ以テ圓滿ナル解決ヲ遂クルノ自信アルカ

五 日英兩國間ニハ鞏固ナル同盟ノ誼アリ這回戰亂ノ勃發以來彼我共同作戰ヲ爲シ我カ海軍ハ南洋及印度洋ニ出動シテ能ク英國ノ領土臣民ノ安全ヲ確保セルニ止ラス更ニ進ムテ遠ク地中海方面ニ活躍ヲ試ミツツアルカ如キ兩國ノ友情的關係ノ密接ニシテ其ノ親善ナル未曾テ